

第2期城陽市子ども・子育て支援事業計画
策定に関するアンケート調査
結果報告書（案）

令和元年(2019年)●月

城 陽 市

【 目 次 】

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査時期	1
3. 調査方法	1
4. 調査対象	1
5. 回収率	1
6. 報告書の見方	1
II. 就学前児童保護者調査結果	2
1. 基本属性	2
2. 子育てをめぐる状況について	7
3. 父母の就労状況	28
4. 平日の定期的な教育・保育の利用状況について	39
5. 子育て支援事業の利用状況	55
6. 土曜日と日曜日・祝日や長期休業中の定期的な教育・保育の利用希望について	65
7. 子どもが病気の際の対応について	76
8. 不定期の一時預かり等の事業の利用について	86
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方	97
10. 仕事と育児の両立支援制度	103
11. 子育て支援対策全般について	117
III. 小学生保護者調査結果	122
1. 基本属性	122
2. 子育てをめぐる状況について	126
3. 父母の就労状況	140
4. 学童保育所の利用について	149
5. 子どもが病気の際の対応について	158
6. 宿泊を伴う一時預かり等の利用について	165
7. 子育て支援対策全般について	167

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は平成 27 年度に策定した「城陽市子ども・子育て支援事業計画」（以下、「事業計画」という。）の計画期間が令和元年度末で終了するため、次期計画策定の基礎資料を得ることを目的に実施したものです。

2. 調査時期

平成 31 年 2 月 28 日～3 月 22 日

3. 調査方法

調査は、郵送による配布・回収で、お礼状兼督促状を 1 回送付しました。

4. 調査対象

(1) 就学前児童用

市内在住の就学前児童をもつ保護者を対象に悉皆調査

(2) 小学 1～6 年生用

市内在住の小学生各学年 200 名ずつ無作為抽出

5. 回収率

(1) 就学前児童

1,574 票（配布数 3,571 票、回収率 44.0%）

(2) 小学 1～6 年生

595 票（配布数 1,200 票、回収率 49.6%）

6. 報告書の見方

- (1) 集計結果は、すべて小数点以下第 2 位を四捨五入しており、比率の合計が 100%とならないことがある。
- (2) 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が 100%とならない場合がある。
- (3) 回答比率 (%) は、その質問の回答者数を基数 (N=Number of case) として算出している。
- (4) 本文中の表などにおいて、選択肢が長い文章となる際に簡略化している場合がある。
- (5) 年齢は平成 30 年 4 月 1 日現在で、学年は平成 30 年度で表記している。
- (6) 時刻は 24 時間制で表示している。

Ⅱ. 就学前児童保護者調査結果

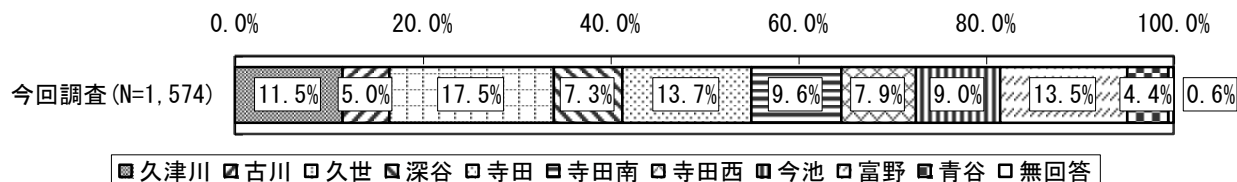
1. 基本属性

(1) 小学校区

問1 お住まいの小学校区はどれですか。

小学校区をみると、以下のとおりとなっています。

図 小学校区（単数回答）

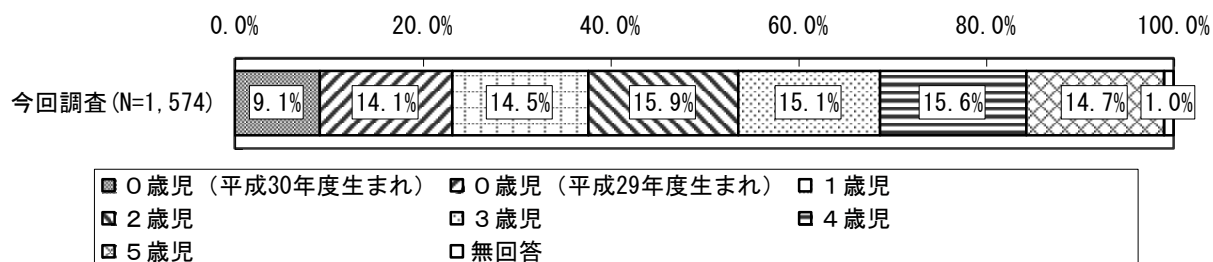


(2) 子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの生年月を口内に数字でご記入ください。

調査対象の子どもの年齢をみると、「2歳児」(15.9%)が最も多く、次いで「4歳児」(15.6%)、「3歳児」(15.1%)となっています。

図 子どもの年齢



(3) 子どもの人数

問3 お子さんは何人ですか。人数を数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月を口内に数字でご記入ください。

子どもの人数をみると、「2人」(50.4%)が最も多く、次いで「1人」(32.1%)、「3人」(14.2%)となっています。

末子の生年月から年齢を算出すると、「1歳児」(17.9%)が最も多く、次いで「0歳児(平成29年度生まれ)」(17.5%)、「0歳児(平成30年度生まれ)」(15.6%)となっています。

図 子どもの人数

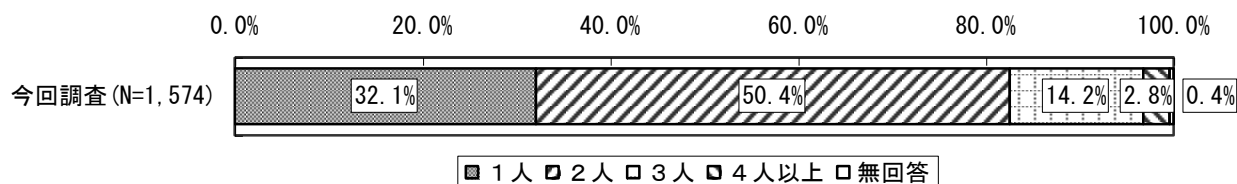
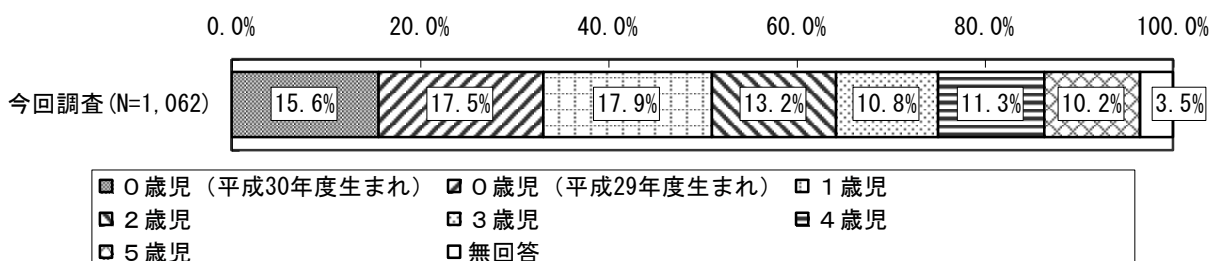


図 末子の年齢

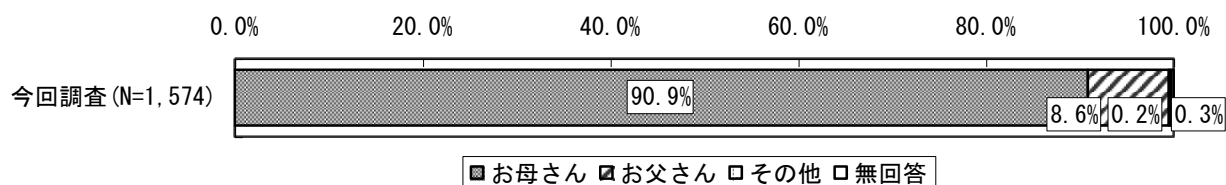


(4) 調査の回答者

問4 調査票にご回答いただいている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

回答者をみると、「お母さん」が90.9%、「お父さん」が8.6%となっています。

図 調査の回答者 (単数回答)

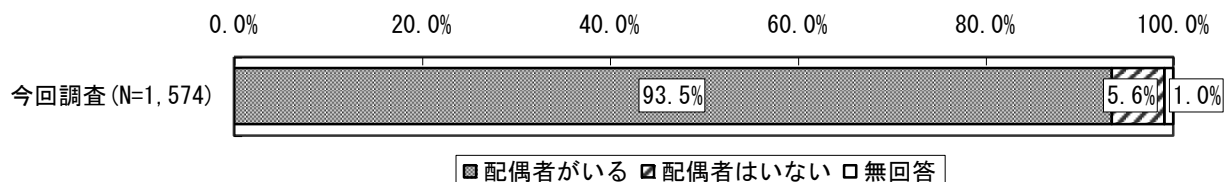


(5) 回答者の配偶関係

問5 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

回答者の配偶関係をみると、「配偶者がいる」が93.5%、「配偶者はいない」が5.6%となっています。なお、回答者の配偶関係からひとり親家庭をみると、母子家庭が5.3%、父子家庭が0.3%となっています。

図 回答者の配偶関係（単数回答）



(6) 父母の年齢

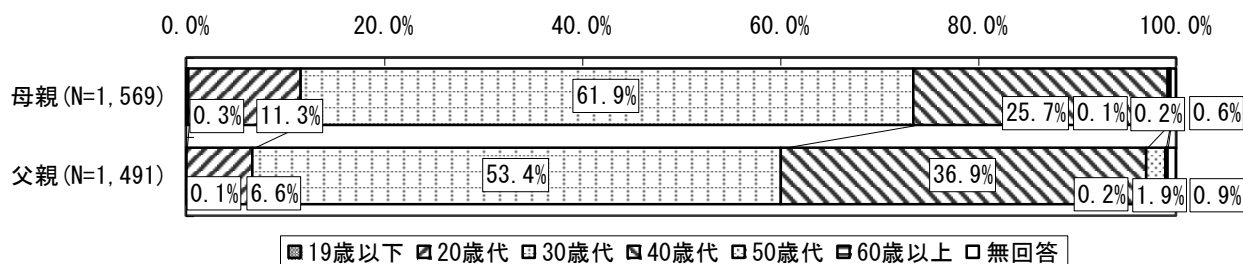
問5-1 お子さんのお母さん、お父さんの年齢をお答えください。

※ひとり親家庭の方は、お母さん又はお父さんについてのみお答えください。

母親の年齢をみると、「30歳代」(61.9%)が最も多く、次いで「40歳代」(25.7%)、「20歳代」(11.3%)となっています。

父親の年齢をみると、「30歳代」(53.4%)が最も多く、次いで「40歳代」(36.9%)となっています。

図 父母の年齢（単数回答）



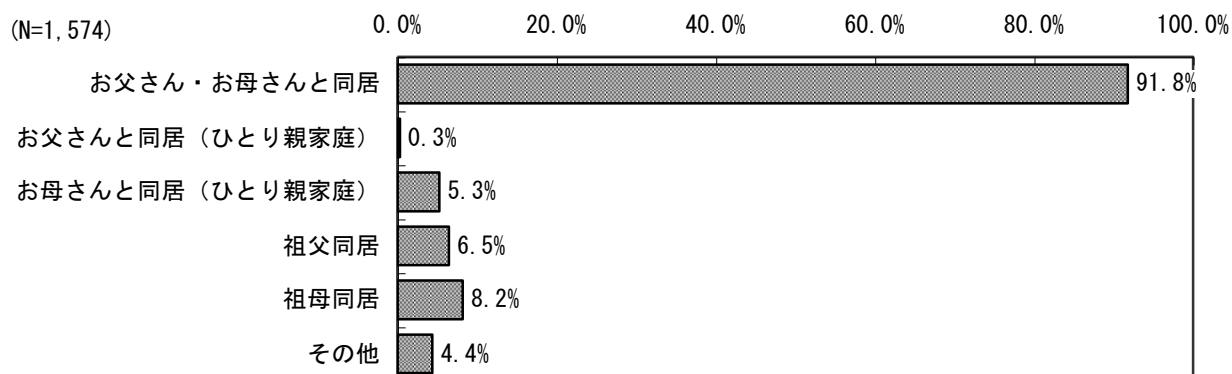
(7) 家族構成

問5-2 お子さんとの同居の状況をお答えください。

※続柄はお子さんからみた関係です。

子どもの同居家族をみると、「お父さん・お母さんと同居」(91.8%)が最も多くなっています。「その他」の回答は、配偶者の一方が単身赴任等となっています。

図 家族構成 (複数回答)



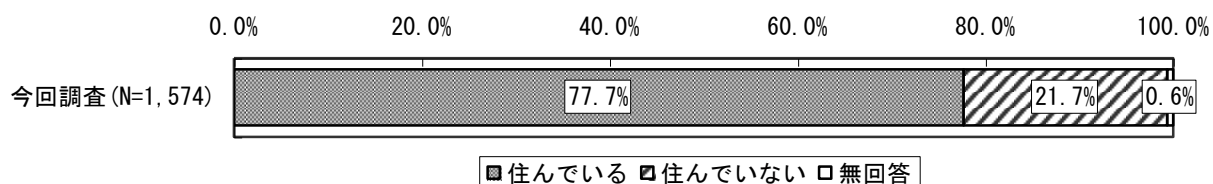
(8) 祖父母の近居の状況

問5-3 お子さんの祖父母が近くにお住まいですか。

※近くとは、ご自身の移動手段で概ね30分以内程度に行き来できる範囲です。

祖父母の近居の状況をみると、「住んでいる」が77.7%、「住んでいない」が21.7%となっています。

図 祖父母の近居の状況 (単数回答)



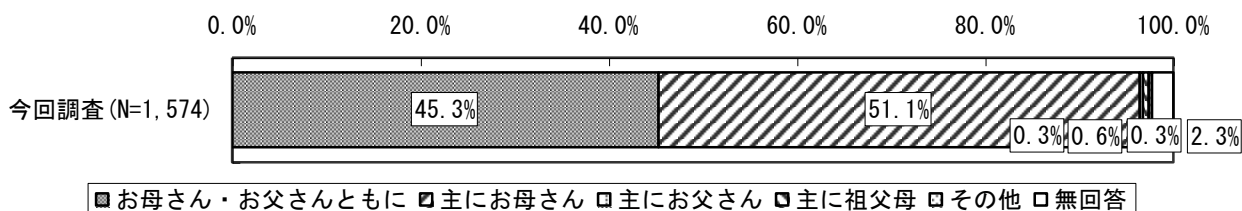
(9) 子どもの主たる育児者

問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。

※続柄はお子さんからみた関係です。

子どもの主たる育児者をみると、「主にお母さん」(51.1%)が最も多く、次いで「お母さん・お父さんともに」(45.3%)となっています。

図 子どもの主たる育児者 (単数回答)



●就労状況別

就労状況別に子どもの主たる育児者をみると、「ともにフルタイム」と「一人以上がパート・アルバイト」では「お母さん・お父さんともに」が最も多く、約5割となっています。「専業主婦・主夫家庭」と「ひとり親」では「主にお母さん」が6割以上となっています。

表 就労状況別子どもの主たる育児者

上段：回答数
下段：構成比

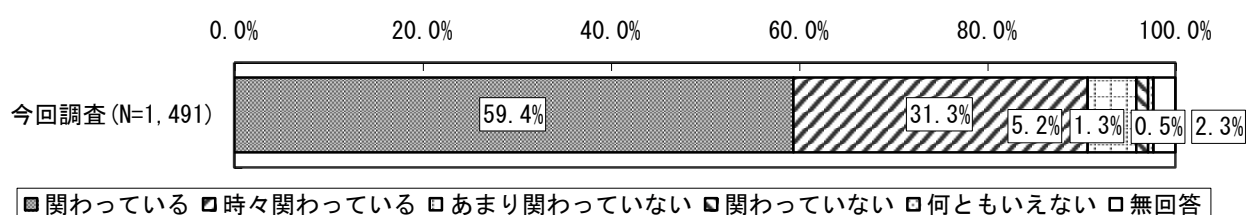
	お母さん・お父さんともに	主にお母さん	主にお父さん	主に祖父母	その他	無回答	合計
ともにフルタイム	295 56.8%	210 40.5%	0 0.0%	4 0.8%	3 0.6%	7 1.3%	519 100.0%
一人以上がパート・アルバイト	198 49.4%	188 46.9%	0 0.0%	1 0.2%	1 0.2%	13 3.2%	401 100.0%
専業主婦・主夫家庭	179 35.9%	308 61.8%	2 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	9 1.8%	498 100.0%
ひとり親	11 12.5%	67 76.1%	2 2.3%	4 4.5%	1 1.1%	3 3.4%	88 100.0%
不明・その他	30 44.1%	32 47.1%	1 1.5%	1 1.5%	0 0.0%	4 5.9%	68 100.0%
合計	713 45.3%	805 51.1%	5 0.3%	10 0.6%	5 0.3%	36 2.3%	1,574 100.0%

(10) 父親の育児参加の状況

問6-1 お子さんのお父さんは、育児・お子さんの世話を積極的に関わっていますか。

父親の育児参加の状況をみると、「関わっている」(59.4%)が最も多く、次いで「時々関わっている」(31.3%)、「あまり関わっていない」(5.2%)となっています。また、「関わっている」と「時々関わっている」を合わせると、育児に関わっている父親は90.7%となっています。

図 父親の育児参加の状況（単数回答）



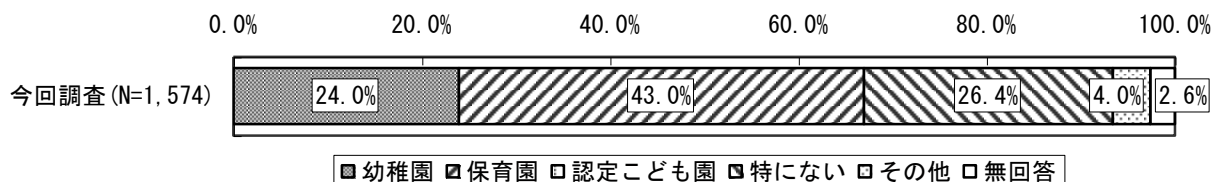
2. 子育てをめぐる状況について

(1) 日常的に通っている施設

問7 お子さんが日常的に利用している施設をお答えください。

子どもが日常的に通っている施設をみると、「保育園」(43.0%)が最も多く、次いで「特にない」(26.4%)、「幼稚園」(24.0%)となっています。

図 日常的に通っている施設 (単数回答)



●校区别

校区别に日常的に通っている施設をみると、各校区で「保育園」が最も多く、3割以上となっており、最も多い「今池」では52.5%となっています。「古川」では「幼稚園」(33.3%)が他の校区に比べて多くなっています。

表 校区别日常的に通っている施設

上段：回答数

下段：構成比

	幼稚園	保育園	認定こども園	特にない	その他	無回答	合計
久津川	37 20.4%	73 40.3%	0 0.0%	60 33.1%	7 3.9%	4 2.2%	181 100.0%
古川	26 33.3%	29 37.2%	0 0.0%	17 21.8%	2 2.6%	4 5.1%	78 100.0%
久世	71 25.7%	111 40.2%	0 0.0%	73 26.4%	12 4.3%	9 3.3%	276 100.0%
深谷	34 29.6%	49 42.6%	0 0.0%	29 25.2%	3 2.6%	0 0.0%	115 100.0%
寺田	43 19.9%	94 43.5%	0 0.0%	62 28.7%	10 4.6%	7 3.2%	216 100.0%
寺田南	43 28.5%	71 47.0%	0 0.0%	30 19.9%	4 2.6%	3 2.0%	151 100.0%
寺田西	33 26.4%	48 38.4%	0 0.0%	32 25.6%	4 3.2%	8 6.4%	125 100.0%
今池	31 22.0%	74 52.5%	0 0.0%	30 21.3%	6 4.3%	0 0.0%	141 100.0%
富野	43 20.2%	102 47.9%	0 0.0%	55 25.8%	9 4.2%	4 1.9%	213 100.0%
青谷	15 21.7%	25 36.2%	0 0.0%	23 33.3%	5 7.2%	1 1.4%	69 100.0%
無回答	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	5 55.6%	1 11.1%	1 11.1%	9 100.0%
合計	377 24.0%	677 43.0%	0 0.0%	416 26.4%	63 4.0%	41 2.6%	1,574 100.0%

●年齢別

年齢別に日常的に通っている施設をみると、「0歳児（平成30年度生まれ）」と「0歳児（平成29年度生まれ）」では「特にない」が最も多く、いずれも6割以上となっています。「1歳児」から「4歳児」は「保育園」が最も多く、4割以上となっており、「5歳児」は「幼稚園」（49.4%）が最も多くなっています。

表 年齢別日常的に通っている施設

上段：回答数

下段：構成比

	幼稚園	保育園	認定こども園	特にない	その他	無回答	合計
0歳児 （平成30年度生まれ）	5 3.5%	12 8.4%	0 0.0%	114 79.7%	8 5.6%	4 2.8%	143 100.0%
0歳児 （平成29年度生まれ）	3 1.4%	51 23.0%	0 0.0%	143 64.4%	17 7.7%	8 3.6%	222 100.0%
1歳児	9 3.9%	113 49.6%	0 0.0%	84 36.8%	17 7.5%	5 2.2%	228 100.0%
2歳児	47 18.7%	125 49.8%	0 0.0%	58 23.1%	13 5.2%	8 3.2%	251 100.0%
3歳児	92 38.7%	130 54.6%	0 0.0%	10 4.2%	4 1.7%	2 0.8%	238 100.0%
4歳児	105 42.9%	132 53.9%	0 0.0%	3 1.2%	2 0.8%	3 1.2%	245 100.0%
5歳児	114 49.4%	106 45.9%	0 0.0%	1 0.4%	1 0.4%	9 3.9%	231 100.0%
無回答	2 12.5%	8 50.0%	0 0.0%	3 18.8%	1 6.3%	2 12.5%	16 100.0%
合計	377 24.0%	677 43.0%	0 0.0%	416 26.4%	63 4.0%	41 2.6%	1,574 100.0%

●世帯別

世帯別に日常的に通っている施設をみると、各世帯で「保育園」が最も多く、4割以上となっており、「ひとり親」では60.2%となっています。また、三世代では「特にない」が30.3%と比較的多くなっています。

表 世帯別日常的に通っている施設

上段：回答数

下段：構成比

	幼稚園	保育園	認定こども園	特にない	その他	無回答	合計
二世帯	318 23.9%	556 41.8%	0 0.0%	369 27.7%	52 3.9%	35 2.6%	1,330 100.0%
三世帯	24 20.2%	54 45.4%	0 0.0%	36 30.3%	5 4.2%	0 0.0%	119 100.0%
ひとり親	17 19.3%	53 60.2%	0 0.0%	9 10.2%	6 6.8%	3 3.4%	88 100.0%
その他	18 50.0%	14 38.9%	0 0.0%	2 5.6%	0 0.0%	2 5.6%	36 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
合計	377 24.0%	677 43.0%	0 0.0%	416 26.4%	63 4.0%	41 2.6%	1,574 100.0%

●就労状況別

就労状況別に日常的に通っている施設をみると、「ともにフルタイム」、「一人以上がパート・アルバイト」、「ひとり親」では「保育園」が最も多く、5割以上となっています。一方、「専業主婦・主夫家庭」では「特にない」(43.6%)が最も多く、次いで多い「幼稚園」(42.4%)も約4割となっています。

表 就労状況別日常的に通っている施設

上段：回答数

下段：構成比

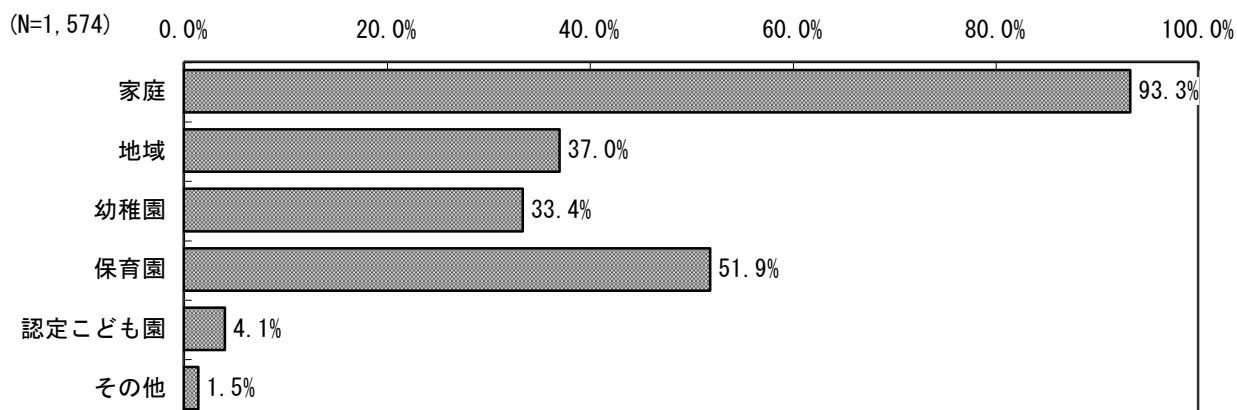
	幼稚園	保育園	認定こども園	特にない	その他	無回答	合計
ともにフルタイム	29 5.6%	349 67.2%	0 0.0%	120 23.1%	13 2.5%	8 1.5%	519 100.0%
一人以上がパート・アルバイト	105 26.2%	222 55.4%	0 0.0%	53 13.2%	7 1.7%	14 3.5%	401 100.0%
専業主婦・主夫家庭	211 42.4%	26 5.2%	0 0.0%	217 43.6%	34 6.8%	10 2.0%	498 100.0%
ひとり親	17 19.3%	53 60.2%	0 0.0%	9 10.2%	6 6.8%	3 3.4%	88 100.0%
不明・その他	15 22.1%	27 39.7%	0 0.0%	17 25.0%	3 4.4%	6 8.8%	68 100.0%
合計	377 24.0%	677 43.0%	0 0.0%	416 26.4%	63 4.0%	41 2.6%	1,574 100.0%

(2) 子どもの育ちに影響する環境

問8 お子さんの育ちに、大きく影響すると思われる環境はどれですか。

子どもの育ちに影響すると思われる環境をみると、「家庭」(93.3%)が最も多く、次いで「保育園」(51.9%)、「地域」(37.0%)となっています。

図 子どもの育ちに影響する環境（複数回答）

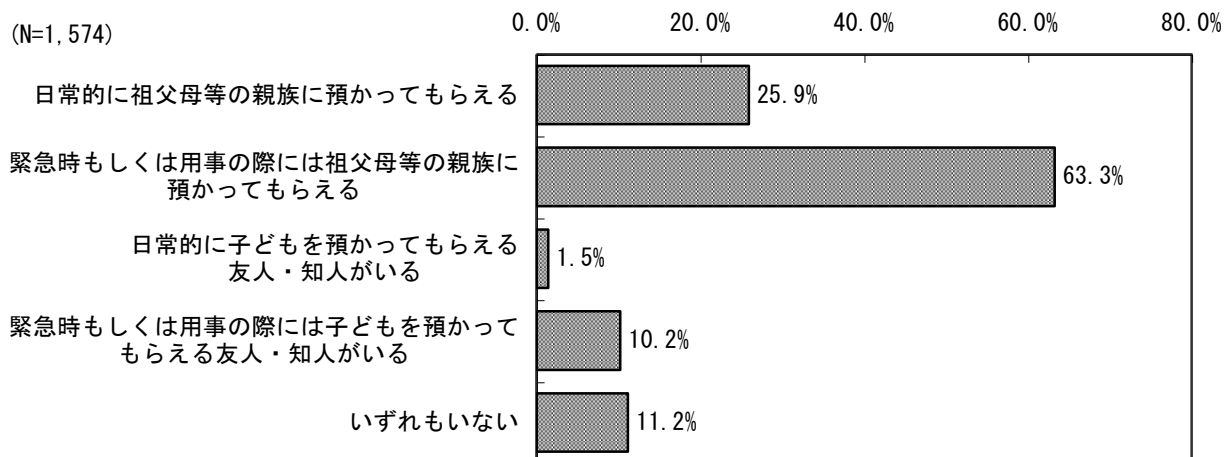


(3) 子どもを預かってもらえる親族・知人の有無

問9 日頃、お子さんを預かってもらえる親族・知人はいますか。

子どもを預かってもらえる親族・知人の状況を見ると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」(63.3%)が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」(25.9%)、「緊急時もしくは用事の際には子どもを預かってもらえる友人・知人がいる」(10.2%)となっています。一方、「いずれもない」は11.2%となっています。

図 子どもを預かってもらえる親族・知人の有無（複数回答）



●校區別

校區別に子どもを預かってもらえる親族・知人の有無をみると、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」では「寺田西」、「今池」、「青谷」が3割以上となっていますが、各校区で「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」を上回っています。また、「いずれもない」は「寺田南」と「寺田西」、「富野」を除く各校区で1割以上となっています。

表 校區別子どもを預かってもらえる親族・知人の有無（複数回答）

上段：回答数

下段：構成比

	日常的に 祖父母等 の親族に 預かって もらえる	緊急時も しくは用 事の際に は祖父母 等の親族 に預かって もらえる	日常的に 子どもを 預かって もらえる 友人・知 人がいる	緊急時も しくは用 事の際に は子ども を預かって もらえる 友人・知 人がいる	いずれも いない	有効回答 数
久津川	33	117	3	24	25	181
	18.2%	64.6%	1.7%	13.3%	13.8%	100.0%
古川	20	46	0	5	11	78
	25.6%	59.0%	0.0%	6.4%	14.1%	100.0%
久世	55	186	3	15	31	276
	19.9%	67.4%	1.1%	5.4%	11.2%	100.0%
深谷	28	72	2	15	17	115
	24.3%	62.6%	1.7%	13.0%	14.8%	100.0%
寺田	51	136	5	19	30	216
	23.6%	63.0%	2.3%	8.8%	13.9%	100.0%
寺田南	42	95	4	19	12	151
	27.8%	62.9%	2.6%	12.6%	7.9%	100.0%
寺田西	38	76	0	12	5	125
	30.4%	60.8%	0.0%	9.6%	4.0%	100.0%
今池	55	77	1	15	17	141
	39.0%	54.6%	0.7%	10.6%	12.1%	100.0%
富野	61	142	4	26	19	213
	28.6%	66.7%	1.9%	12.2%	8.9%	100.0%
青谷	23	45	1	11	7	69
	33.3%	65.2%	1.4%	15.9%	10.1%	100.0%
無回答	2	4	0	0	2	9
	22.2%	44.4%	0.0%	0.0%	22.2%	100.0%
合計	408	996	23	161	176	1,574
	25.9%	63.3%	1.5%	10.2%	11.2%	100.0%

●年齢別

年齢別に子どもを預かってもらえる親族・知人の有無をみると、各年齢で「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」を上回っており、いずれも6割以上となっています。「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」は各年齢で3割未満となっており、「いずれもない」は「0歳児（平成30年度生まれ）」から「4歳児」では約1割となっています。

表 年齢別子どもを預かってもらえる親族・知人の有無（複数回答）

上段：回答数

下段：構成比

	日常的に 祖父母等 の親族に 預かって もらえる	緊急時も しくは用 事の際に は祖父母 等の親族 に預かっ てもらえ る	日常的に 子どもを 預かって もらえる 友人・知 人がいる	緊急時も しくは用 事の際に は子ども を預かっ てもらえ る友人・ 知人がい る	いずれも いない	有効回答 数
0歳児 (平成30年度生まれ)	40 28.0%	94 65.7%	0 0.0%	7 4.9%	13 9.1%	143 100.0%
0歳児 (平成29年度生まれ)	52 23.4%	147 66.2%	1 0.5%	12 5.4%	27 12.2%	222 100.0%
1歳児	58 25.4%	143 62.7%	4 1.8%	22 9.6%	29 12.7%	228 100.0%
2歳児	68 27.1%	153 61.0%	4 1.6%	26 10.4%	35 13.9%	251 100.0%
3歳児	63 26.5%	150 63.0%	3 1.3%	25 10.5%	27 11.3%	238 100.0%
4歳児	63 25.7%	153 62.4%	7 2.9%	36 14.7%	29 11.8%	245 100.0%
5歳児	60 26.0%	148 64.1%	4 1.7%	33 14.3%	14 6.1%	231 100.0%
無回答	4 25.0%	8 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 12.5%	16 100.0%
合計	408 25.9%	996 63.3%	23 1.5%	161 10.2%	176 11.2%	1,574 100.0%

●世帯別

世帯別に子どもを預かってもらえる親族・知人の有無をみると、「二世帯」と「ひとり親」では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が最も多く、5割以上となっています。また、「三世帯」は「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が最も多く、63.9%となっています。一方、「いずれもない」は「二世帯」では11.9%となっています。

表 世帯別子どもを預かってもらえる親族・知人の有無（複数回答）

上段：回答数

下段：構成比

	日常的に 祖父母等 の親族に 預かって もらえる	緊急時も しくは用 事の際に は祖父母 等の親族 に預かっ てもらえ る	日常的に 子どもを 預かって もらえる 友人・知 人がいる	緊急時も しくは用 事の際に は子ども を預かっ てもらえ る友人・ 知人がい る	いずれも いない	有効回答 数
二世帯	294 22.1%	880 66.2%	18 1.4%	137 10.3%	158 11.9%	1,330 100.0%
三世帯	76 63.9%	54 45.4%	3 2.5%	7 5.9%	3 2.5%	119 100.0%
ひとり親	30 34.1%	46 52.3%	2 2.3%	12 13.6%	6 6.8%	88 100.0%
その他	8 22.2%	16 44.4%	0 0.0%	5 13.9%	9 25.0%	36 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
合計	408 25.9%	996 63.3%	23 1.5%	161 10.2%	176 11.2%	1,574 100.0%

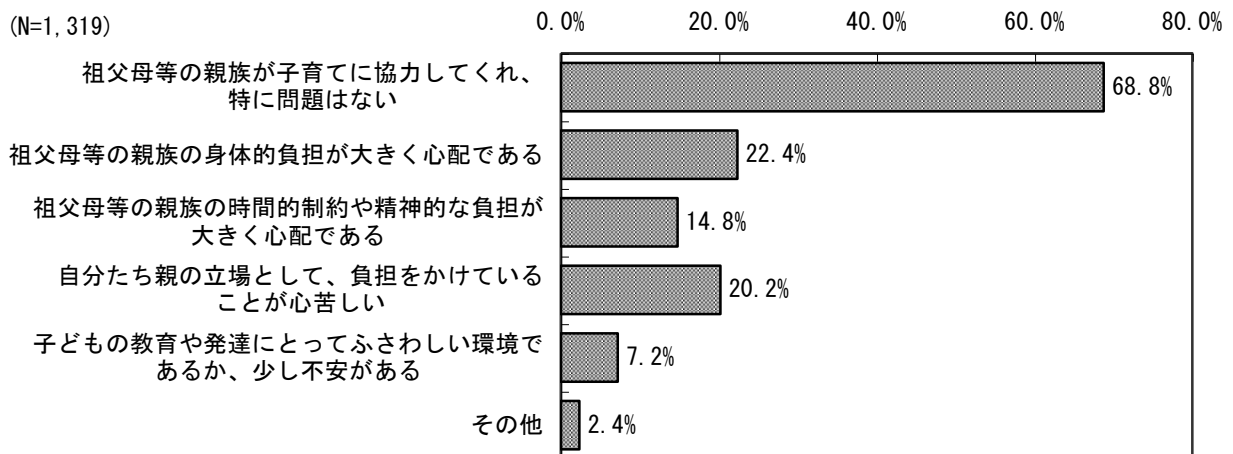
(4) 祖父母等の親族に子どもを預かってもらっている状況

* 問9-1は、問9で「1」または「2」に○をつけた方（お子さんを親族に預かってもらえる方）にうかがいます。

問9-1 祖父母等の親族にお子さんを預かってもらっている状況をお答えください。

子どもを親族に預かってもらえる人の状況をみると、「祖父母等の親族が子育てに協力してくれ、特に問題はない」(68.8%)が最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」(22.4%)、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(20.2%)となっています。

図 祖父母等の親族に子どもを預かってもらっている状況（複数回答）



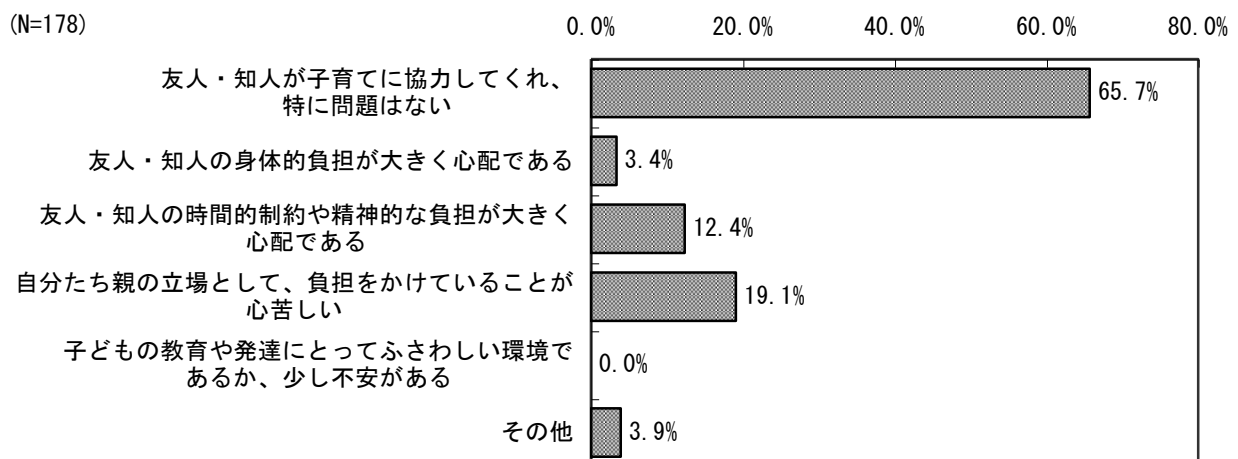
(5) 友人・知人に子どもを預かってもらっている状況

* 問9-2は、問9で「3」または「4」に○をつけた方（お子さんを友人・知人に預かってもらえる方）にうかがいます。

問9-2 友人・知人にお子さんを預かってもらっている状況をお答えください。

子どもを友人・知人に預かってもらえる人の状況をみると、「友人・知人が子育てに協力してくれ、特に問題はない」(65.7%)が最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(19.1%)、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(12.4%)となっています。

図 友人・知人に子どもを預かってもらっている状況（複数回答）

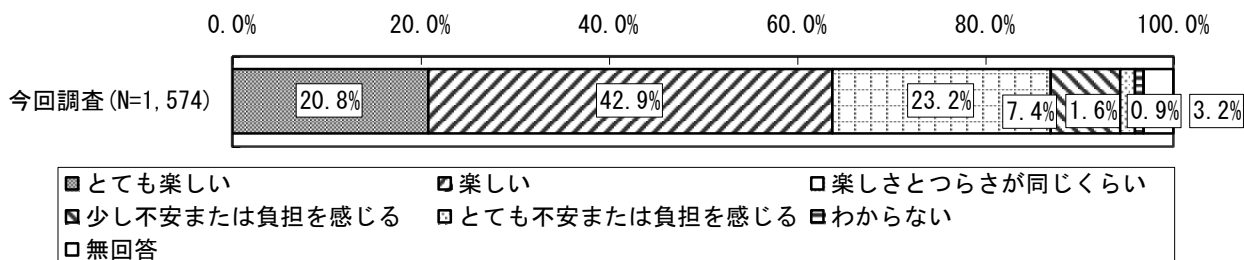


(6) 子育てに対する気持ち

問9-3 子育ては、楽しいときもあれば、つらいときもありますが、お気持ちに一番近いものをお答えください。(〇は1つ)

子育てに対する気持ちを見ると、「楽しい」(42.9%)が最も多く、次いで「楽しさとつらさが同じくらい」(23.2%)、「とても楽しい」(20.8%)となっています。また、「とても楽しい」と「楽しい」を合わせると、子育てが楽しい人は63.7%となっています。

図 子育てに対する気持ち(単数回答)



●世帯別

世帯別に子育てに対する気持ちを見ると、子育てが楽しい人は「その他」を除く各世帯で6割以上となっており、「三世代」では「とても楽しい」(31.3%)が比較的多くなっています。「少し不安または負担を感じる」と「とても不安または負担を感じる」を合わせると、子育てに不安または負担を感じる人は「ひとり親世帯」では11.4%となっています。

表 世帯別子育てに対する気持ち

	上段：回答数							合計
	とても楽しい	楽しい	楽しさとつらさが同じくらい	少し不安または負担を感じる	とても不安または負担を感じる	わからない	無回答	
二世代	266	577	311	101	21	12	42	1,330
	20.0%	43.4%	23.4%	7.6%	1.6%	0.9%	3.2%	100.0%
三世代	37	47	26	6	1	0	2	119
	31.1%	39.5%	21.8%	5.0%	0.8%	0.0%	1.7%	100.0%
ひとり親	21	36	16	7	3	2	3	88
	23.9%	40.9%	18.2%	8.0%	3.4%	2.3%	3.4%	100.0%
その他	4	16	12	2	0	0	2	36
	11.1%	44.4%	33.3%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	100.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
合計	328	676	365	116	25	14	50	1,574
	20.8%	42.9%	23.2%	7.4%	1.6%	0.9%	3.2%	100.0%

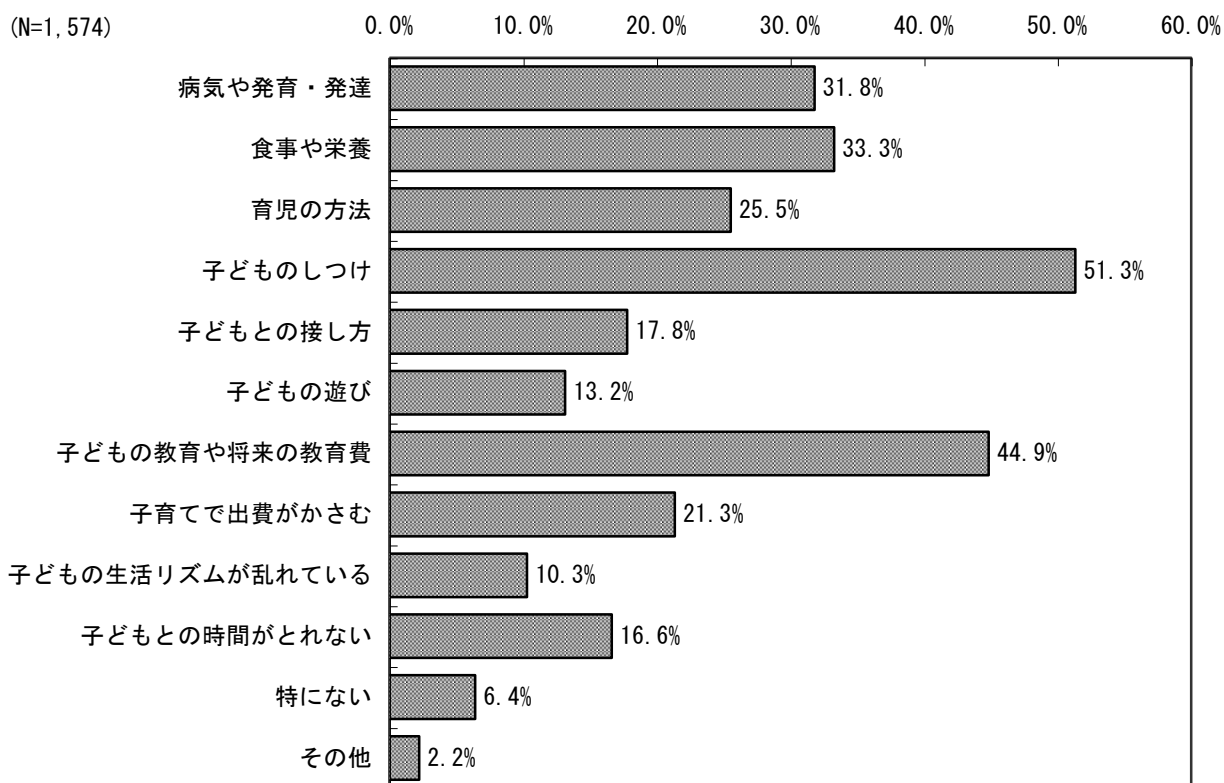
(7) 子育てに関する悩みや不安の内容

問9-4 お子さんを育てていて、日頃悩んでいること、不安に感じることはどのようなことですか。お子さんのこと、保護者のことそれぞれお答えください。

①子育ての悩みや不安（子どもに関すること）

育児中、子どものことで感じる悩みや不安をみると、「子どものしつけ」(51.3%)が最も多く、次いで「子どもの教育や将来の教育費」(44.9%)、「食事や栄養」(33.3%)となっています。

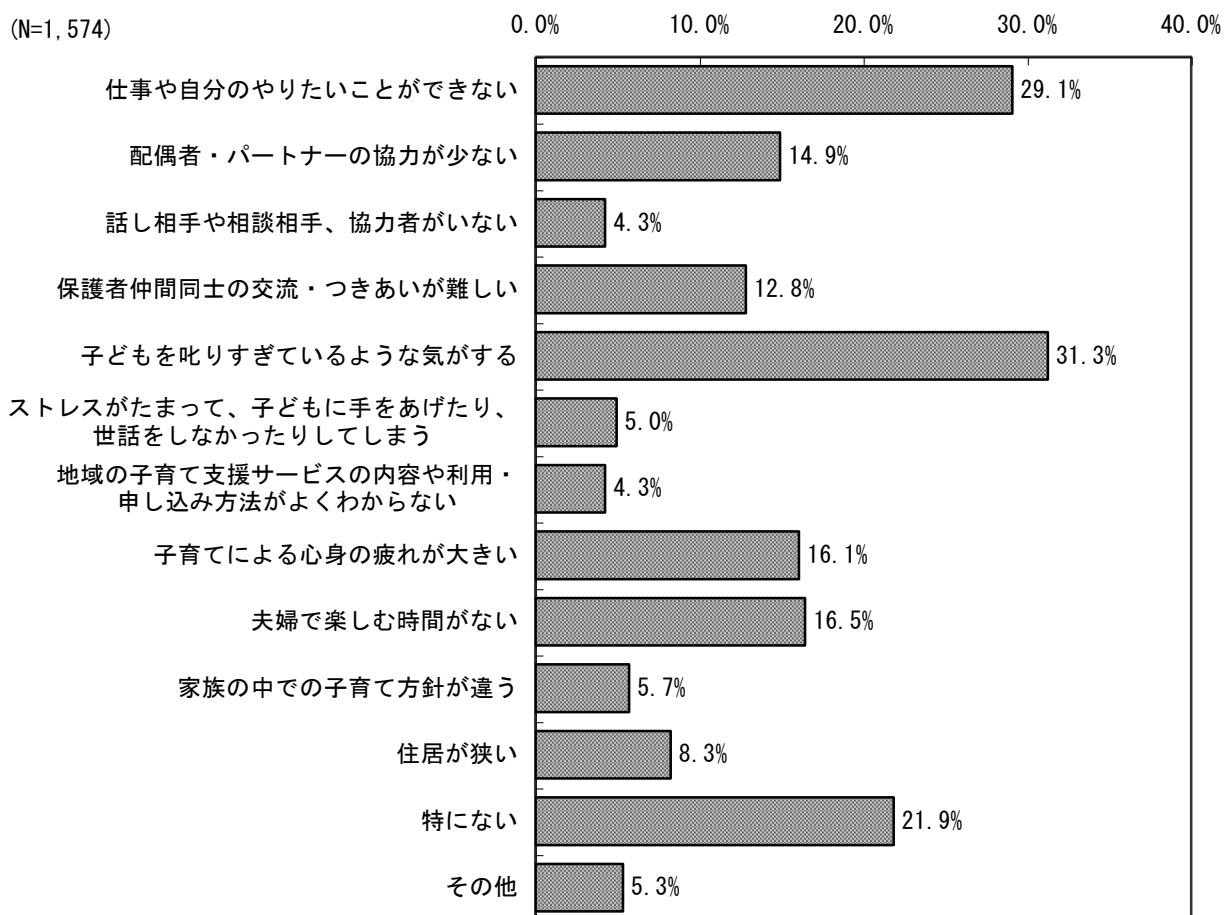
図 子育ての悩みや不安（子どもに関すること）（複数回答）



②子育ての悩みや不安（保護者に関すること）

育児中、保護者のことで感じる悩みや不安をみると、「子どもを叱りすぎているような気がする」（31.3%）が最も多く、次いで「仕事や自分のやりたいことができない」（29.1%）、「特にない」（21.9%）となっています。

図 子育ての悩みや不安（保護者に関すること）（複数回答）

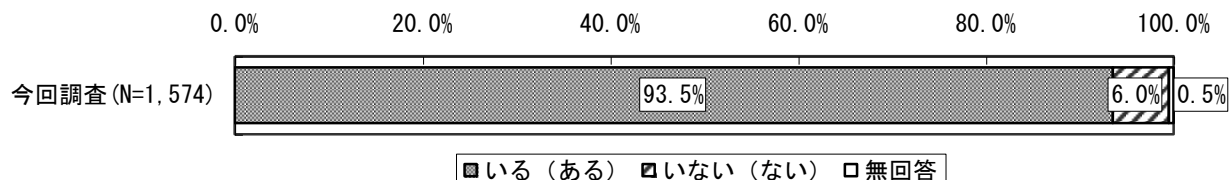


(8) 子育てに関する相談相手の有無

問10 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか（場所はありますか）。

子育ての相談先の有無をみると、「いる（ある）」が93.5%、「いない（ない）」が6.0%となっています。

図 子育てに関する相談相手の有無（単数回答）



●校別

校別に子育てに関する相談相手の有無をみると、各校区で「いる（ある）」が8割以上となっており、「いない（ない）」は「古川」が11.5%となっています。

表 校別子育てに関する相談相手の有無

上段：回答数

下段：構成比

	いる（ある）	いない（ない）	無回答	合計
久津川	173 95.6%	8 4.4%	0 0.0%	181 100.0%
古川	69 88.5%	9 11.5%	0 0.0%	78 100.0%
久世	260 94.2%	15 5.4%	1 0.4%	276 100.0%
深谷	110 95.7%	5 4.3%	0 0.0%	115 100.0%
寺田	200 92.6%	14 6.5%	2 0.9%	216 100.0%
寺田南	141 93.4%	10 6.6%	0 0.0%	151 100.0%
寺田西	116 92.8%	7 5.6%	2 1.6%	125 100.0%
今池	131 92.9%	10 7.1%	0 0.0%	141 100.0%
富野	200 93.9%	11 5.2%	2 0.9%	213 100.0%
青谷	65 94.2%	4 5.8%	0 0.0%	69 100.0%
無回答	7 77.8%	1 11.1%	1 11.1%	9 100.0%
合計	1,472 93.5%	94 6.0%	8 0.5%	1,574 100.0%

●年齢別

年齢別に子育てに関する相談相手の有無をみると、各年齢で「いる（ある）」が9割を超えていますが、子どもの年齢が上がるにつれて少なくなる傾向がみられます。

表 年齢別子育てに関する相談相手の有無

上段：回答数

下段：構成比

	いる（あ る）	いない （ない）	無回答	合計
0歳児 （平成30年度生まれ）	137 95.8%	4 2.8%	2 1.4%	143 100.0%
0歳児 （平成29年度生まれ）	211 95.0%	11 5.0%	0 0.0%	222 100.0%
1歳児	215 94.3%	13 5.7%	0 0.0%	228 100.0%
2歳児	237 94.4%	14 5.6%	0 0.0%	251 100.0%
3歳児	223 93.7%	15 6.3%	0 0.0%	238 100.0%
4歳児	223 91.0%	22 9.0%	0 0.0%	245 100.0%
5歳児	213 92.2%	14 6.1%	4 1.7%	231 100.0%
無回答	13 81.3%	1 6.3%	2 12.5%	16 100.0%
合計	1,472 93.5%	94 6.0%	8 0.5%	1,574 100.0%

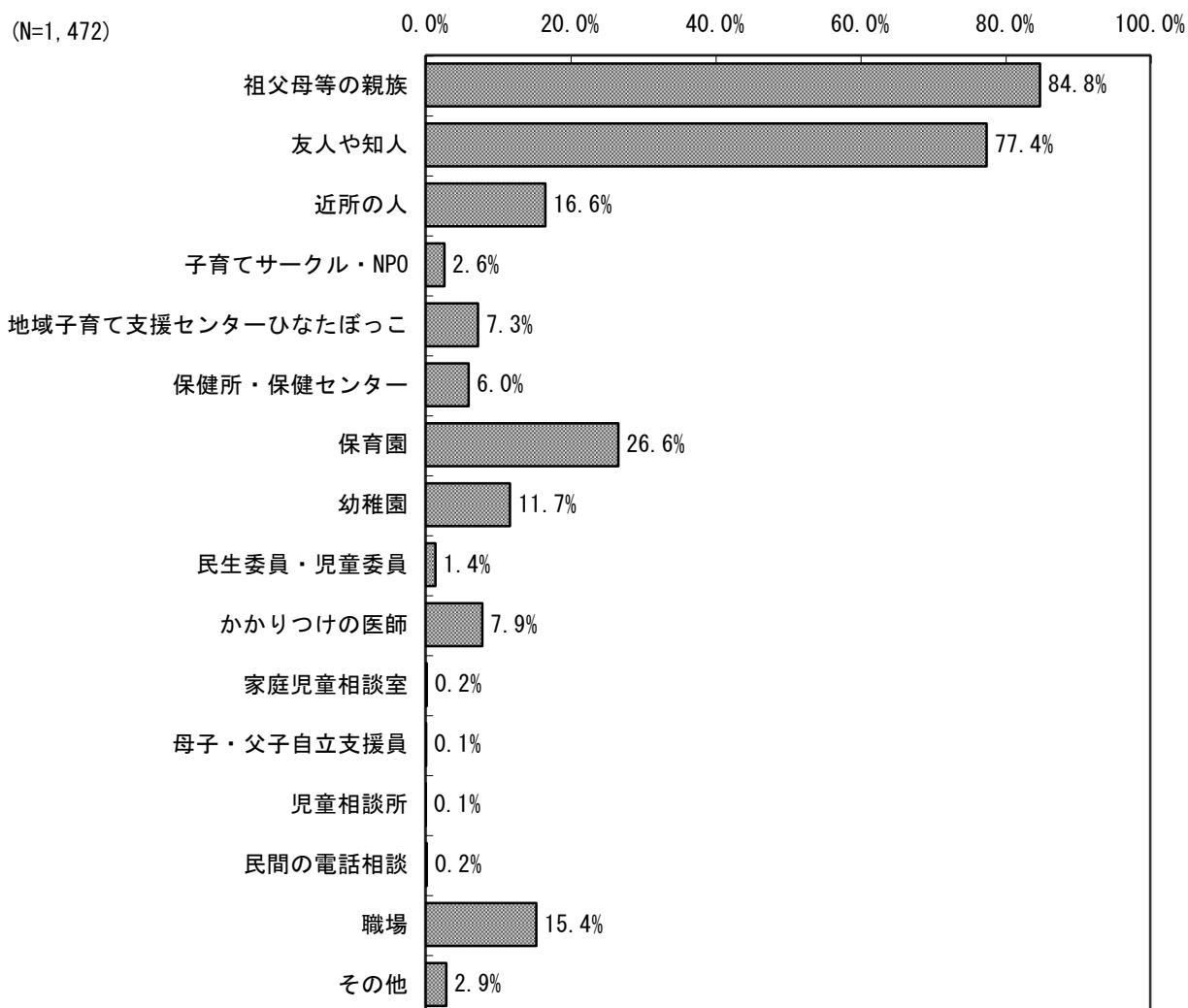
(9) 子育てに関する相談相手

* 問10-1は、問10で「1」に○をつけた方（相談できる人がいる（場所がある）方）にうかがいます。

問10-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる人は、どなたですか。

相談できる人がいる（場所がある）人の相談相手（相談場所）を具体的にみると、「祖父母等の親族」（84.8%）が最も多く、次いで「友人や知人」（77.4%）、「保育園」（26.6%）となっています。なお、上位3項目に加え、「近所の人」、「幼稚園」、「職場」を除く項目ではそれぞれ1割未満と少なくなっています。

図 子育てに関する相談相手（複数回答）



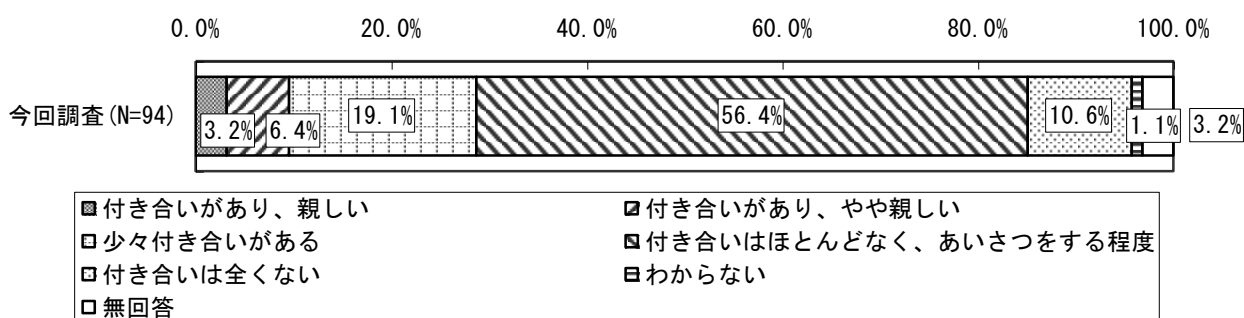
(10) 近所や地域との付き合い

* 問 10-2 は、問 10 で「2」に○をつけた方（相談できる人がいない（場所がない）方）にかがいます。

問10-2 ご近所や地域の人々とのお付き合いはどうか。

相談できる人がいない（場所がない）人について、近隣との付き合いの状況をみると、「付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」（56.4%）が最も多く、次いで「少々付き合いがある」（19.1%）、「付き合いは全くない」（10.6%）となっています。また、「付き合いがあり、親しい」と「付き合いがあり、やや親しい」を合計すると、近隣と親しくしている人は 9.6%であり、1割未満となっています。

図 近所や地域との付き合い（単数回答）

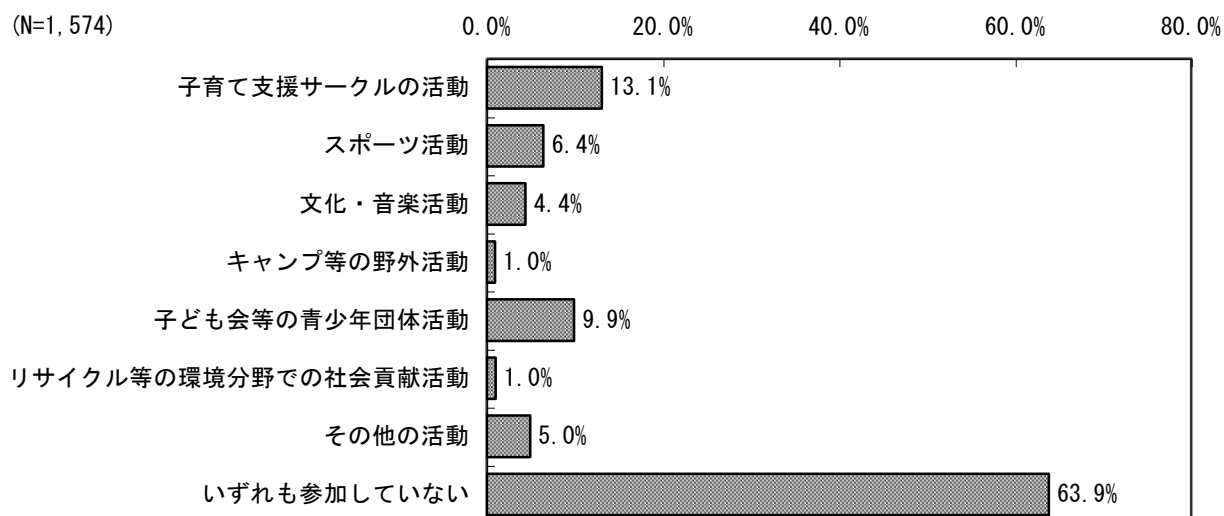


(11) 子どもが参加している地域の催し

問10-3 お子さんは次の地域での催しへ参加していますか。

子どもの地域での催しへの参加状況をみると、「いずれも参加していない」（63.9%）が最も多くなっています。なお、参加しているものでは「子育て支援サークルの活動」（13.1%）が最も多く、次いで「子ども会等の青少年団体活動」（9.9%）、「スポーツ活動」（6.4%）となっています。

図 子どもが参加している地域の催し（複数回答）

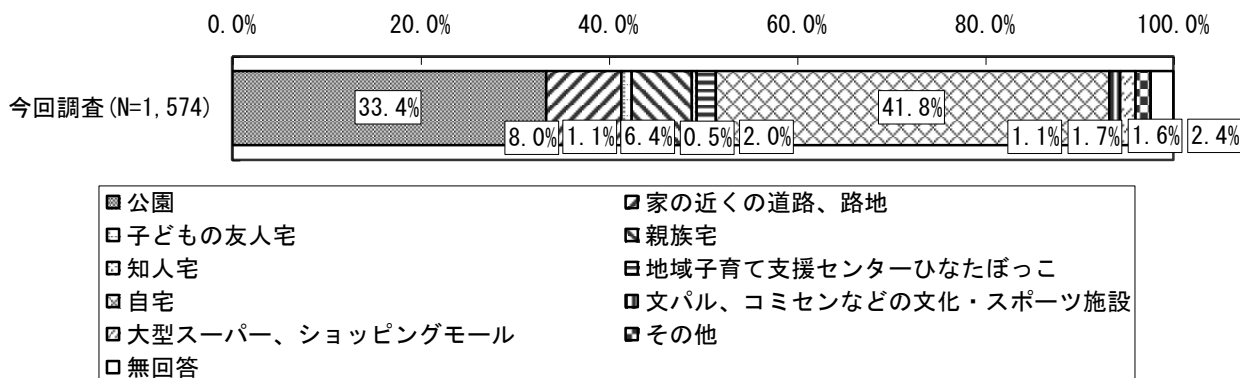


(12) 子どもの遊び場所

問10-4 お子さんは普段主にどこで遊ぶことが多いですか。

子どもの主な遊び場をみると、「自宅」(41.8%)が最も多く、次いで「公園」(33.4%)となっています。

図 子どもの遊び場所（単数回答）



●校別

校別に子どもの主な遊び場をみると、「深谷」と「富野」を除いた各校区で「自宅」が最も多く、いずれも4割から5割程度となっています。「深谷」では「公園」(40.0%)が最も多くなっており、「富野」では「公園」と「自宅」がともに37.1%と最も多くなっています。

表 校別子どもの遊び場所

上段：回答数
下段：構成比

	公園	家の近くの道路、路地	子どもの友人宅	親族宅	知人宅	地域子育て支援センターひなたぼっこ	自宅	文パル、コミセンなどの文化・スポーツ施設	大型スーパー、ショッピングモール	その他	無回答	合計
久津川	57 31.5%	12 6.6%	2 1.1%	12 6.6%	1 0.6%	1 0.6%	89 49.2%	1 0.6%	1 0.6%	4 2.2%	1 0.6%	181 100.0%
古川	23 29.5%	6 7.7%	4 5.1%	4 5.1%	1 1.3%	0 0.0%	35 44.9%	0 0.0%	1 1.3%	4 5.1%	0 0.0%	78 100.0%
久世	97 35.1%	29 10.5%	1 0.4%	12 4.3%	1 0.4%	10 3.6%	106 38.4%	1 0.4%	6 2.2%	4 1.4%	9 3.3%	276 100.0%
深谷	46 40.0%	10 8.7%	1 0.9%	11 9.6%	0 0.0%	4 3.5%	39 33.9%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.9%	2 1.7%	115 100.0%
寺田	67 31.0%	19 8.8%	5 2.3%	20 9.3%	3 1.4%	7 3.2%	85 39.4%	2 0.9%	3 1.4%	1 0.5%	4 1.9%	216 100.0%
寺田南	41 27.2%	13 8.6%	0 0.0%	7 4.6%	0 0.0%	4 2.6%	77 51.0%	2 1.3%	1 0.7%	0 0.0%	6 4.0%	151 100.0%
寺田西	42 33.6%	2 1.6%	1 0.8%	5 4.0%	0 0.0%	2 1.6%	60 48.0%	7 5.6%	1 0.8%	2 1.6%	3 2.4%	125 100.0%
今池	47 33.3%	12 8.5%	1 0.7%	11 7.8%	1 0.7%	1 0.7%	51 36.2%	1 0.7%	8 5.7%	4 2.8%	4 2.8%	141 100.0%
富野	79 37.1%	17 8.0%	2 0.9%	14 6.6%	1 0.5%	3 1.4%	79 37.1%	3 1.4%	4 1.9%	4 1.9%	7 3.3%	213 100.0%
青谷	20 29.0%	6 8.7%	0 0.0%	5 7.2%	0 0.0%	0 0.0%	35 50.7%	0 0.0%	1 1.4%	1 1.4%	1 1.4%	69 100.0%
無回答	6 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	9 100.0%
合計	525 33.4%	126 8.0%	17 1.1%	101 6.4%	8 0.5%	32 2.0%	658 41.8%	18 1.1%	26 1.7%	25 1.6%	38 2.4%	1,574 100.0%

●世帯別

世帯別に子どもの主な遊び場をみると、「二世帯」と「三世帯」は「自宅」が最も多く、4割以上となっています。「ひとり親」は「公園」(36.4%)が最も多くなっています。

表 世帯別子どもの遊び場所

上段：回答数

下段：構成比

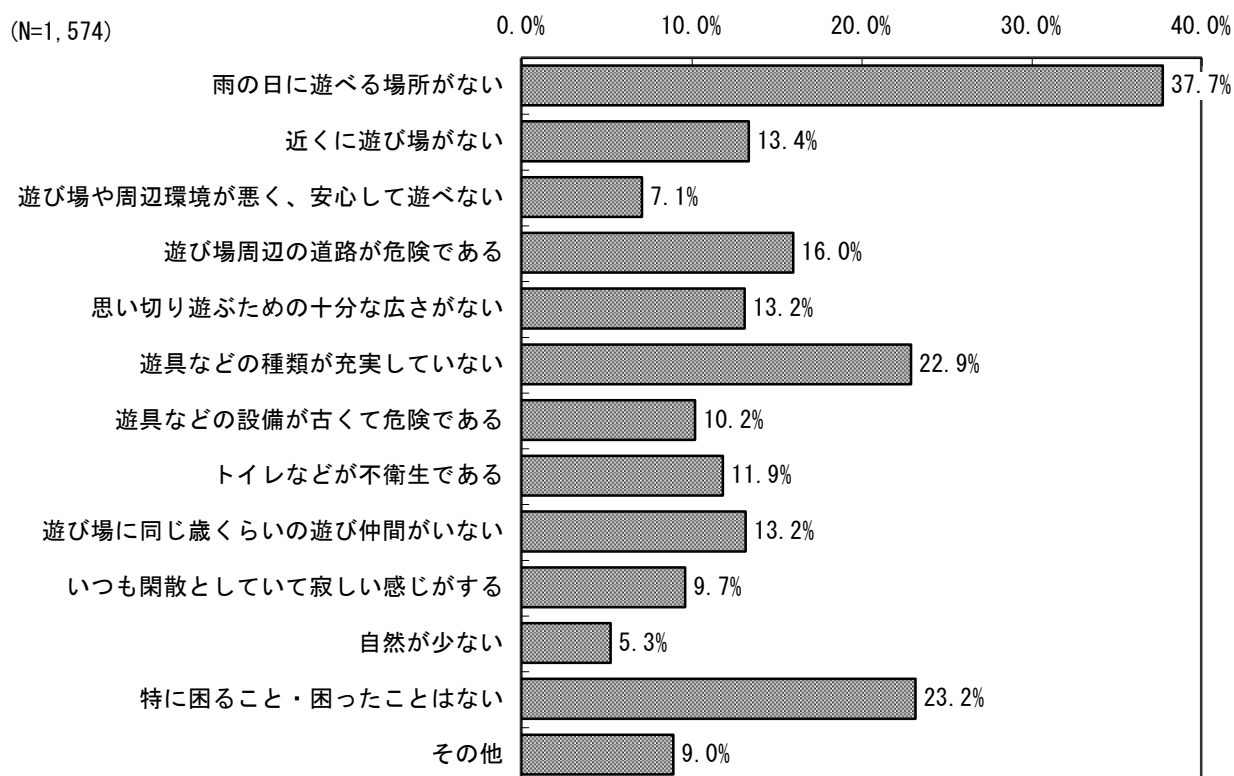
	公園	家の近くの道路、路地	子どもの友人宅	親族宅	知人宅	地域子育て支援センターひなたぼっこ	自宅	文パル、コミセンなどの文化・スポーツ施設	大型スーパー、ショッピングモール	その他	無回答	合計
二世帯	439	112	17	90	6	27	555	15	19	20	30	1,330
	33.0%	8.4%	1.3%	6.8%	0.5%	2.0%	41.7%	1.1%	1.4%	1.5%	2.3%	100.0%
三世帯	41	6	0	4	1	3	58	1	0	3	2	119
	34.5%	5.0%	0.0%	3.4%	0.8%	2.5%	48.7%	0.8%	0.0%	2.5%	1.7%	100.0%
ひとり親	32	7	0	5	1	2	27	2	7	1	4	88
	36.4%	8.0%	0.0%	5.7%	1.1%	2.3%	30.7%	2.3%	8.0%	1.1%	4.5%	100.0%
その他	13	1	0	2	0	0	18	0	0	1	1	36
	36.1%	2.8%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.8%	2.8%	100.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
合計	525	126	17	101	8	32	658	18	26	25	38	1,574
	33.4%	8.0%	1.1%	6.4%	0.5%	2.0%	41.8%	1.1%	1.7%	1.6%	2.4%	100.0%

(13) 子どもの遊び場所についての困りごと

問10-5 遊び場で困ること・困ったことは何ですか。

遊び場で困ること・困ったことをみると、「雨の日に遊べる場所がない」(37.7%)が最も多く、次いで「特に困ること・困ったことはない」(23.2%)、「遊具などの種類が充実していない」(22.9%)となっています。

図 子どもの遊び場所についての困りごと（複数回答）

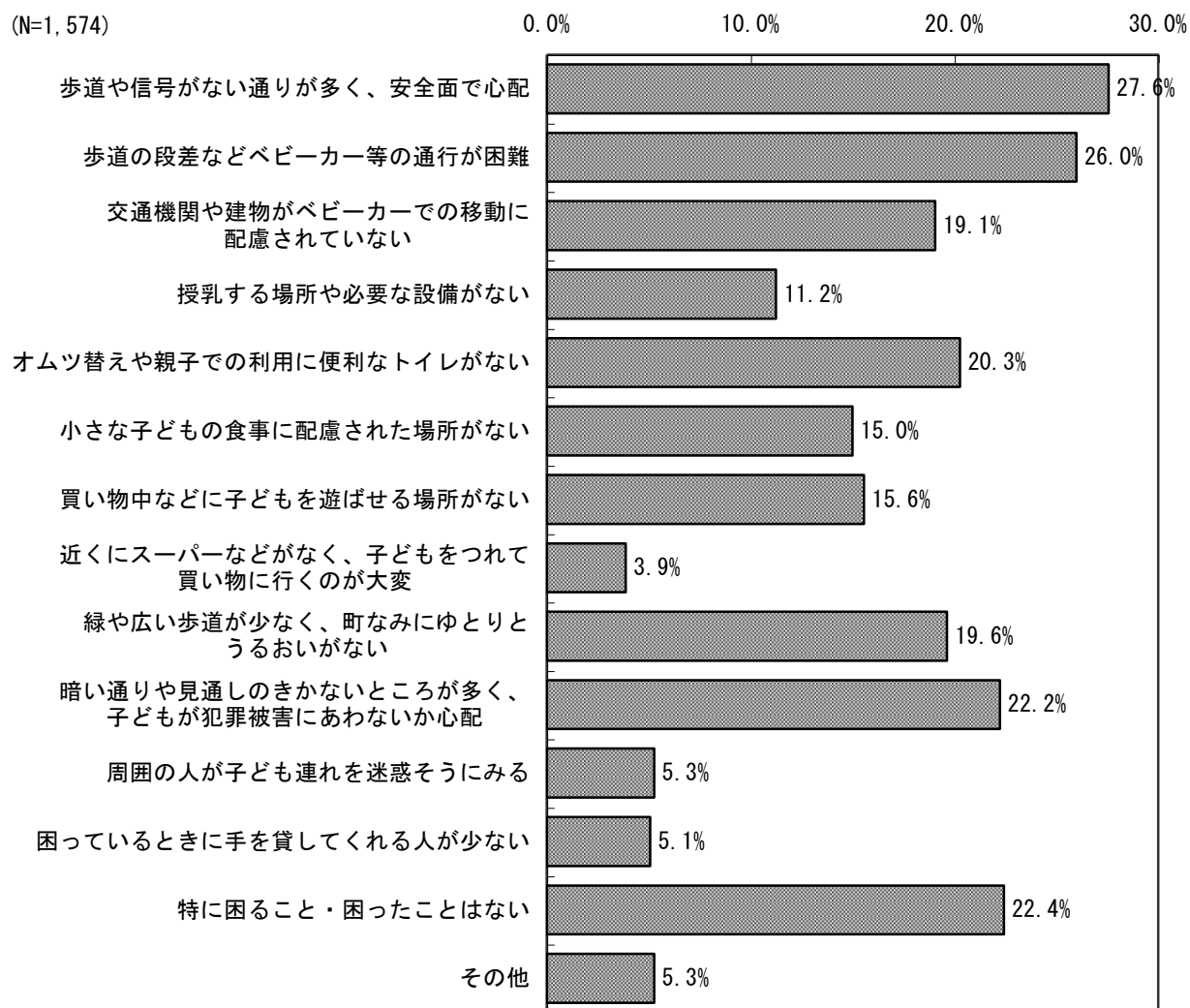


(14) 子どもと外出する際の困りごと

問10-6 お子さんと外出する際に、困ること・困ったことは何ですか。

子どもと外出する際の困りごとをみると、「歩道や信号がない通りが多く、安全面で心配」(27.6%)が最も多く、次いで「歩道の段差などベビーカー等の通行が困難」(26.0%)、「特に困ること・困ったことはない」(22.4%)となっています。

図 子どもと外出する際の困りごと（複数回答）

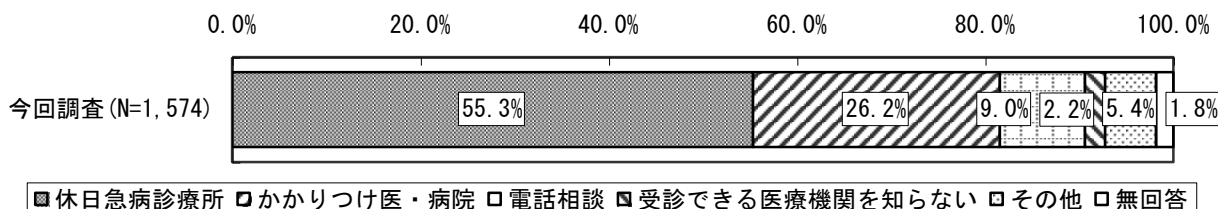


(15) 子どもの急病時の対応

問10-7 お子さんの休日や夜間の急な発熱などの急病時には、主にどのように対応されていますか。

休日や夜間の急病時の対応をみると、「休日急病診療所」(55.3%)が最も多く、次いで「かかりつけ医・病院」(26.2%)となっています。

図 子どもの急病時の対応（単数回答）



●校区别

校区别に子どもの急病時の対応をみると、各校区で「休日急病診療所」が最も多く、「久世」、「深谷」、「寺田」、「青谷」では6割以上となっています。

表 校区别子どもの急病時の対応

上段：回答数
下段：構成比

	休日急病診療所	かかりつけ医・病院	電話相談	受診できる医療機関を知らない	その他	無回答	合計
久津川	90 49.7%	61 33.7%	9 5.0%	6 3.3%	12 6.6%	3 1.7%	181 100.0%
古川	43 55.1%	21 26.9%	9 11.5%	1 1.3%	4 5.1%	0 0.0%	78 100.0%
久世	170 61.6%	63 22.8%	23 8.3%	3 1.1%	11 4.0%	6 2.2%	276 100.0%
深谷	69 60.0%	20 17.4%	13 11.3%	5 4.3%	6 5.2%	2 1.7%	115 100.0%
寺田	130 60.2%	42 19.4%	19 8.8%	6 2.8%	14 6.5%	5 2.3%	216 100.0%
寺田南	72 47.7%	52 34.4%	17 11.3%	3 2.0%	6 4.0%	1 0.7%	151 100.0%
寺田西	57 45.6%	47 37.6%	9 7.2%	2 1.6%	7 5.6%	3 2.4%	125 100.0%
今池	68 48.2%	44 31.2%	11 7.8%	5 3.5%	12 8.5%	1 0.7%	141 100.0%
富野	122 57.3%	49 23.0%	24 11.3%	2 0.9%	9 4.2%	7 3.3%	213 100.0%
青谷	43 62.3%	13 18.8%	8 11.6%	1 1.4%	4 5.8%	0 0.0%	69 100.0%
無回答	7 77.8%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	9 100.0%
合計	871 55.3%	413 26.2%	142 9.0%	34 2.2%	85 5.4%	29 1.8%	1,574 100.0%

●年齢別

年齢別に子どもの急病時の対応をみると、各年齢で「休日急病診療所」が最も多く、「1歳児」以上の各年齢では5割以上となっています。

表 年齢別子どもの急病時の対応

上段：回答数

下段：構成比

	休日急病 診療所	かかりつ け医・病 院	電話相談	受診でき る医療機 関を知ら ない	その他	無回答	合計
0歳児 (平成30年度生まれ)	59 41.3%	34 23.8%	21 14.7%	7 4.9%	19 13.3%	3 2.1%	143 100.0%
0歳児 (平成29年度生まれ)	110 49.5%	57 25.7%	28 12.6%	6 2.7%	17 7.7%	4 1.8%	222 100.0%
1歳児	117 51.3%	73 32.0%	16 7.0%	8 3.5%	13 5.7%	1 0.4%	228 100.0%
2歳児	146 58.2%	62 24.7%	26 10.4%	5 2.0%	9 3.6%	3 1.2%	251 100.0%
3歳児	130 54.6%	73 30.7%	19 8.0%	4 1.7%	7 2.9%	5 2.1%	238 100.0%
4歳児	151 61.6%	53 21.6%	24 9.8%	2 0.8%	11 4.5%	4 1.6%	245 100.0%
5歳児	148 64.1%	59 25.5%	8 3.5%	1 0.4%	8 3.5%	7 3.0%	231 100.0%
無回答	10 62.5%	2 12.5%	0 0.0%	1 6.3%	1 6.3%	2 12.5%	16 100.0%
合計	871 55.3%	413 26.2%	142 9.0%	34 2.2%	85 5.4%	29 1.8%	1,574 100.0%

(16) 望ましい子育て環境や周囲からのサポート

問11 子育てをする上で、どのような子育て環境が望ましいと思いますか。そして、そのためには、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

子育てをする上で望ましい子育て環境、そのためのサポートについて、内容別にまとめると次の通りになっています。

表 望ましい子育て環境や周囲からのサポート

内容	回答数
遊び場の整備・充実	14
交通・道路環境改善	13
保育サービスの充実（一時預かり、延長保育、休日保育）	10
相談支援	9
子育てサポートの場の整備	8
地域コミュニティの形成	7
経済的支援	5
公園整備・遊具の充実	5
家庭の育児環境	4
子育て支援体制の充実	4
医療体制の充実	3
イベントの充実	2
待機児童解消	2
保育・教育内容充実	2
満足している	2
その他	6

3. 父母の就労状況

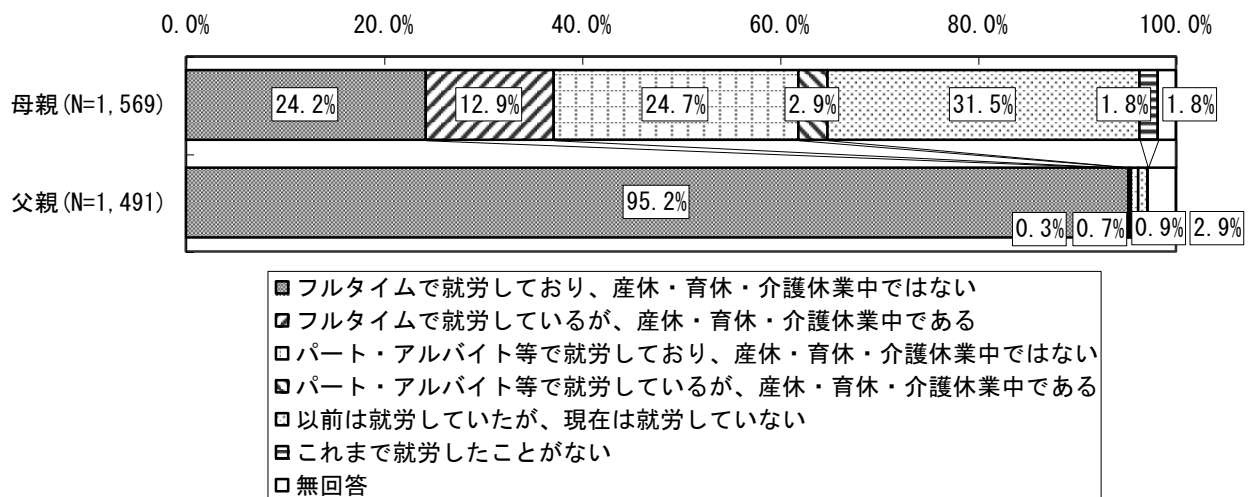
(1) 父母の就労状況

問12 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

母親の就労状況をみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（31.5%）が最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（24.7%）、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（24.2%）となっています。産休・育休・介護休業中に関わらず、フルタイムで働いている母親は37.1%、パート・アルバイト等で働いている母親は27.6%となっており、これらを合わせた、現在就労中の母親は64.7%となっています。

父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が95.2%となっており、産休・育休・介護休業中や就労形態に関わらず現在就労中の父親は96.2%となっています。

図 父母の就労状況（単数回答）



●年齢別

年齢別に母親の就労状況をみると、現在就労中の母親は各年齢で5割以上となっており、4歳児以下の各年齢ではフルタイムで働いている母親が多く、5歳ではパート・アルバイト等で働いている母親が多くなっています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は「0歳児（平成30年度生まれ）」が45.5%と多くなっていますが、年齢が上がるにつれて少なくなる傾向がみられます。

表 年齢別母親の就労状況

上段：回答数

下段：構成比

	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答	合計
0歳児 (平成30年度生まれ)	2 1.4%	59 41.3%	3 2.1%	11 7.7%	65 45.5%	0 0.0%	3 2.1%	143 100.0%
0歳児 (平成29年度生まれ)	32 14.5%	69 31.2%	32 14.5%	9 4.1%	71 32.1%	2 0.9%	6 2.7%	221 100.0%
1歳児	67 29.4%	20 8.8%	48 21.1%	4 1.8%	82 36.0%	5 2.2%	2 0.9%	228 100.0%
2歳児	56 22.4%	25 10.0%	73 29.2%	3 1.2%	86 34.4%	4 1.6%	3 1.2%	250 100.0%
3歳児	74 31.1%	15 6.3%	74 31.1%	7 2.9%	58 24.4%	5 2.1%	5 2.1%	238 100.0%
4歳児	82 33.9%	8 3.3%	74 30.6%	9 3.7%	61 25.2%	4 1.7%	4 1.7%	242 100.0%
5歳児	61 26.4%	6 2.6%	82 35.5%	2 0.9%	68 29.4%	8 3.5%	4 1.7%	231 100.0%
無回答	6 37.5%	1 6.3%	2 12.5%	1 6.3%	3 18.8%	1 6.3%	2 12.5%	16 100.0%
合計	380 24.2%	203 12.9%	388 24.7%	46 2.9%	494 31.5%	29 1.8%	29 1.8%	1,569 100.0%

●世帯別

世帯別に母親の就労状況をみると、現在就労中の母親は各世帯で5割上となっており、フルタイムで働いている母親が多くなっています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は「二世帯」と「三世帯」では約3割となっています。

表 世帯別母親の就労状況

上段：回答数

下段：構成比

	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答	合計
二世帯	307 23.1%	184 13.8%	327 24.6%	41 3.1%	427 32.1%	20 1.5%	24 1.8%	1,330 100.0%
三世帯	28 23.5%	17 14.3%	26 21.8%	5 4.2%	37 31.1%	5 4.2%	1 0.8%	119 100.0%
ひとり親	36 43.4%	1 1.2%	25 30.1%	0 0.0%	17 20.5%	3 3.6%	1 1.2%	83 100.0%
その他	9 25.0%	1 2.8%	10 27.8%	0 0.0%	13 36.1%	1 2.8%	2 5.6%	36 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
合計	380 24.2%	203 12.9%	388 24.7%	46 2.9%	494 31.5%	29 1.8%	29 1.8%	1,569 100.0%

*問12で、「1」～「4」のいずれかに○をつけた方（現在就労している方）にうかがいます。

(1) - 1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を口内に数字でご記入ください。

(1) - 2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間は、24時間制（30分単位）で、口内に数字でご記入ください。

(1) - 3 育児と仕事を両立するうえで、望ましいと考えられる家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間は、24時間制（30分単位）で、口内に数字でご記入ください。

(1) - 1 父母の就労日数・就労時間

就労している母親の就労日数（週当たり）をみると、「5日」（64.9%）が最も多く、次いで「4日」（15.1%）となっています。また、就労時間（1日当たり）をみると、「8時間以上～9時間未満」（32.9%）が最も多く、次いで「7時間以上～8時間未満」（15.5%）、「6時間以上～7時間未満」（13.4%）となっており、就労時間が8時間未満の母親が5割となっています。

就労している父親の就労日数（週当たり）をみると、「5日」（62.6%）が最も多く、次いで「6日以上」（31.2%）となっています。また、就労時間（1日当たり）をみると、「8時間以上～9時間未満」（27.9%）が最も多く、次いで「10時間以上～11時間未満」（22.9%）、「12時間以上～13時間未満」（14.1%）となっており、就労時間が10時間以上の父親が5割以上となっています。

図 父母の就労日数

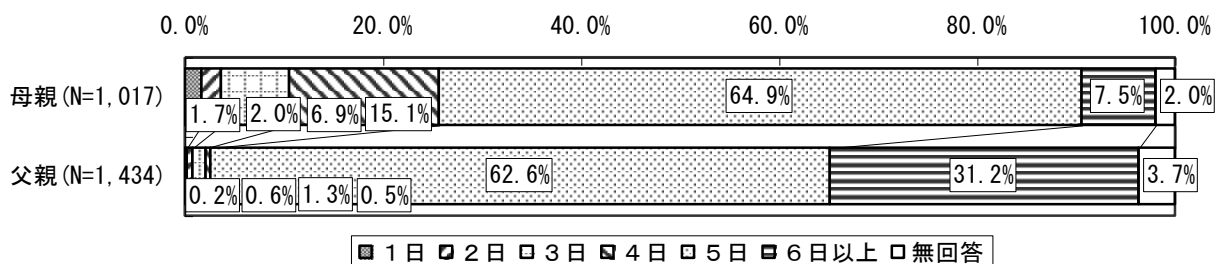
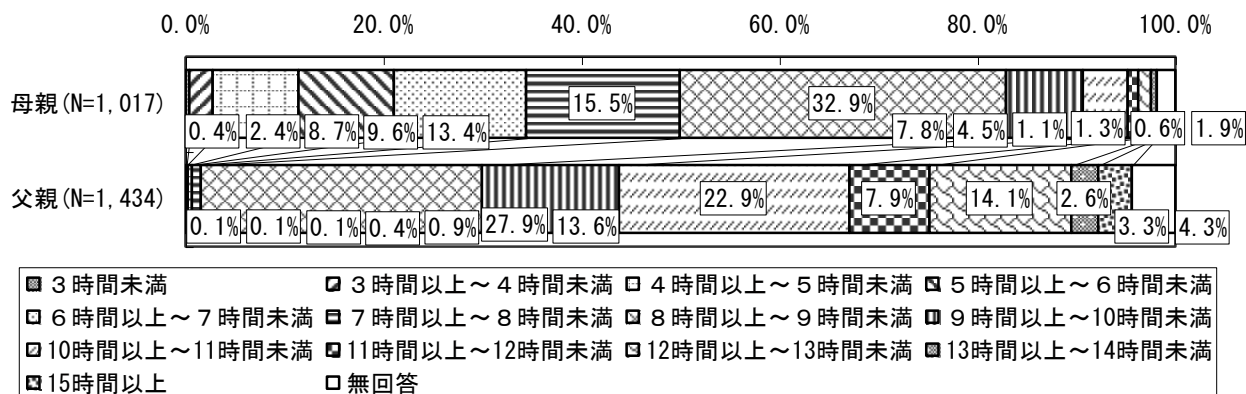


図 父母の就労時間



(1) - 2 父母の出勤時間・帰宅時間

就労している母親の出勤時間をみると、「8時～9時」(42.0%)が最も多く、次いで「7時～8時」(35.2%)、「9時～10時」(11.7%)となっています。また、帰宅時間をみると、「18時～19時」(31.1%)が最も多く、次いで「17時～18時」(22.3%)、「19時～20時」(12.6%)となっています。

就労している父親の出勤時間をみると、「7時～8時」(46.8%)が最も多く、次いで「8時～9時」(19.9%)、「6時～7時」(16.9%)となっています。また、帰宅時間をみると、「19時～20時」(21.9%)が最も多く、次いで「20時～21時」(20.9%)、「22時以降」(16.9%)となっています。

図 父母の出勤時間

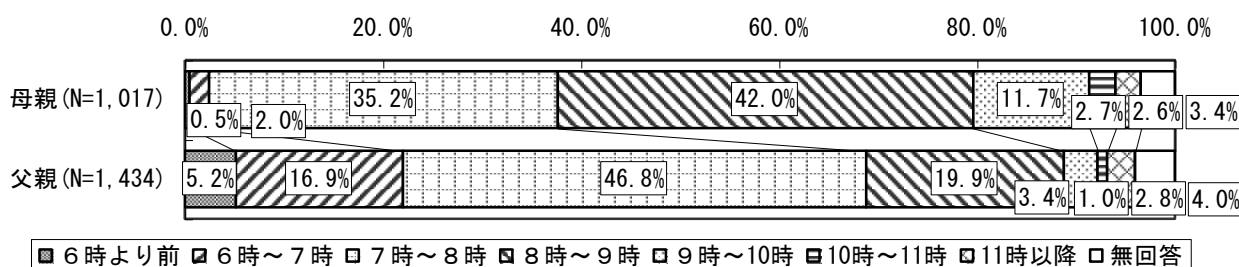
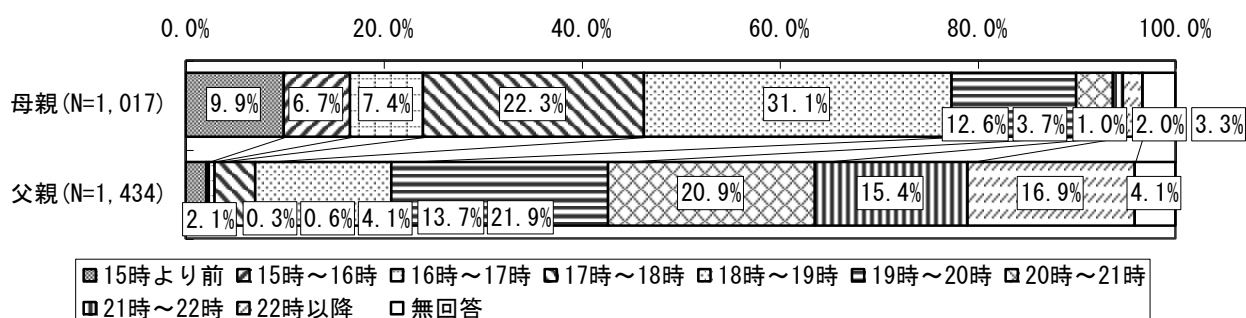


図 父母の帰宅時間



(1) - 3 父母の希望の出勤時間・帰宅時間

就労している母親が育児と仕事を両立するうえで望ましい出勤時間をみると、「8時～9時」(54.3%)が最も多く、次いで「9時～10時」(28.4%)となっています。また、望ましい帰宅時間をみると、「17時～18時」(32.6%)が最も多く、次いで「16時～17時」(25.8%)、「15時より前」(13.1%)となっています。

就労している父親が育児と仕事を両立するうえで望ましい出勤時間をみると、「8時～9時」(46.0%)が最も多く、次いで「7時～8時」(33.0%)となっています。また、望ましい帰宅時間をみると、「18時～19時」(37.5%)が最も多く、次いで「19時～20時」(26.8%)、「17時～18時」(11.6%)となっています。

図 父母の希望の出勤時間

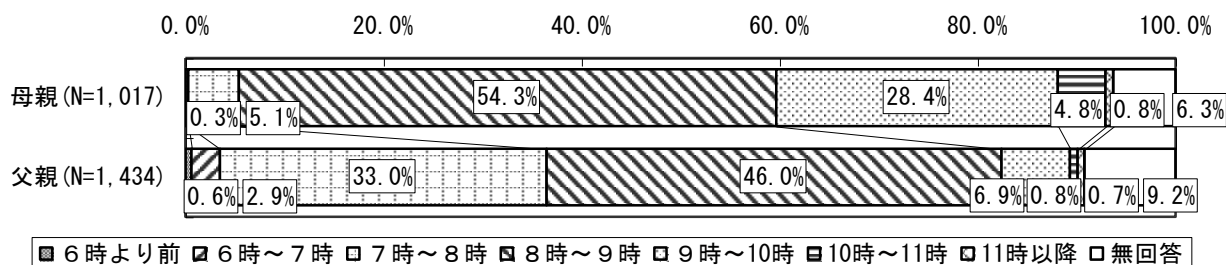
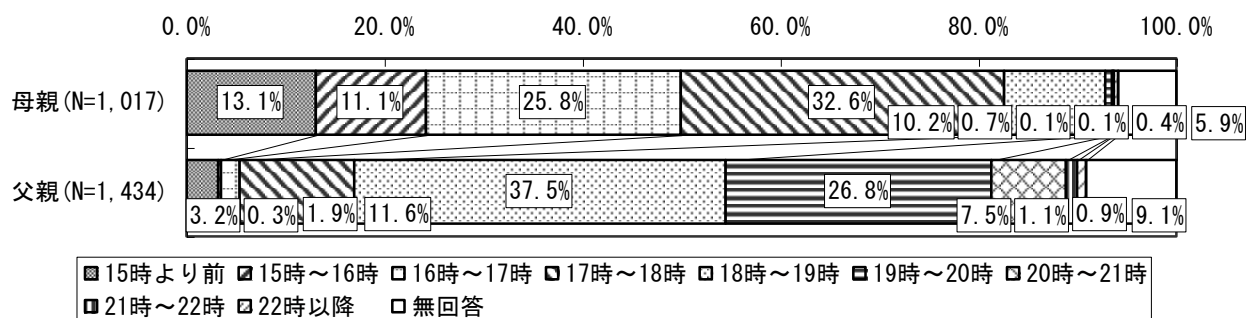


図 父母の希望の帰宅時間



(2) パート・アルバイト等で就労している父母のフルタイムへの転換希望

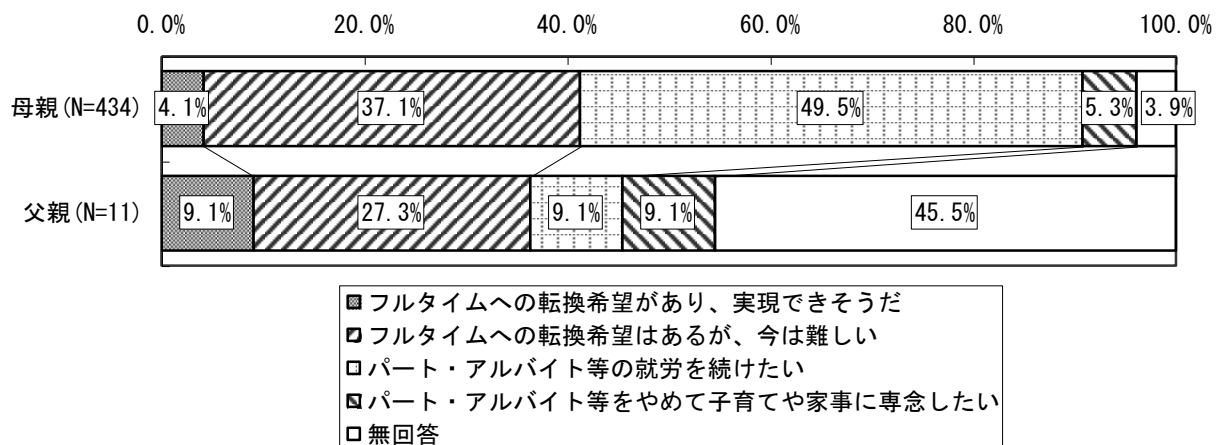
*問13は、問12で「3」または「4」のいずれかに○をつけた方（現在パート・アルバイト等で就労している方）にうかがいます。

問13 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度以上の就労）への転換希望はありますか。

現在パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望をみると、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」（49.5%）が最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、今は難しい」（37.1%）となっています。また、実現見込みに関わらず、フルタイムへの転換希望がある母親は41.2%となっていますが、実現の見込みがある母親は4.1%とわずかとなっています。

現在パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望をみると、以下の通りとなっています。

図 パート・アルバイト等で就労している父母のフルタイムへの転換希望（単数回答）



●年齢別

年齢別にパート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望をみると、「0歳児（平成30年度生まれ）」を除いた各年齢で「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が最も多く、「1歳児」、「2歳児」、「5歳児」では5割以上となっています。「0歳児（平成30年度生まれ）」では「フルタイムへの転換希望はあるが、今は難しい」（50.0%）が最も多くなっています。一方で、「フルタイムへの転換希望があり、実現できそうだ」は各年齢で1割未満となっています。

表 年齢別パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望

上段：回答数

下段：構成比

	フルタイムへの転換希望があり、実現できそうだ	フルタイムへの転換希望はあるが、今は難しい	パート・アルバイト等の就労を続けたい	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	無回答	合計
0歳児 （平成30年度生まれ）	1 7.1%	7 50.0%	5 35.7%	1 7.1%	0 0.0%	14 100.0%
0歳児 （平成29年度生まれ）	3 7.3%	17 41.5%	18 43.9%	2 4.9%	1 2.4%	41 100.0%
1歳児	2 3.8%	16 30.8%	30 57.7%	2 3.8%	2 3.8%	52 100.0%
2歳児	0 0.0%	30 39.5%	38 50.0%	4 5.3%	4 5.3%	76 100.0%
3歳児	3 3.7%	36 44.4%	37 45.7%	5 6.2%	0 0.0%	81 100.0%
4歳児	1 1.2%	29 34.9%	41 49.4%	4 4.8%	8 9.6%	83 100.0%
5歳児	8 9.5%	26 31.0%	44 52.4%	4 4.8%	2 2.4%	84 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
合計	18 4.1%	161 37.1%	215 49.5%	23 5.3%	17 3.9%	434 100.0%

(3) 就労していない父母の就労希望

* 問14は、問12で「5」または「6」のいずれかに○をつけた方（現在就労していない方）に
うかがいます。

問14 就労したいという希望はありますか。

現在就労していない母親の就労意向をみると、「1年より先に就労したい」（43.6%）が最も多く、次いで「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」（30.2%）、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（20.7%）となっています。また、1年より先に就労したい母親について、就労希望時期の末子の年齢をみると、「6歳以上」（40.8%）が最も多く、次いで「3歳」（26.3%）、「4歳」（14.9%）となっています。

現在就労していない父親の就労意向をみると、以下の通りとなっています。

図 就労していない父母の就労希望（単数回答）

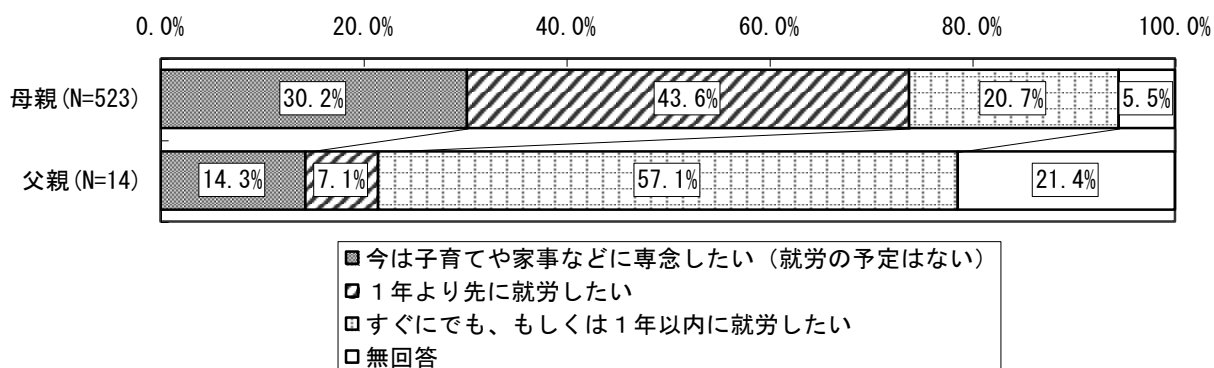
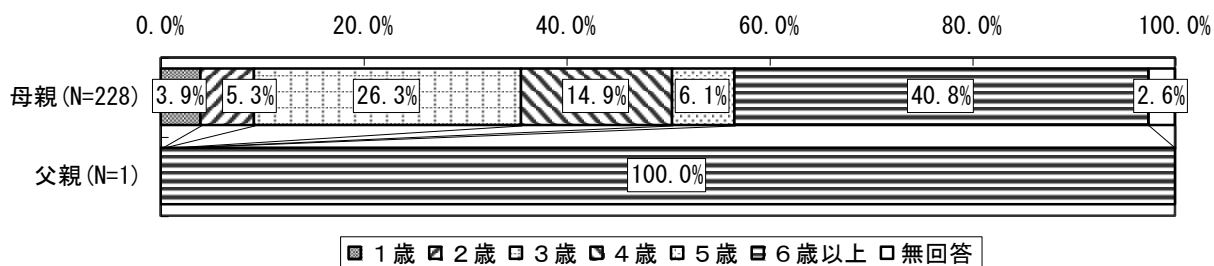


図 就労を希望する時期の子どもの年齢



●年齢別

年齢別に就労していない母親の就労希望をみると、各年齢で「1年より先に就労したい」が最も多く、「2歳児」と「5歳児」を除いた各年齢で4割以上となっています。

表 年齢別就労していない母親の就労希望

上段：回答数

下段：構成比

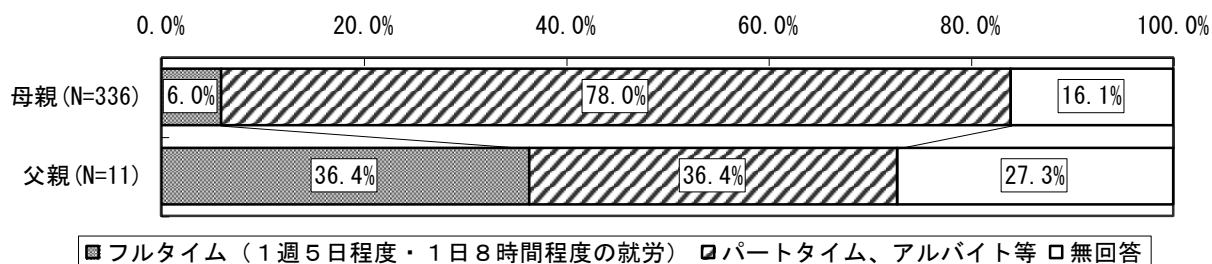
	今は子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	1年より先に就労したい	すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	無回答	合計
0歳児 (平成30年度生まれ)	19 29.2%	29 44.6%	13 20.0%	4 6.2%	65 100.0%
0歳児 (平成29年度生まれ)	27 37.0%	30 41.1%	10 13.7%	6 8.2%	73 100.0%
1歳児	25 28.7%	45 51.7%	14 16.1%	3 3.4%	87 100.0%
2歳児	23 25.6%	33 36.7%	26 28.9%	8 8.9%	90 100.0%
3歳児	17 27.0%	30 47.6%	14 22.2%	2 3.2%	63 100.0%
4歳児	21 32.3%	30 46.2%	11 16.9%	3 4.6%	65 100.0%
5歳児	25 32.9%	28 36.8%	20 26.3%	3 3.9%	76 100.0%
無回答	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
合計	158 30.2%	228 43.6%	108 20.7%	29 5.5%	523 100.0%

①父母の希望の就労形態

現在就労していない母親のうち就労意向がある母親の希望の就労形態をみると、「パートタイム、アルバイト等」が78.0%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が6.0%となっています。

現在就労していない父親のうち就労意向がある父親の希望の就労形態をみると、以下の通りとなっています。

図 父母の希望の就労形態（単数回答）



②父母の希望の就労日数・時間

パートタイム、アルバイト等での就労意向がある母親の希望の就労日数（1週当たり）をみると、「4日」（37.4%）が最も多く、次いで「3日」（34.0%）、「5日」（19.8%）となっています。また、希望の就労時間（1日当たり）をみると、「5時間以上～6時間未満」（38.2%）が最も多く、次いで「4時間以上～5時間未満」（30.2%）、「6時間以上～7時間未満」（14.5%）となっています。

図 父母の希望の就労日数

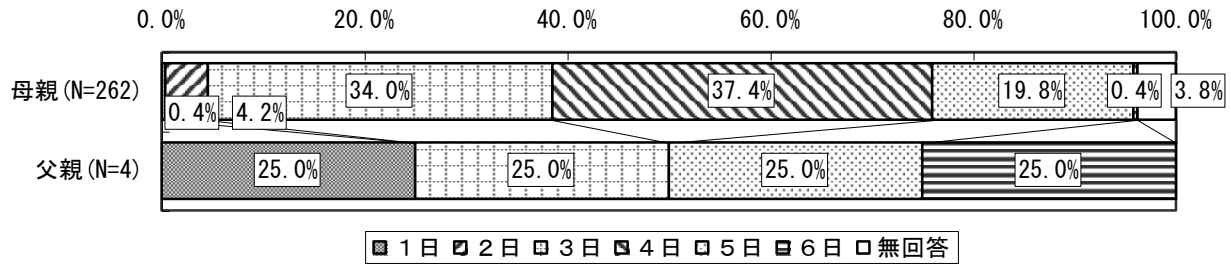
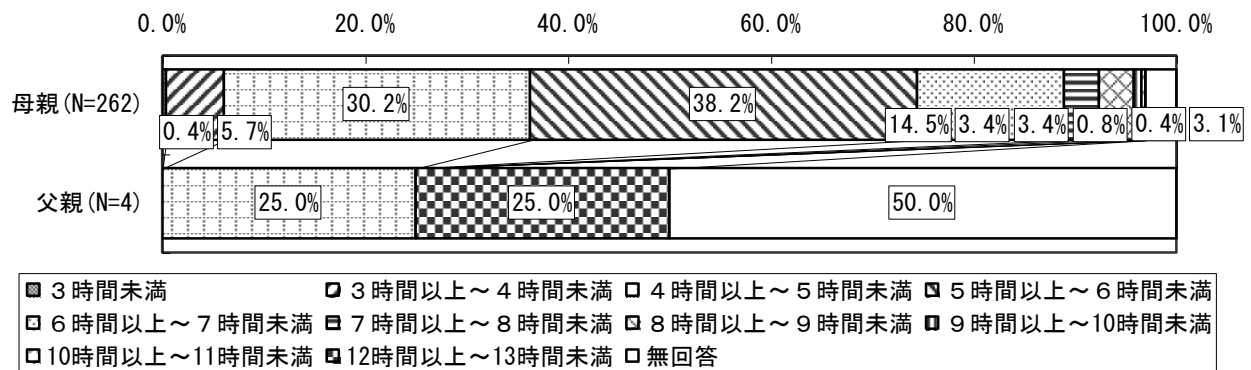


図 父母の希望の就労時間



(4) 父母の希望の就労場所

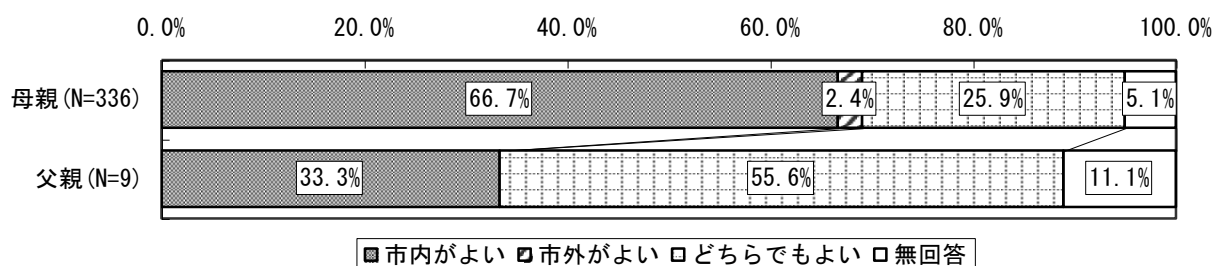
* 問14-1は、問14で「2」または「3」のいずれかに○をつけた方（今後就労を希望する方）にかかっています。

問14-1 就労を希望する場所はどこですか。

現在就労していない母親のうち就労意向がある母親の希望の就労場所をみると、「市内がよい」(66.7%)が最も多く、次いで「どちらでもよい」(25.9%)となっています。

現在就労していない父親のうち就労意向がある父親の希望の就労場所をみると、以下の通りとなっています。

図 父母の就労希望場所



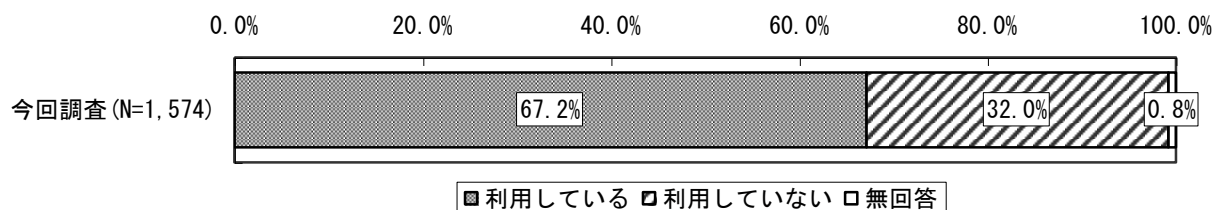
4. 平日の定期的な教育・保育の利用状況について

(1) 幼稚園や保育園などの利用状況

問15 お子さんは現在、幼稚園や保育園などを利用されていますか。

幼稚園や保育園などの利用状況をみると、「利用している」が67.2%、「利用していない」が32.0%となっています。

図 幼稚園や保育園などの利用状況（単数回答）



●世帯別

世帯別に幼稚園や保育園などの利用状況をみると、各世帯で「利用している」が多く、「ひとり親」では81.8%となっています。

表 世帯別幼稚園や保育園などの利用状況

上段：回答数

下段：構成比

	利用して いる	利用して いない	無回答	合計
二世帯	880	440	10	1,330
	66.2%	33.1%	0.8%	100.0%
三世帯	74	45	0	119
	62.2%	37.8%	0.0%	100.0%
ひとり親	72	15	1	88
	81.8%	17.0%	1.1%	100.0%
その他	31	4	1	36
	86.1%	11.1%	2.8%	100.0%
無回答	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
合計	1,057	504	13	1,574
	67.2%	32.0%	0.8%	100.0%

●就労状況別

就労状況別に幼稚園や保育園などの利用状況をみると、「ともにフルタイム」、「一人以上がパート・アルバイト」、「ひとり親」では「利用している」が7割以上となっています。一方、「専業主婦・主夫家庭」は「利用していない」が54.4%となっており、「利用している」を上回っています。

表 就労状況別幼稚園や保育園などの利用状況

上段：回答数

下段：構成比

	利用して いる	利用して いない	無回答	合計
ともにフルタイム	375	139	5	519
	72.3%	26.8%	1.0%	100.0%
一人以上がパート・アルバイト	343	58	0	401
	85.5%	14.5%	0.0%	100.0%
専業主婦・主夫家庭	226	271	1	498
	45.4%	54.4%	0.2%	100.0%
ひとり親	72	15	1	88
	81.8%	17.0%	1.1%	100.0%
不明・その他	41	21	6	68
	60.3%	30.9%	8.8%	100.0%
合計	1,057	504	13	1,574
	67.2%	32.0%	0.8%	100.0%

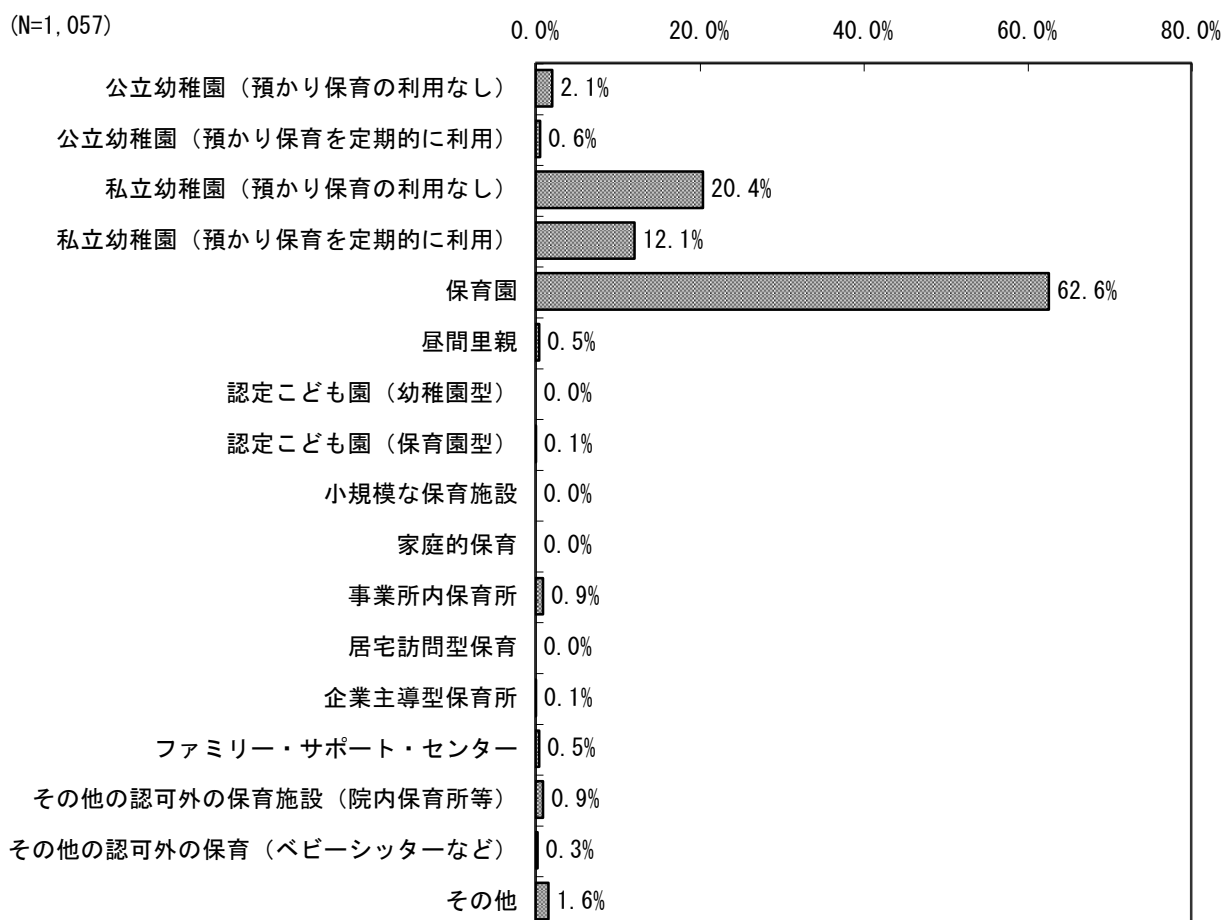
* 問15-1～問15-5は、問15で「1」に○をつけた方（現在、幼稚園や保育園などを利用している方）にうかがいます。

(2) 平日に定期的に利用している教育・保育の利用状況

問15-1 お子さんは、平日どのような教育・保育を定期的に利用していますか。

平日に定期的に利用している教育・保育をみると、「保育園」(62.6%)が最も多く、次いで「私立幼稚園(預かり保育を定期的にご利用)」(12.1%)、「私立幼稚園(預かり保育の利用なし)」(20.4%)、「公立幼稚園(預かり保育を定期的にご利用)」(0.6%)、「公立幼稚園(預かり保育の利用なし)」(2.1%)となっています。上位3項目以外はいずれも1割未満であり、利用している人はわずかとなっています。

図 平日に定期的に利用している教育・保育の種類（複数回答）



(3) 平日に定期的に利用している教育・保育の利用日数と時間

問15-2 平日に定期的に利用している教育・保育について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に数字でご記入ください。

①教育・保育の現在の利用状況

平日に利用している教育・保育事業の1週当たりの利用日数をみると、「5日」（90.4%）が最も多くなっています。また、1日当たりの利用時間をみると、「9時間以上～10時間未満」（18.8%）が最も多く、次いで「7時間以上～8時間未満」（15.7%）、「8時間以上～9時間未満」（14.7%）となっており、8時間未満の利用者が5割以上を占めています。同様に利用開始時間をみると、「9時～10時」（44.4%）が最も多く、次いで「8時～9時」（38.3%）となっており、利用終了時間をみると、「18時～19時」（25.8%）が最も多く、次いで「15時より前」（24.3%）、「16時～17時」（19.1%）となっています。

図 平日に定期的に利用している教育・保育の1週当たり利用日数

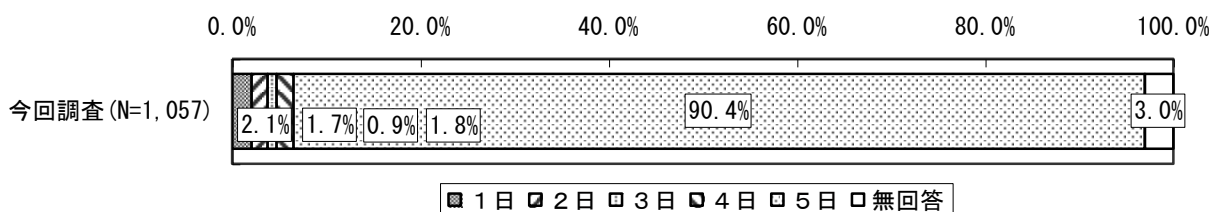


図 平日に定期的に利用している教育・保育の1日当たり利用時間

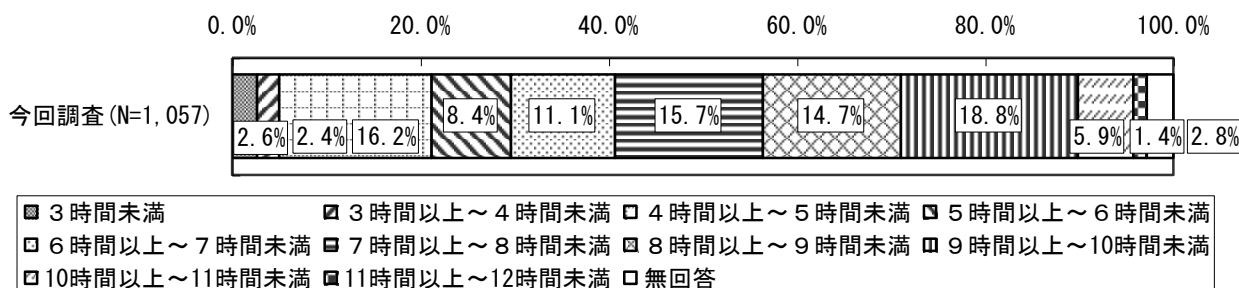


図 平日に定期的に利用している教育・保育の利用開始時間

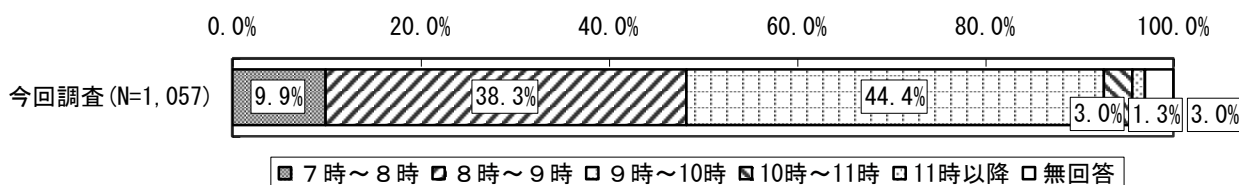
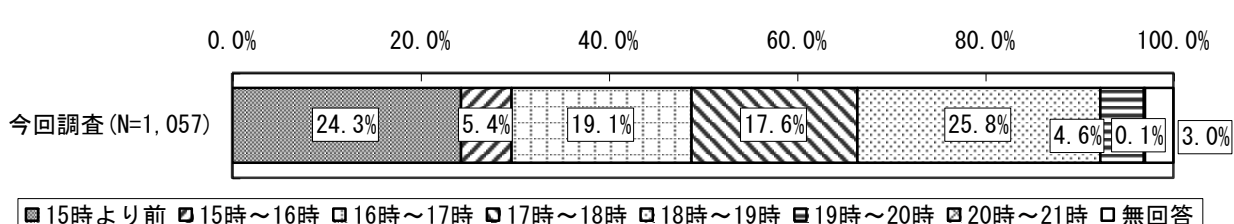


図 平日に定期的に利用している教育・保育の利用終了時間



②教育・保育の利用希望

平日に利用している定期的な教育・保育事業について、1週当たりの希望の利用日数をみると、「5日」(78.3%)が最も多くなっています。また、1日あたりの希望利用時間をみると、「7時間以上～8時間未満」(15.3%)が最も多く、次いで「8時間以上～9時間未満」(15.1%)、「9時間以上～10時間未満」(14.8%)となっており、6時間以上10時間未満が5割以上となっています。同様に希望の利用開始時間をみると、「8時～9時」(36.0%)が最も多く、次いで「9時～10時」(35.4%)となっており、希望の利用終了時間をみると「18時～19時」(20.7%)が最も多く、次いで「17時～18時」(20.0%)、「16時～17時」(19.0%)となっています。

図 平日に定期的に利用している教育・保育の1週当たりの希望利用日数

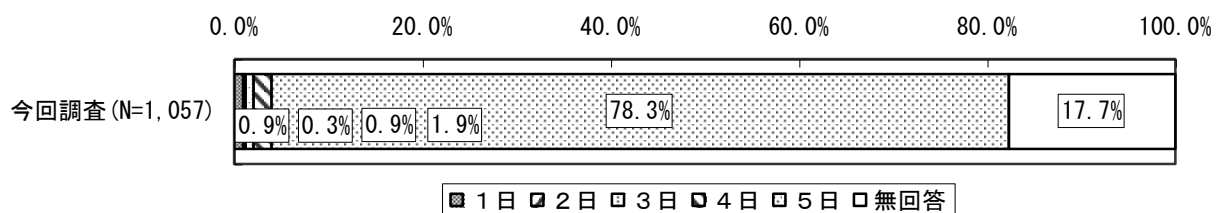


図 平日に定期的に利用している教育・保育の1日当たりの希望利用時間

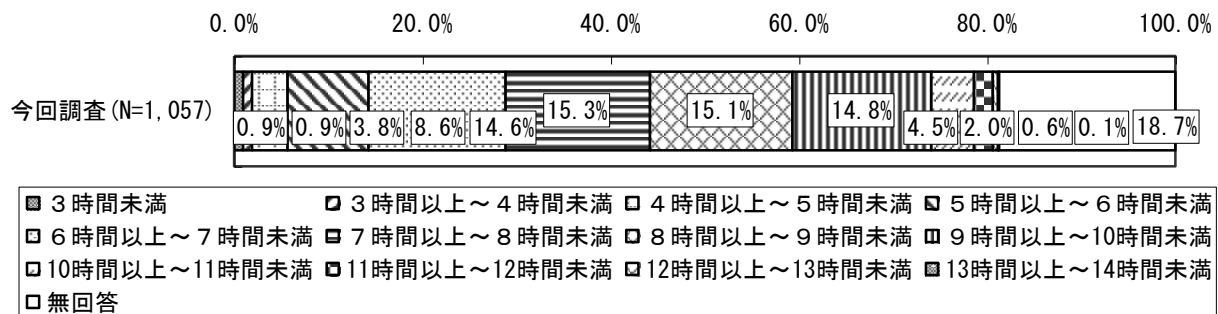


図 平日に定期的に利用している教育・保育の希望利用開始時間

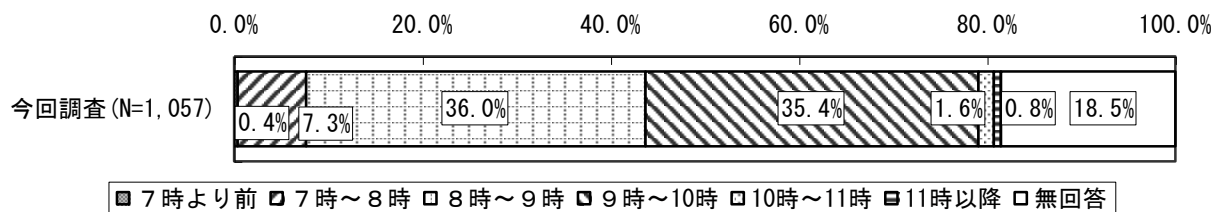
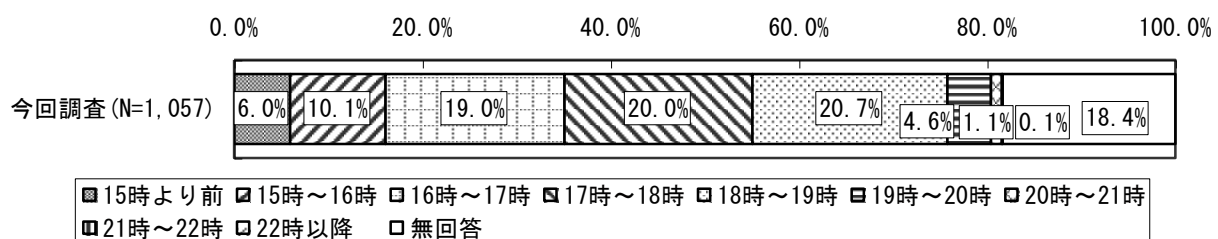


図 平日に定期的に利用している教育・保育の希望利用終了時間

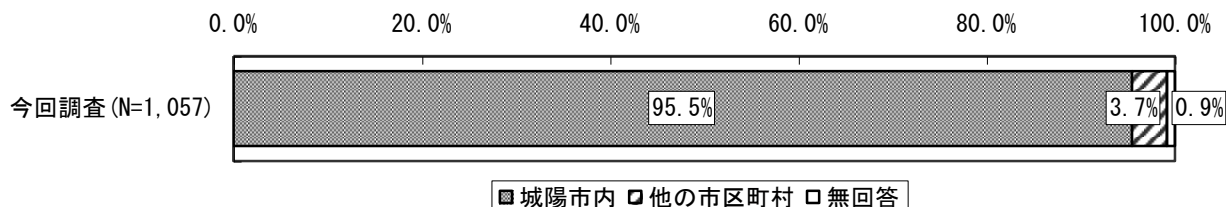


(4) 教育・保育の利用場所

問15-3 現在、利用している教育・保育の場所についてうかがいます。

教育・保育の利用場所をみると、「城陽市内」が95.5%、「他の市区町村」が3.7%となっています。

図 教育・保育の利用場所（単数回答）

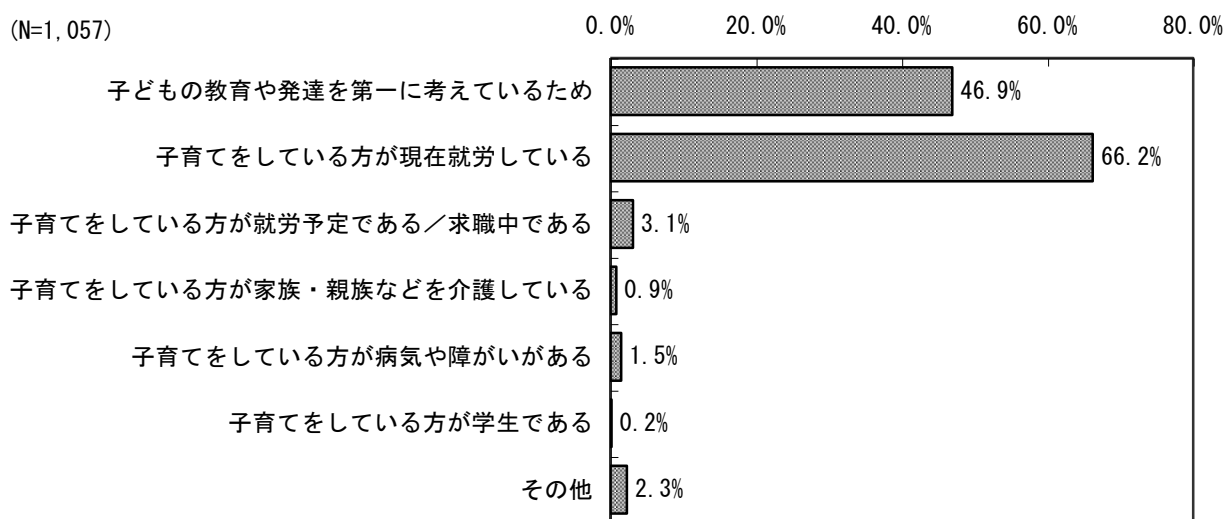


(5) 平日に定期的に教育・保育を利用している理由

問15-4 平日に定期的に教育・保育を利用されている理由は何ですか。

平日に定期的に教育・保育を利用している理由をみると、「子育てをしている方が現在就労している」(66.2%)が最も多く、次いで「子どもの教育や発達を第一に考えているため」(46.9%)となっています。

図 平日に定期的に教育・保育を利用している理由（複数回答）



●年齢別

年齢別に平日に定期的に教育・保育を利用している理由をみると、「0歳児（平成30年度生まれ）」を除いた各年齢で「子育てをしている方が現在就労している」が最も多く、5割以上となっており、「0歳児（平成29年度生まれ）」から「2歳児」までは7割以上となっています。次いで多い「子どもの教育や発達を第一に考えているため」は「3歳児」以上で5割以上となっています。

表 年齢別平日に定期的に教育・保育を利用している理由（複数回答）

上段：回答数

下段：構成比

	子どもの教育や発達を第一に考えているため	子育てをしている方が現在就労している	子育てをしている方が就労予定である／求職中である	子育てをしている方が家族・親族などを介護している	子育てをしている方が病気や障がいがある	子育てをしている方が学生である	その他	有効回答数
0歳児 (平成30年度生まれ)	3 37.5%	3 37.5%	2 25.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%
0歳児 (平成29年度生まれ)	14 25.5%	49 89.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.8%	2 3.6%	55 100.0%
1歳児	31 25.2%	112 91.1%	6 4.9%	3 2.4%	3 2.4%	0 0.0%	3 2.4%	123 100.0%
2歳児	64 37.6%	121 71.2%	11 6.5%	3 1.8%	1 0.6%	0 0.0%	6 3.5%	170 100.0%
3歳児	120 53.6%	136 60.7%	7 3.1%	1 0.4%	4 1.8%	0 0.0%	8 3.6%	224 100.0%
4歳児	129 53.8%	153 63.8%	2 0.8%	1 0.4%	2 0.8%	0 0.0%	1 0.4%	240 100.0%
5歳児	134 59.0%	118 52.0%	5 2.2%	1 0.4%	4 1.8%	1 0.4%	4 1.8%	227 100.0%
無回答	1 10.0%	8 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%
合計	496 46.9%	700 66.2%	33 3.1%	9 0.9%	16 1.5%	2 0.2%	24 2.3%	1,057 100.0%

(6) 現在利用している教育・保育に対するご意見

問15-5 現在利用している教育・保育に対して満足している点や要望等があればご自由にお書きください。

現在利用している教育・保育に対して満足している点や要望等を、内容別にまとめると次の通りになっています。

表 現在利用している教育・保育に対するご意見

内容	回答数
満足	35
保育サービスの充実（延長保育、休日保育など）	7
保育士の確保	5
保育環境の改善	3
保育料の改善	3
教育環境の充実	2
教育内容の充実	2
行事の内容・日程の改善	2
その他	10

* 問15-6は、問15で「2」に○をつけた方（現在、幼稚園や保育園などを利用していない方）にかかっています。

(7) 平日に定期的に教育・保育を利用していない理由

問15-6 利用していない理由は何ですか。

教育・保育を利用していない人の理由をみると、「子どもがまだ小さいため」(51.2%)が最も多く、次いで「お父さん・お母さんのいずれかがみているため、利用する必要がない」(46.4%)、「利用したいが、幼稚園や保育園に空きがない」(18.1%)となっています。

また、「子どもがまだ小さいため」と回答した人について、教育・保育の利用を考えている時期の子どもの年齢をみると、「1歳」(44.6%)が最も多く、次いで「3歳」(43.4%)となっています。

図 平日に定期的に教育・保育を利用していない理由（複数回答）

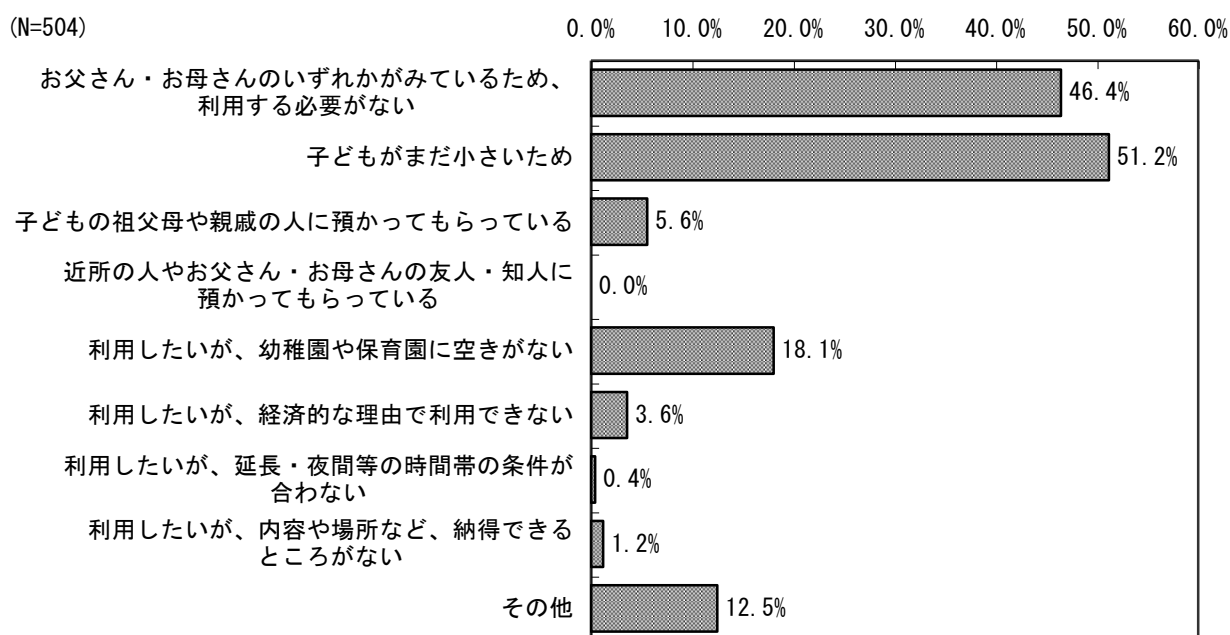
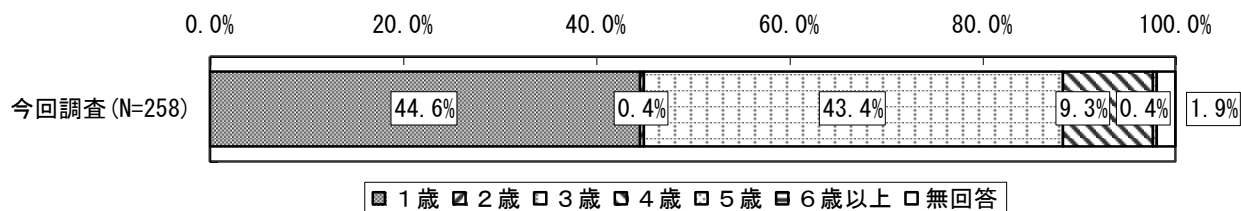


図 平日の定期的な教育・保育を希望する時期の子どもの年齢



●年齢別

年齢別に平日に定期的に教育・保育を利用していない理由をみると、「0歳児（平成30年度生まれ）」から「1歳児」までは「子どもがまだ小さいため」が最も多く、いずれも4割以上となっています。一方「2歳児」以上では「お父さん・お母さんのいずれかがみているため、利用する必要がない」が最も多くなっています。「利用したいが、幼稚園や保育園に空きがない」では「0歳児（平成29年度生まれ）」が34.1%と多くなっています。

表 年齢別平日に定期的に教育・保育を利用していない理由（複数回答）

上段：回答数

下段：構成比

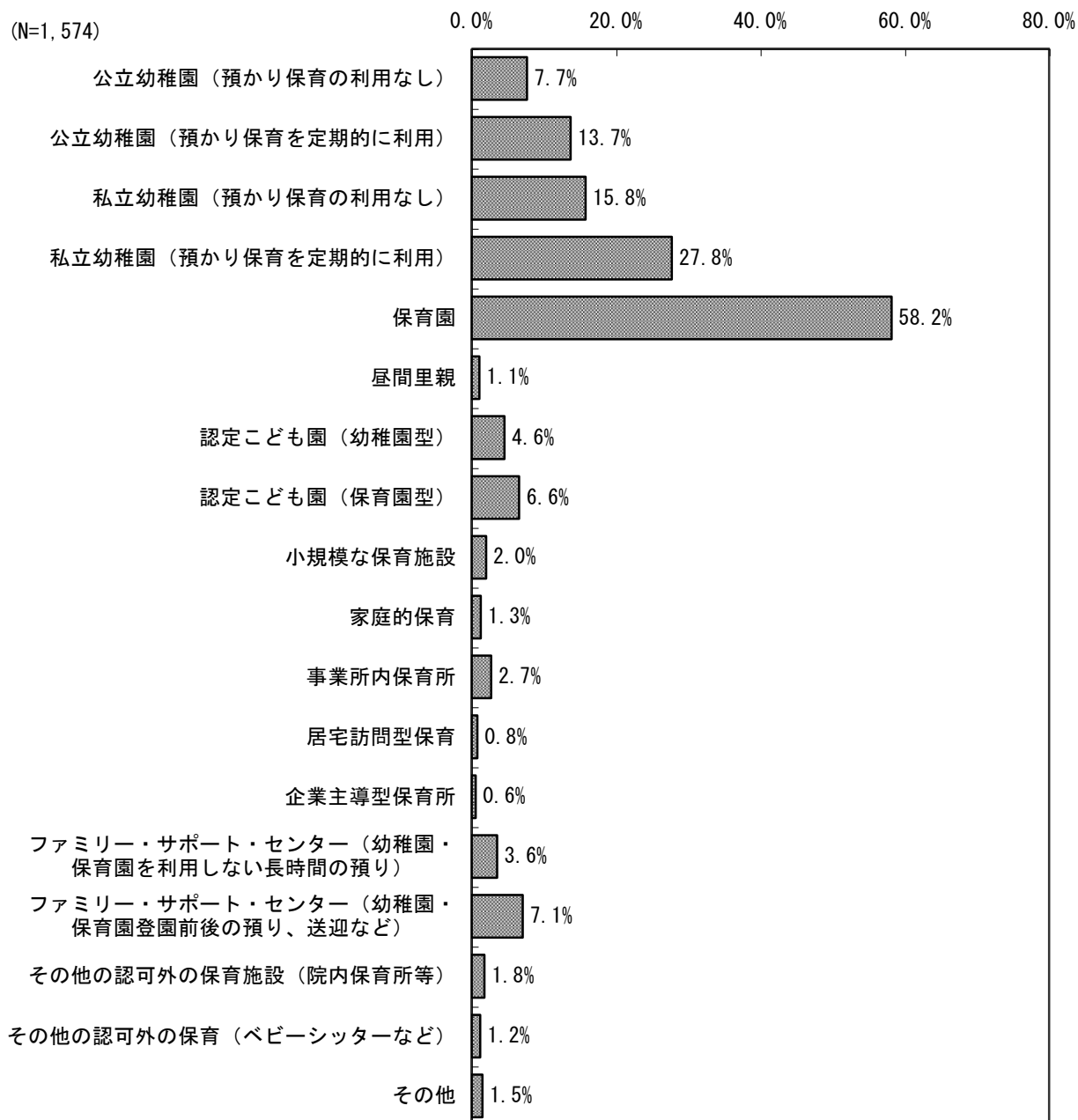
	お父さん・お母さんのいずれかがみているため、利用する必要がない	子どもがまだ小さいため	子どもの祖父母や親戚の人に預かっている	近所の人やお父さん・お母さんの友人・知人に預かっている	利用したいが、幼稚園や保育園に空きがない	利用したいが、経済的な理由で利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、内容や場所など、納得できる場所がない	その他	有効回答数
0歳児 (平成30年度生まれ)	61 46.2%	88 66.7%	5 3.8%	0 0.0%	11 8.3%	4 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	17 12.9%	132 100.0%
0歳児 (平成29年度生まれ)	62 37.8%	69 42.1%	4 2.4%	0 0.0%	56 34.1%	6 3.7%	2 1.2%	2 1.2%	16 9.8%	164 100.0%
1歳児	53 50.5%	61 58.1%	7 6.7%	0 0.0%	12 11.4%	5 4.8%	0 0.0%	2 1.9%	10 9.5%	105 100.0%
2歳児	43 53.1%	31 38.3%	8 9.9%	0 0.0%	9 11.1%	3 3.7%	0 0.0%	2 2.5%	18 22.2%	81 100.0%
3歳児	8 57.1%	7 50.0%	2 14.3%	0 0.0%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 14.3%	14 100.0%
4歳児	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
5歳児	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
無回答	3 75.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
合計	234 46.4%	258 51.2%	28 5.6%	0 0.0%	91 18.1%	18 3.6%	2 0.4%	6 1.2%	63 12.5%	504 100.0%

(8) 平日に定期的に利用したい教育・保育事業

問16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

現在の利用状況にかかわらず、利用したい教育・保育事業をみると、「保育園」(58.2%)が最も多く、次いで「私立幼稚園(預かり保育を定期的に利用)」(27.8%)、「私立幼稚園(預かり保育の利用なし)」(15.8%)、「公立幼稚園(預かり保育を定期的に利用)」(13.7%)となっており、それ以外の項目は1割未満となっています。

図 平日に定期的に利用したい教育・保育事業(複数回答)



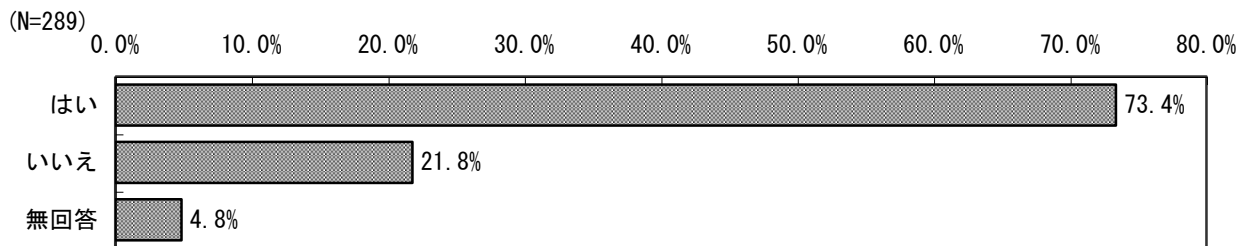
*問 16-1は、問 16で「1」～「4」のいずれかに○をつけ、かつ「5」～「18」のいずれかにも○をつけた方にうかがいます。

(9) 幼稚園の利用希望

問16-1 幼稚園を利用することが理想ですか。

幼稚園の利用希望があり、かつそれ以外の教育・保育事業の利用意向もある人について、幼稚園の利用が理想かどうかをみると、「はい」が73.4%、「いいえ」が21.8%となっています。

図 幼稚園の利用希望（単数回答）

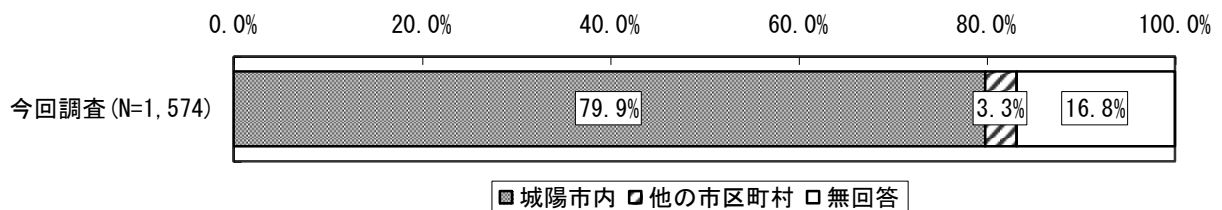


(10) 教育・保育を利用したい場所

問16-2 教育・保育を利用したい場所についてうかがいます。

教育・保育を利用したい場所をみると、「城陽市内」が79.9%、「他の市区町村」が3.3%となっています。

図 教育・保育を利用したい場所（単数回答）



(11) 平日に定期的に利用したい教育・保育の希望状況

問16-3 平日に定期的に利用したい教育・保育について、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内におおよその数字でご記入ください。

平日に定期的に利用したい教育・保育について1週当たりの希望の利用日数をみると、「5日」(63.0%)が最も多くなっています。また、1日当たりの希望の利用時間をみると、「7時間以上～8時間未満」(13.2%)が最も多く、次いで「8時間以上～9時間未満」(10.9%)、「6時間以上～7時間未満」(10.3%)となっており、5時間以上10時間未満が5割以上となっています。同様に、希望の利用開始時間をみると、「9時～10時」(32.8%)が最も多く、次いで「8時～9時」(24.8%)となっており、希望の利用終了時間をみると、「17時～18時」(15.7%)が最も多く、次いで「18時～19時」(14.4%)、「16時～17時」(13.9%)となっています。

図 平日の定期的な教育・保育の1週当たり希望利用日数

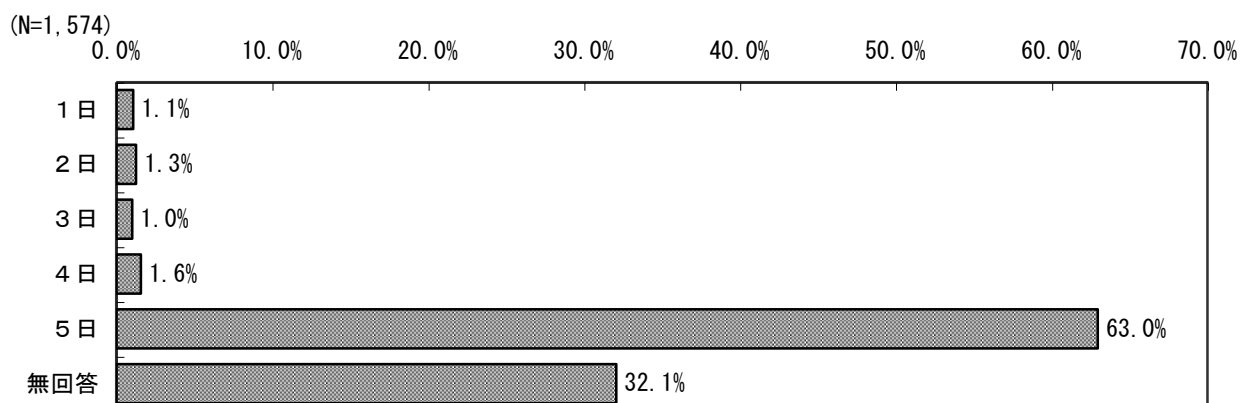


図 平日の定期的な教育・保育の1日当たり希望利用時間

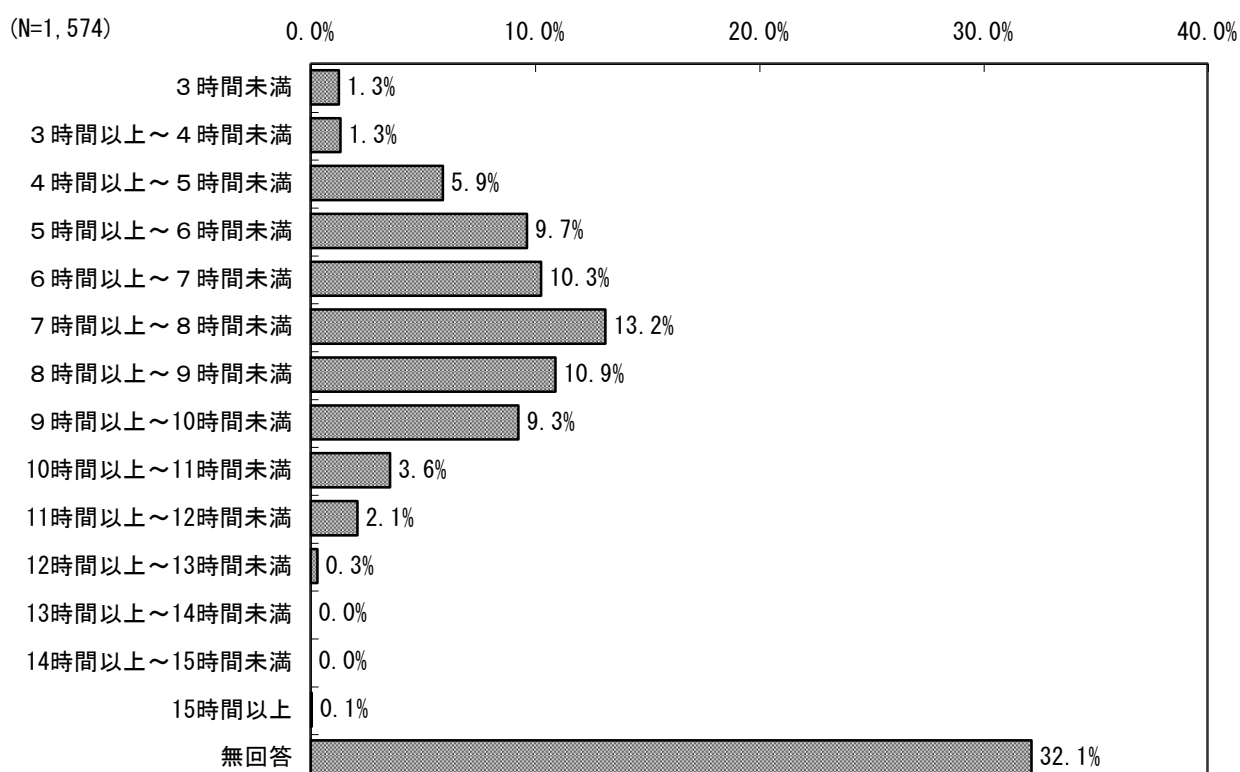


図 平日の定期的な教育・保育の1日当たり希望利用開始時間

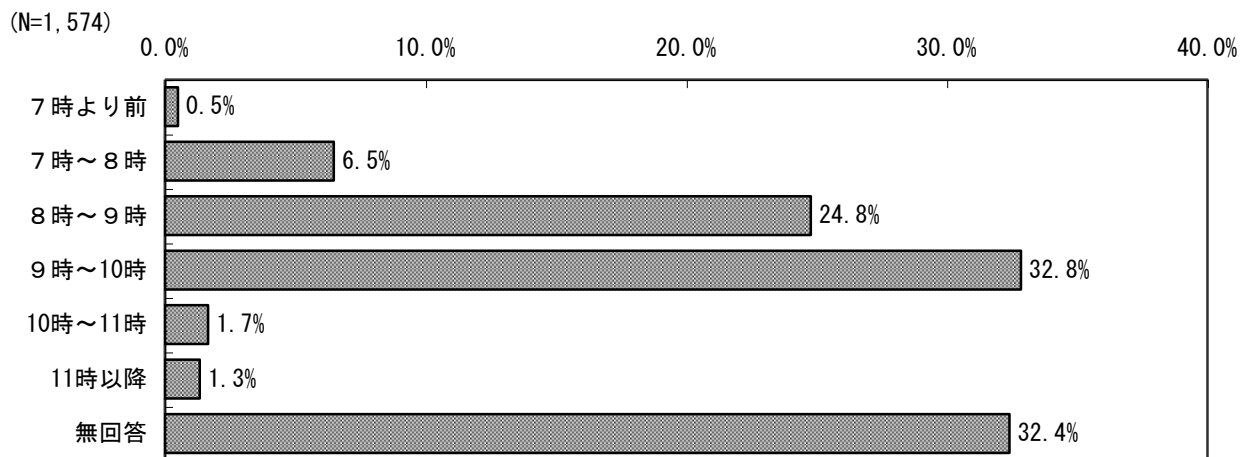
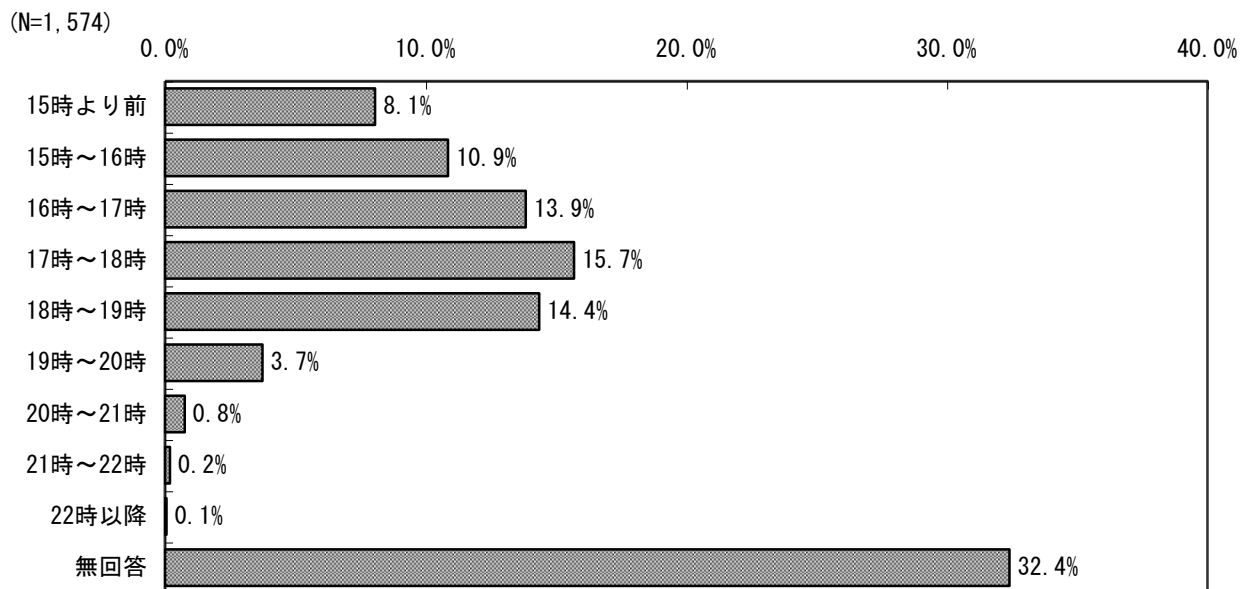


図 平日の定期的な教育・保育の1日当たり希望利用終了時間

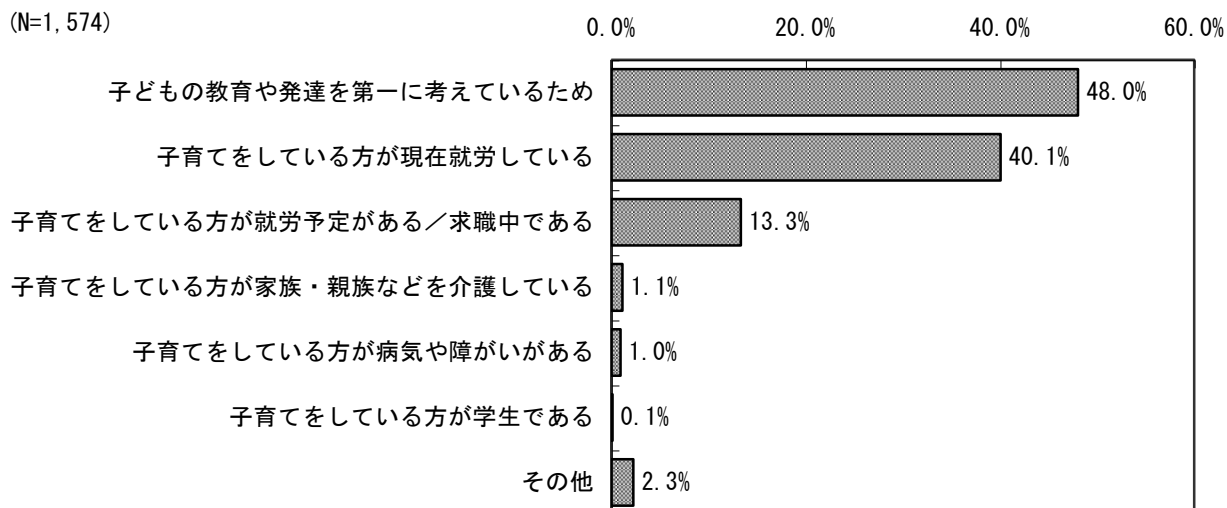


(12) 平日に定期的に教育・保育を利用したい理由

問16-4 平日に定期的に教育・保育を利用したい理由は何ですか。

平日に定期的に教育・保育を利用したい理由をみると、「子どもの教育や発達を第一に考えているため」(48.0%)が最も多く、次いで「子育てをしている方が現在就労している」(40.1%)、「子育てをしている方が就労予定がある／求職中である」(13.3%)となっています。

図 平日に定期的に教育・保育を利用したい理由（複数回答）



●年齢別

年齢別に平日に定期的に教育・保育を利用したい理由をみると、「0歳児（平成29年度生まれ）」以上の年齢で「子どもの教育や発達を第一に考えているため」が最も多く「1歳児」、「3歳児」、「5歳児」で5割以上となっています。「0歳児（平成30年度生まれ）」では「子育てをしている方が就労予定がある／求職中である」（43.4%）が最も多くなっています。また、「1歳児」、「3歳児」、「4歳児」、「5歳児」では「子育てをしている方が現在就労している」が4割以上となっています。

表 年齢別平日に定期的に教育・保育を利用したい理由（複数回答）

上段：回答数

下段：構成比

	子どもの教育や発達を第一に考えているため	子育てをしている方が現在就労している	子育てをしている方が就労予定がある／求職中である	子育てをしている方が家族・親族などを介護している	子育てをしている方が病気や障がいがある	子育てをしている方が学生である	その他	有効回答数
0歳児 （平成30年度生まれ）	61 42.7%	30 21.0%	62 43.4%	2 1.4%	1 0.7%	0 0.0%	3 2.1%	143 100.0%
0歳児 （平成29年度生まれ）	95 42.8%	76 34.2%	57 25.7%	2 0.9%	2 0.9%	1 0.5%	9 4.1%	222 100.0%
1歳児	116 50.9%	101 44.3%	31 13.6%	5 2.2%	2 0.9%	0 0.0%	9 3.9%	228 100.0%
2歳児	111 44.2%	96 38.2%	25 10.0%	3 1.2%	2 0.8%	0 0.0%	5 2.0%	251 100.0%
3歳児	121 50.8%	113 47.5%	14 5.9%	1 0.4%	4 1.7%	0 0.0%	3 1.3%	238 100.0%
4歳児	119 48.6%	114 46.5%	11 4.5%	3 1.2%	2 0.8%	0 0.0%	4 1.6%	245 100.0%
5歳児	127 55.0%	95 41.1%	8 3.5%	2 0.9%	2 0.9%	1 0.4%	3 1.3%	231 100.0%
無回答	6 37.5%	6 37.5%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 100.0%
合計	756 48.0%	631 40.1%	210 13.3%	18 1.1%	15 1.0%	2 0.1%	36 2.3%	1,574 100.0%

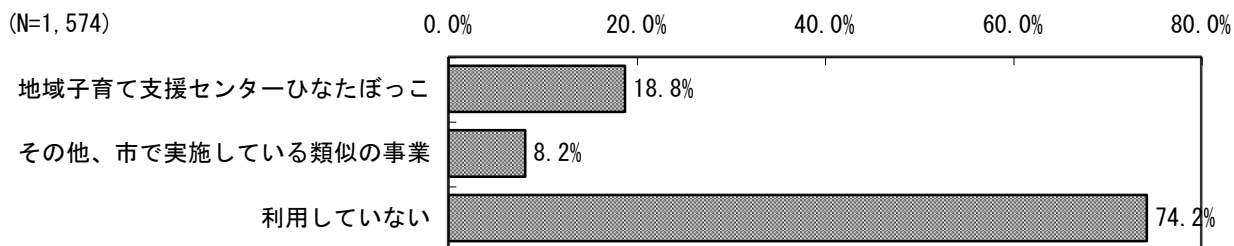
5. 子育て支援事業の利用状況

(1) 地域子育て支援センターひなたぼっこの利用状況

問17 お子さんは、現在、地域子育て支援センターひなたぼっこを利用していますか。利用されているものすべてに○をつけ、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

地域子育て支援センターひなたぼっこの利用状況を見ると、「利用していない」（74.2%）が最も多く、次いで「地域子育て支援センターひなたぼっこ」（18.8%）となっています。

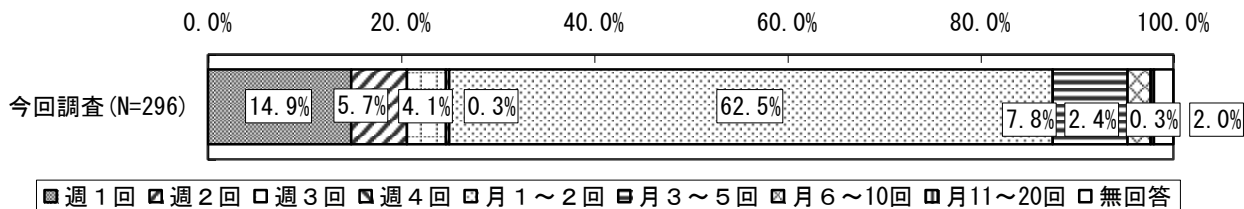
図 地域子育て支援センターひなたぼっこの利用状況（複数回答）



<地域子育て支援センターひなたぼっこの利用状況>

地域子育て支援センターひなたぼっこを利用している人の利用回数をみると、1週あたりでは「週1回」（14.9%）が最も多く、1ヶ月あたりでは「月1～2回」（62.5%）が最も多くなっています。

図 地域子育て支援センターひなたぼっこの利用回数（頻度）



●校區別

校區別に地域子育て支援センターひなたぼっこの利用状況をみると、地域子育てセンターひなたぼっこを利用している人は「深谷」(30.4%)が最も多く、次いで「久世」(26.1%)、「寺田」(20.4%)となっており、それ以外の校区では1割以上となっています。また、「利用していない」は「今池」(85.8%)と「富野」(83.1%)で比較的多くなっています。

表 校區別地域子育て支援センターひなたぼっこの利用状況（複数回答）

上段：回答数

下段：構成比

	地域子育て支援センターひなたぼっこ	その他、市で実施している類似の事業	利用していない	有効回答数
久津川	35	19	128	181
	19.3%	10.5%	70.7%	100.0%
古川	10	6	56	78
	12.8%	7.7%	71.8%	100.0%
久世	72	27	190	276
	26.1%	9.8%	68.8%	100.0%
深谷	35	9	75	115
	30.4%	7.8%	65.2%	100.0%
寺田	44	16	156	216
	20.4%	7.4%	72.2%	100.0%
寺田南	29	14	110	151
	19.2%	9.3%	72.8%	100.0%
寺田西	19	10	99	125
	15.2%	8.0%	79.2%	100.0%
今池	15	5	121	141
	10.6%	3.5%	85.8%	100.0%
富野	23	12	177	213
	10.8%	5.6%	83.1%	100.0%
青谷	9	10	53	69
	13.0%	14.5%	76.8%	100.0%
無回答	5	1	3	9
	55.6%	11.1%	33.3%	100.0%
合計	296	129	1,168	1,574
	18.8%	8.2%	74.2%	100.0%

●年齢別

年齢別に地域子育て支援センターひなたぼっこの利用状況をみると、地域子育て支援センターひなたぼっこを利用している人は「0歳児（平成29年度生まれ）」が43.2%と最も多くなっています。また、年齢が上がるにつれて利用は減少する傾向にあり、4歳児以上では1割未満となっています。

表 年齢別地域子育て支援センターひなたぼっこの利用状況（複数回答）

上段：回答数

下段：構成比

	地域子育て支援センターひなたぼっこ	その他、市で実施している類似の事業	利用していない	有効回答数
0歳児 (平成30年度生まれ)	38 26.6%	13 9.1%	96 67.1%	143 100.0%
0歳児 (平成29年度生まれ)	96 43.2%	47 21.2%	116 52.3%	222 100.0%
1歳児	62 27.2%	20 8.8%	150 65.8%	228 100.0%
2歳児	60 23.9%	33 13.1%	168 66.9%	251 100.0%
3歳児	24 10.1%	7 2.9%	208 87.4%	238 100.0%
4歳児	10 4.1%	6 2.4%	214 87.3%	245 100.0%
5歳児	5 2.2%	3 1.3%	205 88.7%	231 100.0%
無回答	1 6.3%	0 0.0%	11 68.8%	16 100.0%
合計	296 18.8%	129 8.2%	1,168 74.2%	1,574 100.0%

●世帯別

世帯別に地域子育て支援センターひなたぼっこの利用状況をみると、地域子育て支援センターひなたぼっこを利用している人は「二世帯」と「三世帯」では約2割となっています。一方、「利用していない」は「ひとり親」（83.0%）が比較的多くなっています。

表 世帯別地域子育て支援センターひなたぼっこの利用状況（複数回答）

上段：回答数

下段：構成比

	地域子育て支援センターひなたぼっこ	その他、市で実施している類似の事業	利用していない	有効回答数
二世帯	260 19.5%	116 8.7%	978 73.5%	1,330 100.0%
三世帯	24 20.2%	11 9.2%	88 73.9%	119 100.0%
ひとり親	9 10.2%	2 2.3%	73 83.0%	88 100.0%
その他	3 8.3%	0 0.0%	29 80.6%	36 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
合計	296 18.8%	129 8.2%	1,168 74.2%	1,574 100.0%

●就労状況別

就労状況別に地域子育て支援センターひなたぼっこの利用状況をみると、地域子育て支援センターひなたぼっこを利用している人は「ともにフルタイム」と「専業主婦・主夫家庭」で約2割となっています。一方、「利用していない」は「一人以上がパート・アルバイト」(81.3%)と「ひとり親」(83.0%)で多くなっています。

表 就労状況別地域子育て支援センターひなたぼっこの利用状況（複数回答）

上段：回答数

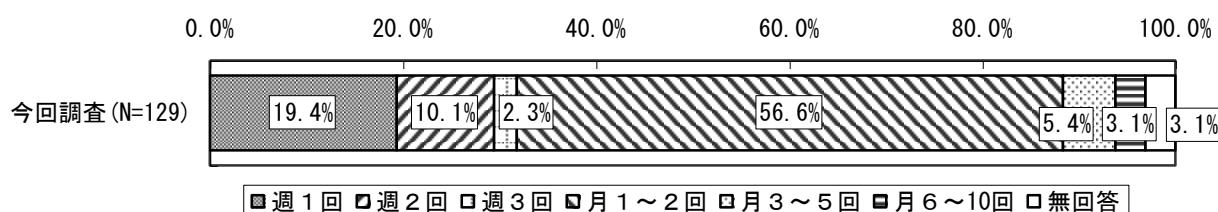
下段：構成比

	地域子育て支援センターひなたぼっこ	その他、市で実施している類似の事業	利用していない	有効回答数
ともにフルタイム	109 21.0%	44 8.5%	372 71.7%	519 100.0%
一人以上がパート・アルバイト	50 12.5%	20 5.0%	326 81.3%	401 100.0%
専業主婦・主夫家庭	119 23.9%	60 12.0%	352 70.7%	498 100.0%
ひとり親	9 10.2%	2 2.3%	73 83.0%	88 100.0%
不明・その他	9 13.2%	3 4.4%	45 66.2%	68 100.0%
合計	296 18.8%	129 8.2%	1,168 74.2%	1,574 100.0%

<市で実施している類似の事業の利用状況>

市で実施している類似の事業を利用している人の利用回数をみると、1週当たりでは「週1回」(19.4%)が最も多く、次いで「週2回」(10.1%)となっています。また、1ヶ月当たりでは「月1~2回」(56.6%)が最も多くなっています。

図 市で実施している類似の事業の利用回数（頻度）

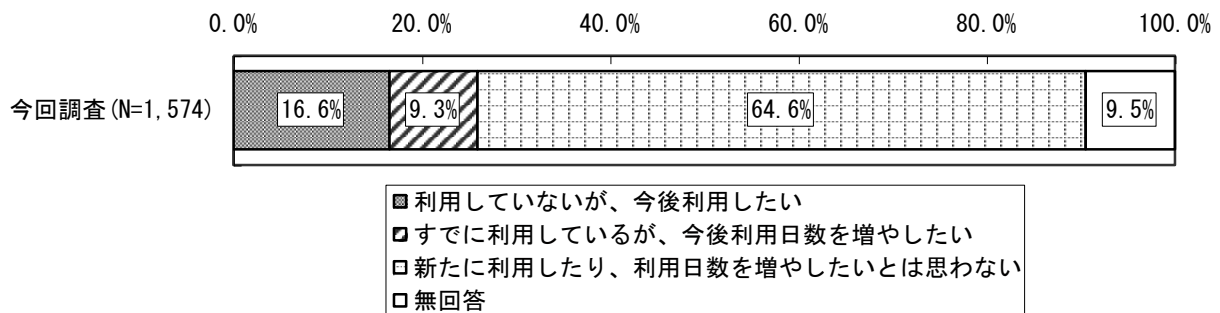


(2) 地域子育て支援センターひなたぼっこの利用意向

問18 地域子育て支援センターひなたぼっこについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号に○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください。

現在の利用状況にかかわらず、今後の地域子育て支援センターひなたぼっこの利用意向をみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」(64.6%)が最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」(16.6%)、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(9.3%)となつています。

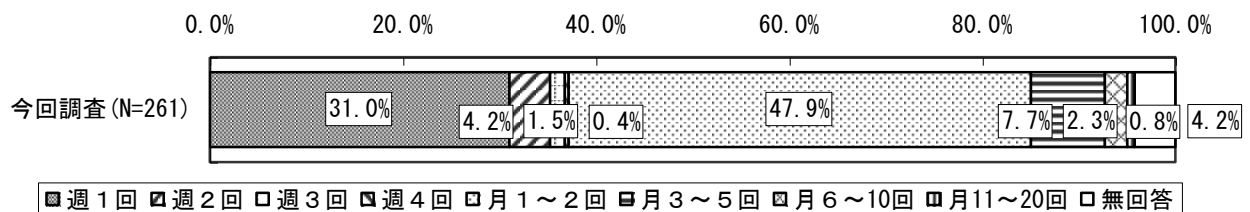
図 地域子育て支援センターの利用意向(単数回答)



<「利用していないが、今後利用したい」人の利用希望>

地域子育て支援センターひなたぼっこを「利用していないが、今後利用したい」と回答した人の利用希望をみると、1週あたりでは「週1回」(31.0%)が最も多く、1ヶ月あたりでは「月1~2回」(47.9%)が最も多くなつています。

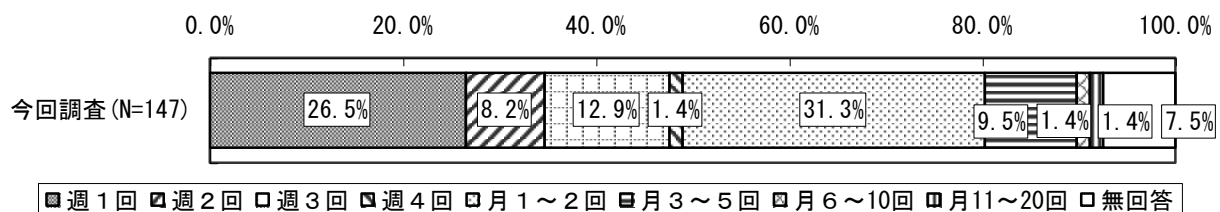
図 地域子育て支援センターひなたぼっこの希望利用回数(頻度)
(「利用していないが、今後利用したい」人)



<「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人の利用希望>

地域子育て支援センターひなたぼっこを「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した人の利用希望をみると、1週あたりでは「週1回」(26.5%)が最も多く、次いで「週3回」(12.9%)となつています。また、1ヶ月あたりでは「月1~2回」(31.3%)が最も多くなつています。

図 地域子育て支援センターひなたぼっこの希望利用回数(頻度)
(「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人)



●校區別

校區別に地域子育て支援センターの利用意向をみると、利用意向のある人(「利用していないが、今後利用したい」と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の合計)は「久世」、「深谷」、「青谷」で3割以上となっており、特に「青谷」では「利用していないが、今後利用したい」が23.2%と多くなっています。

表 校區別地域子育て支援センターの利用意向

上段：回答数

下段：構成比

	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	無回答	合計
久津川	30 16.6%	14 7.7%	120 66.3%	17 9.4%	181 100.0%
古川	12 15.4%	5 6.4%	48 61.5%	13 16.7%	78 100.0%
久世	49 17.8%	38 13.8%	164 59.4%	25 9.1%	276 100.0%
深谷	19 16.5%	19 16.5%	75 65.2%	2 1.7%	115 100.0%
寺田	37 17.1%	21 9.7%	138 63.9%	20 9.3%	216 100.0%
寺田南	22 14.6%	13 8.6%	103 68.2%	13 8.6%	151 100.0%
寺田西	20 16.0%	7 5.6%	89 71.2%	9 7.2%	125 100.0%
今池	16 11.3%	6 4.3%	102 72.3%	17 12.1%	141 100.0%
富野	40 18.8%	16 7.5%	130 61.0%	27 12.7%	213 100.0%
青谷	16 23.2%	6 8.7%	42 60.9%	5 7.2%	69 100.0%
無回答	0 0.0%	2 22.2%	6 66.7%	1 11.1%	9 100.0%
合計	261 16.6%	147 9.3%	1,017 64.6%	149 9.5%	1,574 100.0%

●年齢別

年齢別に地域子育て支援センターの利用意向をみると、利用意向のある人は「0歳児（平成30年度生まれ）」が56.7%と最も多く、年齢が上がるにつれて減少する傾向にあります。一方、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」では「3歳児」以上の年齢で7割以上となっています。

表 年齢別地域子育て支援センターの利用意向

上段：回答数

下段：構成比

	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	無回答	合計
0歳児 (平成30年度生まれ)	59 41.3%	22 15.4%	52 36.4%	10 7.0%	143 100.0%
0歳児 (平成29年度生まれ)	49 22.1%	47 21.2%	106 47.7%	20 9.0%	222 100.0%
1歳児	49 21.5%	33 14.5%	129 56.6%	17 7.5%	228 100.0%
2歳児	32 12.7%	22 8.8%	172 68.5%	25 10.0%	251 100.0%
3歳児	26 10.9%	11 4.6%	178 74.8%	23 9.7%	238 100.0%
4歳児	24 9.8%	7 2.9%	190 77.6%	24 9.8%	245 100.0%
5歳児	19 8.2%	3 1.3%	184 79.7%	25 10.8%	231 100.0%
無回答	3 18.8%	2 12.5%	6 37.5%	5 31.3%	16 100.0%
合計	261 16.6%	147 9.3%	1,017 64.6%	149 9.5%	1,574 100.0%

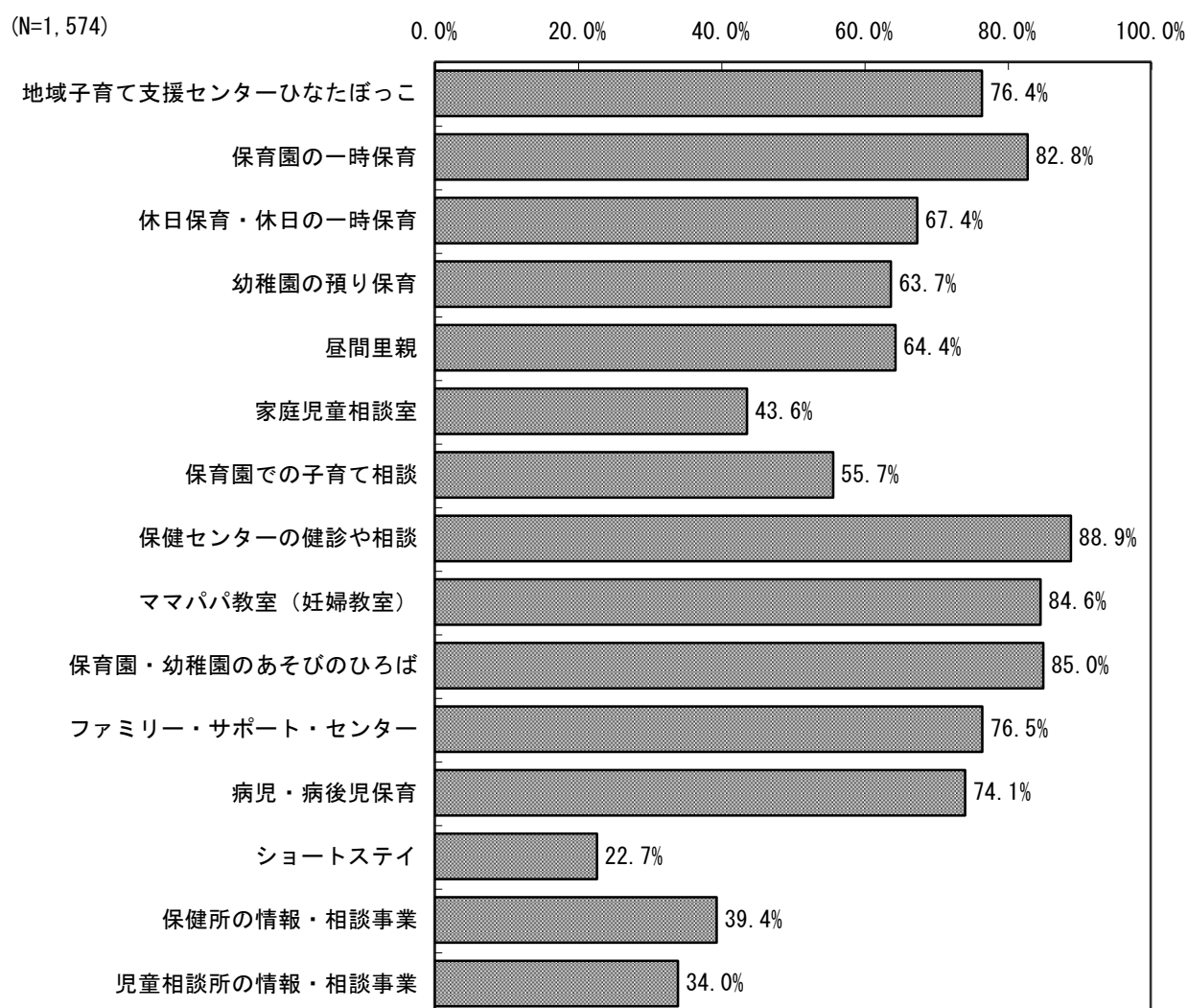
(3) 地域子育て支援事業の認知状況や利用状況について

問19 下記の事業で知っているものや、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。1～15の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

①地域子育て支援事業の認知状況

本市の地域子育て支援事業の認知度をみると、「保健センターの健診や相談」(88.9%)が最も多く、次いで「保育園・幼稚園のあそびのひろば」(85.0%)、「ママパパ教室(妊婦教室)」(84.6%)となっています。一方、「家庭児童相談室」、「ショートステイ」、「保健所の情報・相談事業」、「児童相談所の情報・相談事業」はそれぞれ5割未満となっており、認知度は低くなっています。

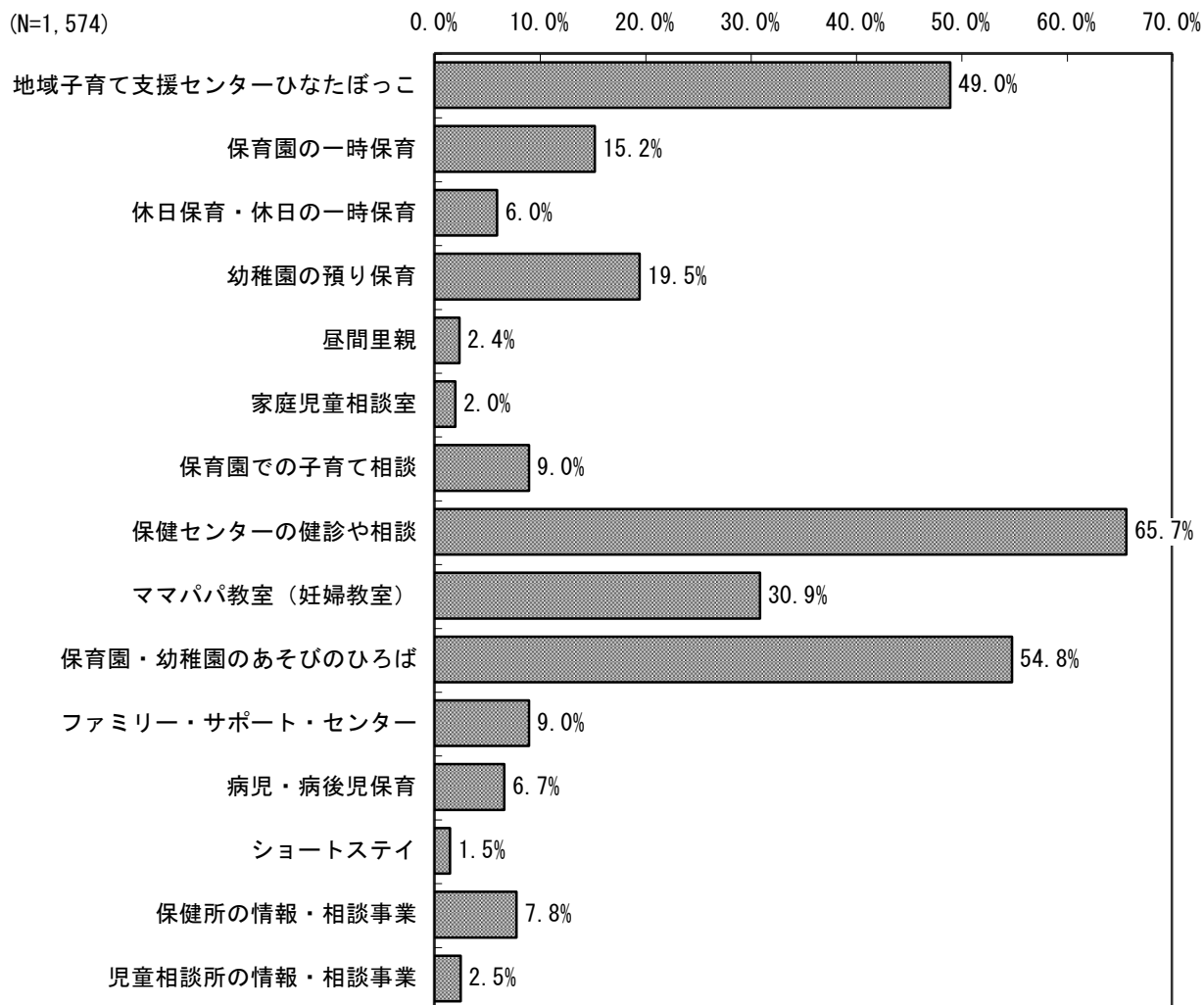
図 地域子育て支援事業の認知状況(「はい」)



②地域子育て支援事業の利用状況

本市の地域子育て支援事業の利用状況を見ると、「保健センターの健診や相談」(65.7%)が最も多く、次いで「保育園・幼稚園のあそびのひろば」(54.8%)、「地域子育て支援センターひなたぼっこ」(49.0%)となっています。また、上位3項目と「保育園の一時保育」(15.2%)、「幼稚園の預かり保育」(19.5%)、「ママパパ教室(妊婦教室)」(30.9%)を除く各事業では1割未満となっており、利用率は低くなっています。

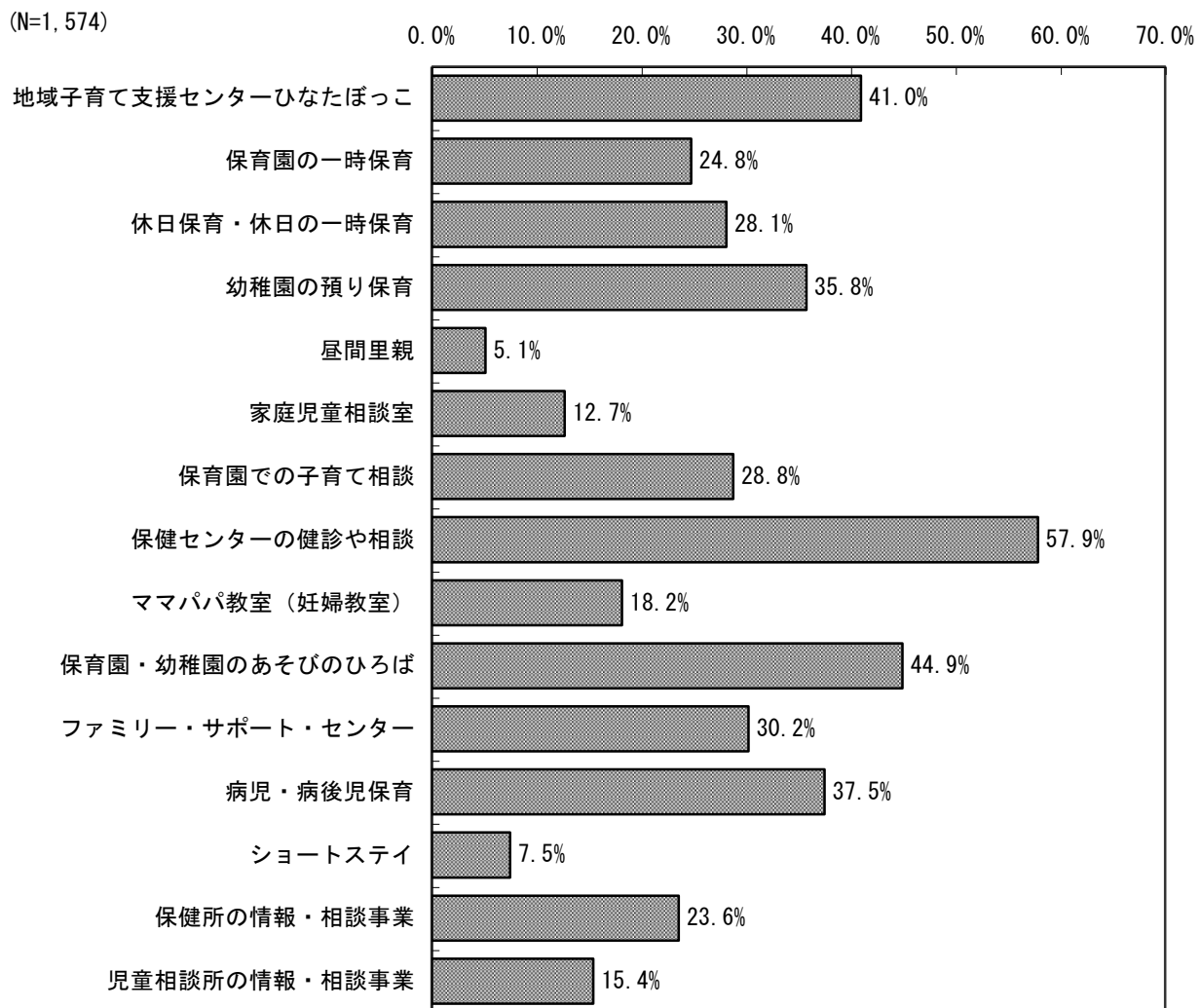
図 地域子育て支援事業の利用状況(単数回答)



③地域子育て支援事業の利用意向

本市の子育て支援事業の利用意向をみると、「保健センターの健診や相談」(57.9%)が最も多く、次いで「保育園・幼稚園のあそびのひろば」(44.9%)、「地域子育て支援センターひなたぼっこ」(41.0%)となっています。また、「保健センターの健診や相談」を除く各事業の利用意向は5割未満となっており、事業は認知されているものの利用意向は低い事業が多いことがわかります。

図 地域子育て支援事業の利用意向（単数回答）



6. 土曜日と日曜日・祝日や長期休業中の定期的な教育・保育の利用希望について

(1) 土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育の利用希望

問20 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、□内に数字でご記入ください。

①土曜日の定期的な教育・保育の利用希望

土曜日の定期的な教育・保育の利用希望をみると、「利用する必要はない」（59.0%）が最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」（28.1%）、「ほぼ毎週利用したい」（10.5%）となっています。

利用希望がある人について、希望の利用開始時間をみると、「8時～9時」（41.9%）が最も多く、次いで「9時～10時」（35.1%）となっています。また、希望の利用終了時間をみると、「18時～19時」（35.8%）が最も多く、次いで「17時～18時」（23.8%）、「16時～17時」（17.9%）となっています。

図 土曜日の定期的な教育・保育の利用希望（単数回答）

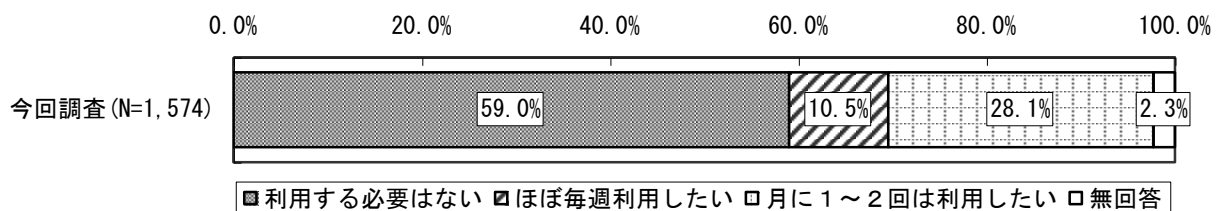


図 土曜日の定期的な教育・保育の希望利用開始時間

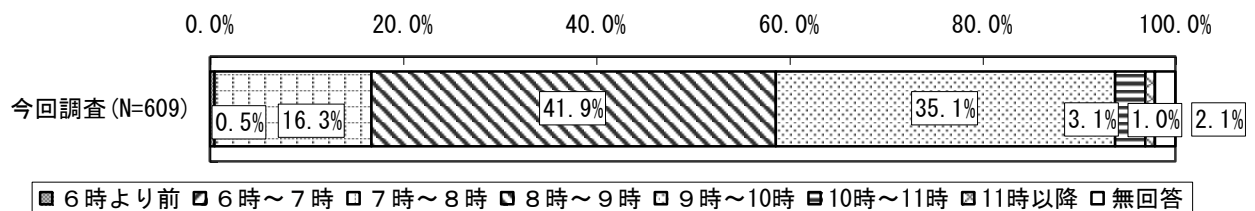
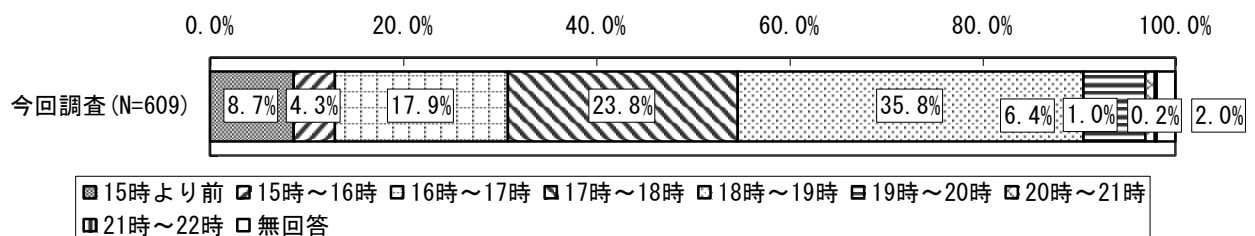


図 土曜日の定期的な教育・保育の希望利用終了時間



●校區別

校區別に土曜日の定期的な教育・保育の利用希望をみるとをみると、利用意向がある人（「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」の合計）は各校区で3割以上となっており、「久津川」、「古川」、「深谷」で4割以上となっています。特に「古川」では「月に1～2回は利用したい」が46.2%と多くなっています。

表 校區別土曜日の定期的な教育・保育の利用希望

上段：回答数

下段：構成比

	利用する 必要はない	ほぼ毎週 利用した い	月に1～ 2回は利 用したい	無回答	合計
久津川	102	17	58	4	181
	56.4%	9.4%	32.0%	2.2%	100.0%
古川	30	8	36	4	78
	38.5%	10.3%	46.2%	5.1%	100.0%
久世	170	35	65	6	276
	61.6%	12.7%	23.6%	2.2%	100.0%
深谷	67	15	33	0	115
	58.3%	13.0%	28.7%	0.0%	100.0%
寺田	119	21	65	11	216
	55.1%	9.7%	30.1%	5.1%	100.0%
寺田南	98	16	35	2	151
	64.9%	10.6%	23.2%	1.3%	100.0%
寺田西	83	13	28	1	125
	66.4%	10.4%	22.4%	0.8%	100.0%
今池	83	17	39	2	141
	58.9%	12.1%	27.7%	1.4%	100.0%
富野	125	17	66	5	213
	58.7%	8.0%	31.0%	2.3%	100.0%
青谷	44	7	18	0	69
	63.8%	10.1%	26.1%	0.0%	100.0%
無回答	8	0	0	1	9
	88.9%	0.0%	0.0%	11.1%	100.0%
合計	929	166	443	36	1,574
	59.0%	10.5%	28.1%	2.3%	100.0%

●年齢別

年齢別に土曜日の定期的な教育・保育の利用希望をみると、利用意向がある人は各年齢で3割以上となっており、「0歳児（平成29年度生まれ）」と「4歳児」で4割以上となっています。

表 年齢別土曜日の定期的な教育・保育の利用希望

上段：回答数

下段：構成比

	利用する 必要はない	ほぼ毎週 利用した い	月に1～ 2回は利 用したい	無回答	合計
0歳児 (平成30年度生まれ)	93 65.0%	12 8.4%	33 23.1%	5 3.5%	143 100.0%
0歳児 (平成29年度生まれ)	127 57.2%	22 9.9%	67 30.2%	6 2.7%	222 100.0%
1歳児	137 60.1%	27 11.8%	62 27.2%	2 0.9%	228 100.0%
2歳児	143 57.0%	22 8.8%	77 30.7%	9 3.6%	251 100.0%
3歳児	144 60.5%	26 10.9%	67 28.2%	1 0.4%	238 100.0%
4歳児	133 54.3%	31 12.7%	77 31.4%	4 1.6%	245 100.0%
5歳児	145 62.8%	24 10.4%	56 24.2%	6 2.6%	231 100.0%
無回答	7 43.8%	2 12.5%	4 25.0%	3 18.8%	16 100.0%
合計	929 59.0%	166 10.5%	443 28.1%	36 2.3%	1,574 100.0%

●世帯別

世帯別に土曜日の定期的な教育・保育の利用希望をみると、利用意向がある人は「その他」を除く各世帯で3割以上となっており、「ひとり親」では56.8%と多くなっています。

表 世帯別土曜日の定期的な教育・保育の利用希望

上段：回答数

下段：構成比

	利用する 必要はない	ほぼ毎週 利用した い	月に1～ 2回は利 用したい	無回答	合計
二世帯	796 59.8%	134 10.1%	369 27.7%	31 2.3%	1,330 100.0%
三世帯	72 60.5%	4 3.4%	42 35.3%	1 0.8%	119 100.0%
ひとり親	36 40.9%	24 27.3%	26 29.5%	2 2.3%	88 100.0%
その他	25 69.4%	4 11.1%	6 16.7%	1 2.8%	36 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
合計	929 59.0%	166 10.5%	443 28.1%	36 2.3%	1,574 100.0%

●就労状況別

就労状況別に土曜日の定期的な教育・保育の利用希望をみると、利用意向がある人は「専業主婦・主夫家庭」を除く各世帯で4割以上となっており、「ひとり親」では56.8%と多くなっています。

表 就労状況別土曜日の定期的な教育・保育の利用希望

上段：回答数

下段：構成比

	利用する 必要はない	ほぼ毎週 利用した い	月に1～ 2回は利 用したい	無回答	合計
ともにフルタイム	226 43.5%	93 17.9%	191 36.8%	9 1.7%	519 100.0%
一人以上がパート・アルバイト	222 55.4%	37 9.2%	136 33.9%	6 1.5%	401 100.0%
専業主婦・主夫家庭	408 81.9%	8 1.6%	72 14.5%	10 2.0%	498 100.0%
ひとり親	36 40.9%	24 27.3%	26 29.5%	2 2.3%	88 100.0%
不明・その他	37 54.4%	4 5.9%	18 26.5%	9 13.2%	68 100.0%
合計	929 59.0%	166 10.5%	443 28.1%	36 2.3%	1,574 100.0%

②日曜日・祝日の定期的な教育・保育の利用希望

日曜日の定期的な教育・保育の利用希望をみると、「利用する必要はない」(80.6%)が最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」(14.5%)となっています。

利用希望がある人について、希望の利用開始時間をみると、「8時～9時」(41.4%)が最も多く、次いで「9時～10時」(33.0%)、「7時～8時」(14.2%)となっています。また、希望の利用終了時間をみると、「18時～19時」(40.2%)が最も多く、次いで「17時～18時」(20.7%)、「16時～17時」(11.9%)となっています。

図 日曜日・祝日の定期的な教育・保育の利用希望（単数回答）

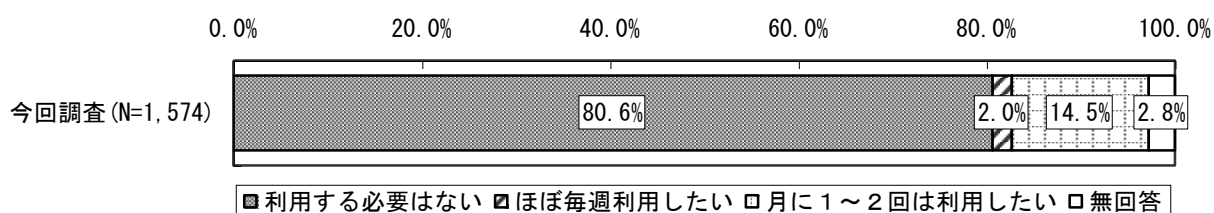


図 日曜日・祝日の定期的な教育・保育の希望利用開始時間

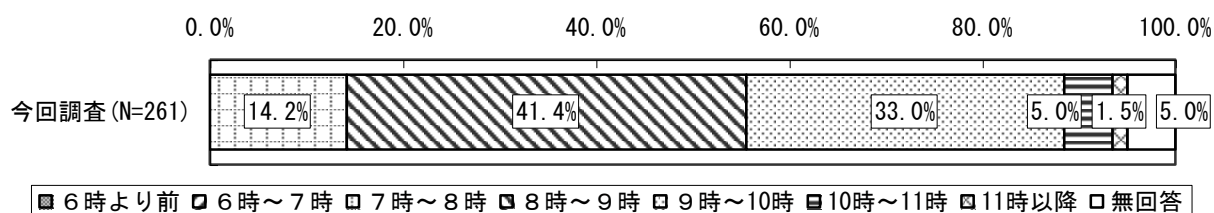
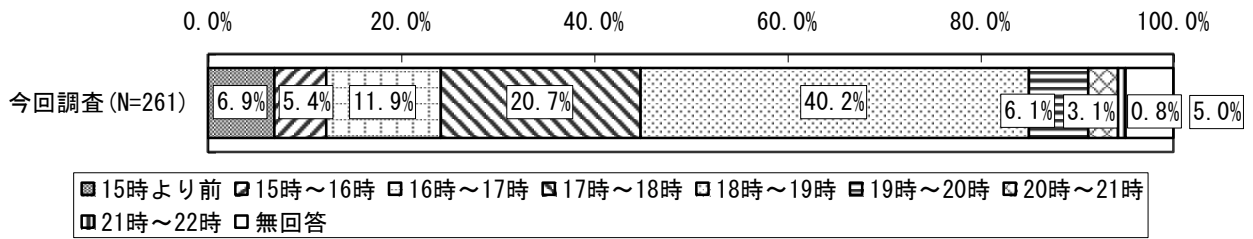


図 日曜日・祝日の定期的な教育・保育の希望利用終了時間



●校区別

校区別に日曜日・祝日の定期的な教育・保育の利用希望をみると、をみると、利用意向がある人は「久津川」と「古川」で2割以上となっています。一方、「利用する必要はない」は「久世」、「深谷」、「寺田南」、「寺田西」、「富野」、「青谷」で8割以上となっています。

表 校区別日曜日・祝日の定期的な教育・保育の利用希望

上段：回答数

下段：構成比

校区	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回は利用したい	無回答	合計
久津川	138 76.2%	5 2.8%	33 18.2%	5 2.8%	181 100.0%
古川	58 74.4%	0 0.0%	16 20.5%	4 5.1%	78 100.0%
久世	227 82.2%	4 1.4%	37 13.4%	8 2.9%	276 100.0%
深谷	94 81.7%	4 3.5%	15 13.0%	2 1.7%	115 100.0%
寺田	172 79.6%	4 1.9%	29 13.4%	11 5.1%	216 100.0%
寺田南	130 86.1%	3 2.0%	16 10.6%	2 1.3%	151 100.0%
寺田西	101 80.8%	5 4.0%	15 12.0%	4 3.2%	125 100.0%
今池	109 77.3%	3 2.1%	25 17.7%	4 2.8%	141 100.0%
富野	176 82.6%	1 0.5%	33 15.5%	3 1.4%	213 100.0%
青谷	56 81.2%	3 4.3%	10 14.5%	0 0.0%	69 100.0%
無回答	8 88.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	9 100.0%
合計	1,269 80.6%	32 2.0%	229 14.5%	44 2.8%	1,574 100.0%

●年齢別

年齢別に日曜日・祝日の定期的な教育・保育の利用希望をみると、利用意向がある人は各年齢で1割台となっています。一方、「利用する必要はない」は「1歳児」、「3歳児」、「5歳児」で8割以上となっています。

表 年齢別日曜日・祝日の定期的な教育・保育の利用希望

上段：回答数

下段：構成比

	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回は利用したい	無回答	合計
0歳児 (平成30年度生まれ)	114 79.7%	3 2.1%	21 14.7%	5 3.5%	143 100.0%
0歳児 (平成29年度生まれ)	171 77.0%	10 4.5%	34 15.3%	7 3.2%	222 100.0%
1歳児	192 84.2%	1 0.4%	31 13.6%	4 1.8%	228 100.0%
2歳児	199 79.3%	3 1.2%	39 15.5%	10 4.0%	251 100.0%
3歳児	197 82.8%	4 1.7%	35 14.7%	2 0.8%	238 100.0%
4歳児	191 78.0%	6 2.4%	41 16.7%	7 2.9%	245 100.0%
5歳児	192 83.1%	5 2.2%	28 12.1%	6 2.6%	231 100.0%
無回答	13 81.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 18.8%	16 100.0%
合計	1,269 80.6%	32 2.0%	229 14.5%	44 2.8%	1,574 100.0%

●世帯別

世帯別に日曜日・祝日の定期的な教育・保育の利用希望をみると、利用意向がある人は「ひとり親」が32.9%と多く、「月に1～2回は利用したい」は22.7%となっています。

表 世帯別日曜日・祝日の定期的な教育・保育の利用希望

上段：回答数

下段：構成比

	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回は利用したい	無回答	合計
二世帯	1,082 81.4%	22 1.7%	187 14.1%	39 2.9%	1,330 100.0%
三世帯	100 84.0%	0 0.0%	19 16.0%	0 0.0%	119 100.0%
ひとり親	56 63.6%	9 10.2%	20 22.7%	3 3.4%	88 100.0%
その他	31 86.1%	1 2.8%	3 8.3%	1 2.8%	36 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
合計	1,269 80.6%	32 2.0%	229 14.5%	44 2.8%	1,574 100.0%

●就労状況別

就労状況別に日曜日・祝日の定期的な教育・保育の利用希望をみると、利用意向がある人は「ひとり親」が32.9%、「ともにフルタイム」が23.3%となっています。

表 就労状況別日曜日・祝日の定期的な教育・保育の利用希望

上段：回答数

下段：構成比

	利用する 必要はない	ほぼ毎週 利用した い	月に1～ 2回は利 用したい	無回答	合計
ともにフルタイム	384 74.0%	17 3.3%	104 20.0%	14 2.7%	519 100.0%
一人以上がパート・アルバイト	332 82.8%	6 1.5%	56 14.0%	7 1.7%	401 100.0%
専業主婦・主夫家庭	443 89.0%	0 0.0%	44 8.8%	11 2.2%	498 100.0%
ひとり親	56 63.6%	9 10.2%	20 22.7%	3 3.4%	88 100.0%
不明・その他	54 79.4%	0 0.0%	5 7.4%	9 13.2%	68 100.0%
合計	1,269 80.6%	32 2.0%	229 14.5%	44 2.8%	1,574 100.0%

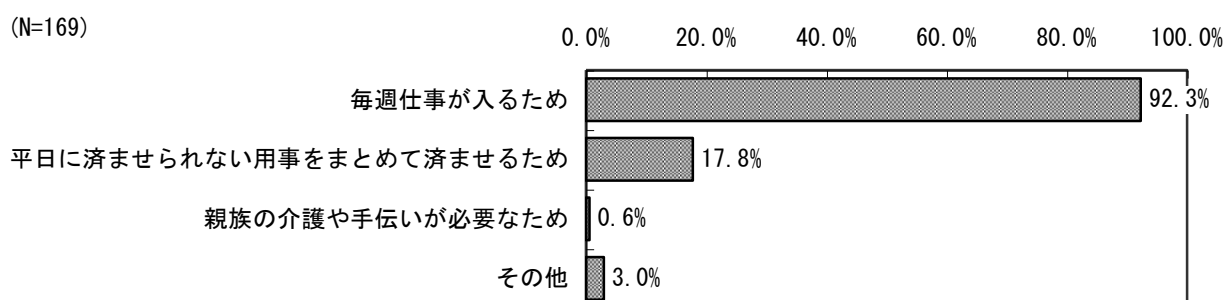
*問20-1は、問20の(1)もしくは(2)で、「2」に○をつけた方(ほぼ毎週、土日祝日に定期的な教育・保育を利用したい方)にうかがいます。

(2) 土曜日と日曜日・祝日に毎週教育・保育を利用したい理由

問20-1 毎週利用したい理由は何ですか。

土日祝日に定期的な教育・保育の利用希望がある人の理由をみると、「毎週仕事が入るため」(92.3%)が最も多くなっています。

図 土曜日と日曜日・祝日に毎週教育・保育を利用したい理由(複数回答)



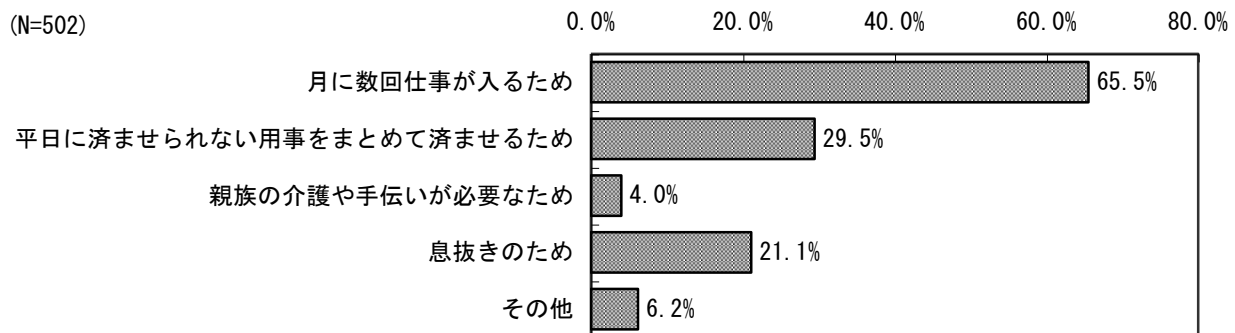
* 問 20-2 は、問 20 の (1) もしくは (2) で、「3」に○をつけた方 (月に数回、土日祝日に定期的な教育・保育を利用したい方) にうかがいます。

(3) 土曜日と日曜日・祝日にたまに教育・保育を利用したい理由

問20-2 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(○はいくつでも)

月に数回、土日祝日に定期的な教育・保育を利用したい人の理由をみると、「月に数回仕事が入るため」(65.5%) が最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(29.5%)、「息抜きのため」(21.1%) となっています。

図 土曜日と日曜日・祝日にたまに教育・保育を利用したい理由 (複数回答)



* 問 21 は、現在「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

(4) 長期休業期間中の教育・保育の利用希望

問21 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、口内に数字でご記入ください。

現在幼稚園を利用している人について、長期休業期間中の教育・保育の利用希望をみると、「週に1~2回は利用したい」(35.6%) が最も多く、「利用する必要はない」(35.3%)、「ほぼ毎日利用したい」(21.5%) となっています。

長期休業期間中の教育・保育の利用希望がある人について、希望の利用開始時間をみると、「9時~10時」(66.7%) が最も多く、次いで「8時~9時」(23.8%) となっています。また、希望の利用終了時間をみると、「15時~16時」(29.0%) が最も多く、次いで「15時より前」(23.8%)、「16時~17時」(19.0%) となっています。

図 長期休業期間中の教育・保育の利用希望 (単数回答)

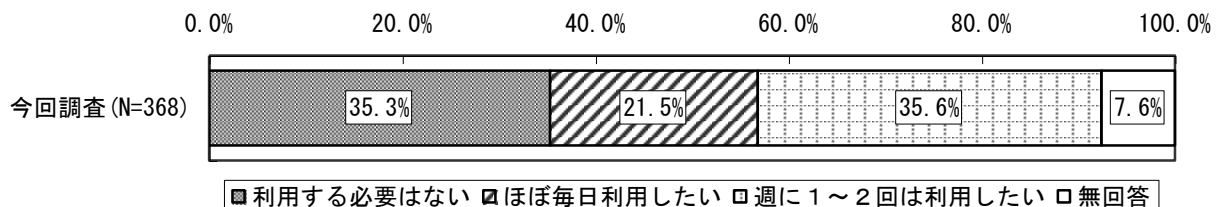


図 長期休業期間中の教育・保育の希望利用開始時間

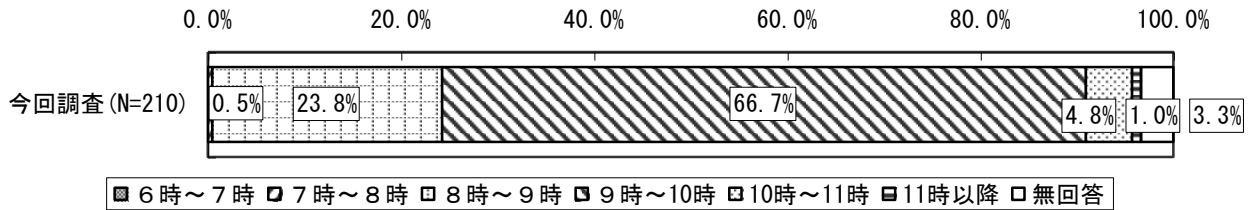
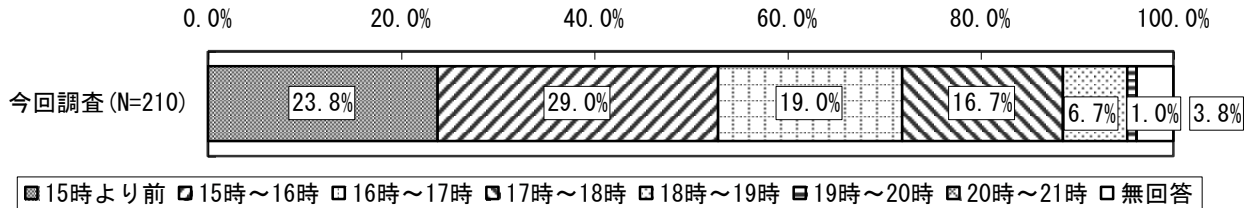


図 長期休業期間中の教育・保育の希望利用終了時間



●校区别

校区别に長期休業期間中の教育・保育の利用希望をみると、利用意向がある人（「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」の合計）は各校区で4割以上となっており、「久津川」、「古川」、「久世」、「深谷」では6割以上となっています。一方、「利用する必要はない」は「寺田南」、「富野」、「青谷」で4割以上となっています。

表 校区别長期休業期間中の教育・保育の利用希望

上段：回答数
下段：構成比

校区	利用する必要はない	ほぼ毎日利用したい	週に1～2回は利用したい	無回答	合計
久津川	8 25.0%	10 31.3%	12 37.5%	2 6.3%	32 100.0%
古川	6 21.4%	10 35.7%	12 42.9%	0 0.0%	28 100.0%
久世	22 31.9%	15 21.7%	28 40.6%	4 5.8%	69 100.0%
深谷	11 36.7%	5 16.7%	13 43.3%	1 3.3%	30 100.0%
寺田	17 36.2%	10 21.3%	13 27.7%	7 14.9%	47 100.0%
寺田南	19 42.2%	9 20.0%	11 24.4%	6 13.3%	45 100.0%
寺田西	11 37.9%	4 13.8%	13 44.8%	1 3.4%	29 100.0%
今池	10 31.3%	6 18.8%	12 37.5%	4 12.5%	32 100.0%
富野	18 43.9%	6 14.6%	14 34.1%	3 7.3%	41 100.0%
青谷	7 50.0%	4 28.6%	3 21.4%	0 0.0%	14 100.0%
無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
合計	130 35.3%	79 21.5%	131 35.6%	28 7.6%	368 100.0%

●年齢別

年齢別に長期休業期間中の教育・保育の利用希望をみると、利用意向がある人は「2歳児」から「4歳児」では6割以上となっていますが、年齢が上がるにつれて「利用する必要はない」が多くなる傾向がみられます。

表 年齢別長期休業期間中の教育・保育の利用希望

上段：回答数

下段：構成比

	利用する 必要はない	ほぼ毎日 利用した い	週に1～ 2回は利 用したい	無回答	合計
0歳児 (平成30年度生まれ)	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
0歳児 (平成29年度生まれ)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	2 100.0%
1歳児	0 0.0%	2 22.2%	1 11.1%	6 66.7%	9 100.0%
2歳児	7 19.4%	11 30.6%	14 38.9%	4 11.1%	36 100.0%
3歳児	31 34.8%	22 24.7%	33 37.1%	3 3.4%	89 100.0%
4歳児	37 33.6%	25 22.7%	42 38.2%	6 5.5%	110 100.0%
5歳児	53 44.5%	18 15.1%	41 34.5%	7 5.9%	119 100.0%
無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
合計	130 35.3%	79 21.5%	131 35.6%	28 7.6%	368 100.0%

●就労状況別

就労状況別に長期休業期間中の教育・保育の利用希望をみると、利用意向がある人は「一人以上がパート・アルバイト」では73.4%と多くなっています。

表 就労状況別長期休業期間中の教育・保育の利用希望

上段：回答数

下段：構成比

	利用する 必要はない	ほぼ毎日 利用した い	週に1～ 2回は利 用したい	無回答	合計
ともにフルタイム	9 29.0%	12 38.7%	3 9.7%	7 22.6%	31 100.0%
一人以上がパート・アルバイト	21 19.3%	33 30.3%	47 43.1%	8 7.3%	109 100.0%
専業主婦・主夫家庭	87 45.3%	27 14.1%	72 37.5%	6 3.1%	192 100.0%
ひとり親	6 26.1%	6 26.1%	4 17.4%	7 30.4%	23 100.0%
不明・その他	7 53.8%	1 7.7%	5 38.5%	0 0.0%	13 100.0%
合計	130 35.3%	79 21.5%	131 35.6%	28 7.6%	368 100.0%

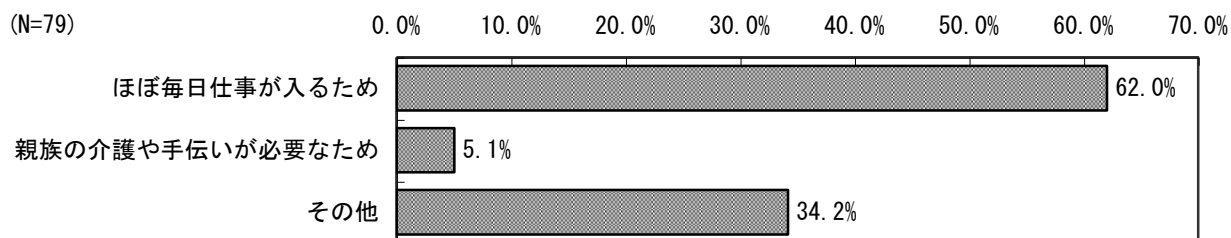
* 問 21-1 は、問 21 で「2」に○をつけた方（長期休業期間中ほぼ毎日、教育・保育を利用したい方）にうかがいます。

(5) 長期休業期間中にほぼ毎日教育・保育を利用したい理由

問21-1 ほぼ毎日利用したい理由は何ですか。

現在幼稚園を利用しており長期休業期間中ほぼ毎日、教育・保育の利用希望がある人の理由をみると、「ほぼ毎日仕事が入るため」(62.0%)が最も多く、次いで「その他」(34.2%)となっています。

図 長期休業期間中にほぼ毎日教育・保育を利用したい理由（複数回答）



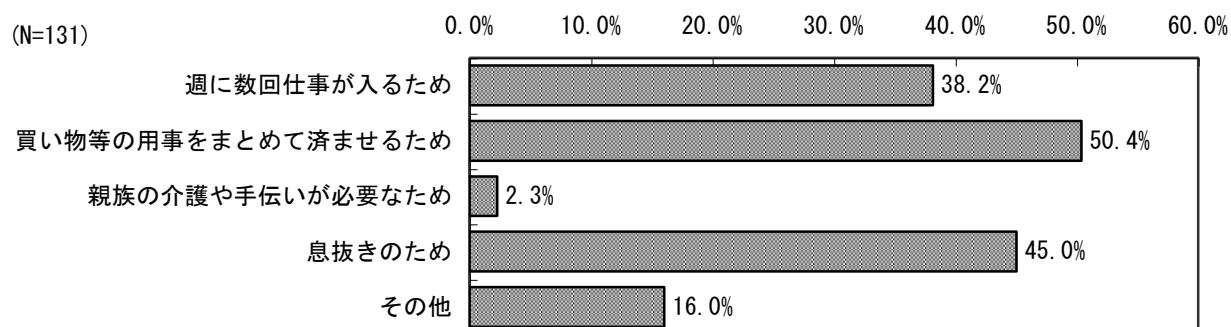
* 問 21-2 は、問 21 で「3」に○をつけた方（長期休業期間中は月に数回、教育・保育を利用したい方）にうかがいます。

(6) 長期休業期間中にたまに教育・保育を利用したい理由

問21-2 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。

現在幼稚園を利用しており長期休業期間中は月に数回、教育・保育の利用希望がある人の理由をみると、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」(50.4%)が最も多く、次いで「息抜きのため」(45.0%)、「週に数回仕事が入るため」(38.2%)となっています。

図 長期休業期間中にたまに教育・保育を利用したい理由（複数回答）



7. 子どもが病気の際の対応について

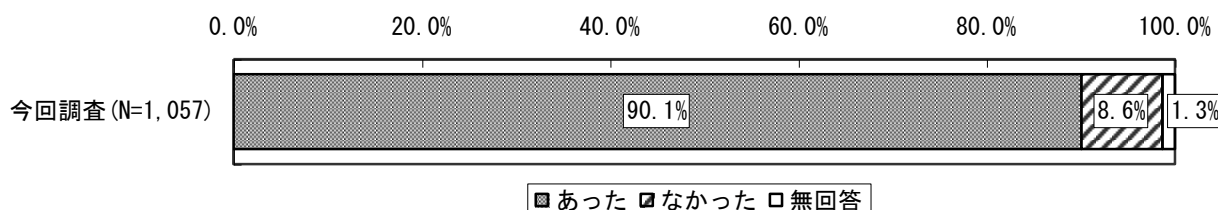
* 平日に幼稚園、保育園などを利用していると答えた保護者の方（問15で「1」に○をつけた方）にうかがいます。

（1）子どもが病気やケガで幼稚園や保育園を休んだこと

問22 この1年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだことはありますか。

平日に幼稚園、保育園などを利用している人について、子どもが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだ経験の有無をみると、「あった」が90.1%となっています。

図 子どもが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだ経験（単数回答）



●年齢別

年齢別に子どもが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだ経験をみると、各年齢で「あった」が8割以上となっており、「1歳児」から「3歳児」では9割以上となっています。

表 年齢別子どもが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだ経験

上段：回答数

下段：構成比

	あった	なかった	無回答	合計
0歳児 (平成30年度生まれ)	7 87.5%	1 12.5%	0 0.0%	8 100.0%
0歳児 (平成29年度生まれ)	48 87.3%	7 12.7%	0 0.0%	55 100.0%
1歳児	116 94.3%	6 4.9%	1 0.8%	123 100.0%
2歳児	160 94.1%	8 4.7%	2 1.2%	170 100.0%
3歳児	205 91.5%	16 7.1%	3 1.3%	224 100.0%
4歳児	215 89.6%	21 8.8%	4 1.7%	240 100.0%
5歳児	192 84.6%	32 14.1%	3 1.3%	227 100.0%
無回答	9 90.0%	0 0.0%	1 10.0%	10 100.0%
合計	952 90.1%	91 8.6%	14 1.3%	1,057 100.0%

●世帯別

世帯別に就労状況別子どもが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだ経験をみると、各世帯で「あった」が8割以上となっています。一方、「なかった」は「ひとり親」では15.3%と比較的多くなっています。

表 世帯別子どもが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだ経験

上段：回答数

下段：構成比

	あった	なかった	無回答	合計
二世帯	798	71	11	880
	90.7%	8.1%	1.3%	100.0%
三世帯	67	7	0	74
	90.5%	9.5%	0.0%	100.0%
ひとり親	58	11	3	72
	80.6%	15.3%	4.2%	100.0%
その他	29	2	0	31
	93.5%	6.5%	0.0%	100.0%
無回答	0	0	0	0
	---	---	---	---
合計	952	91	14	1,057
	90.1%	8.6%	1.3%	100.0%

●就労状況別

各就労状況で「あった」が8割を超えており、「ともにフルタイム」と「一人以上がパート・アルバイト」では9割以上となっています。

表 就労状況別子どもが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだ経験

上段：回答数

下段：構成比

	あった	なかった	無回答	合計
ともにフルタイム	351	22	2	375
	93.6%	5.9%	0.5%	100.0%
一人以上がパート・アルバイト	312	26	5	343
	91.0%	7.6%	1.5%	100.0%
専業主婦・主夫家庭	197	27	2	226
	87.2%	11.9%	0.9%	100.0%
ひとり親	58	11	3	72
	80.6%	15.3%	4.2%	100.0%
不明・その他	34	5	2	41
	82.9%	12.2%	4.9%	100.0%
合計	952	91	14	1,057
	90.1%	8.6%	1.3%	100.0%

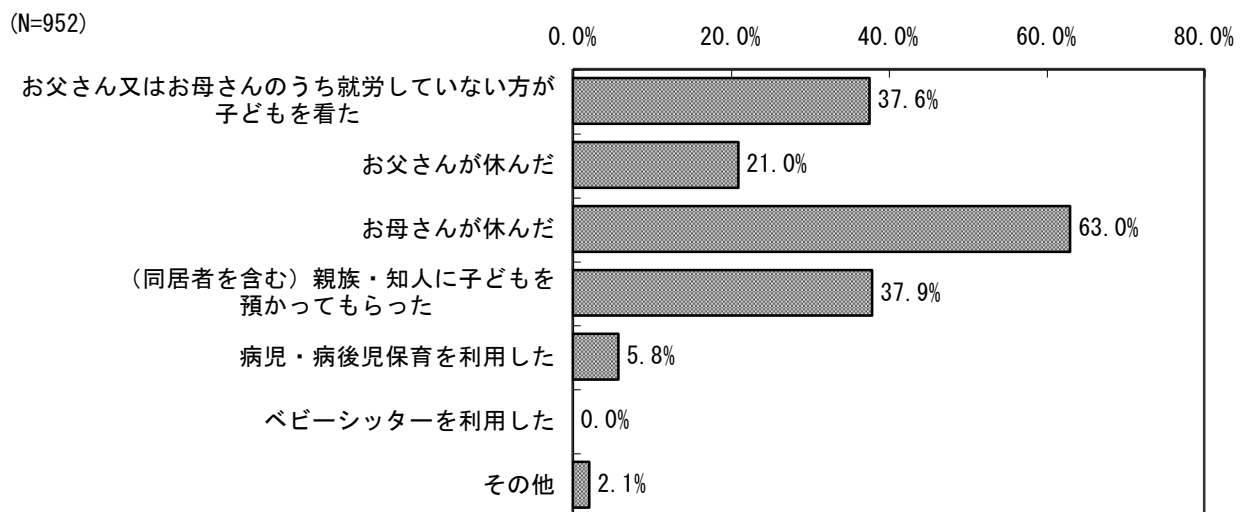
*問 22-1 は、問 22 で「1」に○をつけた方（お子さんが病気やケガで幼稚園や保育園を休んだことがあった方）にうかがいます。

(2) 子どもが病気やケガで幼稚園や保育園を休んだ際の対応

問22-1 お子さんが病気やけがで幼稚園、保育園などを休んだ場合に、この1年間に行った対応として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数も口内に数字でご記入ください。

子どもが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだ際の対処方法をみると、「お母さんが休んだ」(63.0%)が最も多く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもを預かってもらった」(37.9%)、「お父さん又はお母さんのうち就労していない方が子どもを見た」(37.6%)となっています。

図 子どもが病気やケガで幼稚園や保育園を休んだ際の対応（複数回答）



●就労状況別

就労状況別に子どもが病気やケガで幼稚園や保育園を休んだ際の対応をみると、「ともにフルタイム」、「一人以上がパート・アルバイト」、「ひとり親」では「お母さんが休んだ」が最も多く、「ともにフルタイム」、「一人以上がパート・アルバイト」では約8割となっています。「専業主婦・主夫家庭」では「お父さん又はお母さんのうち就労していない方が子どもを見た」(87.8%)が最も多くなっています。また、「ともにフルタイム」では「お父さんが休んだ」が37.0%と多くなっています。

表 就労状況別子どもが病気やケガで幼稚園や保育園を休んだ際の対応（複数回答）

上段：回答数

下段：構成比

	お父さん 又はお母 さんのう ち就労し ていない 方が子ど もを見た	お父さん が休んだ	お母さん が休んだ	(同居者 を含む) 親族・知 人に子ど もを預 かっても らった	病児・病 後児保育 を利用し た	ベビー シッター を利用し た	その他	有効回答 数
ともにフルタイム	77	130	278	196	34	0	10	351
	21.9%	37.0%	79.2%	55.8%	9.7%	0.0%	2.8%	100.0%
一人以上がパート・アルバイト	93	52	250	114	10	0	5	312
	29.8%	16.7%	80.1%	36.5%	3.2%	0.0%	1.6%	100.0%
専業主婦・主夫家庭	173	9	17	11	0	0	1	197
	87.8%	4.6%	8.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.5%	100.0%
ひとり親	8	3	37	32	5	0	1	58
	13.8%	5.2%	63.8%	55.2%	8.6%	0.0%	1.7%	100.0%
不明・その他	7	6	18	8	6	0	3	34
	20.6%	17.6%	52.9%	23.5%	17.6%	0.0%	8.8%	100.0%
合計	358	200	600	361	55	0	20	952
	37.6%	21.0%	63.0%	37.9%	5.8%	0.0%	2.1%	100.0%

<子どもが病気やケガで幼稚園や保育園を休んだ際の対応にかかった日数>

子どもが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだ際にお父さん又はお母さんのうち就労していない方が子どもを看た日数をみると、「6日以上」(47.2%)が最も多く、次いで「3日」(12.3%)、「5日」(10.6%)となっています。

子どもが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだ際にお父さんが休んだ日数をみると、「1日」(27.0%)が最も多く、次いで「2日」(25.0%)、「3日」(17.5%)となっており、2日以下が5割以上となっています。

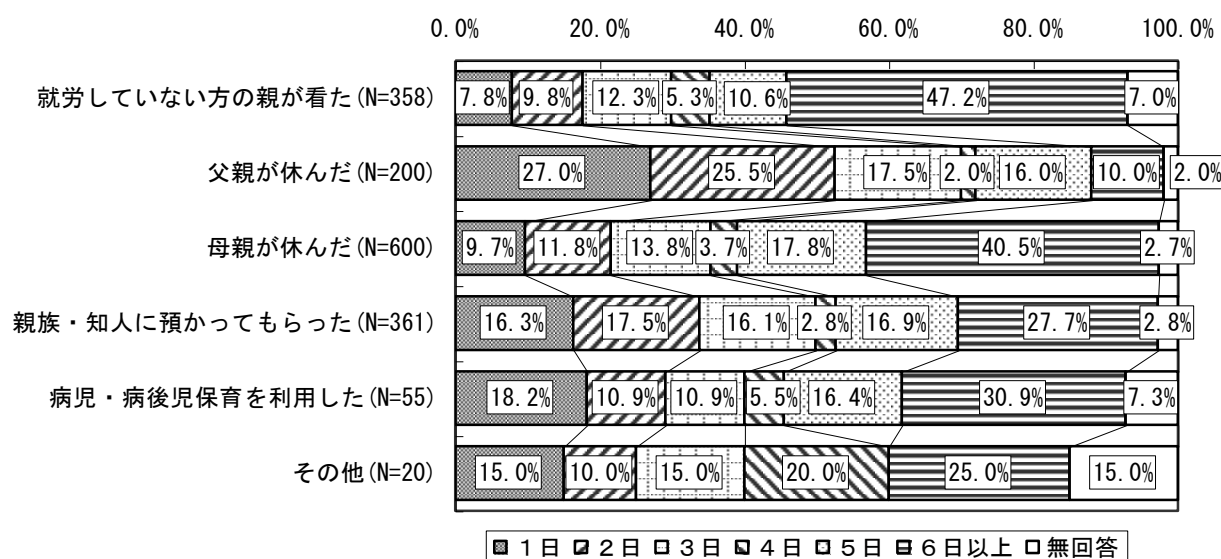
子どもが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだ際にお母さんが休んだ日数をみると、「6日以上」(40.5%)が最も多く、次いで「5日」(17.8%)、「3日」(13.8%)となっています。

子どもが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだ際に親族・知人に子どもを預かってもらった日数をみると、「6日以上」(27.7%)が最も多く、次いで「2日」(17.5%)、「5日」(16.9%)となっています。

子どもが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだ際に病児・病後児保育を利用した日数をみると、「6日以上」(30.9%)が最も多く、次いで「1日」(18.2%)、「5日」(16.4%)となっています。

子どもが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだ際にその他の対処をした日数をみると、以下の通りとなっています。

図 子どもが病気やケガで幼稚園や保育園を休んだ際の対応



(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望

* 問22-2は、問22-1で「イ」または「ウ」のいずれかに回答した方（お子さんが病気やケガで幼稚園や保育園を休んだ際にお母さん、お父さんが休んだ方）にうかがいます。

問22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号に○をつけ、必要とされた日数についても□内に数字でご記入ください。

子どもが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだ際にお父さん、お母さんが休んだ人について、病児・病後児保育施設等の利用希望の有無をみると、「利用したいとは思わない」が68.9%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が29.0%となっています。

病児・病後児保育施設の利用希望がある人について、希望の利用日数をみると、「6日以上」(26.8%)が最も多く、次いで「3日」と「5日」(共に17.5%)、「2日」(13.7%)となっています。

図 病児・病後児保育施設等の利用希望（単数回答）

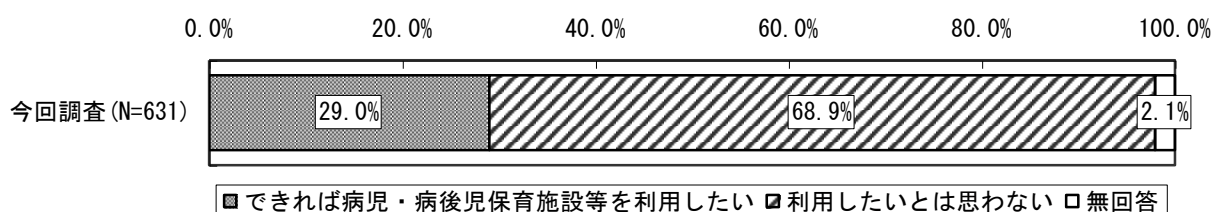
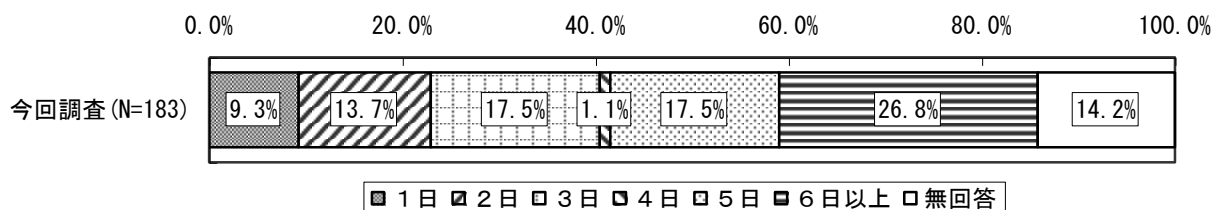


図 病児・病後児保育施設等の希望利用日数



●校區別

校區別に病児・病後児保育施設等の利用希望をみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は「久津川」、「古川」、「寺田」で3割を超えています。

表 校區別病児・病後児保育施設等の利用希望

上段：回答数

下段：構成比

	できれば 病児・病 後児保育 施設等 を利用し たい	利用した いと思 わない	無回答	合計
久津川	22 36.7%	37 61.7%	1 1.7%	60 100.0%
古川	11 42.3%	15 57.7%	0 0.0%	26 100.0%
久世	32 29.6%	75 69.4%	1 0.9%	108 100.0%
深谷	9 18.8%	38 79.2%	1 2.1%	48 100.0%
寺田	31 35.6%	56 64.4%	0 0.0%	87 100.0%
寺田南	17 24.6%	51 73.9%	1 1.4%	69 100.0%
寺田西	10 20.8%	35 72.9%	3 6.3%	48 100.0%
今池	21 29.6%	48 67.6%	2 2.8%	71 100.0%
富野	24 26.7%	64 71.1%	2 2.2%	90 100.0%
青谷	6 27.3%	14 63.6%	2 9.1%	22 100.0%
無回答	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%
合計	183 29.0%	435 68.9%	13 2.1%	631 100.0%

●年齢別

年齢別に病児・病後児保育施設等の利用希望をみると、「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」は「0歳児（平成29年度生まれ）」、「1歳児」、「4歳児」で3割以上となっています。

表 年齢別病児・病後児保育施設等の利用希望

上段：回答数

下段：構成比

	できれば 病児・病 後児保育 施設等 を利用し たい	利用した いとは思 わない	無回答	合計
0歳児 (平成30年度生まれ)	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
0歳児 (平成29年度生まれ)	16 34.8%	29 63.0%	1 2.2%	46 100.0%
1歳児	38 36.9%	62 60.2%	3 2.9%	103 100.0%
2歳児	30 26.3%	82 71.9%	2 1.8%	114 100.0%
3歳児	32 26.0%	88 71.5%	3 2.4%	123 100.0%
4歳児	43 32.8%	85 64.9%	3 2.3%	131 100.0%
5歳児	19 18.1%	85 81.0%	1 1.0%	105 100.0%
無回答	3 50.0%	3 50.0%	0 0.0%	6 100.0%
合計	183 29.0%	435 68.9%	13 2.1%	631 100.0%

●就労状況別

就労状況別に病児・病後児保育施設等の利用希望をみると、各就労状況で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は2割から3割程度となっています。

表 就労状況別病児・病後児保育施設等の利用希望

上段：回答数

下段：構成比

	できれば 病児・病 後児保育 施設等 を利用し たい	利用した いとは思 わない	無回答	合計
ともにフルタイム	98 34.0%	184 63.9%	6 2.1%	288 100.0%
一人以上がパート・アルバイト	60 23.0%	196 75.1%	5 1.9%	261 100.0%
専業主婦・主夫家庭	6 26.1%	17 73.9%	0 0.0%	23 100.0%
ひとり親	12 30.0%	27 67.5%	1 2.5%	40 100.0%
不明・その他	7 36.8%	11 57.9%	1 5.3%	19 100.0%
合計	183 29.0%	435 68.9%	13 2.1%	631 100.0%

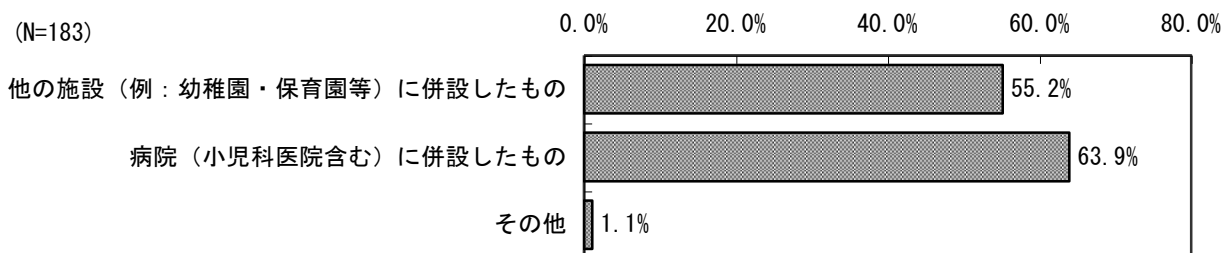
* 問 22-3 は、問 22-2 で「1」に○をつけた方（病児・病後児保育を利用したい方）にうかがいます。

(4) 病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態

問22-3 上記の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思われますか。

病児・病後児保育施設の利用希望がある人について、希望の事業形態をみると、「病院（小児科医院含む）に併設したもの」が 63.9%、「他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設したもの」が 55.2%となっています。

図 病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態（複数回答）



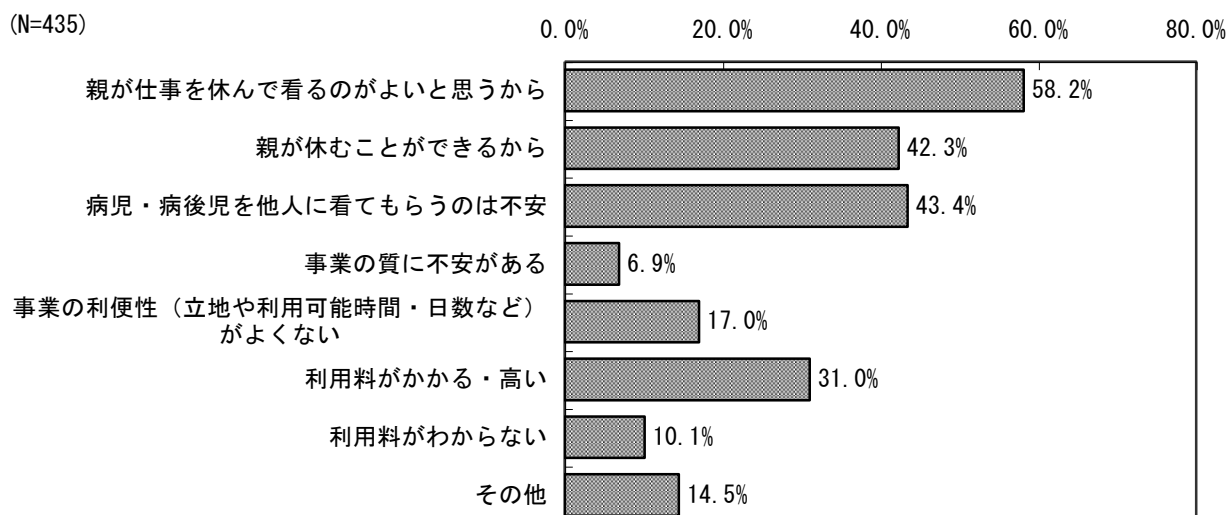
* 問 22-4 は、問 22-2 で「2」に○をつけた方（病児・病後児保育を利用したいと思わない方）にうかがいます。

(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

問22-4 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由は何ですか。

病児・病後児保育施設を利用したくない人の理由をみると、「親が仕事を休んで看るのがよいと思うから」(58.2%) が最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(43.4%)、「親が休むことができるから」(42.3%) となっています。

図 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由（複数回答）



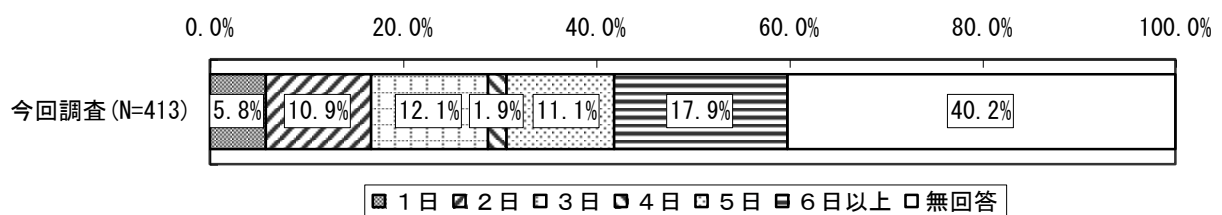
* 問 22-5～問 22-6 は、問 22-1 で「エ」から「キ」のいずれかに回答した方（お子さんが病気やケガで幼稚園・保育園等を休んだ際にお母さん、お父さんが看られなかった方）にうかがいます。

(6) 仕事を休んで子どもを見たかった日数

問22-5 その際、仕事が休めたら、何日仕事を休んで看たいと思われましたか。「エ」から「キ」の日数のうち仕事を休んで看たかったおおよその日数について数字でご記入ください。

子どもが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだ際にお母さん、お父さんが看られなかった人について、仕事を休んで看たい日数をみると、「6日以上」(17.9%)が最も多く、次いで「3日」(12.1%)、「5日」(11.1%)となっています。

図 仕事を休んで子どもを見たかった日数

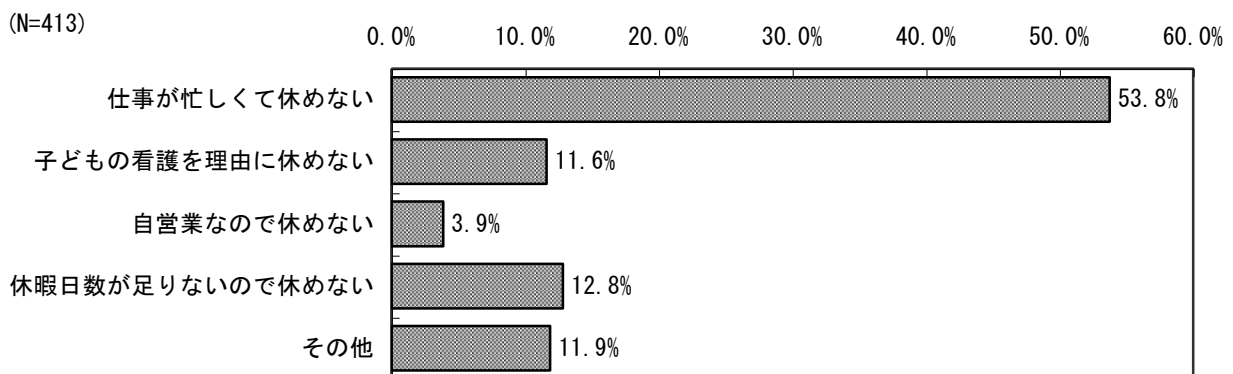


(7) 仕事を休んで子どもを看ることができなかった理由

問22-6 休んで看ることができなかった理由は何ですか。

子どもが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだ際にお母さん、お父さんが看られなかった人の理由をみると、「仕事が忙しくて休めない」(53.8%)が最も多く、次いで「休暇日数が足りないで休めない」(12.8%)、「その他」(11.9%)となっています。

図 仕事を休んで子どもを看ることができなかった理由（複数回答）



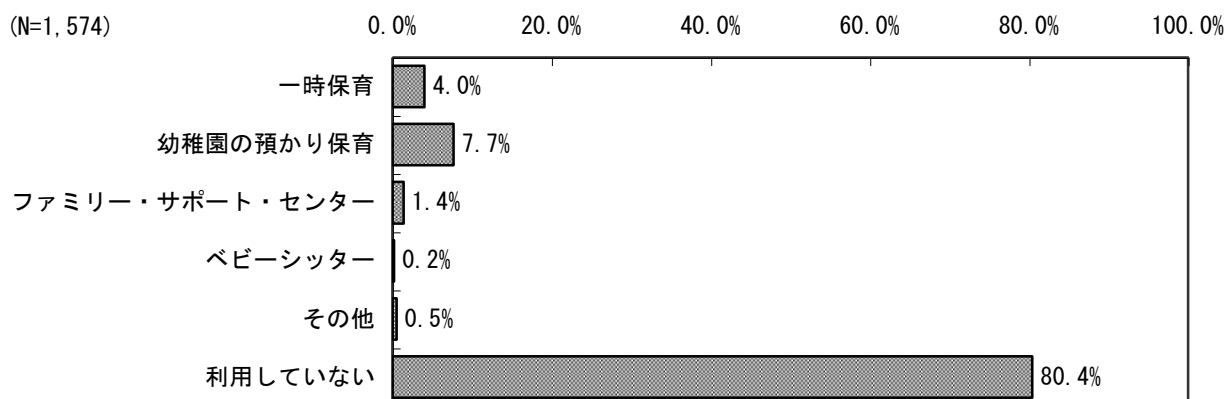
8. 不定期の一時預かり等の事業の利用について

(1) 一時預かり等の事業の不定期の利用状況

問23 お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など）で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数も口内に数字でご記入ください。

保護者の用事で不定期に利用している事業をみると、「利用していない」（80.4%）が最も多くなっており、利用している人は各事業で1割未満となっています。利用している事業では、「幼稚園の預かり保育」（7.7%）が最も多く、次いで「一時保育」（4.0%）、「ファミリー・サポート・センター」（1.4%）となっています。

図 不定期に利用している一時預かり等の事業の種類（複数回答）



<不定期に利用している一時預かり等の事業の利用日数>

保護者の用事で不定期に利用している事業のうち、一時保育の利用日数は「1日～2日」(25.4%)が最も多く、次いで「3日～5日」(20.6%)、「31日以上」(19.0%)となっています。

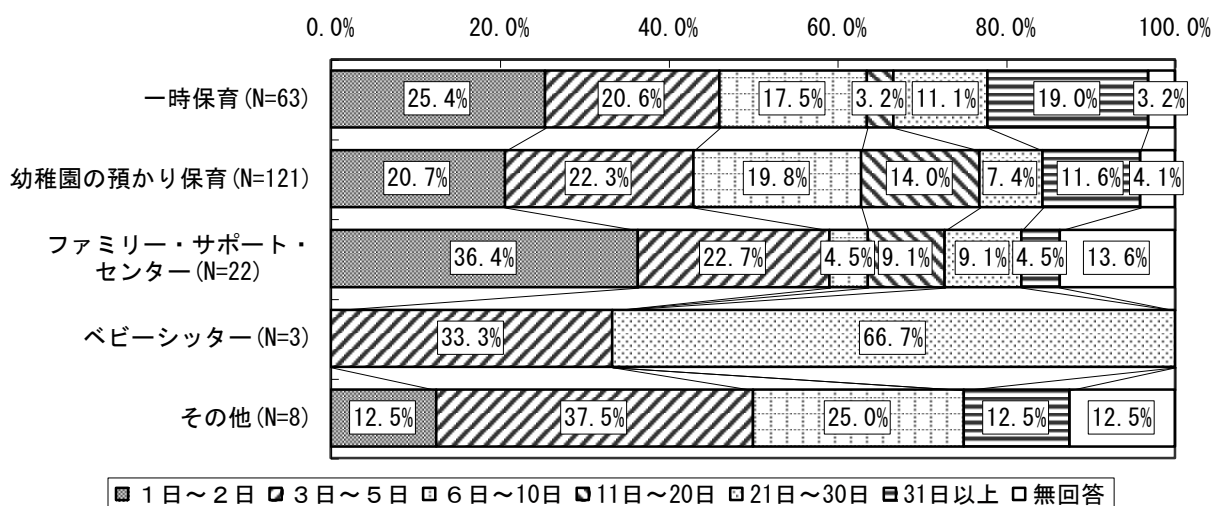
保護者の用事で不定期に利用している事業のうち、幼稚園の預かり保育の利用日数は「3日～5日」(22.3%)が最も多く、次いで「1日～2日」(20.7%)、「6日～10日」(19.8%)となっています。

保護者の用事で不定期に利用している事業のうち、ファミリー・サポート・センターの利用日数は「1日～2日」(36.4%)、「3日～5日」(22.7%)となっています。

保護者の用事で不定期に利用している事業のうち、ベビーシッターの利用日数は以下の通りとなっています。

保護者の用事で不定期に利用している事業のうち、その他の事業の利用日数は以下の通りとなっています。

図 不定期に利用している一時預かり等の事業



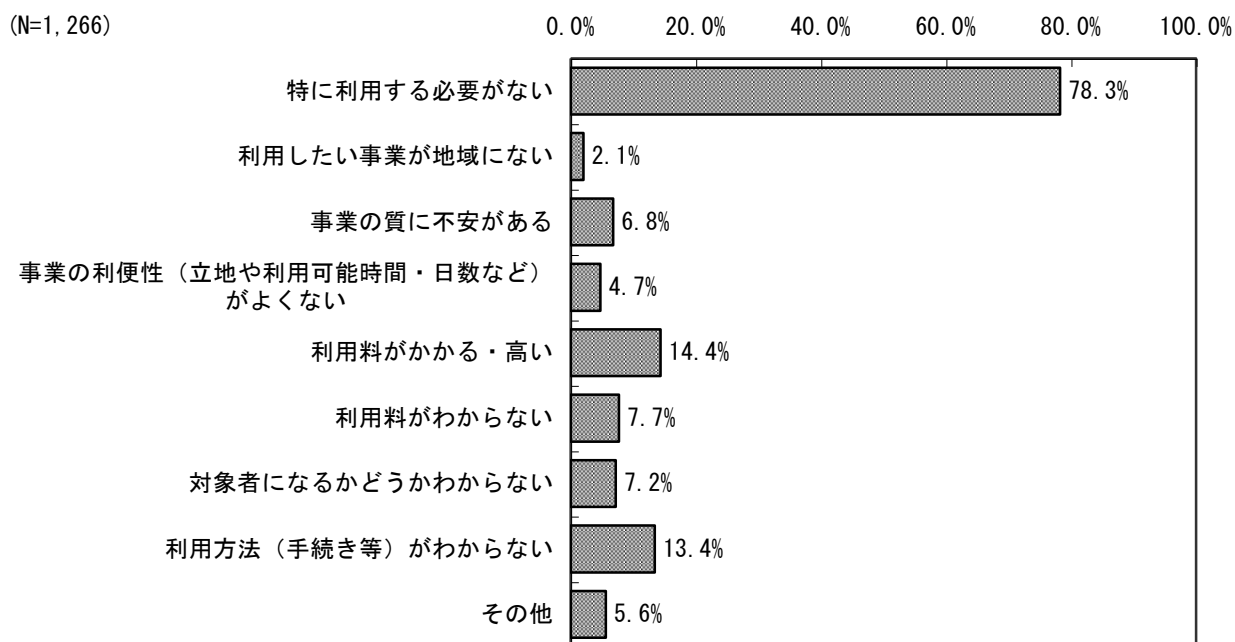
* 問 23-1 は、問 23 で「6」に○をつけた方（不定期の教育・保育利用がない方）にうかがいます。

(2) 不定期に一時預かり等の事業を利用していない理由

問23-1 現在利用していない理由は何ですか。

保護者の用事で不定期に一時預かり等の事業を利用していない人の理由をみると、「特に利用する必要がない」(78.3%)が最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」(14.4%)、「利用方法(手続き等)がわからない」(13.4%)となっています。

図 不定期に一時預かり等の事業を利用していない理由（複数回答）



(3) 一時預かり等の事業の利用意向

問24 お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など）で、年間何日くらい一時預かり等の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、おおよその必要な日数をご記入ください。

保護者の用事による不規則な一時預かり事業の利用意向をみると、「利用する必要はない」が53.4%、「利用したい」が36.0%となっています。

利用意向がある人の目的をみると、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」（66.6%）が最も多く、次いで「私用、リフレッシュ目的」（64.7%）、「不定期の就労」（33.0%）となっています。

図 一時預かり等の事業の利用意向（単数回答）

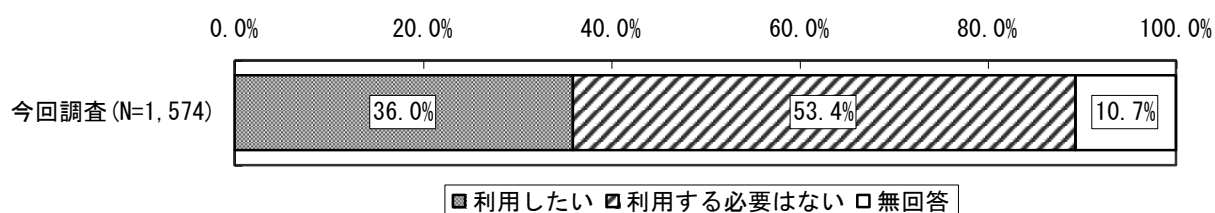
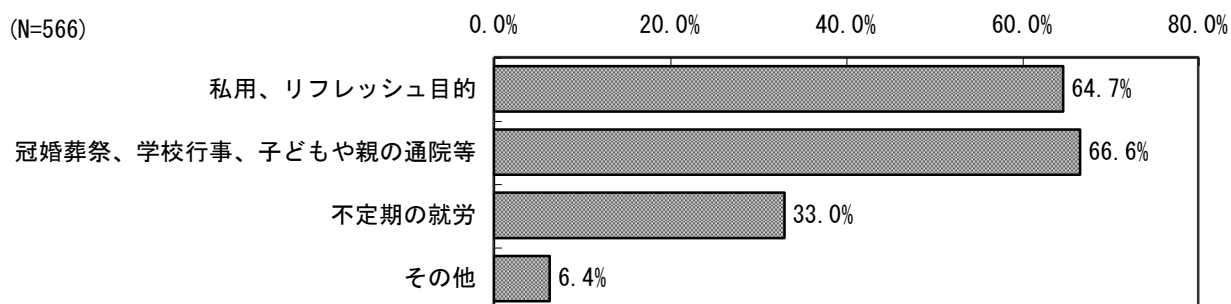


図 一時預かり等の事業の利用目的（複数回答）



<一時預かり等の事業の希望利用日数>

保護者の用事による不定期な一時預かり事業の利用意向がある人の合計希望日数をみると、「6日～10日」と「11日～20日」（共に22.4%）が最も多く、次いで「3日～5日」（15.4%）、「21日～30日」（12.4%）となっています。

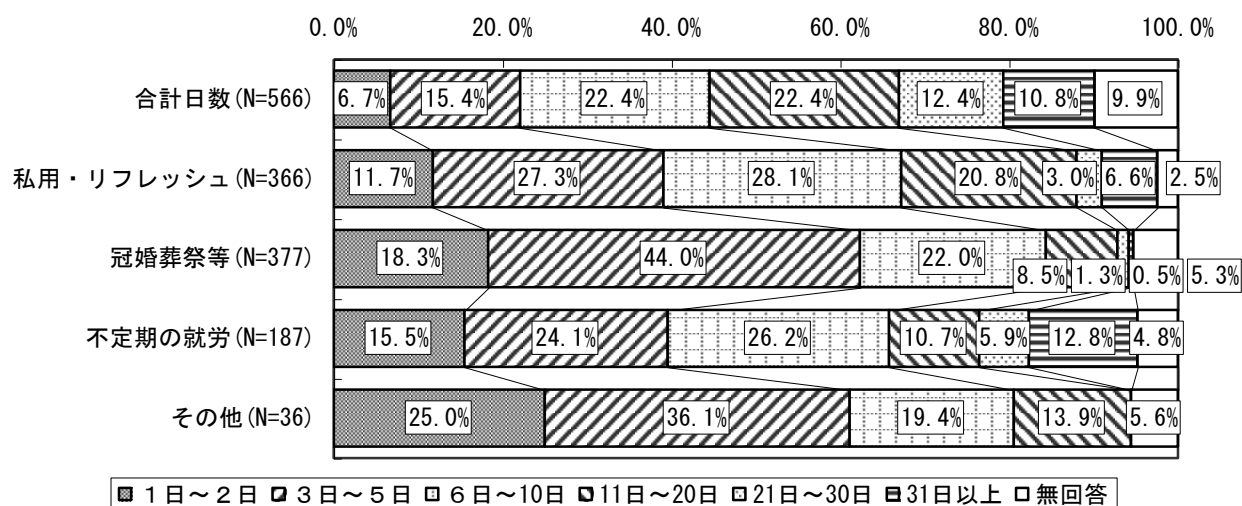
私用、リフレッシュ目的で不定期な一時預かり事業を利用したい日数をみると、「6日～10日」（28.1%）が最も多く、次いで「3日～5日」（27.3%）、「11日～20日」（20.8%）となっています。

冠婚葬祭等で保護者の用事による不定期な一時預かり事業を利用したい日数をみると、「3日～5日」（44.0%）が最も多く、次いで「6日～10日」（22.0%）、「1日～2日」（18.3%）となっています。

不定期の就労で不定期な一時預かり事業を利用したい日数をみると、「6日～10日」（26.2%）が最も多く、次いで「3日～5日」（24.1%）、「1日～2日」（15.5%）となっています。

その他の目的で不定期な一時預かり事業を利用したい日数をみると、「3日～5日」（36.1%）が最も多く、次いで「1日～2日」（25.0%）、「6日～10日」（19.4%）となっています。

図 一時預かり等の事業の希望利用日数



●校區別

校區別に一時預かり等の事業の利用意向をみると、「利用したい」は「今池」、「富野」を除いた各校区で3割以上となっており、「久世」、「深谷」、「寺田西」では4割以上となっています。

表 校區別一時預かり等の事業の利用意向

上段：回答数

下段：構成比

	利用したい	利用する必要はない	無回答	合計
久津川	69	91	21	181
	38.1%	50.3%	11.6%	100.0%
古川	29	41	8	78
	37.2%	52.6%	10.3%	100.0%
久世	111	130	35	276
	40.2%	47.1%	12.7%	100.0%
深谷	48	58	9	115
	41.7%	50.4%	7.8%	100.0%
寺田	74	118	24	216
	34.3%	54.6%	11.1%	100.0%
寺田南	55	82	14	151
	36.4%	54.3%	9.3%	100.0%
寺田西	51	65	9	125
	40.8%	52.0%	7.2%	100.0%
今池	38	90	13	141
	27.0%	63.8%	9.2%	100.0%
富野	63	125	25	213
	29.6%	58.7%	11.7%	100.0%
青谷	26	35	8	69
	37.7%	50.7%	11.6%	100.0%
無回答	2	5	2	9
	22.2%	55.6%	22.2%	100.0%
合計	566	840	168	1,574
	36.0%	53.4%	10.7%	100.0%

●年齢別

年齢別に一時預かり等の事業の利用意向をみると、各年齢で「利用したい」は3割以上となっています。

表 年齢別一時預かり等の事業の利用意向

上段：回答数

下段：構成比

	利用したい	利用する必要はない	無回答	合計
0歳児 (平成30年度生まれ)	44 30.8%	82 57.3%	17 11.9%	143 100.0%
0歳児 (平成29年度生まれ)	86 38.7%	113 50.9%	23 10.4%	222 100.0%
1歳児	81 35.5%	124 54.4%	23 10.1%	228 100.0%
2歳児	76 30.3%	145 57.8%	30 12.0%	251 100.0%
3歳児	90 37.8%	127 53.4%	21 8.8%	238 100.0%
4歳児	93 38.0%	124 50.6%	28 11.4%	245 100.0%
5歳児	91 39.4%	119 51.5%	21 9.1%	231 100.0%
無回答	5 31.3%	6 37.5%	5 31.3%	16 100.0%
合計	566 36.0%	840 53.4%	168 10.7%	1,574 100.0%

●世帯別

世帯別に一時預かり等の事業の利用意向をみると、各世帯で「利用したい」は3割以上となっています。

表 世帯別一時預かり等の事業の利用意向

上段：回答数

下段：構成比

	利用したい	利用する必要はない	無回答	合計
二世帯	482 36.2%	708 53.2%	140 10.5%	1,330 100.0%
三世帯	44 37.0%	62 52.1%	13 10.9%	119 100.0%
ひとり親	29 33.0%	48 54.5%	11 12.5%	88 100.0%
その他	11 30.6%	22 61.1%	3 8.3%	36 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
合計	566 36.0%	840 53.4%	168 10.7%	1,574 100.0%

●就労状況別

就労状況別に一時預かり等の事業の利用意向をみると、各就労状況で利用したいは3割から4割程度となっており、「専業主婦・主夫家庭」では40.8%となっています。

表 就労状況別一時預かり等の事業の利用意向

上段：回答数

下段：構成比

	利用したい	利用する必要はない	無回答	合計
ともにフルタイム	172 33.1%	301 58.0%	46 8.9%	519 100.0%
一人以上がパート・アルバイト	142 35.4%	215 53.6%	44 11.0%	401 100.0%
専業主婦・主夫家庭	203 40.8%	247 49.6%	48 9.6%	498 100.0%
ひとり親	29 33.0%	48 54.5%	11 12.5%	88 100.0%
不明・その他	20 29.4%	29 42.6%	19 27.9%	68 100.0%
合計	566 36.0%	840 53.4%	168 10.7%	1,574 100.0%

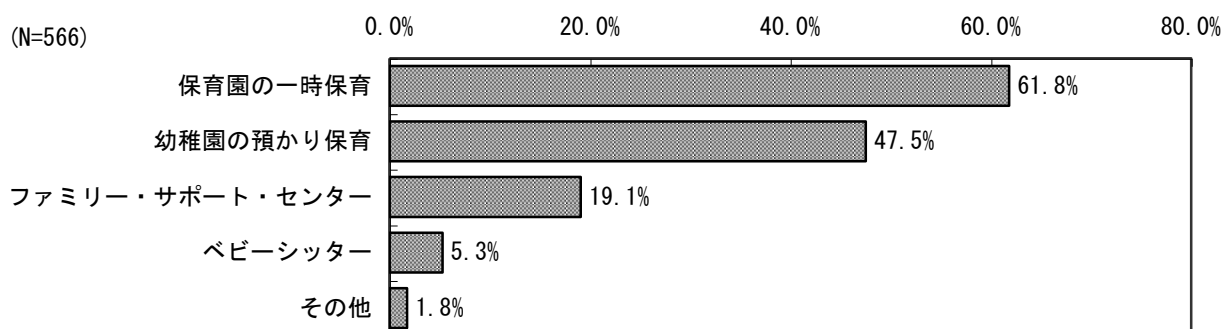
* 問24-1は、問24で「1」に回答した方（一時預かり等の事業を利用したい方）にうかがいます。

(4) 一時預かり等の事業の望ましい事業形態

問24-1 問24の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思われますか。

保護者の用事による不定期な一時預かり事業の利用意向がある人について、希望の事業形態をみると、「保育園の一時保育」(61.8%)が最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」(47.5%)、「ファミリー・サポート・センター」(19.1%)となっています。

図 一時預かり等の事業の望ましい事業形態（複数回答）



(5) 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならなかったこと

問25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など）により、お子さんを泊まりがけで家族以外に預かってもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対応として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

宿泊を伴う子どもの一時預かりが必要になった経験の有無をみると、「なかった」が78.9%、「あった」が15.8%となっています。

宿泊を伴う子どもの一時預かりが必要になったことがあった場合の対処方法をみると、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」(82.7%)が最も多く、次いで「子どもを同行させた」(20.6%)となっています。

図 子どもを泊まりがけで家族以外に預かってもらう必要があったか（単数回答）

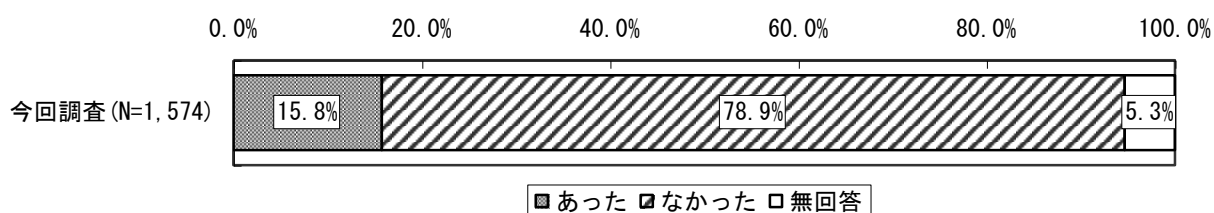
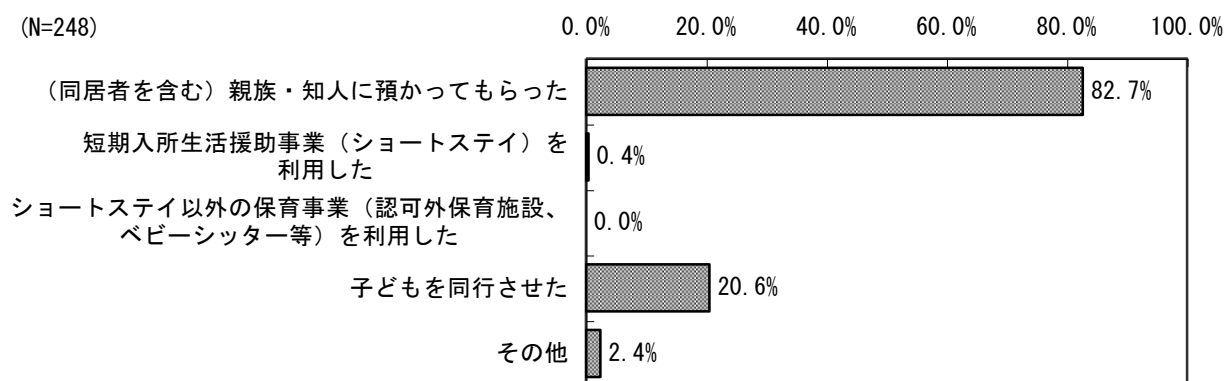


図 子どもを泊まりがけで家族以外に預かってもらう必要があった場合の対処方法（複数回答）



<子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらう必要があった際の対応日数>

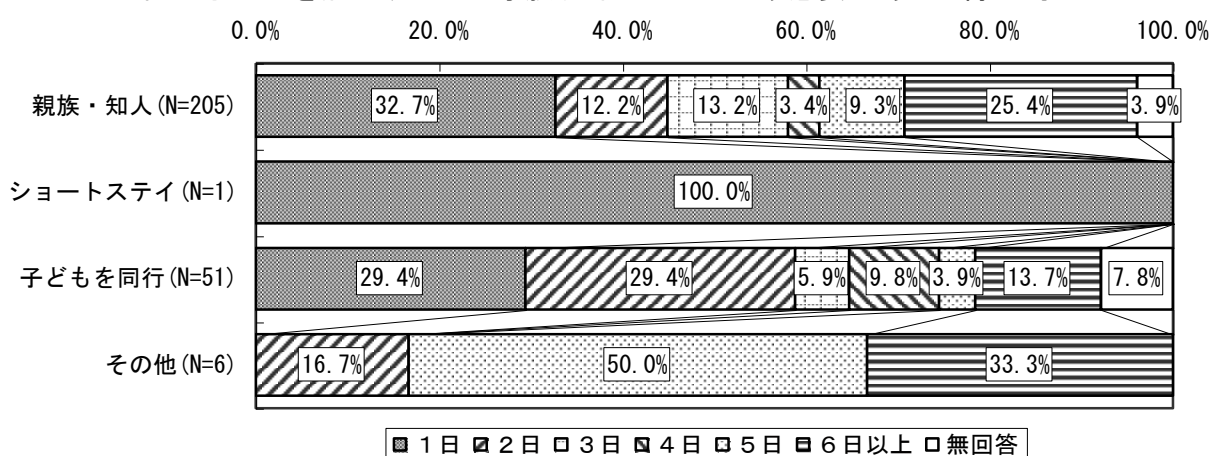
宿泊を伴う一時預かりが必要になったことがあった場合、親族・知人に預かってもらった日数をみると、「1日」(32.7%)が最も多く、次いで「6日以上」(25.4%)、「3日」(13.2%)となっています。

宿泊を伴う一時預かりが必要になったことがあった場合、短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した日数をみると、以下の通りとなっています。

宿泊を伴う一時預かりが必要になったことがあった場合、子どもを同行させた日数をみると、「1日」と「2日」(共に29.4%)が最も多く、次いで「6日以上」(13.7%)となっています。

宿泊を伴う一時預かりが必要になったことがあった場合、その他の対応をした日数をみると、以下の通りとなっています。

図 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらう必要があった際の対応



●年齢別

年齢別に子どもを泊まりがけで家族以外に預かってもらう必要があった場合の対処方法をみると、「あった」は「0歳児(平成29年度生まれ)」を除いた各年齢で1割以上となっています。

表 年齢別子どもを泊まりがけで家族以外に預かってもらう必要があった場合の対処方法(複数回答)

	上段：回答数			合計
	あった	なかった	無回答	
0歳児 (平成30年度生まれ)	16 11.2%	118 82.5%	9 6.3%	143 100.0%
0歳児 (平成29年度生まれ)	20 9.0%	187 84.2%	15 6.8%	222 100.0%
1歳児	39 17.1%	182 79.8%	7 3.1%	228 100.0%
2歳児	46 18.3%	190 75.7%	15 6.0%	251 100.0%
3歳児	43 18.1%	186 78.2%	9 3.8%	238 100.0%
4歳児	38 15.5%	192 78.4%	15 6.1%	245 100.0%
5歳児	42 18.2%	180 77.9%	9 3.9%	231 100.0%
無回答	4 25.0%	7 43.8%	5 31.3%	16 100.0%
合計	248 15.8%	1,242 78.9%	84 5.3%	1,574 100.0%

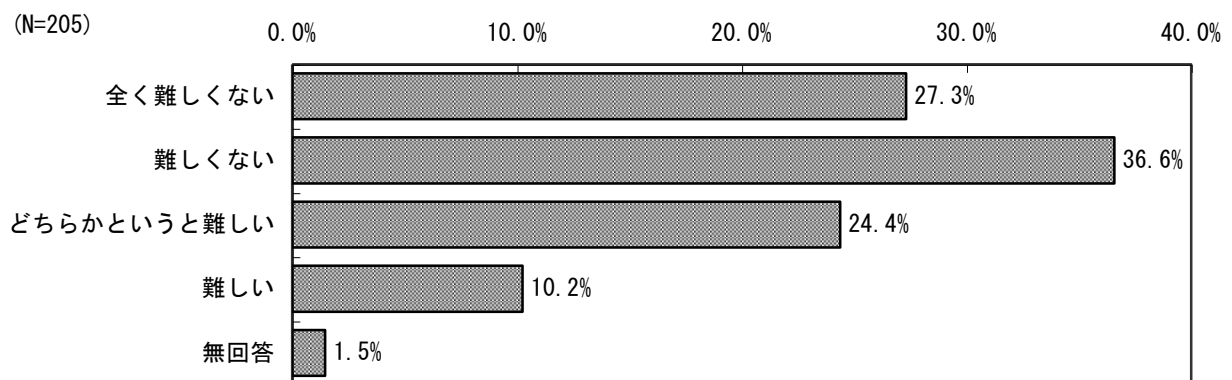
* 問 25-1 は、問 25 で「ア」と回答した方（お子さんを泊まりがけで親族・知人に預かってもらった方）にうかがいます。

(5) 泊まりがけで家族以外に子どもをみてもらう必要があった際の困難度

問25-1 お子さんを泊まりがけで親族・知人に預かってもらうことを頼むのは難しいですか。

宿泊を伴う一時預かりが必要になったことがあった場合、親族・知人に預かってもらった困難度をみると、「難しくない」(36.6%) が最も多く、次いで「全く難しくない」(27.3%)、「どちらかというとなりに難しい」(24.4%) となっています。「全く難しくない」と「難しくない」を合わせると、親族・知人に預かってもらうことが難しくない人が 63.9% となっています。

図 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらう必要があった際の困難度（単数回答）



9. 小学校就学後の放課後の過ごし方

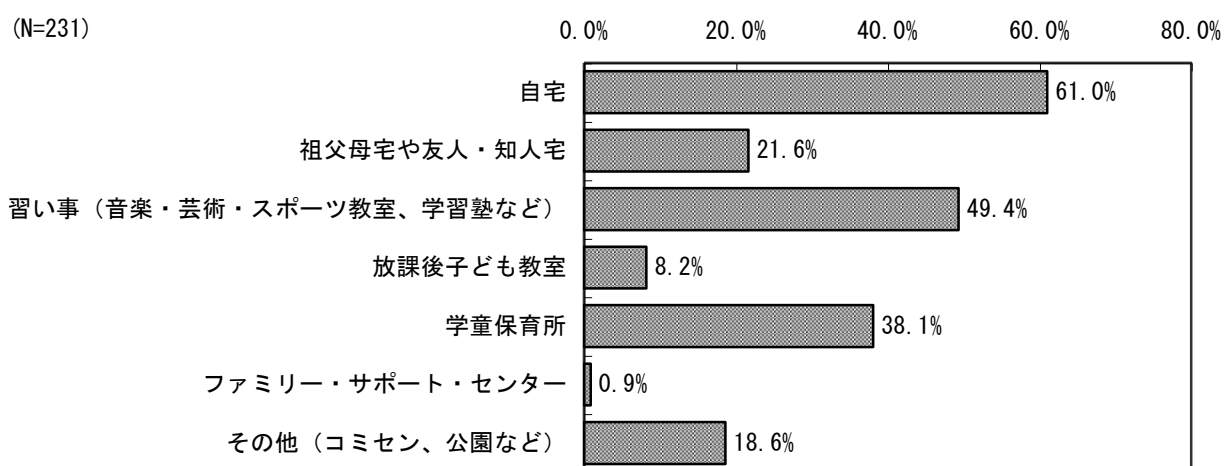
* 調査対象の子どもが5歳以上の方にかがいます。

(1) 小学校低学年（1～3年）の放課後の過ごし方の希望

問26 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育所」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

5歳以上の子どもについて、小学校低学年時の放課後の過ごし方の希望をみると、「自宅」(61.0%)が最も多く、次いで「習い事（音楽・芸術・スポーツ教室、学習塾など）」(49.4%)、「学童保育所」(38.1%)となっています。

図 小学校低学年の放課後に過ごさせたい場所（複数回答）



<小学校低学年の放課後の過ごし方別 1 週当たり希望日数>

小学校低学年時の放課後に自宅で過ごさせたい日数をみると、「5 日以上」(31.2%) が最も多く、次いで「3 日」(22.0%)、「2 日」(19.9%) となっています。

小学校低学年時の放課後に祖父母宅や友人・知人宅で過ごさせたい日数をみると、「1 日」(48.0%) が最も多く、次いで「2 日」(22.0%)、「5 日以上」(18.0%) となっています。

小学校低学年時の放課後に習い事で過ごさせたい日数をみると、「2 日」(45.6%) が最も多く、次いで「1 日」(34.2%)、「3 日」(13.2%) となっています。

小学校低学年時の放課後に放課後子ども教室で過ごさせたい日数をみると、以下の通りとなっています。

小学校低学年時の放課後に学童保育で過ごさせたい日数をみると、「5 日以上」(76.1%) が最も多く、次いで「3 日」(11.4%)、となっています。また、希望の利用終了時間をみると、「18 時～19 時」(46.6%) が最も多く、次いで「17 時～18 時」(22.7%)、「19 時～20 時」(20.5%) となっています。

小学校低学年時の放課後にファミリー・サポート・センターで過ごさせたい日数をみると、以下の通りとなっています。

小学校低学年時の放課後にその他の場所で過ごさせたい日数をみると、「2 日」(37.2%) が最も多く、次いで「1 日」(30.2%)、「3 日」(14.0%) となっています。

図 小学校低学年の放課後の過ごし方

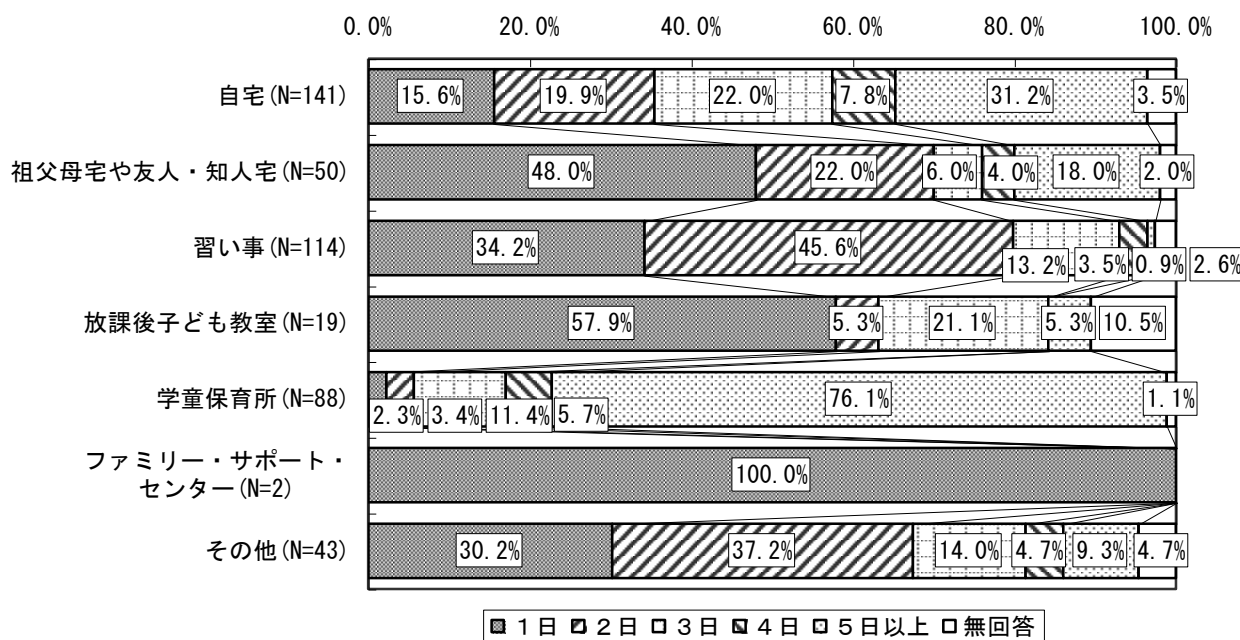
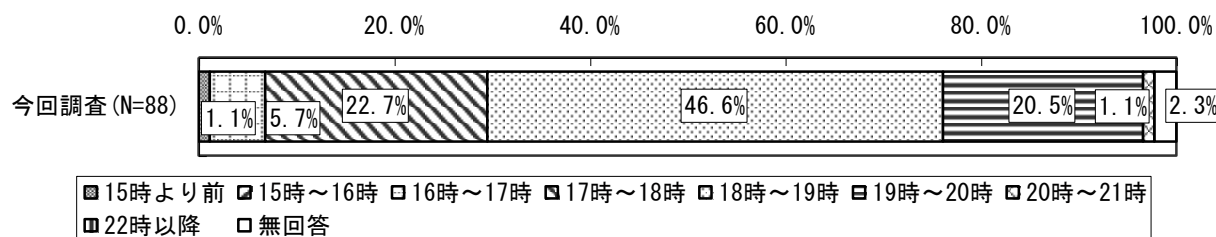


図 小学校低学年時の学童保育所の希望利用終了時間

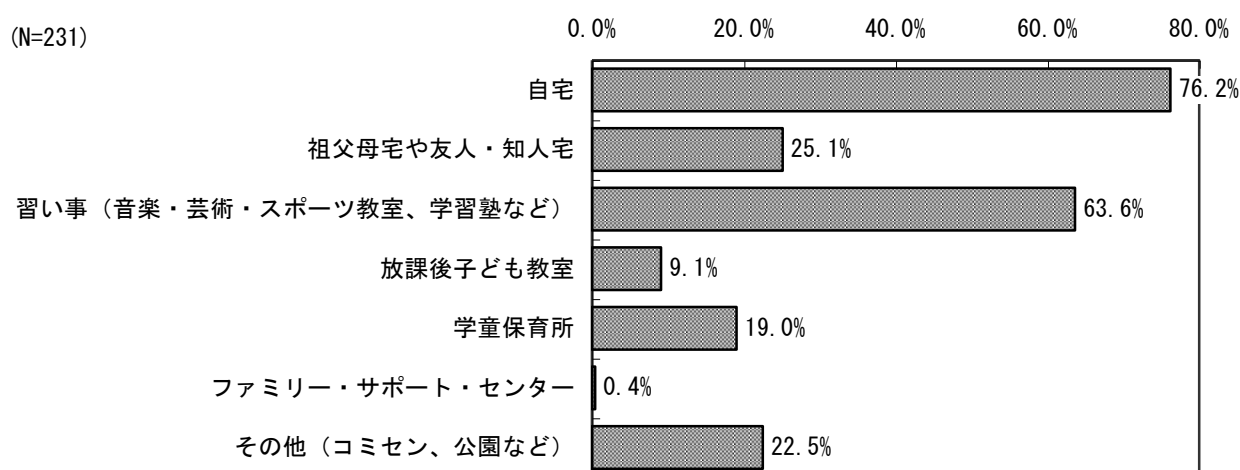


(2) 小学校高学年（4～6年）の放課後の過ごし方の希望

問27 お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育所」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

5歳以上の子どもについて、小学校高学年時の放課後の過ごし方の希望をみると、「自宅」(76.2%)が最も多く、次いで「習い事(音楽・芸術・スポーツ教室、学習塾など)」(63.6%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(25.1%)となっています。

図 小学校高学年の放課後に過ごさせたい場所（複数回答）



<小学校高学年の放課後の過ごし方別 1週当たり希望日数>

小学校高学年時の放課後に自宅で過ごさせたい日数をみると、「5日以上」(29.5%)が最も多く、次いで「1日」と「3日」(共に18.8%)、「2日」(17.6%)となっています。

小学校高学年時の放課後に祖父母宅や友人・知人宅で過ごさせたい日数をみると、「1日」(50.0%)が最も多く、次いで「2日」(20.7%)、「5日以上」(10.3%)となっています。

小学校高学年時の放課後に習い事で過ごさせたい日数をみると、「2日」(42.9%)が最も多く、次いで「3日」(23.8%)、「1日」(22.4%)となっています。

小学校高学年時の放課後に放課後子ども教室で過ごさせたい日数をみると、「1日」(61.9%)が最も多く、次いで「2日」と「3日」(共に14.3%)となっています。

小学校高学年時の放課後に学童保育所で過ごさせたい日数をみると、「5日以上」(52.3%)が最も多く、次いで「3日」(25.0%)となっています。また、希望の利用終了時間をみると、「18時～19時」(45.5%)が最も多く、次いで「19時～20時」(25.0%)、「17時～18時」(22.7%)となっています。

図 小学校高学年の放課後の過ごし方

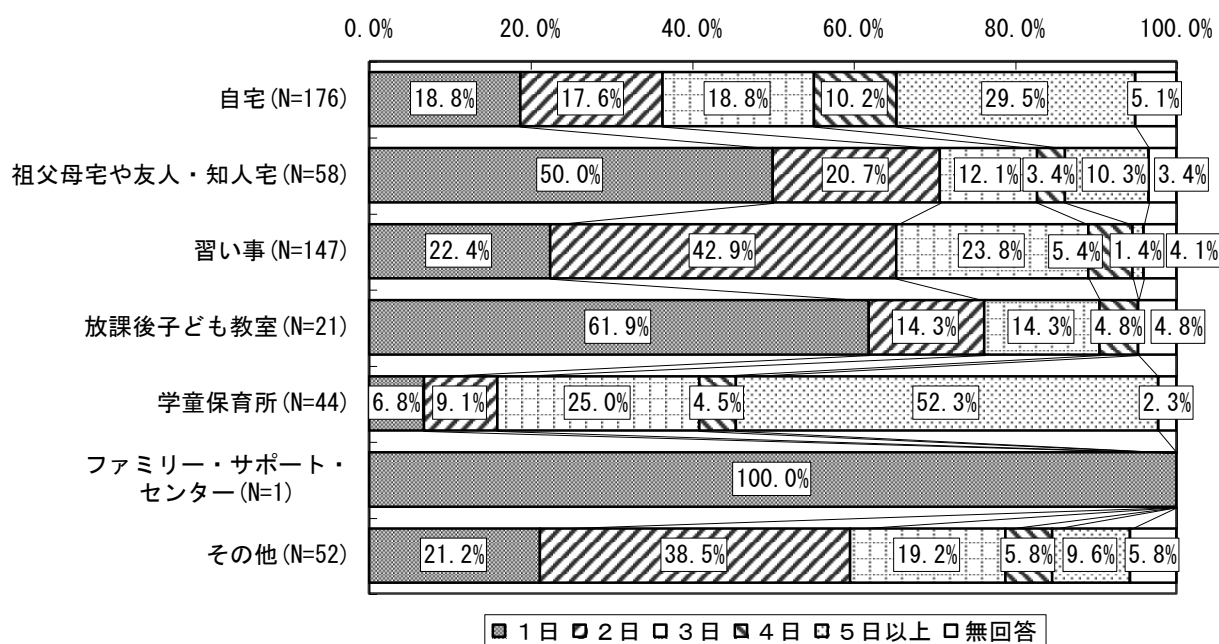
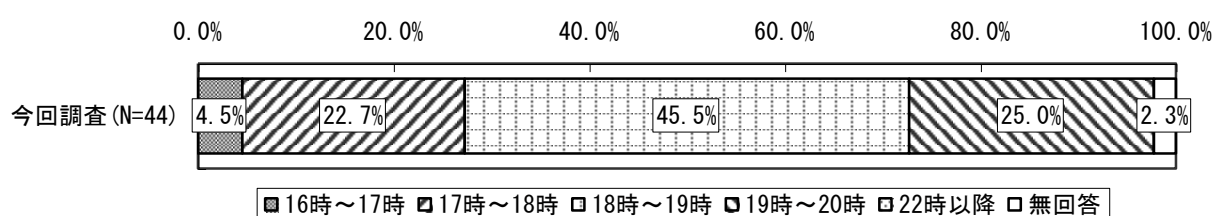


図 小学校高学年時の学童保育所の希望利用終了時間



* 問 28～問 29 は、問 26 または問 27 で「5」に○をつけた方（学童保育所の利用希望がある方）にうかがいます。

(3) 土曜日の学童保育所の利用希望

問28 お子さんについて、土曜日に、学童保育所の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号に○をつけてください。また、利用したい時間帯を、口内に数字でご記入ください。

小学校就学後の放課後に学童保育所の利用希望がある人について、土曜日の学童保育所の利用希望をみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（34.8%）が最も多く、次いで「利用する必要はない」（32.6%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（22.8%）となっています。

土曜日の学童保育所の利用希望がある人について、希望の利用開始時間をみると、「8時～9時」（56.6%）が最も多く、次いで「9時～10時」（22.6%）、「7時～8時」（11.3%）となっています。また、希望の利用終了時間をみると、「18時～19時」（43.4%）が最も多く、次いで「17時～18時」（22.6%）、「19時～20時」（15.1%）となっています。

図 土曜日の学童保育所の利用希望（単数回答）

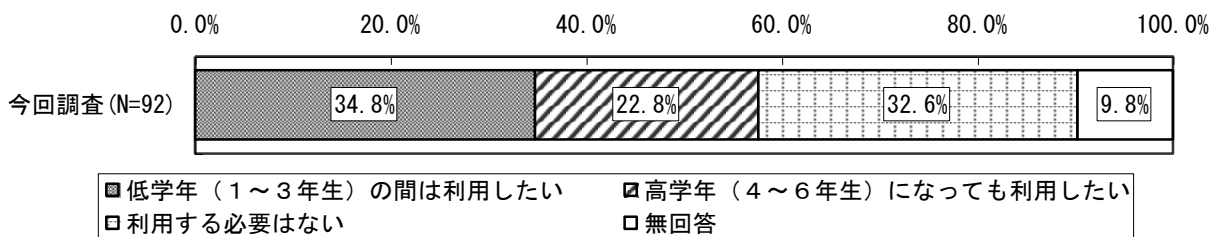


図 土曜日の学童保育所の希望利用開始時間

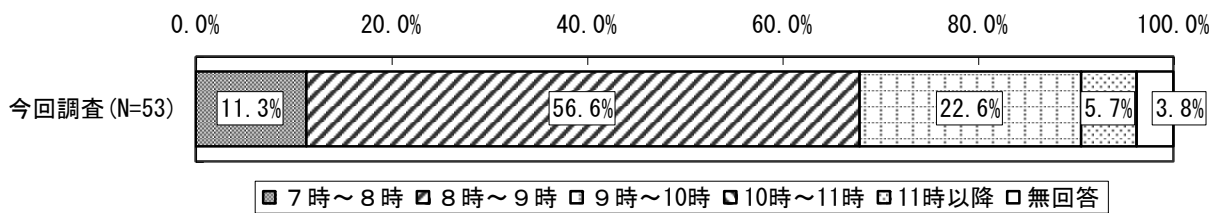
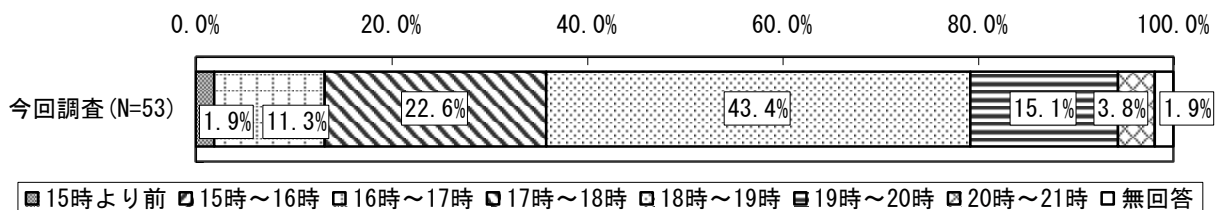


図 土曜日の学童保育所の希望利用終了時間



(4) 長期休業期間中の学童保育所の利用希望

問29 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の学童保育所の利用希望はありますか。利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号に○をつけてください。また、利用したい時間帯を、口内に数字でご記入ください。

小学校就学後の放課後に学童保育所の利用希望がある人について、長期休業期間中の学童保育所の利用希望をみると、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（51.1%）が最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（38.0%）となっています。

長期休業期間中に学童保育所の利用希望がある人について、希望の利用開始時間をみると、「8時～9時」（64.6%）が最も多く、次いで「9時～10時」（18.3%）、「7時～8時」（12.2%）となっています。また、希望の利用終了時間をみると、「18時～19時」（51.2%）が最も多く、次いで「17時～18時」（22.0%）、「19時～20時」（15.9%）となっています。

図 長期休業期間中の学童保育所の利用希望（単数回答）

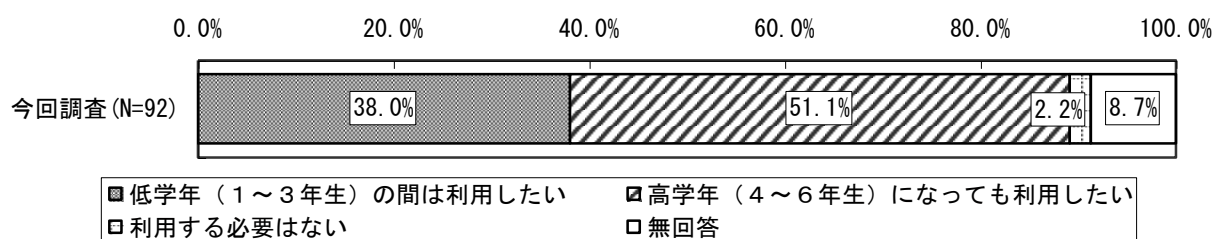


図 長期休業期間中の学童保育所の希望利用開始時間

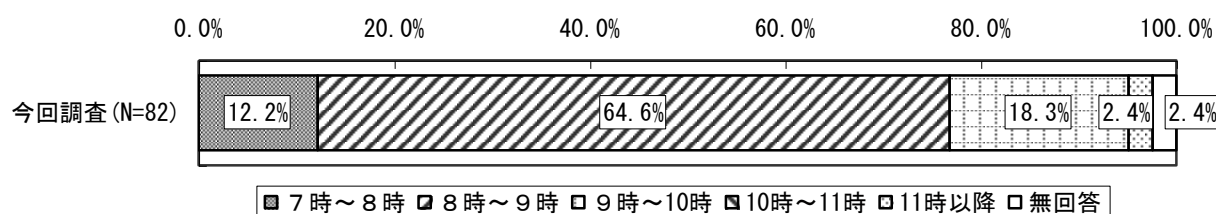
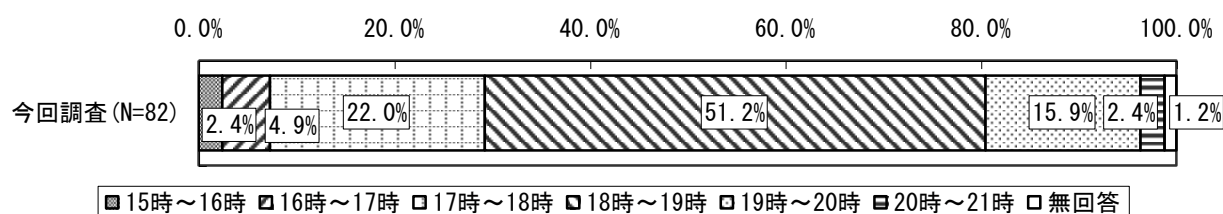


図 長期休業期間中の学童保育所の希望利用終了時間



10. 仕事と育児の両立支援制度

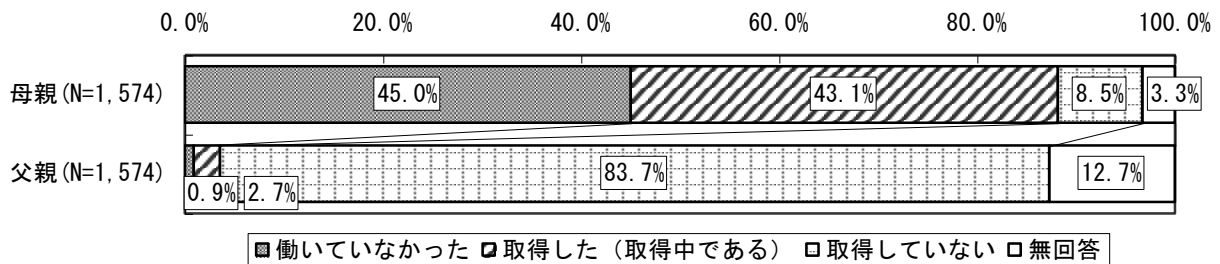
(1) 父母の育児休業の取得状況

問30 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

母親の育児休業の取得状況をみると、「働いていなかった」(45.0%)が最も多く、次いで「取得した(取得中である)」(43.1%)、「取得していない」(8.5%)となっています。

父親の育児休業の取得状況をみると、「取得していない」(83.7%)が最も多く、「取得した(取得中である)」は2.7%となっています。

図 父母の育児休業の取得状況(単数回答)



●世帯別

世帯別に母親の育児休業の取得状況をみると、「三世代」と「ひとり親」で「働いていなかった」が最も多く約5割となっています。「二世代」では「取得した(取得中である)」(44.8%)が最も多くなっています。一方、「取得していない」は「ひとり親」が17.0%と多くなっています。

表 世帯別母親の育児休業の取得状況

上段：回答数
下段：構成比

	働いていなかった	取得した(取得中である)	取得していない	無回答	合計
二世代	588	596	105	41	1,330
	44.2%	44.8%	7.9%	3.1%	100.0%
三世代	62	48	8	1	119
	52.1%	40.3%	6.7%	0.8%	100.0%
ひとり親	42	24	15	7	88
	47.7%	27.3%	17.0%	8.0%	100.0%
その他	17	11	6	2	36
	47.2%	30.6%	16.7%	5.6%	100.0%
無回答	0	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
合計	709	679	134	52	1,574
	45.0%	43.1%	8.5%	3.3%	100.0%

●就労状況別

就労状況別に母親の育児休業の取得状況をみると、「取得した（取得中である）」では「ともにフルタイム」が87.9%となっています。

表 就労状況別母親の育児休業の取得状況

上段：回答数

下段：構成比

	働いていなかった	取得した (取得中である)	取得していない	無回答	合計
ともにフルタイム	36 6.9%	456 87.9%	26 5.0%	1 0.2%	519 100.0%
一人以上がパート・アルバイト	199 49.6%	147 36.7%	46 11.5%	9 2.2%	401 100.0%
専業主婦・主夫家庭	402 80.7%	33 6.6%	42 8.4%	21 4.2%	498 100.0%
ひとり親	42 47.7%	24 27.3%	15 17.0%	7 8.0%	88 100.0%
不明・その他	30 44.1%	19 27.9%	5 7.4%	14 20.6%	68 100.0%
合計	709 45.0%	679 43.1%	134 8.5%	52 3.3%	1,574 100.0%

* 問30-1は、問30で「3」に○をつけた方（育児休業を取得していない方）にうかがいます。

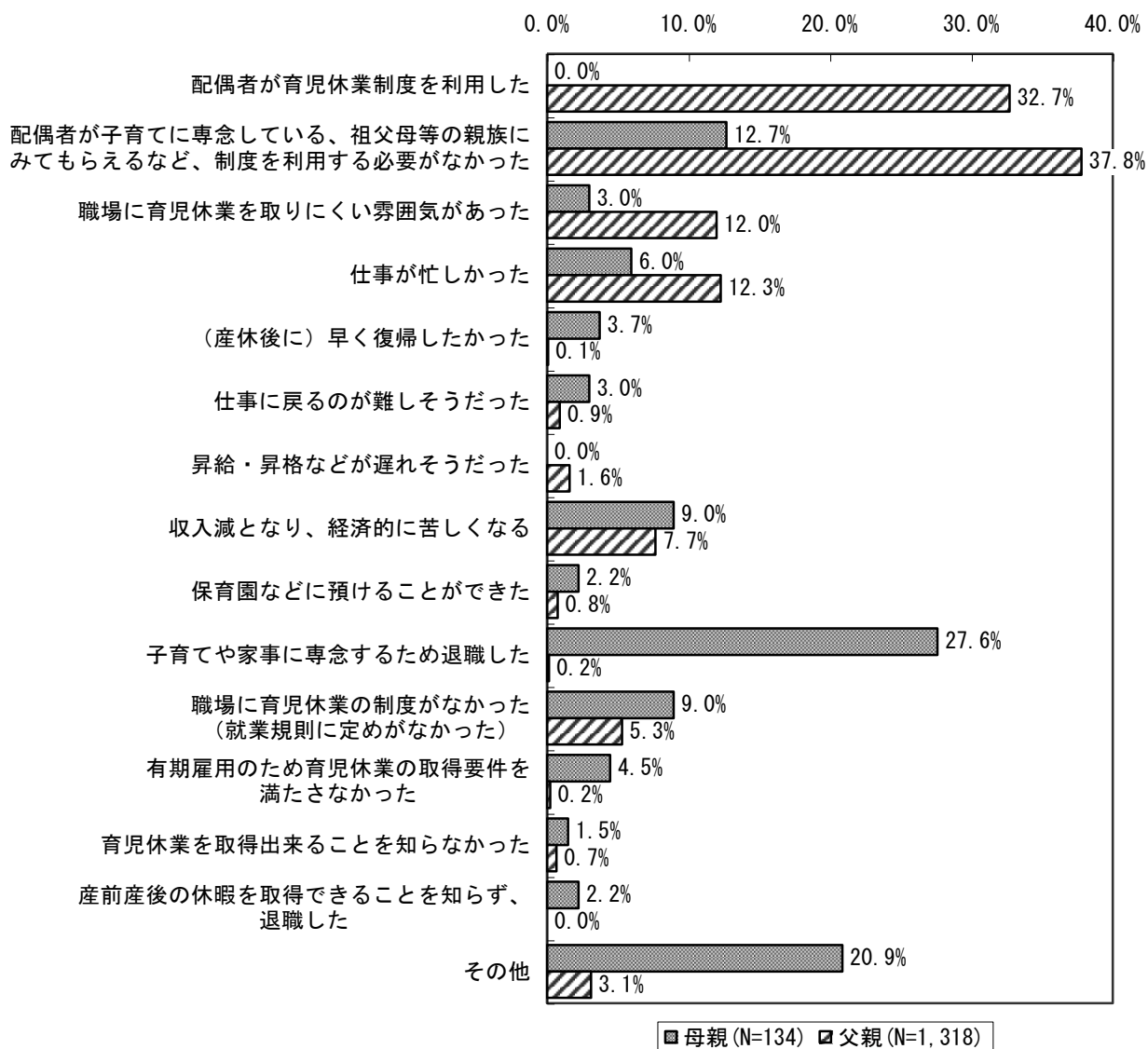
(2) 育児休業を取得していない父母の理由

問30-1 取得していない理由をご記入ください。

育児休業を取得しなかった母親の理由をみると、「子育てや家事に専念するため退職した」(27.6%)が最も多く、次いで「その他」(20.9%)、「配偶者が子育てに専念している、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(12.7%)となっています。一方、上位3項目以外の各項目は1割未満と少なくなっています。

育児休業を取得しなかった父親の理由をみると、「配偶者が子育てに専念している、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(37.8%)が最も多く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」(32.7%)、「仕事が忙しかった」(12.3%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(12.0%)となっています。一方、上位4項目以外の各項目は1割未満と少なくなっています。

図 育児休業を取得していない父母の理由（複数回答）



* 問 30-2 は、問 30 で「2」に○をつけた方（育児休業を取得した（している）方）にうかがいます。

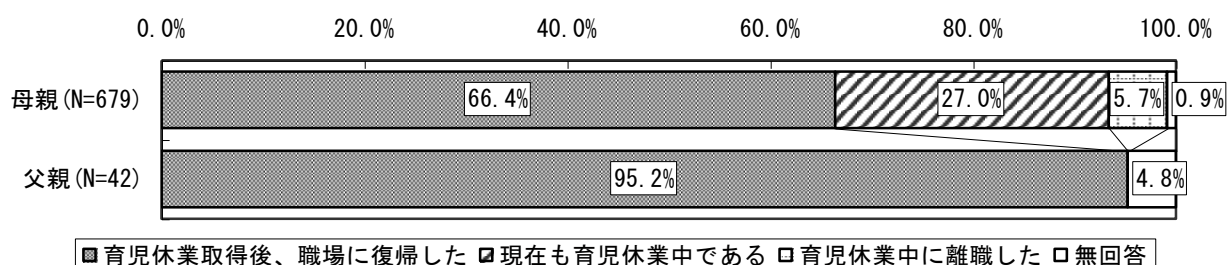
（3）育児休業取得後の職場への父母の復帰状況

問30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

母親の職場復帰状況をみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」（66.4%）が最も多く、次いで「現在も育児休業中である」（27.0%）となっています。

父親の職場復帰状況をみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」（95.2%）が最も多くなっています。

図 育児休業取得後の父母の職場復帰状況（単数回答）



* 問 30-3～問 30-5 は、問 30-2 で「1」に○をつけた方（育児休業取得後、職場に復帰した方）にうかがいます。

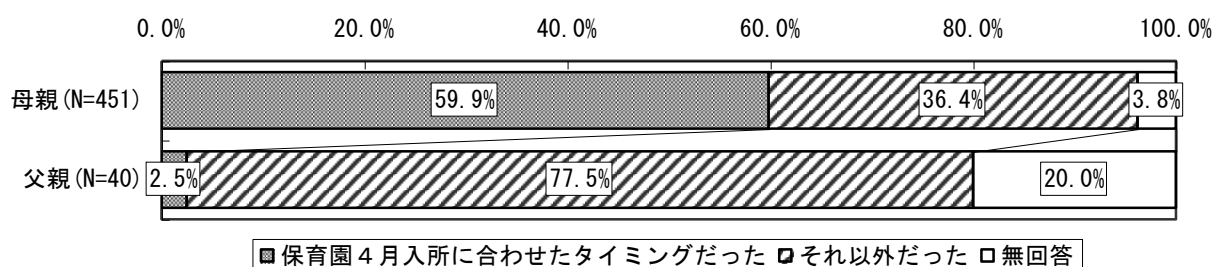
（4）父母が育児休業から職場に復帰したタイミング

問30-3 育児休業から職場に復帰したのは、保育園4月入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

母親の復職時期をみると、「保育園4月入所に合わせたタイミングだった」が59.9%、「それ以外だった」が36.4%となっています。

父親の復職時期をみると、「それ以外だった」が77.5%、「保育園4月入所に合わせたタイミングだった」が2.5%となっています。

図 父母が育児休業から職場に復帰したタイミング（単数回答）



(5) 父母が育児休業から職場に復帰した、もしくは復帰したかった時期の子どもの年齢

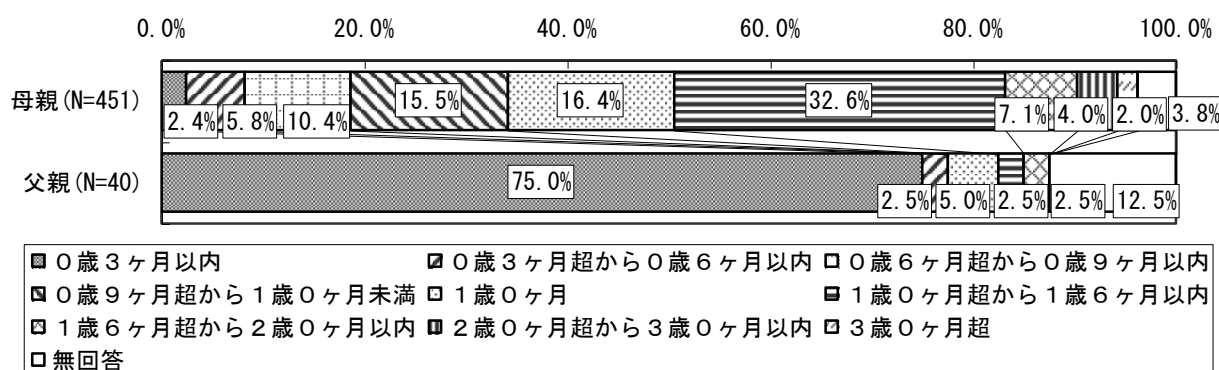
問30-4 育児休業から職場復帰したのは、お子さんが何歳何カ月のときでしたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何カ月のときまで取りたかったですか。□内に数字で記入ください。

①父母の職場復帰時期の子どもの年齢

育児休業を取得した母親について、職場復帰時期の子どもの年齢をみると、「1歳0ヶ月超から1歳6ヶ月以内」(32.6%)が最も多く、次いで「1歳0ヶ月」(16.4%)、「0歳9ヶ月超から1歳0ヶ月未満」(15.5%)となっています。子どもが1歳0カ月までに復職している母親が5割以上となっています。

育児休業を取得した父親について、職場復帰時期の子どもの年齢をみると、「0歳3ヶ月以内」(75.0%)が最も多くなっています。

図 父母の職場復帰時期の子どもの年齢

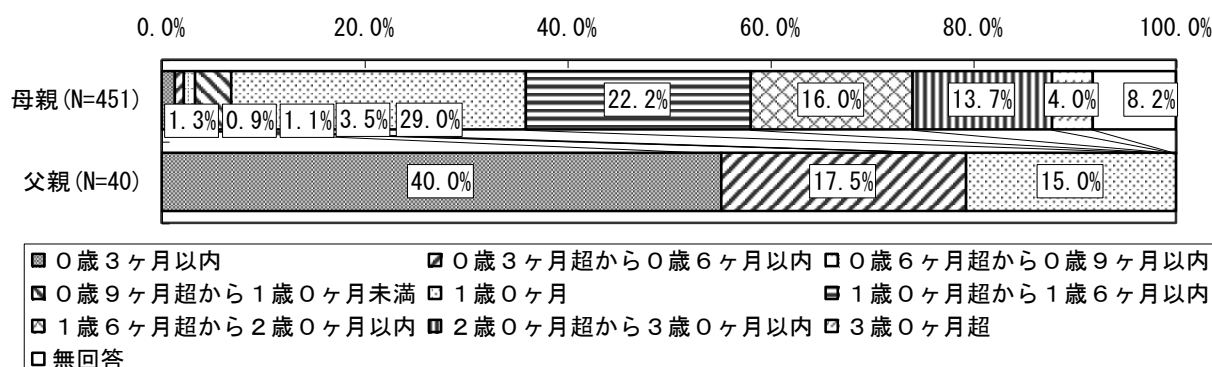


②父母の希望の職場復帰時期の子どもの年齢

育児休業を取得した母親について、希望の職場復帰時期の子どもの年齢をみると、「1歳0ヶ月」(29.0%)が最も多く、次いで「1歳0ヶ月超から1歳6ヶ月以内」(22.2%)、「1歳6ヶ月超から2歳0ヶ月以内」(16.0%)となっています。子どもが1歳0カ月までに復職したい母親は4割未満となっており、希望よりも早く復職している母親が多いことがわかります。

育児休業を取得した父親について、希望の職場復帰時期の子どもの年齢をみると、「0歳3ヶ月以内」(40.0%)が最も多く、次いで「0歳3ヶ月超から0歳6ヶ月以内」(17.5%)、「1歳0ヶ月」(15.0%)となっており、希望よりも早く復職している父親が多いことがわかります。

図 父母の希望の職場復帰時期の子どもの年齢



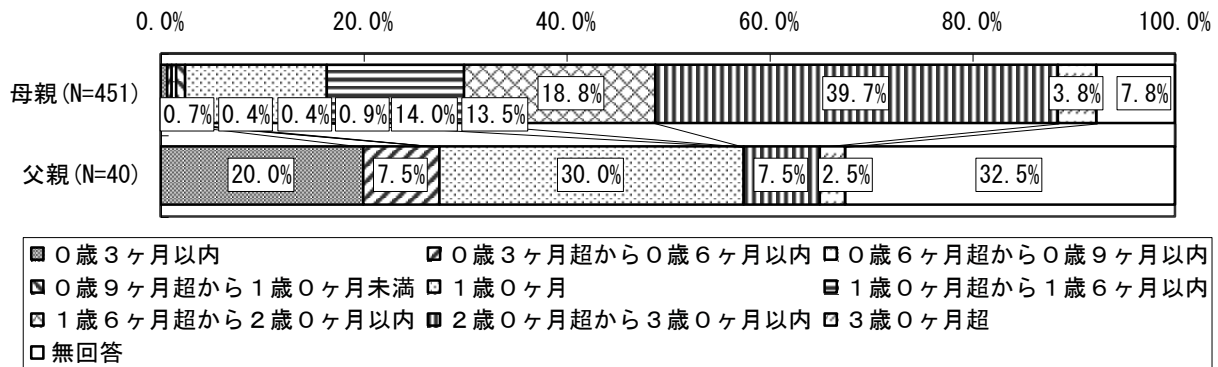
(6) 父母の希望の育児休業期間

問30-5 お勤め先で、育児のためにもし3歳まで休暇を取れていたとしたら、お子さんが何歳何カ月のときまで取りたかったですか。

3歳まで休暇を取得できた場合の母親の希望の復職時期の子どもの年齢をみると、「2歳0ヶ月超から3歳0ヶ月以内」(39.7%)が最も多く、次いで「1歳6ヶ月超から2歳0ヶ月以内」(18.8%)、「1歳0ヶ月」(14.0%)となっています。

3歳まで休暇を取得できた場合の父親の希望の復職時期の子どもの年齢をみると、「1歳0ヶ月」(30.0%)が最も多く、次いで「0歳3ヶ月以内」(20.0%)となっています。

図 父母の希望の職場復帰時期の子どもの年齢（3歳まで休暇を取得できる場合）



* 問30-6は、問30-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

(7) 希望の時期に職場復帰しなかった理由

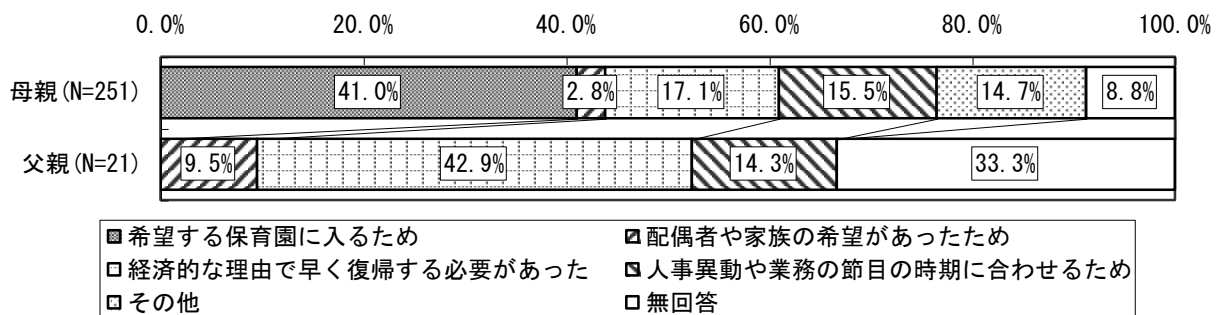
問30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

① 職場復帰が希望時期より早かった父母の理由

希望より早く職場復帰した母親の理由をみると、「希望する保育園に入るため」(41.0%)が最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」(17.1%)、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(15.5%)となっています。

希望より早く職場復帰した父親の理由をみると、以下の通りとなっています。

図 職場復帰が希望時期より早かった父母の理由（単数回答）

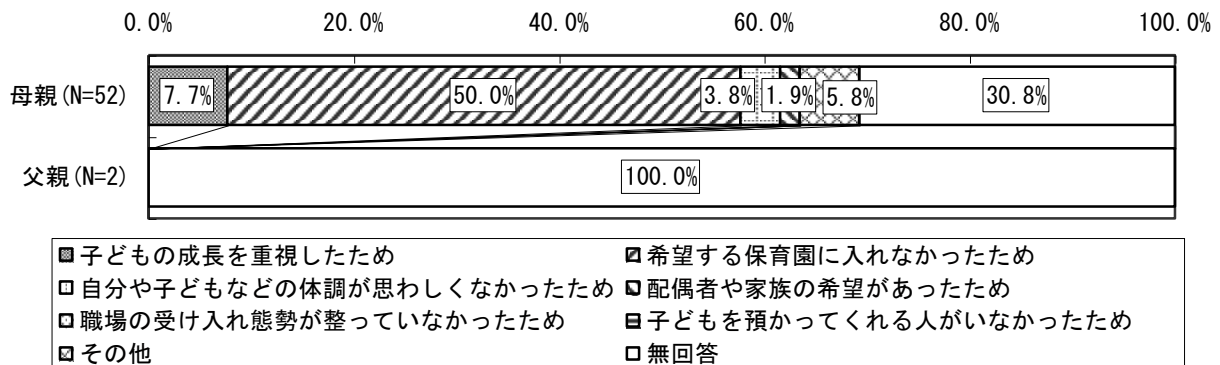


②職場復帰が希望時期より遅かった父母の理由

希望より遅く職場復帰した母親の理由をみると、「希望する保育園に入れなかったため」(50.0%)が最も多くなっています。

希望より遅く職場復帰した父親の理由は回答がありませんでした。

図 職場復帰が希望時期より遅かった父母の理由（単数回答）



* 問30-7は、問30-2で「1」に○をつけた方（育児休業取得後、職場に復帰した方）にうかがいます。

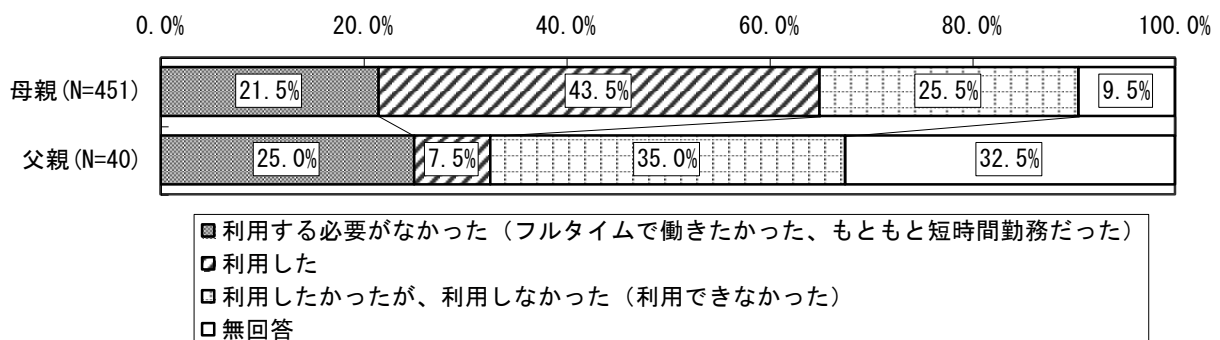
（8）父母の短時間勤務制度の利用状況

問30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

育児休業からの職場復帰時期に、母親が短時間勤務制度を利用したかどうかをみると、「利用した」(43.5%)が最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」(25.5%)、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」(21.5%)となっています。

育児休業からの職場復帰時期に、父親が短時間勤務制度を利用したかどうかをみると、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」(35.0%)が最も多く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」(25.0%)、「利用した」(7.5%)となっています。

図 父母の短時間勤務制度の利用状況（単数回答）



* 問 30-8 は、問 30-7 で「3」に○をつけた方（育児休業からの職場復帰時に短時間勤務制度を利用できなかった方）にうかがいます。

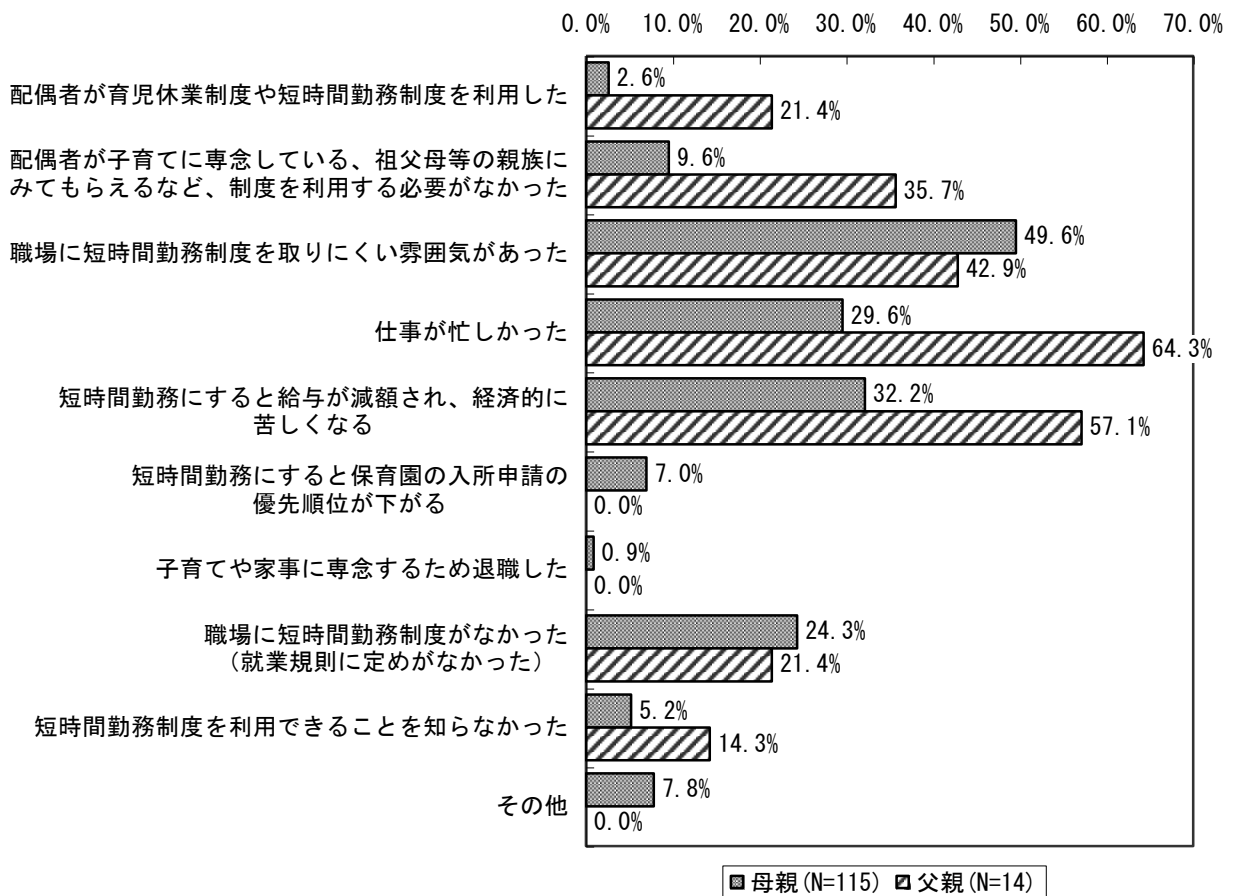
(9) 父母が短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由

問30-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

母親が、育児休業からの職場復帰時に短時間勤務制度を利用できなかった理由をみると、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」（49.6%）が最も多く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」（32.2%）、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（24.3%）となっています。

父親が、育児休業からの職場復帰時に短時間勤務制度を利用できなかった理由をみると、以下の通りとなっています。

図 父母が短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由
（3つ以内で回答）



* 問 30-9 は、問 30-8 で「3」に○をつけた方（職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった方）にうかがいます。

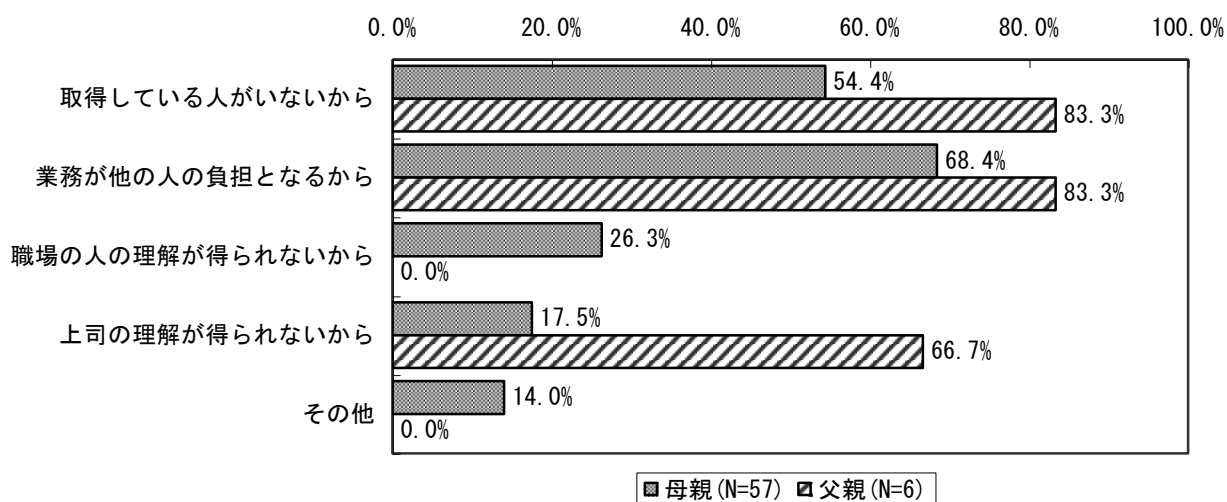
(10) 父母の職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった理由

問30-9 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった理由は何ですか。

母親が、育児休業からの職場復帰時に短時間勤務制度を利用できなかった人のうち、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」と回答した人の理由をみると、「業務が他の人の負担となるから」(68.4%) が最も多く、次いで「取得している人がいないから」(54.4%)、「職場の人の理解が得られないから」(26.3%) となっています。

父親が、育児休業からの職場復帰時に短時間勤務制度を利用できなかった人のうち、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」と回答した人の理由をみると、以下の通りとなっています。

図 父母の職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった理由
(3つ以内で回答)



* 問30-10は、問30-2で「2」に○をつけた方（現在も育児休業中の方）にうかがいます。

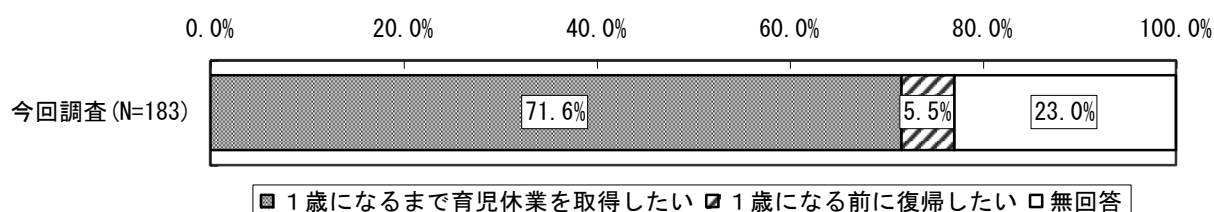
(11) 子どもが1歳になるまで育児休業を取得したいか

問30-10 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

現在も育児休業中の母親について、1歳になったときに必ず預けられる等の事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得したいかどうかをみると、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が71.6%、「1歳になる前に復帰したい」が5.5%となっています。

※父親は設問の該当者がありません。

図 子どもが1歳になるまで育児休業を取得したいか（母親のみ）（単数回答）



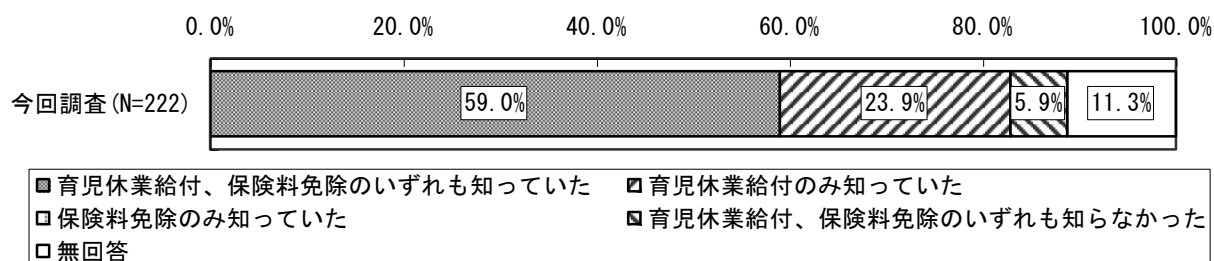
* 問30-11は、問30で「2」（取得した（取得中））である方、または「3」（取得していない）に○をつけた方にうかがいます。

(12) 育児休業給付、保険料免除の認知状況

問30-11 お子さんが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、お子さんが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

育児休業を取得した人（取得中の人）、または取得していない人について、育児休業給付・育児休業等期間の保険料免除の認知状況をみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」（59.0%）が最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」（23.9%）、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」（5.9%）となっています。

図 育児休業給付、保険料免除の認知状況（単数回答）



●年齢別

年齢別に育児休業給付、保険料免除の認知状況をみると、各年齢で「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が最も多く、「0歳児（平成30年度生まれ）」、「0歳児（平成29年度生まれ）」、「2歳児」、「3歳児」では5割以上となっています。一方、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」では「1歳児」、「4歳児」、「5歳児」で1割以上となっています。

表 年齢別育児休業給付、保険料免除の認知状況

上段：回答数

下段：構成比

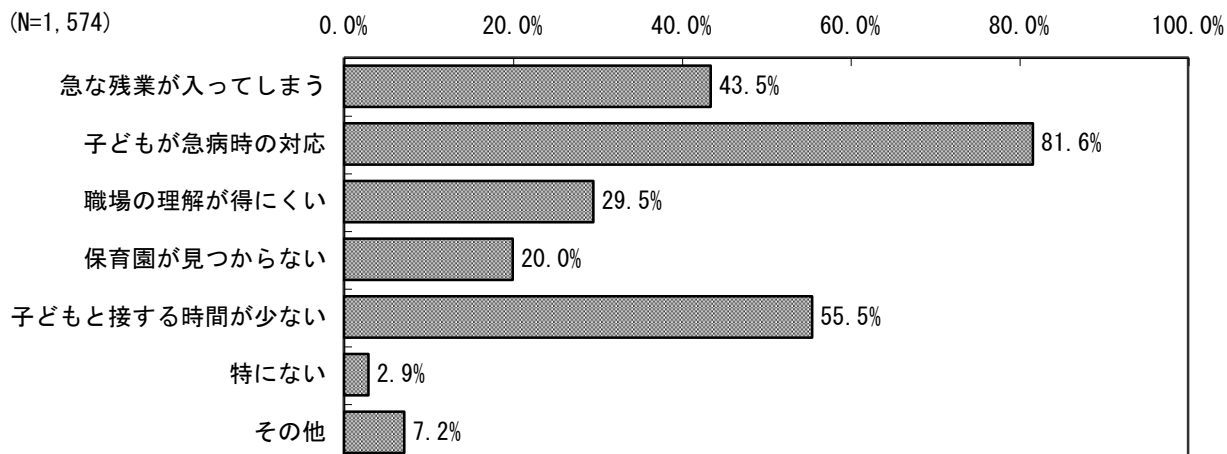
	育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	育児休業給付のみ知っていた	保険料免除のみ知っていた	育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった	無回答	合計
0歳児（平成30年度生まれ）	44	17	0	3	5	69
	63.8%	24.6%	0.0%	4.3%	7.2%	100.0%
0歳児（平成29年度生まれ）	50	22	0	3	5	80
	62.5%	27.5%	0.0%	3.8%	6.3%	100.0%
1歳児	10	5	0	4	4	23
	43.5%	21.7%	0.0%	17.4%	17.4%	100.0%
2歳児	10	3	0	1	4	18
	55.6%	16.7%	0.0%	5.6%	22.2%	100.0%
3歳児	9	1	0	0	3	13
	69.2%	7.7%	0.0%	0.0%	23.1%	100.0%
4歳児	3	2	0	1	2	8
	37.5%	25.0%	0.0%	12.5%	25.0%	100.0%
5歳児	5	2	0	1	2	10
	50.0%	20.0%	0.0%	10.0%	20.0%	100.0%
無回答	0	1	0	0	0	1
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	131	53	0	13	25	222
	59.0%	23.9%	0.0%	5.9%	11.3%	100.0%

(13) 仕事と子育ての両立で大変なこと

問30-12 仕事と子育ての両立に関して、どのようなことが大変だと感じますか。

仕事と子育ての両立で大変なことをみると、「子どもが急病時の対応」(81.6%)が最も多く、次いで「子どもと接する時間が少ない」(55.5%)、「急な残業が入ってしまう」(43.5%)となっています。

図 仕事と子育ての両立で大変なこと（複数回答）



●就労状況別

就労状況別に仕事と子育ての両立で大変なことをみると、各就労状況で「子どもが急病時の対応」が最も多く、7割以上となっています。また、「ともにフルタイム」では「急な残業が入ってしまう」が55.9%、「子どもと接する時間が少ない」が69.0%と比較的多くなっています。

表 就労状況別仕事と子育ての両立で大変なこと（複数回答）

上段：回答数
下段：構成比

	急な残業が入ってしまう	子どもが急病時の対応	職場の理解が得にくい	保育園が見つからない	子どもと接する時間が少ない	特にない	その他	有効回答数
ともにフルタイム	290 55.9%	436 84.0%	115 22.2%	110 21.2%	358 69.0%	10 1.9%	49 9.4%	519 100.0%
一人以上がパート・アルバイト	129 32.2%	344 85.8%	99 24.7%	60 15.0%	185 46.1%	16 4.0%	22 5.5%	401 100.0%
専業主婦・主夫家庭	211 42.4%	397 79.7%	212 42.6%	122 24.5%	254 51.0%	14 2.8%	26 5.2%	498 100.0%
ひとり親	35 39.8%	65 73.9%	24 27.3%	11 12.5%	47 53.4%	5 5.7%	12 13.6%	88 100.0%
不明・その他	19 27.9%	43 63.2%	15 22.1%	12 17.6%	29 42.6%	1 1.5%	4 5.9%	68 100.0%
合計	684 43.5%	1,285 81.6%	465 29.5%	315 20.0%	873 55.5%	46 2.9%	113 7.2%	1,574 100.0%

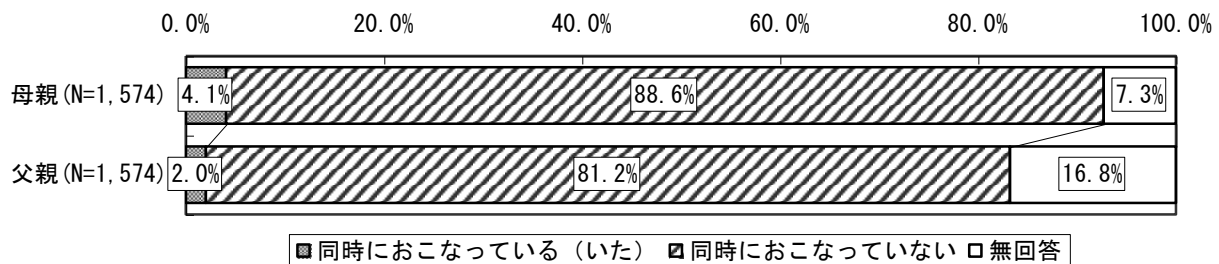
(14) 父母が子育てと介護を同時におこなう状況について

問30-13 子育てと介護を同時におこなっていますか（いましたか）。

母親が子育てと介護を同時におこなっていたかをみると、「同時におこなっている（いた）」が4.1%、「同時におこなっていない」が88.6%となっています。

父親が子育てと介護を同時におこなっていたかをみると、「同時におこなっている（いた）」が2.0%、「同時におこなっていない」が81.2%となっています。

図 父母が子育てと介護を同時におこなう状況（単数回答）



* 問 30-14～問 30-15 は、問 30-13 で「1」に○をつけた方（子育てと介護を同時におこなっている（いた）方）にうかがいます。

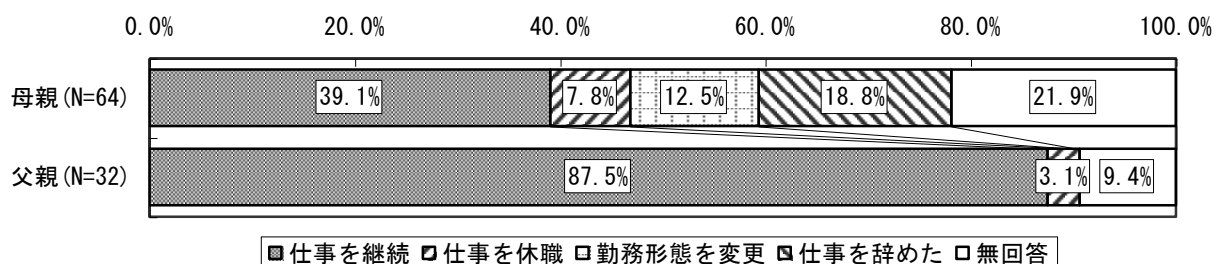
(15) 父母が子育てと介護を同時におこなう際の仕事の状況

問30-14 仕事についてはどうしましたか。

子育てと介護を同時におこなっていた母親の仕事の状況をみると、「仕事を継続」(39.1%)が最も多く、次いで「仕事を辞めた」(18.8%)、「勤務形態を変更」(12.5%)となっています。

子育てと介護を同時におこなっていた父親の仕事の状況をみると、「仕事を継続」(87.5%)が最も多くなっています。

図 父母が子育てと介護を同時におこなう際の仕事の状況（単数回答）



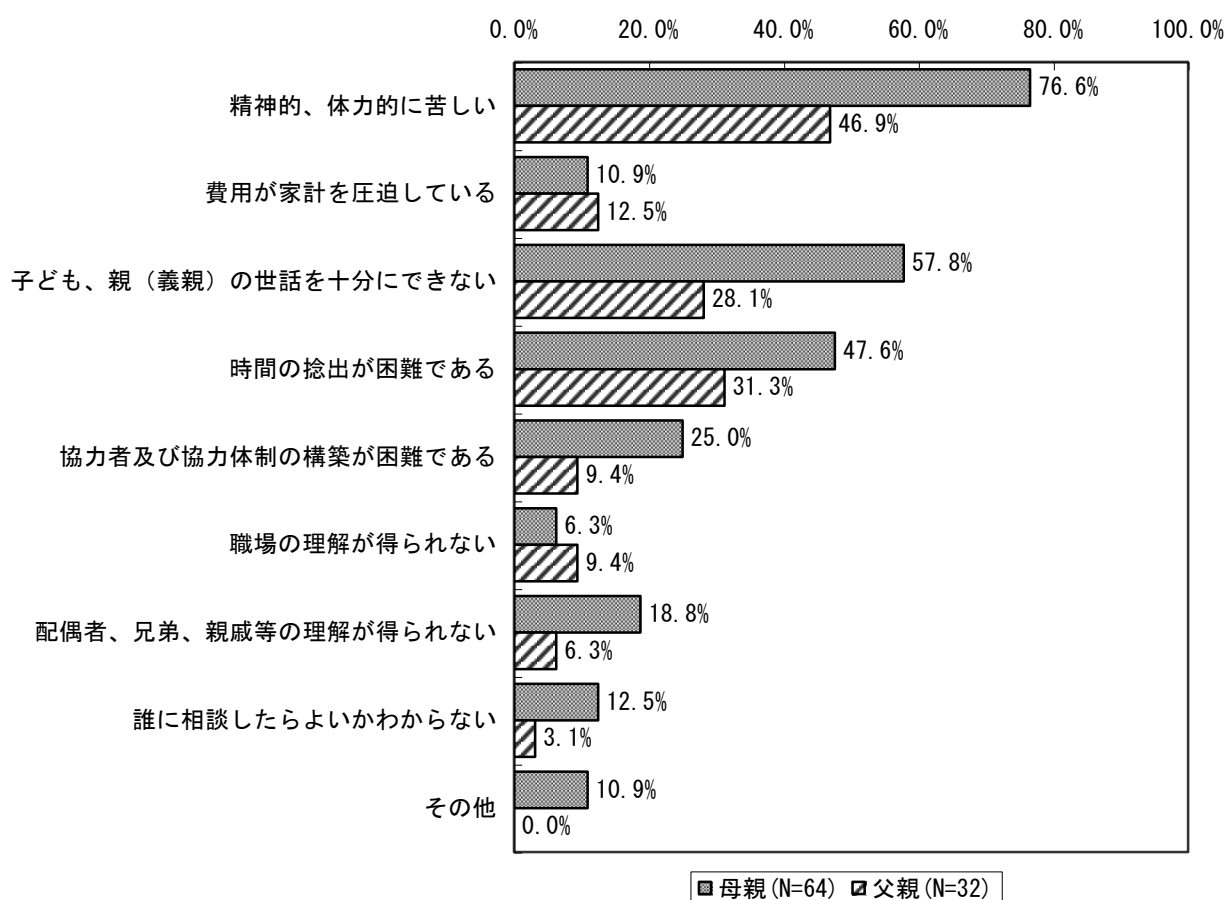
(16) 父母が子育てと介護を同時におこなう際に大変と感じたこと

問30-15 大変だと感じていますか（いましたか）。

子育てと介護を同時におこなっている母親の大変と感じたことをみると、「精神的、体力的に苦しい」（76.6%）が最も多く、次いで「子ども、親（義親）の世話を十分にできない」（57.8%）、「時間の捻出が困難である」（47.6%）となっています。また、「誰に相談したらよいかわからない」が12.5%となっています。

子育てと介護を同時におこなっている父親の大変と感じたことをみると、「精神的、体力的に苦しい」（46.9%）が最も多く、次いで「時間の捻出が困難である」（31.3%）、「子ども、親（義親）の世話を十分にできない」（28.1%）となっています。

図 父母が子育てと介護を同時におこなう際に大変と感じたこと（3つ以内で回答）



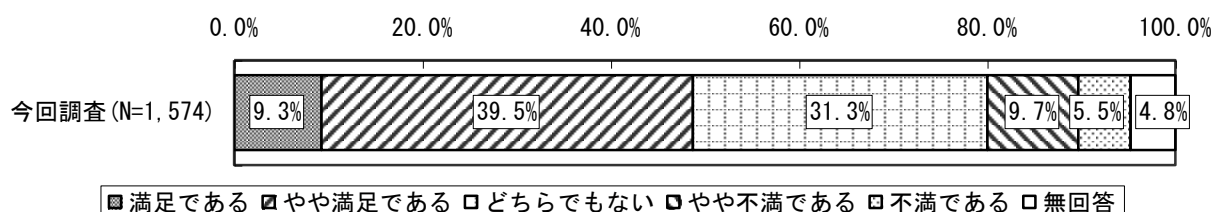
11. 子育て支援対策全般について

(1) 子育て環境や支援の満足度

問31 城陽市における子育ての環境や支援の満足度を教えてください。

城陽市における子育ての環境や支援の満足度をみると、「やや満足である」(39.5%)が最も多く、次いで「どちらでもない」(31.3%)となっています。また、「満足である」と「やや満足である」を合わせると、城陽市の子育て環境や支援に満足している人は48.8%となっています。

図 地域の子育て環境や支援の満足度（単数回答）



●校区別

校区別に地域の子育て環境や支援の満足度をみると、城陽市の子育て環境や支援に満足している人は各校区で4割以上となっており、「古川」、「久世」、「深谷」、「寺田南」、「今池」、「富野」では約5割となっています。

表 校区別地域の子育て環境や支援の満足度

上段：回答数

下段：構成比

	満足である	やや満足である	どちらでもない	やや不満である	不満である	無回答	合計
久津川	15 8.3%	58 32.0%	66 36.5%	22 12.2%	11 6.1%	9 5.0%	181 100.0%
古川	4 5.1%	39 50.0%	25 32.1%	6 7.7%	1 1.3%	3 3.8%	78 100.0%
久世	29 10.5%	111 40.2%	83 30.1%	24 8.7%	17 6.2%	12 4.3%	276 100.0%
深谷	13 11.3%	45 39.1%	36 31.3%	5 4.3%	11 9.6%	5 4.3%	115 100.0%
寺田	19 8.8%	76 35.2%	80 37.0%	25 11.6%	9 4.2%	7 3.2%	216 100.0%
寺田南	11 7.3%	72 47.7%	43 28.5%	10 6.6%	7 4.6%	8 5.3%	151 100.0%
寺田西	8 6.4%	48 38.4%	38 30.4%	17 13.6%	6 4.8%	8 6.4%	125 100.0%
今池	19 13.5%	63 44.7%	32 22.7%	11 7.8%	9 6.4%	7 5.0%	141 100.0%
富野	20 9.4%	84 39.4%	61 28.6%	23 10.8%	13 6.1%	12 5.6%	213 100.0%
青谷	8 11.6%	22 31.9%	25 36.2%	8 11.6%	3 4.3%	3 4.3%	69 100.0%
無回答	0 0.0%	3 33.3%	4 44.4%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	9 100.0%
合計	146 9.3%	621 39.5%	493 31.3%	152 9.7%	87 5.5%	75 4.8%	1,574 100.0%

●年齢別

年齢別に地域の子育て環境や支援の満足度をみると、城陽市の子育て環境や支援に満足している人は各年齢で4割以上となっており、「1歳児」、「2歳児」、「3歳児」、「5歳児」では約5割となっています。

表 年齢別地域の子育て環境や支援の満足度

上段：回答数

下段：構成比

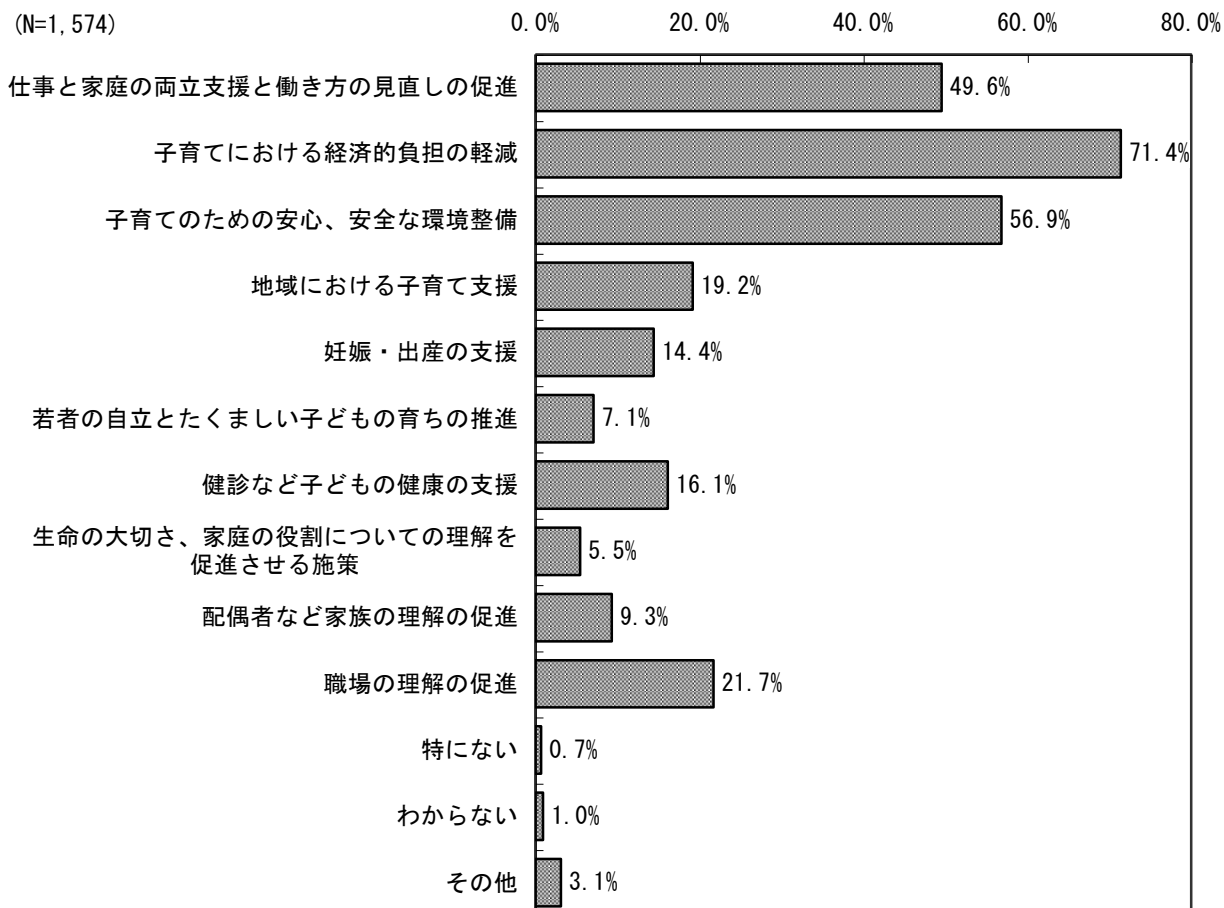
	満足である	やや満足である	どちらでもない	やや不満である	不満である	無回答	合計
0歳児 (平成30年度生まれ)	12 8.4%	51 35.7%	54 37.8%	13 9.1%	5 3.5%	8 5.6%	143 100.0%
0歳児 (平成29年度生まれ)	25 11.3%	71 32.0%	70 31.5%	24 10.8%	21 9.5%	11 5.0%	222 100.0%
1歳児	28 12.3%	85 37.3%	78 34.2%	20 8.8%	11 4.8%	6 2.6%	228 100.0%
2歳児	26 10.4%	110 43.8%	67 26.7%	20 8.0%	18 7.2%	10 4.0%	251 100.0%
3歳児	14 5.9%	116 48.7%	69 29.0%	19 8.0%	8 3.4%	12 5.0%	238 100.0%
4歳児	23 9.4%	85 34.7%	85 34.7%	28 11.4%	14 5.7%	10 4.1%	245 100.0%
5歳児	17 7.4%	100 43.3%	63 27.3%	28 12.1%	9 3.9%	14 6.1%	231 100.0%
無回答	1 6.3%	3 18.8%	7 43.8%	0 0.0%	1 6.3%	4 25.0%	16 100.0%
合計	146 9.3%	621 39.5%	493 31.3%	152 9.7%	87 5.5%	75 4.8%	1,574 100.0%

(2) 望ましい子育て支援施策

問31-1 あなたにとって望ましい子育て支援施策は何ですか。

望ましい子育て支援施策をみると、「子育てにおける経済的負担の軽減」(71.4%)が最も多く、次いで「子育てのための安心、安全な環境整備」(56.9%)、「仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進」(49.6%)となっています。

図 望ましい子育て支援施策（3つ以内で回答）

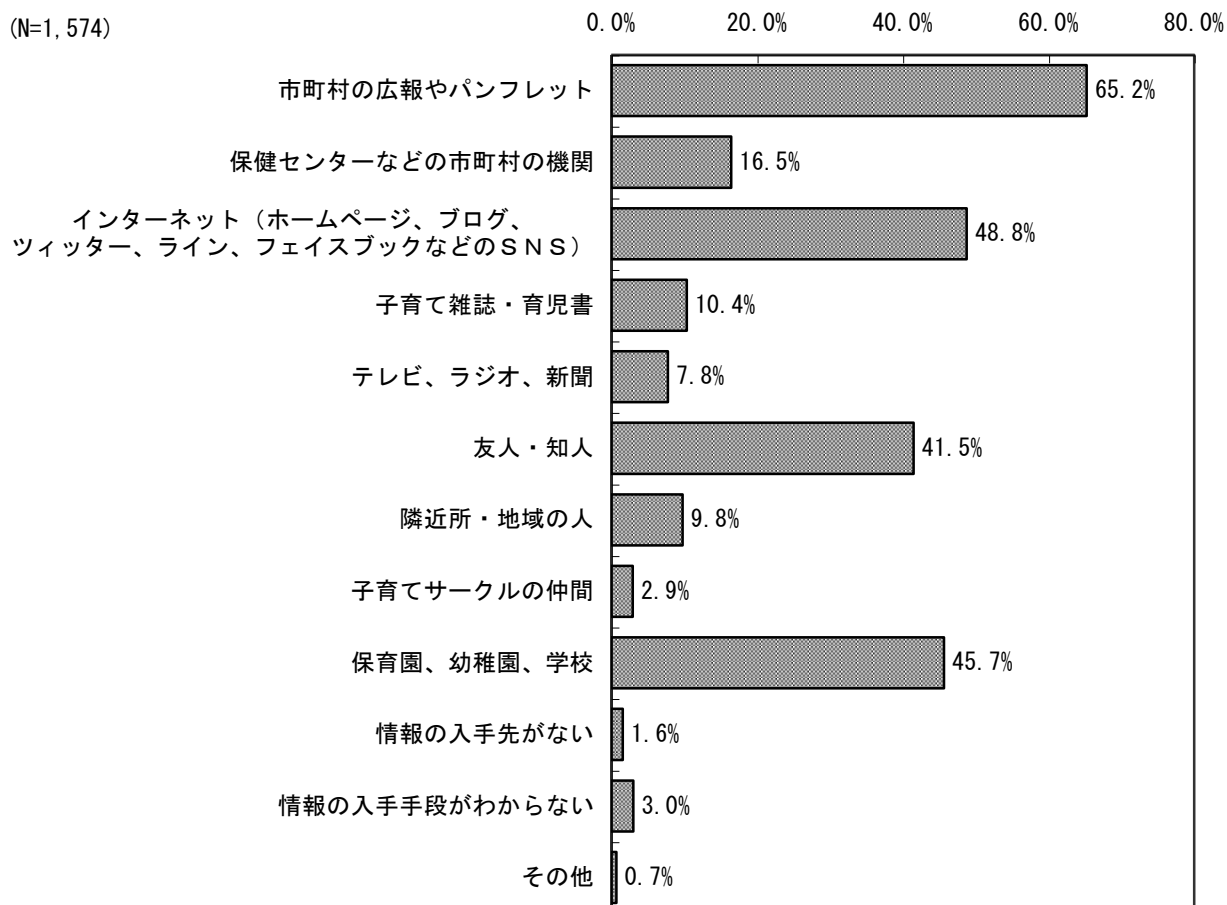


(3) 子育てに必要な施策等の情報の入手方法

問31-2 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手されていますか。

子育てに必要な施策などの情報の入手手段をみると、「市町村の広報やパンフレット」(65.2%)が最も多く、次いで「インターネット(ホームページ、ブログ、ツイッター、ライン、フェイスブックなどのSNS)」(48.8%)、「保育園、幼稚園、学校」(45.7%)、「友人・知人」(41.5%)となっています。

図 子育てに必要な施策等の情報の入手方法(3つ以内で回答)



(4) 子育て支援策に関する意見・要望

問32 城陽市の子育て支援施策に関するご意見・ご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。

就学前子ども保護者調査で、子育て支援に対する意見や提案、日頃子育てなどについて感じていることをたずねたところ、529人から記述が寄せられました。

1人の回答に複数の意見があることから合計では842件となっており、意見の内容別の件数は、以下のとおりです。

表 子育て支援についての意見（就学前子どもの保護者）

意見の内容	回答数
1. 保育所・保育園について	210
2. 道路・交通・防犯について	135
3. 公園・遊び場について	114
4. 小・中学校について	96
5. 経済的支援について	85
6. 子育て支援施設等について	78
7. 幼稚園について	57
8. 相談・情報提供について	56
9. 子育てと就労について	51
10. 放課後児童クラブについて	40
11. 保健・医療・障害福祉について	39
12. 待機児童について	37
13. こども園について	9
14. その他支援事業について	141

Ⅲ. 小学生保護者調査結果

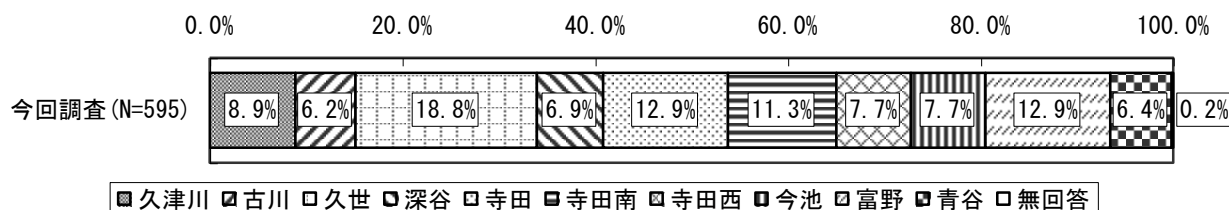
1. 基本属性

(1) 小学校区

問1 お住まいの小学校区はどれですか。

小学校区をみると、以下の通りとなっています。

図 小学校区 (単数回答)

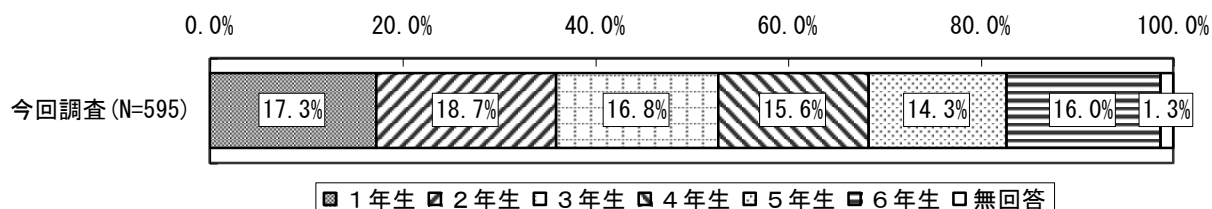


(2) 子どもの学年

問2 宛名のお子さんの生年月を口内に数字でご記入ください。

子どもの学年をみると、「2年生」(18.7%)が最も多く、次いで「1年生」(17.3%)、「3年生」(16.8%)となっています。

図 子どもの学年



(3) 子どもの人数

問3 お子さんは何人ですか。人数を数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月を口内に数字でご記入ください。

子どもの人数をみると、「2人」(59.7%)が最も多く、次いで「3人」(22.7%)、「1人」(13.1%)となっています。また、末子の年齢をみると、「1年生」(15.3%)が最も多く、次いで「2年生」(13.2%)、「4年生」(11.7%)となっています。

図 子どもの人数

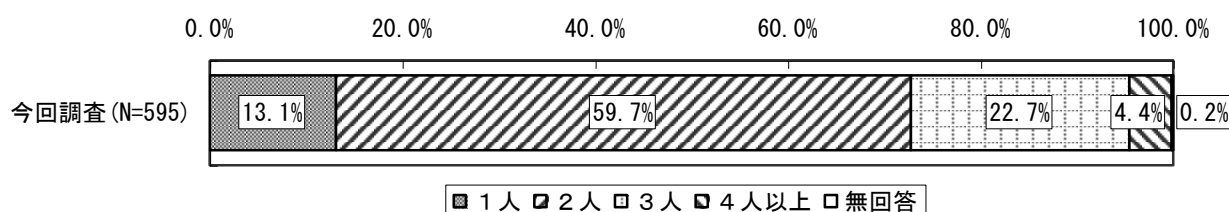
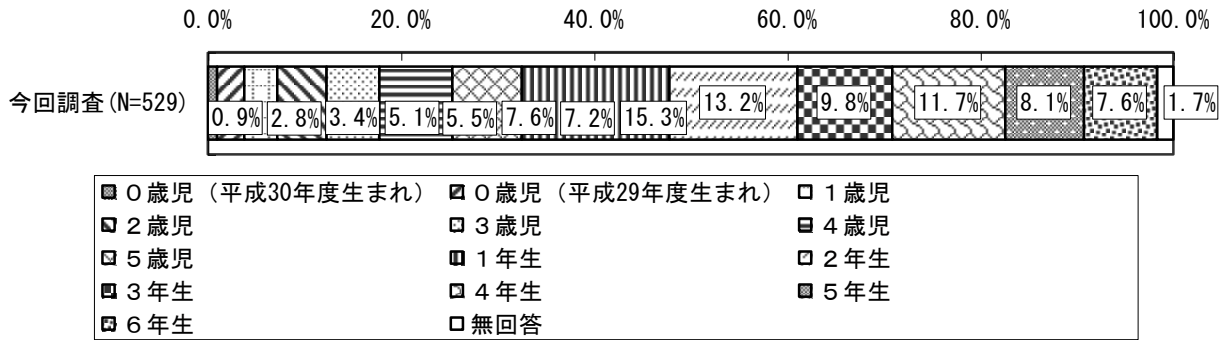


図 末子の年齢

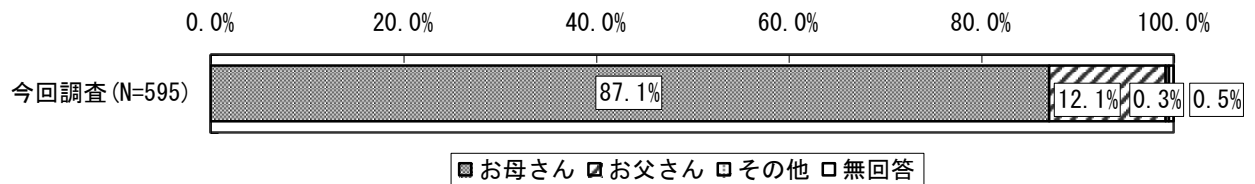


(4) 調査の回答者

問4 調査票にご回答いただいている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

回答者をみると、「お母さん」が87.1%、「お父さん」が12.1%となっています。

図 調査の回答者 (単数回答)

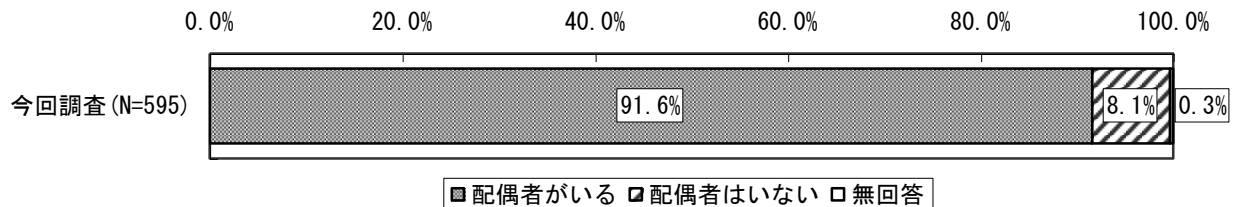


(5) 回答者の配偶関係

問5 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

回答者の配偶関係をみると、「配偶者がいる」が91.6%、「配偶者はいない」が8.1%となっています。なお、回答者の配偶関係からひとり親家庭をみると、「母子家庭」が6.9%、父子家庭が1.2%となっています。

図 回答者の配偶関係 (単数回答)



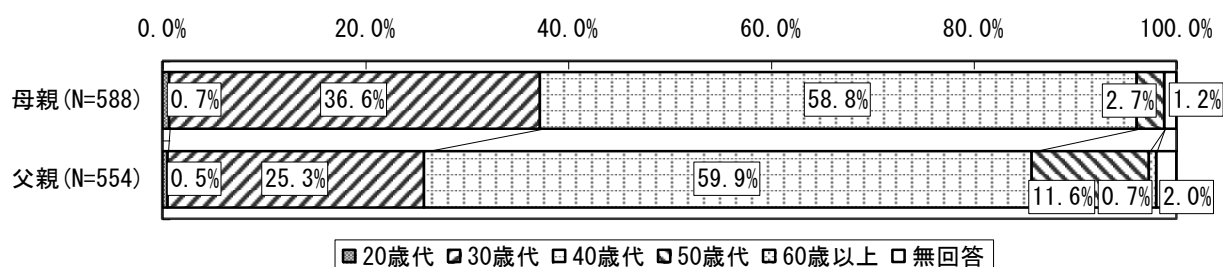
(6) 父母の年齢

問5-1 お子さんのお母さん、お父さんの年齢をお答えください。

母親の年齢をみると、「40歳代」(58.8%)が最も多く、次いで「30歳代」(36.6%)となっています。

父親の年齢をみると、「40歳代」(59.9%)が最も多く、次いで「30歳代」(25.3%)、「50歳代」(11.6%)となっています。

図 父母の年齢



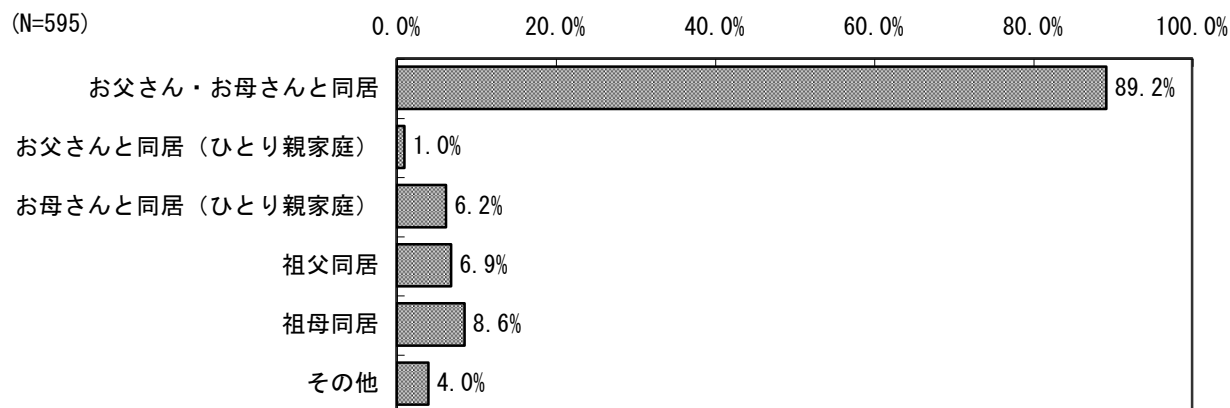
(7) 家族構成

問5-2 お子さんとの同居の状況をお答えください。

※続柄はお子さんからみた関係です。

同居家族をみると、「お父さん・お母さんと同居」(89.2%)が最も多くなっています。「その他」の回答は、配偶者の一方が単身赴任や曾祖母等となっています。

図 家族構成 (複数回答)



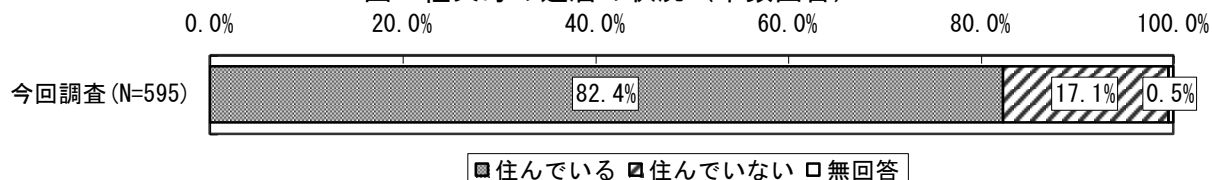
(8) 祖父母の近居の状況

問5-3 お子さんの祖父母が近くにお住まいですか。

※近くとは、ご自身の移動手段で概ね30分以内程度に行き来できる範囲です。

祖父母の近居の状況をみると、「住んでいる」が82.4%、「住んでいない」が17.1%となっています。

図 祖父母の近居の状況 (単数回答)



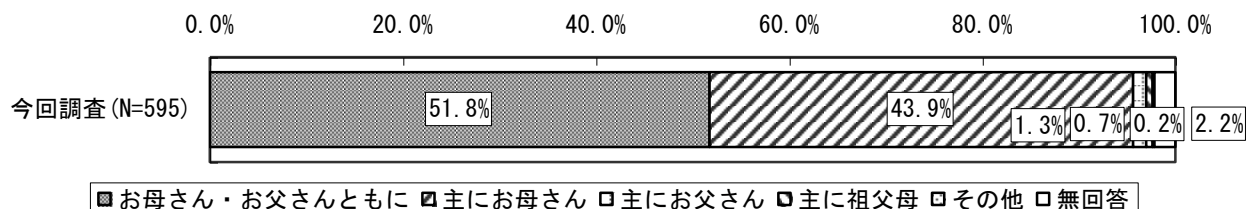
(9) 子どもの主たる育児者

問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。

※続柄はお子さんからみた関係です。

子どもの主たる育児者を見ると、「お母さん・お父さんともに」(51.8%)が最も多く、次いで「主にお母さん」(43.9%)となっています。

図 子どもの主たる育児者 (単数回答)

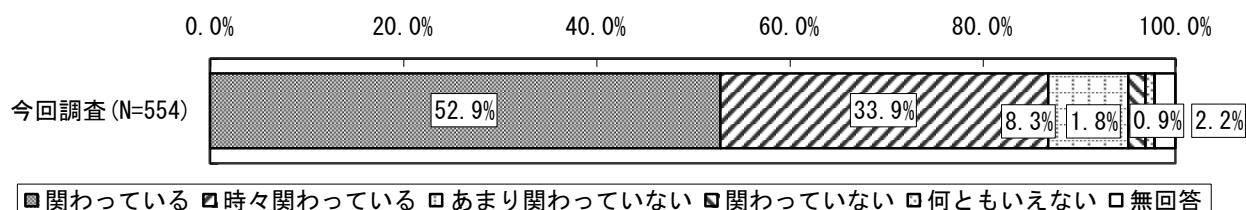


(10) 父親の育児参加の状況

問6-1 お子さんのお父さんは、育児・お子さんの世話に関わっていますか。

父親の育児参加状況を見ると、「関わっている」(52.9%)が最も多く、次いで「時々関わっている」(33.9%)、「あまり関わっていない」(8.3%)となっています。また、「関わっている」と「時々関わっている」を合わせると、育児に関わっている父親は86.8%となっています。

図 父親の育児参加の状況 (単数回答)

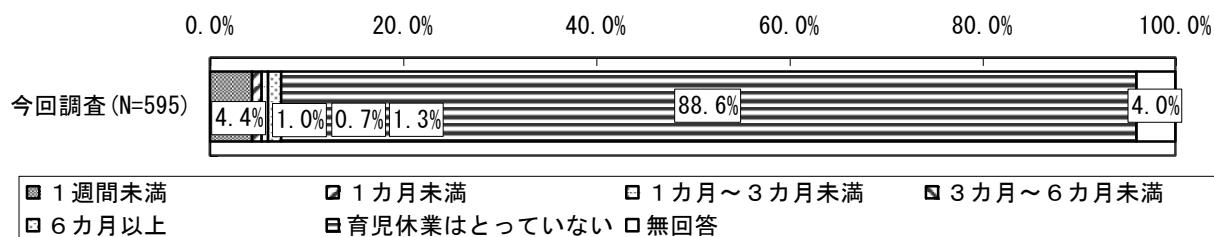


(11) 父親の育児休業取得状況

問6-2 お子さんのお父さんは、宛名のお子さんが生まれた際に育児休業をどのくらいの期間とりましたか。

父親の育児休業取得状況を見ると、「育児休業はとっていない」(88.6%)となっており、育児休業を取得した父親は1割未満となっています。

図 父親の育児休業取得状況 (単数回答)



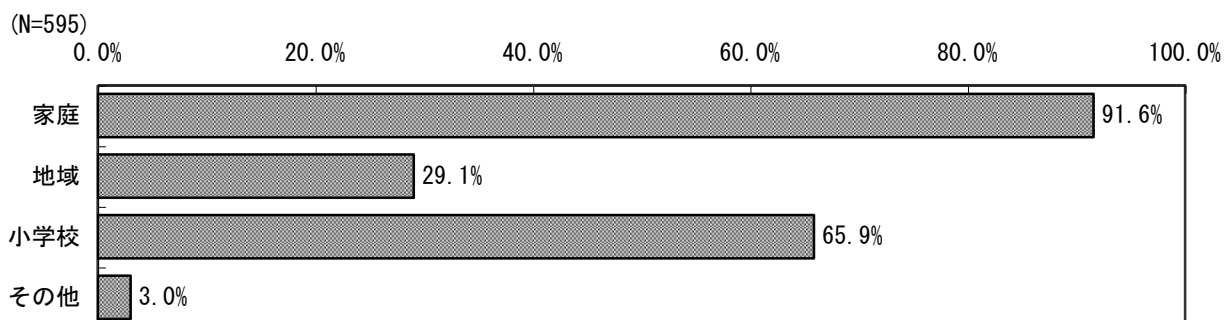
2. 子育てをめぐる状況について

(1) 子育てに影響する環境

問7 お子さんの育ちに、もっとも影響すると思われる環境はどれですか。

子育てに影響すると思われる環境をみると、「家庭」(91.6%)が最も多く、次いで「小学校」(65.9%)、「地域」(29.1%)となっています。

図 子育てに影響する環境（複数回答）

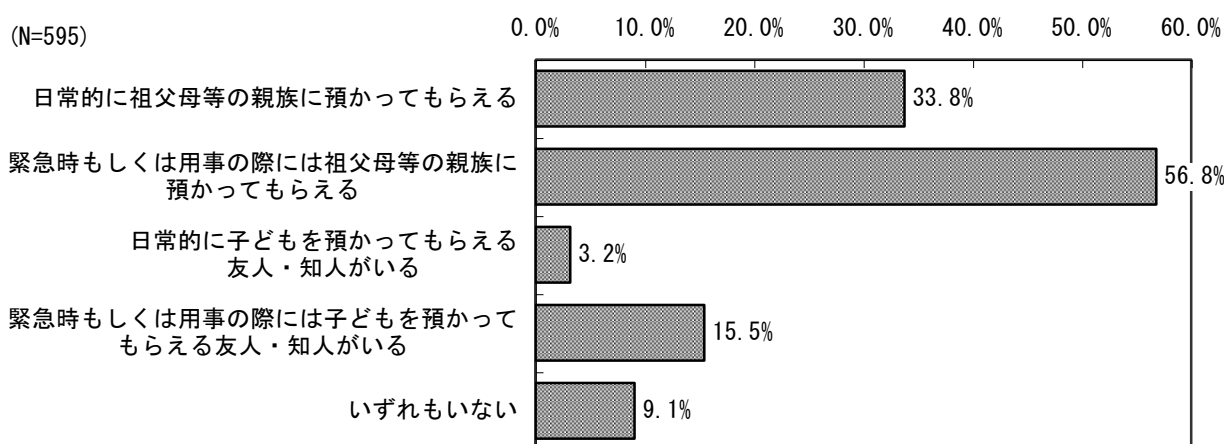


(2) 子ども預かってもらえる親族・知人の有無

問8 日頃、お子さんを預かってもらえる親族・知人はいますか。

子どもを預かってもらえる親族・知人の状況をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」(56.8%)が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」(33.8%)、「緊急時もしくは用事の際には子どもを預かってもらえる友人・知人がいる」(15.5%)となっています。一方、「いずれもない」が9.1%となっています。

図 子どもを預かってもらえる親族・知人の有無（複数回答）



●校區別

校區別に子どもを預かってもらえる親族・知人の有無をみると、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」は「寺田西」、「今池」、「青谷」で4割以上となっています。「今池」を除いた各校区では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」を上回っています。一方、「いずれもない」は「久津川」、「深谷」、「寺田」、「今池」で1割以上となっています。

表 校區別子どもを預かってもらえる親族・知人の有無（複数回答）

上段：回答数

下段：構成比

	日常的に 祖父母等 の親族に 預かって もらえる	緊急時も しくは用 事の際に は祖父母 等の親族 に預かって もらえる	日常的に 子どもを 預かって もらえる 友人・知 人がいる	緊急時も しくは用 事の際に は子ども を預かって もらえる 友人・知 人がいる	いずれも いない	有効回答 数
久津川	17	32	2	3	6	53
	32.1%	60.4%	3.8%	5.7%	11.3%	100.0%
古川	10	27	0	5	1	37
	27.0%	73.0%	0.0%	13.5%	2.7%	100.0%
久世	28	72	5	19	9	112
	25.0%	64.3%	4.5%	17.0%	8.0%	100.0%
深谷	9	26	1	12	5	41
	22.0%	63.4%	2.4%	29.3%	12.2%	100.0%
寺田	30	37	2	16	11	77
	39.0%	48.1%	2.6%	20.8%	14.3%	100.0%
寺田南	24	41	6	12	2	67
	35.8%	61.2%	9.0%	17.9%	3.0%	100.0%
寺田西	21	26	0	7	3	46
	45.7%	56.5%	0.0%	15.2%	6.5%	100.0%
今池	20	17	3	5	8	46
	43.5%	37.0%	6.5%	10.9%	17.4%	100.0%
富野	26	41	0	9	6	77
	33.8%	53.2%	0.0%	11.7%	7.8%	100.0%
青谷	16	19	0	4	3	38
	42.1%	50.0%	0.0%	10.5%	7.9%	100.0%
無回答	0	0	0	0	0	1
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	201	338	19	92	54	595
	33.8%	56.8%	3.2%	15.5%	9.1%	100.0%

●学年別

学年別に子どもを預かってもらえる親族・知人の有無をみると、各学年で「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が3割以上となっていますが、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」を上回っており、いずれも5割以上となっています。

表 学年別子どもを預かってもらえる親族・知人の有無（複数回答）

上段：回答数

下段：構成比

	日常的に 祖父母等 の親族に 預かって もらえる	緊急時も しくは用 事の際に は祖父母 等の親族 に預かっ てもらえ る	日常的に 子どもを 預かって もらえる 友人・知 人がいる	緊急時も しくは用 事の際に は子ども を預かっ てもらえ る友人・ 知人がい る	いずれも いない	有効回答 数
1年生	33	57	4	17	12	103
	32.0%	55.3%	3.9%	16.5%	11.7%	100.0%
2年生	37	63	5	15	9	111
	33.3%	56.8%	4.5%	13.5%	8.1%	100.0%
3年生	35	59	5	15	8	100
	35.0%	59.0%	5.0%	15.0%	8.0%	100.0%
4年生	34	49	1	16	7	93
	36.6%	52.7%	1.1%	17.2%	7.5%	100.0%
5年生	30	45	0	11	11	85
	35.3%	52.9%	0.0%	12.9%	12.9%	100.0%
6年生	30	62	3	16	5	95
	31.6%	65.3%	3.2%	16.8%	5.3%	100.0%
無回答	2	3	1	2	2	8
	25.0%	37.5%	12.5%	25.0%	25.0%	100.0%
合計	201	338	19	92	54	595
	33.8%	56.8%	3.2%	15.5%	9.1%	100.0%

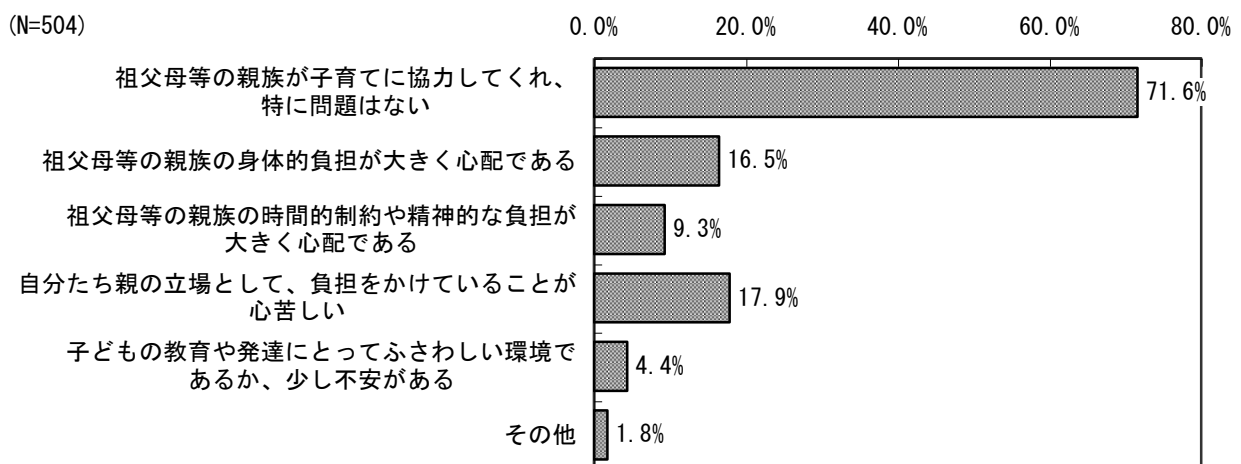
(3) 祖父母等の親族に子ども預かってもらっている状況

*問8-1は、問8で「1」または「2」に○をつけた方（お子さんを親族に預かってもらえる方）にうかがいます。

問8-1 祖父母等の親族にお子さんを預かってもらっている状況をお答えください。

子どもを親族に預かってもらえる人の状況を見ると、「祖父母等の親族が子育てに協力してくれ、特に問題はない」(71.6%)が最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(17.9%)、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」(16.5%)となっています。

図 祖父母等の親族に子どもを預かってもらっている状況（複数回答）



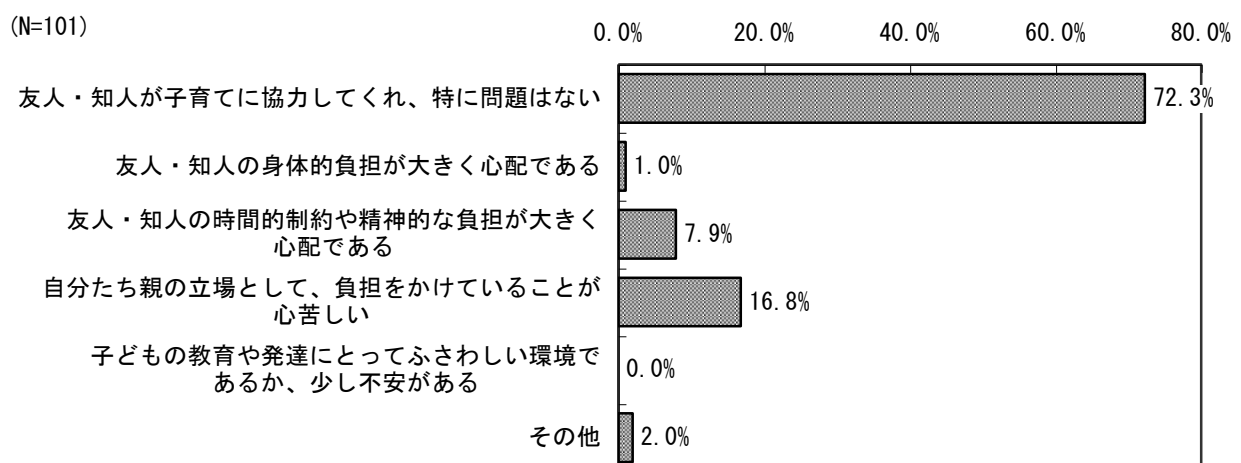
(4) 友人・知人に子どもを預かってもらっている状況

*問8-2は、問8で「3」または「4」に○をつけた方（お子さんを友人・知人に預かってもらえる方）にうかがいます。

問8-2 友人・知人にお子さんを預かってもらっている状況をお答えください。

子どもを友人・知人に預かってもらえる人の状況を見ると、「友人・知人が子育てに協力してくれ、特に問題はない」(72.3%)が最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(16.8%)となっています。

図 友人・知人に子どもを預かってもらっている状況（複数回答）

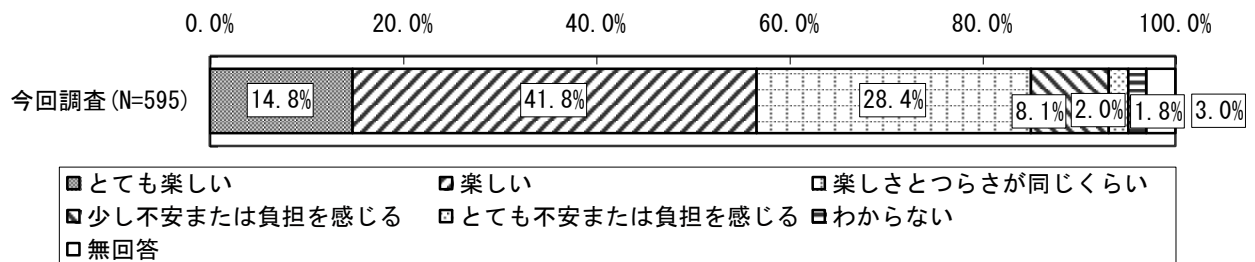


(5) 子育てに対する気持ち

問8-3 子育ては、楽しいときもあれば、つらいときもありますが、お気持ちに一番近いものをお答えください。

子育てに対する気持ちを見ると、「楽しい」(41.8%)が最も多く、次いで「楽しさつつらさが同じくらい」(28.4%)、「とても楽しい」(14.8%)となっています。また、「とても楽しい」と「楽しい」を合わせると、子育てが楽しい人は56.6%となっています。

図 子育てに対する気持ち (単数回答)



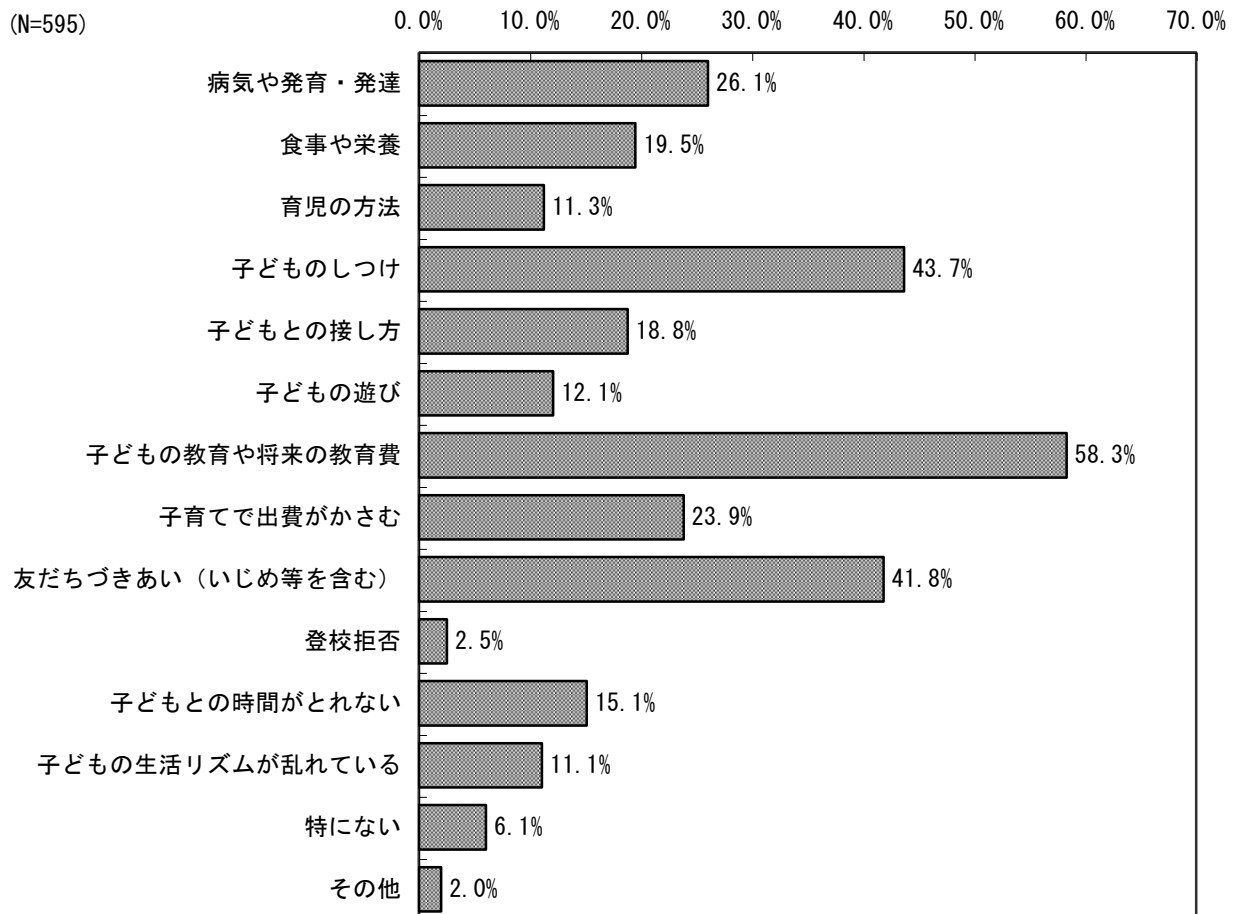
(6) 子育てに関する悩みや不安の内容

問8-4 お子さんを育てていて、日頃悩んでいること、不安に感じることはどのようなことですか。お子さんのこと、保護者のことそれぞれお答えください。

① 子育ての悩みや不安（子どもに関すること）

育児中、子どものことで感じる悩みや不安をみると、「子どもの教育や将来の教育費」(58.3%)が最も多く、次いで「子どものしつけ」(43.7%)、「友だちづきあい(いじめ等を含む)」(41.8%)となっています。

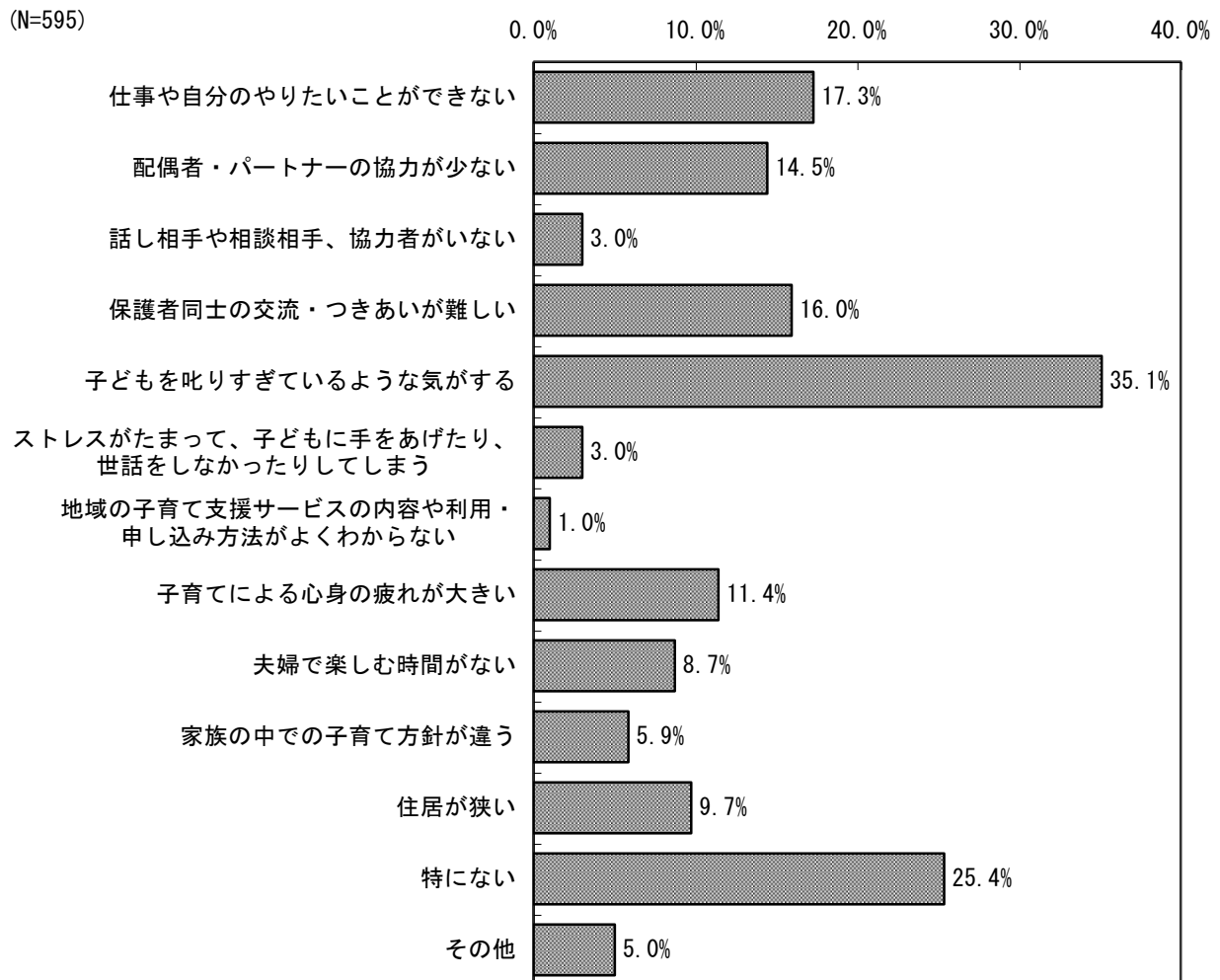
図 子育ての悩みや不安（子どもに関すること）（複数回答）



②子育ての悩みや不安（保護者に関すること）

育児中、保護者のことで感じる悩みや不安をみると、「子どもを叱りすぎているような気がする」（35.1%）が最も多く、次いで「特にない」（25.4%）、「仕事や自分のやりたいことができない」（17.3%）となっています。

図 子育ての悩みや不安（保護者に関すること）（複数回答）

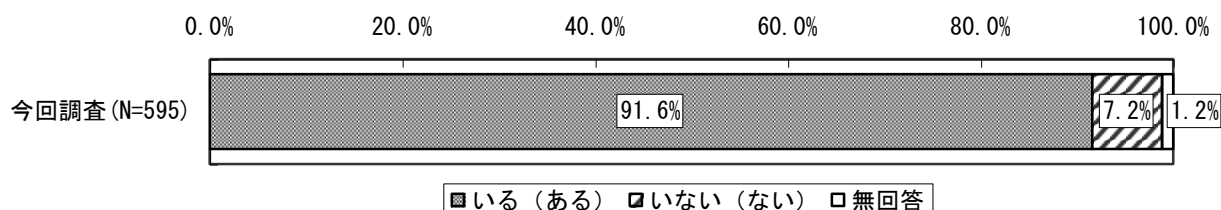


(7) 子育ての相談相手の有無

問9 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか（場所はありますか）。

子育ての相談先の有無をみると「いる（ある）」が91.6%、「いない（ない）」が7.2%となっています。

図 子育ての相談相手の有無（単数回答）



●校別

校別に子育ての相談相手の有無をみると、各校区で「いる（ある）」が8割を超えています。「いない（ない）」では「寺田」と「青谷」が1割以上となっています。

表 校別子育ての相談相手の有無

上段：回答数

下段：構成比

	いる（ある）	いない（ない）	無回答	合計
久津川	48	4	1	53
	90.6%	7.5%	1.9%	100.0%
古川	34	3	0	37
	91.9%	8.1%	0.0%	100.0%
久世	103	6	3	112
	92.0%	5.4%	2.7%	100.0%
深谷	38	3	0	41
	92.7%	7.3%	0.0%	100.0%
寺田	67	9	1	77
	87.0%	11.7%	1.3%	100.0%
寺田南	65	2	0	67
	97.0%	3.0%	0.0%	100.0%
寺田西	43	2	1	46
	93.5%	4.3%	2.2%	100.0%
今池	43	3	0	46
	93.5%	6.5%	0.0%	100.0%
富野	69	7	1	77
	89.6%	9.1%	1.3%	100.0%
青谷	34	4	0	38
	89.5%	10.5%	0.0%	100.0%
無回答	1	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	545	43	7	595
	91.6%	7.2%	1.2%	100.0%

●学年別

学年別に子育ての相談相手の有無をみると、各学年で「いる（ある）」が8割を超えています。「いない（ない）」では「6年生」が1割以上となっています。

表 学年別子育ての相談相手の有無

上段：回答数

下段：構成比

	いる（ある）	いない（ない）	無回答	合計
1年生	99	2	2	103
	96.1%	1.9%	1.9%	100.0%
2年生	102	9	0	111
	91.9%	8.1%	0.0%	100.0%
3年生	94	5	1	100
	94.0%	5.0%	1.0%	100.0%
4年生	83	9	1	93
	89.2%	9.7%	1.1%	100.0%
5年生	77	7	1	85
	90.6%	8.2%	1.2%	100.0%
6年生	83	10	2	95
	87.4%	10.5%	2.1%	100.0%
無回答	7	1	0	8
	87.5%	12.5%	0.0%	100.0%
合計	545	43	7	595
	91.6%	7.2%	1.2%	100.0%

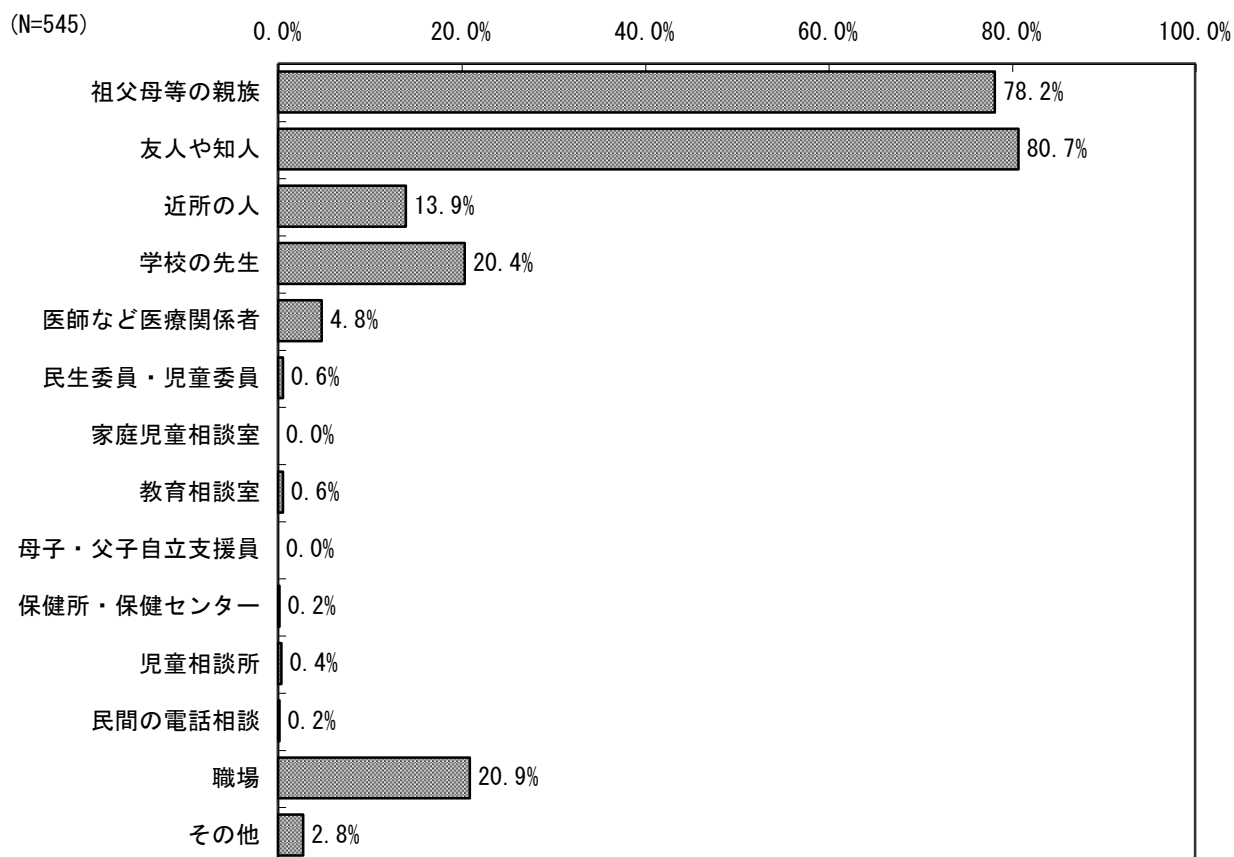
(8) 子育ての具体的な相談相手

* 問9-1は、問9で「1」に○をつけた方（相談できる人がいる（場所がある）方）にうかがいます。

問9-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる人は、どなたですか。

相談できる人がいる（場所がある）人の具体をみると、「友人や知人」（80.7%）が最も多く、次いで「祖父母等の親族」（78.2%）、「職場」（20.9%）、「学校の先生」（20.4%）、近所の人（13.9%）となっています。一方、上位5項目を除く各項目では1割未満と少なくなっています。

図 子育ての相談相手（複数回答）



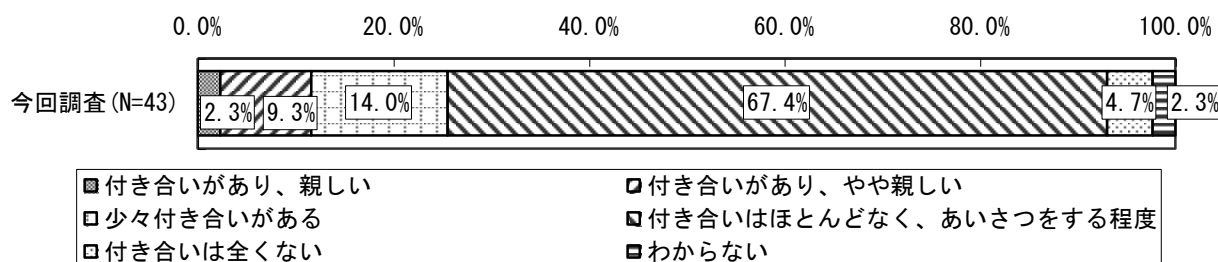
(9) 近所や地域との付き合いの程度

* 問9-2は、問9で「2」に○をつけた方（相談できる人がいない（場所がない）方）にうかがいます。

問9-2 ご近所や地域の人々との付き合いはどうか。

相談できる人がいない（場所がない）人の近隣との付き合いの状況をみると、「付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」（67.4%）が最も多く、次いで「少々付き合いがある」（14.0%）、「付き合いがあり、やや親しい」（9.3%）となっています。「付き合いがあり、親しい」と「付き合いがあり、やや親しい」を合計すると、近隣と親しくしている人は11.6%となっています。

図 近所や地域との付き合いの程度（単数回答）

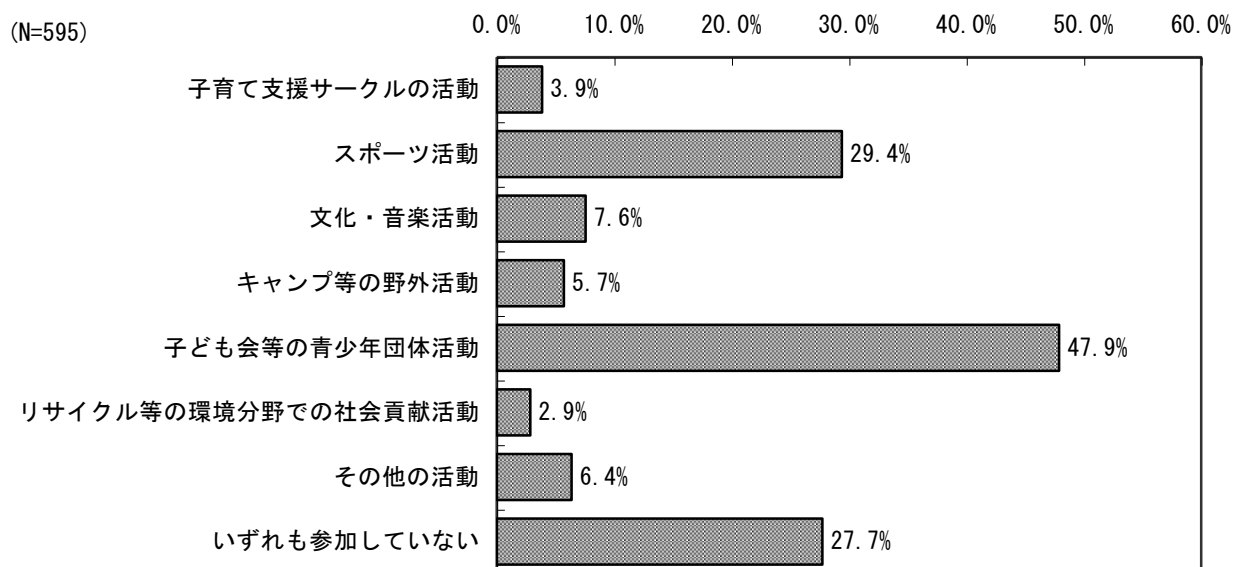


(10) 子どもが参加している地域の催し

問9-3 お子さんは次の地域での催しへ参加していますか。

子どもの地域での催しへの参加状況をみると、「子ども会等の青少年団体活動」（47.9%）が最も多く、次いで「スポーツ活動」（29.4%）、「いずれも参加していない」（27.7%）となっています。

図 子どもが参加している地域の催し（複数回答）



●校區別

校區別に子どもが参加している地域の催しをみると、「寺田」と「寺田西」を除いた各校区で「子ども会等の青少年団体活動」が最も多く、4割を超えています。「寺田」と「寺田西」では「いずれも参加していない」が4割以上となっています。

表 校區別子どもが参加している地域の催し（複数回答）

上段：回答数

下段：構成比

	子育て支援サークルの活動	スポーツ活動	文化・音楽活動	キャンプ等の野外活動	子ども会等の青少年団体活動	リサイクル等の環境分野での社会貢献活動	その他の活動	いずれも参加していない	有効回答数
久津川	2	18	2	3	25	1	2	13	53
	3.8%	34.0%	3.8%	5.7%	47.2%	1.9%	3.8%	24.5%	100.0%
古川	3	9	4	3	19	0	4	7	37
	8.1%	24.3%	10.8%	8.1%	51.4%	0.0%	10.8%	18.9%	100.0%
久世	5	41	7	10	59	3	8	19	112
	4.5%	36.6%	6.3%	8.9%	52.7%	2.7%	7.1%	17.0%	100.0%
深谷	2	18	3	3	28	1	4	5	41
	4.9%	43.9%	7.3%	7.3%	68.3%	2.4%	9.8%	12.2%	100.0%
寺田	3	16	6	5	25	2	4	33	77
	3.9%	20.8%	7.8%	6.5%	32.5%	2.6%	5.2%	42.9%	100.0%
寺田南	1	17	2	1	33	4	2	21	67
	1.5%	25.4%	3.0%	1.5%	49.3%	6.0%	3.0%	31.3%	100.0%
寺田西	0	13	1	1	13	1	1	20	46
	0.0%	28.3%	2.2%	2.2%	28.3%	2.2%	2.2%	43.5%	100.0%
今池	1	11	3	1	19	0	4	17	46
	2.2%	23.9%	6.5%	2.2%	41.3%	0.0%	8.7%	37.0%	100.0%
富野	3	24	14	6	45	3	7	18	77
	3.9%	31.2%	18.2%	7.8%	58.4%	3.9%	9.1%	23.4%	100.0%
青谷	3	8	2	1	18	2	2	12	38
	7.9%	21.1%	5.3%	2.6%	47.4%	5.3%	5.3%	31.6%	100.0%
無回答	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	23	175	45	34	285	17	38	165	595
	3.9%	29.4%	7.6%	5.7%	47.9%	2.9%	6.4%	27.7%	100.0%

●学年別

学年別に子どもが参加している地域の催しをみると、各学年で「子ども会等の青少年団体活動」が最も多く、4割以上となっています。「いずれも参加していない」では「4年生」を除く各学年で3割程度となっています。

表 学年別子どもが参加している地域の催し（複数回答）

上段：回答数

下段：構成比

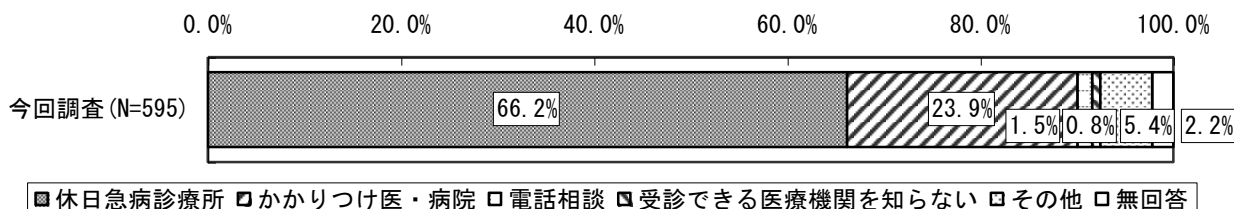
	子育て支援サークルの活動	スポーツ活動	文化・音楽活動	キャンプ等の野外活動	子ども会等の青少年団体活動	リサイクル等の環境分野での社会貢献活動	その他の活動	いずれも参加していない	有効回答数
1年生	4	23	6	7	53	2	9	28	103
	3.9%	22.3%	5.8%	6.8%	51.5%	1.9%	8.7%	27.2%	100.0%
2年生	5	22	5	6	52	3	9	34	111
	4.5%	19.8%	4.5%	5.4%	46.8%	2.7%	8.1%	30.6%	100.0%
3年生	5	35	9	6	42	4	4	29	100
	5.0%	35.0%	9.0%	6.0%	42.0%	4.0%	4.0%	29.0%	100.0%
4年生	3	23	8	3	45	0	11	22	93
	3.2%	24.7%	8.6%	3.2%	48.4%	0.0%	11.8%	23.7%	100.0%
5年生	4	33	10	4	38	1	3	26	85
	4.7%	38.8%	11.8%	4.7%	44.7%	1.2%	3.5%	30.6%	100.0%
6年生	1	39	4	8	50	6	2	25	95
	1.1%	41.1%	4.2%	8.4%	52.6%	6.3%	2.1%	26.3%	100.0%
無回答	1	0	3	0	5	1	0	1	8
	12.5%	0.0%	37.5%	0.0%	62.5%	12.5%	0.0%	12.5%	100.0%
合計	23	175	45	34	285	17	38	165	595
	3.9%	29.4%	7.6%	5.7%	47.9%	2.9%	6.4%	27.7%	100.0%

(11) 子どもの急病時の対応

問9-4 お子さんの休日や夜間の急な発熱などの急病時には、主にどのように対応されていますか。

休日や夜間の急病時の対応をみると、「休日急病診療所」(66.2%)が最も多く、次いで「かかりつけ医・病院」(23.9%)となっています。

図 子どもの急病時の対応 (単数回答)



●校別

校別に子どもの急病時の対応をみると、各校区で「休日急病診療所」が最も多く、5割以上となっており、「古川」、「深谷」、「寺田」、「青谷」では7割以上となっています。

表 校別子どもの急病時の対応

上段：回答数
下段：構成比

	休日急病診療所	かかりつけ医・病院	電話相談	受診できる医療機関を知らない	その他	無回答	合計
久津川	32 60.4%	17 32.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	3 5.7%	53 100.0%
古川	28 75.7%	7 18.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.7%	1 2.7%	37 100.0%
久世	73 65.2%	24 21.4%	3 2.7%	0 0.0%	8 7.1%	4 3.6%	112 100.0%
深谷	29 70.7%	11 26.8%	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	41 100.0%
寺田	59 76.6%	11 14.3%	2 2.6%	0 0.0%	4 5.2%	1 1.3%	77 100.0%
寺田南	39 58.2%	18 26.9%	1 1.5%	3 4.5%	4 6.0%	2 3.0%	67 100.0%
寺田西	29 63.0%	13 28.3%	1 2.2%	0 0.0%	2 4.3%	1 2.2%	46 100.0%
今池	26 56.5%	16 34.8%	0 0.0%	0 0.0%	4 8.7%	0 0.0%	46 100.0%
富野	51 66.2%	19 24.7%	1 1.3%	1 1.3%	5 6.5%	0 0.0%	77 100.0%
青谷	28 73.7%	5 13.2%	1 2.6%	0 0.0%	3 7.9%	1 2.6%	38 100.0%
無回答	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
合計	394 66.2%	142 23.9%	9 1.5%	5 0.8%	32 5.4%	13 2.2%	595 100.0%

3. 父母の就労状況

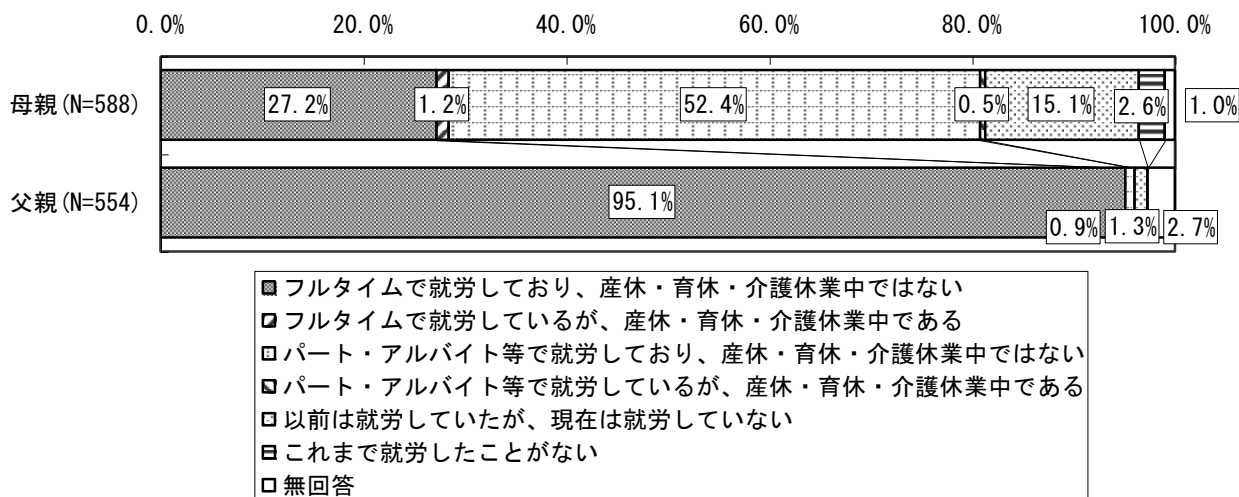
(1) 父母の就労状況

問10 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

母親の就労状況をみると、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(52.4%)が最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(27.2%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(15.1%)となっています。産休・育休・介護休業中に関わらず、フルタイムで働いている母親は28.4%、パート・アルバイト等で働いている母親は52.9%となっており、これらを合わせた、現在就労中の母親は81.3%となっています。

父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が95.1%となっており、産休・育休・介護休業中や就労形態に関わらず現在就労中の父親は96.0%となっています。

図 父母の就労状況（単数回答）



●学年別

学年別に母親の就労状況をみると、各学年で現在就労中の母親が7割以上となっており、3年生以下ではフルタイムで働いている母親、4年生以上ではパート・アルバイト等で働いている母親が比較的多くなっています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は3年生以下で多い傾向がみられます。

表 学年別母親の就労状況

上段：回答数

下段：構成比

	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答	合計
1年生	32 31.1%	4 3.9%	46 44.7%	1 1.0%	16 15.5%	2 1.9%	2 1.9%	103 100.0%
2年生	34 30.9%	0 0.0%	45 40.9%	2 1.8%	26 23.6%	2 1.8%	1 0.9%	110 100.0%
3年生	28 28.3%	1 1.0%	45 45.5%	0 0.0%	18 18.2%	6 6.1%	1 1.0%	99 100.0%
4年生	22 24.2%	0 0.0%	59 64.8%	0 0.0%	9 9.9%	1 1.1%	0 0.0%	91 100.0%
5年生	21 25.0%	2 2.4%	47 56.0%	0 0.0%	12 14.3%	2 2.4%	0 0.0%	84 100.0%
6年生	23 24.7%	0 0.0%	61 65.6%	0 0.0%	6 6.5%	2 2.2%	1 1.1%	93 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	5 62.5%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	1 12.5%	8 100.0%
合計	160 27.2%	7 1.2%	308 52.4%	3 0.5%	89 15.1%	15 2.6%	6 1.0%	588 100.0%

問 10 で「1」～「4」のいずれかに○をつけた方（現在就労している方）にうかがいます。

（1）－1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を口内に数字でご記入ください。

（1）－2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間は、24時間制（30分単位）で口内に数字でご記入ください。

（1）－1 父母の就労日数・就労時間

就労している母親の就労日数（週当たり）をみると、「5日」（47.7%）が最も多く、次いで「4日」（23.8%）となっています。また、就労時間（1日当たり）をみると、「8時間以上～9時間未満」（22.5%）が最も多く、次いで「5時間以上～6時間未満」（18.2%）、「4時間以上～5時間未満」（16.3%）となっています。就労時間が7時間未満の母親が5割以上となっています。

就労している父親の就労日数（週当たり）をみると、「5日」（66.0%）が最も多く、次いで「6日以上」（28.9%）となっています。また、就労時間（1日当たり）をみると、「8時間以上～9時間未満」（29.3%）が最も多く、次いで「10時間以上～11時間未満」（24.4%）、「9時間以上～10時間未満」（16.4%）となっています。就労時間が9時間以上の父親が5割以上となっています。

図 父母の就労日数

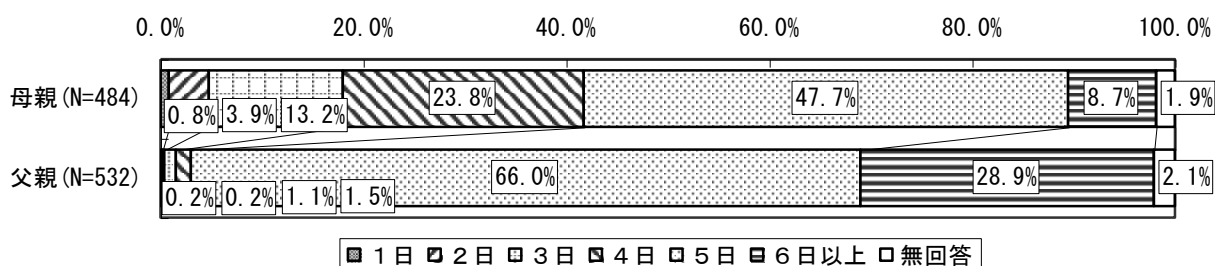
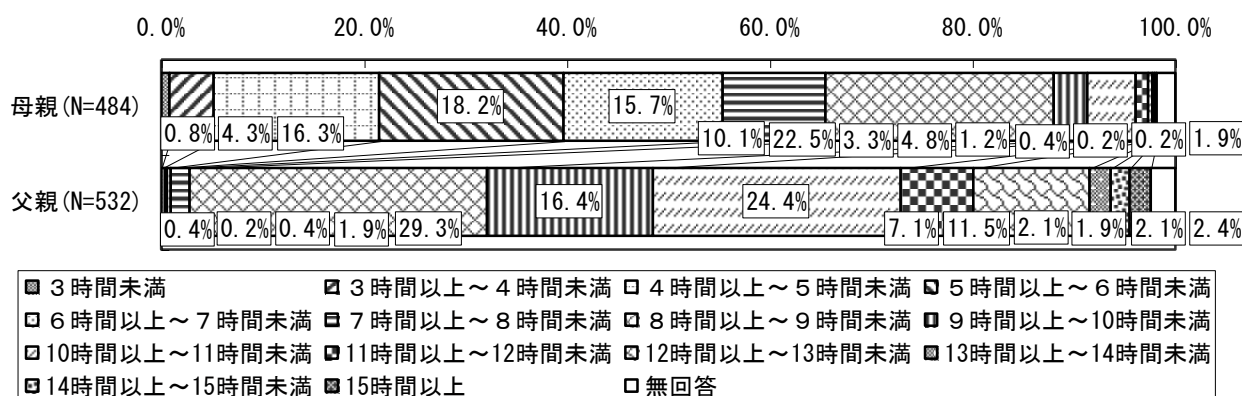


図 父母の就労時間



(1) - 2 父母の出勤時間・帰宅時間

就労している母親の出勤時間をみると、「8時～9時」(54.8%)が最も多く、次いで「7時～8時」(19.2%)、「9時～10時」(14.0%)となっています。また、帰宅時間をみると、「15時より前」(23.0%)が最も多く、次いで「18時～19時」(21.1%)、「17時～18時」(19.2%)となっています。

就労している父親の出勤時間をみると、「7時～8時」(51.5%)が最も多く、次いで「8時～9時」(17.3%)、「6時～7時」(16.2%)となっています。また、帰宅時間をみると、「19時～20時」(26.1%)が最も多く、次いで「20時～21時」(17.3%)、「18時～19時」(15.8%)となっています。

図 父母の出勤時間

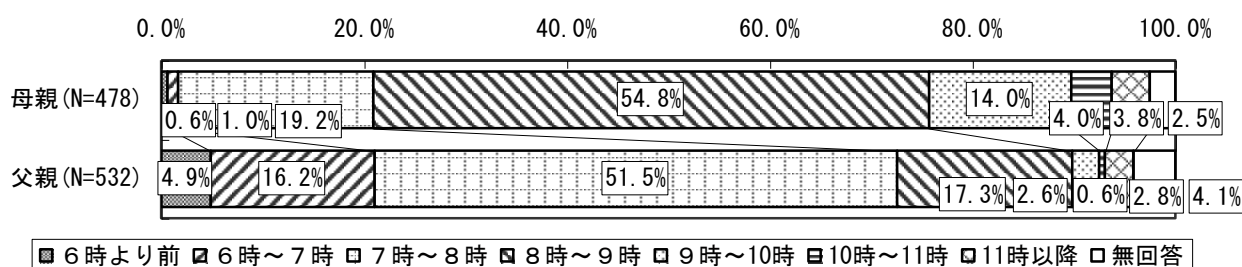
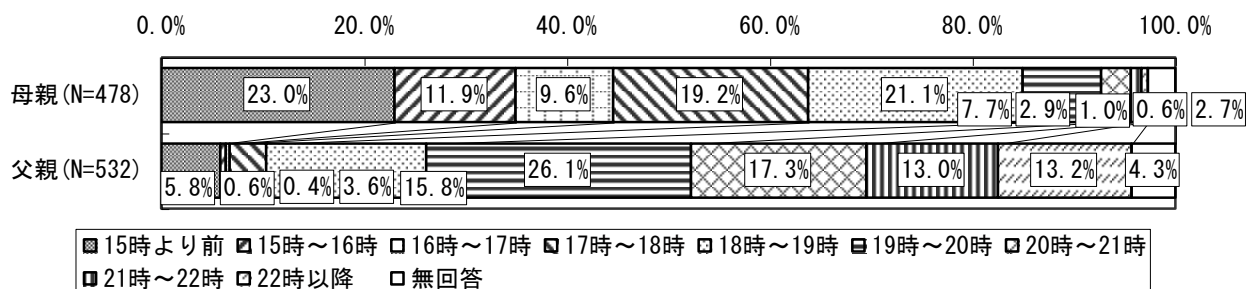


図 父母の帰宅時間



* 問11は、問10で「3」または「4」のいずれかに○をつけた方（現在パート・アルバイト等で就労している方）にうかがいます。

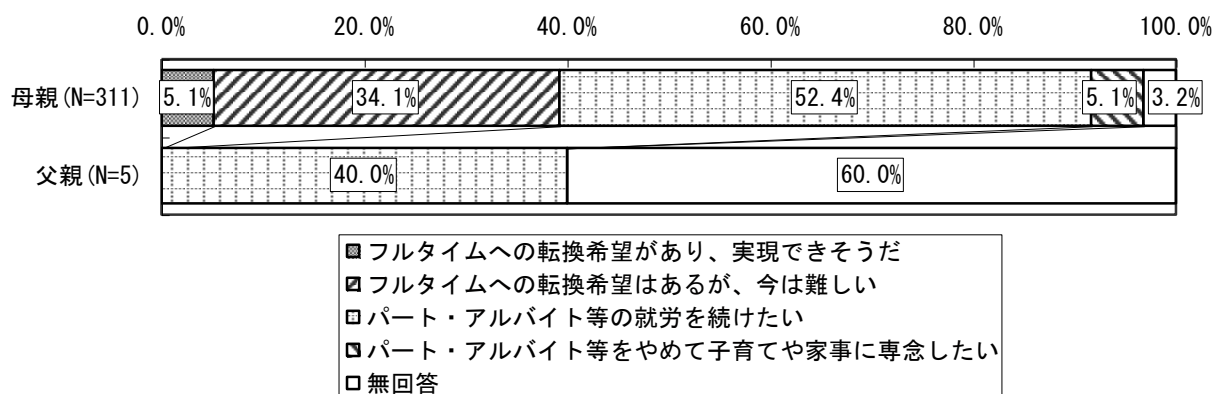
(2) パート・アルバイト等で就労している父母のフルタイムへの転換希望

問11 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度以上の就労）への転換希望はありますか。

現在パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望をみると、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」（52.4%）が最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、今は難しい」（34.1%）となっています。また、実現見込みに関わらず、フルタイムへの転換希望がある母親は39.2%となっていますが、実現の見込みがある母親は5.1%とわずかとなっています。

現在パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望をみると、以下の通りとなっています。

図 現在パート・アルバイト等で就労している父母のフルタイムへの転換希望（単数回答）



●学年別

学年別に現在パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望をみると、「2年生」を除いた各学年で「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が最も多く、5割以上となっています。「2年生」は「フルタイムへの転換希望はあるが、今は難しい」と「パート・アルバイト等の就労を続けたい」がともに44.7%と最も多くなっています。

表 学年別現在パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望

上段：回答数

下段：構成比

	フルタイムへの転換希望があり、実現できそうだ	フルタイムへの転換希望はあるが、今は難しい	パート・アルバイト等の就労を続けたい	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	無回答	合計
1年生	3	15	25	3	1	47
	6.4%	31.9%	53.2%	6.4%	2.1%	100.0%
2年生	1	21	21	2	2	47
	2.1%	44.7%	44.7%	4.3%	4.3%	100.0%
3年生	3	10	27	2	3	45
	6.7%	22.2%	60.0%	4.4%	6.7%	100.0%
4年生	2	20	32	4	1	59
	3.4%	33.9%	54.2%	6.8%	1.7%	100.0%
5年生	2	15	25	3	2	47
	4.3%	31.9%	53.2%	6.4%	4.3%	100.0%
6年生	5	21	33	1	1	61
	8.2%	34.4%	54.1%	1.6%	1.6%	100.0%
無回答	0	4	0	1	0	5
	0.0%	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	100.0%
合計	16	106	163	16	10	311
	5.1%	34.1%	52.4%	5.1%	3.2%	100.0%

*問12は、問10で「5」または「6」のいずれかに○をつけた方（現在就労していない方）に
うかがいます。

(3) 就労していない父母の就労希望

問12 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号に○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

①現在就労していない父母の就労希望

現在就労していない母親の就労意向をみると、「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」(48.1%)が最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(26.9%)、「1年より先に就労したい」(21.2%)となっています。

また、1年より先に就労したい母親について、就労希望時期の末子の年齢をみると、「6歳以上」(72.7%)が最も多くなっています。

現在就労していない父親の就労意向をみると、以下の通りとなっています。

図 就労していない父母の就労希望（単数回答）

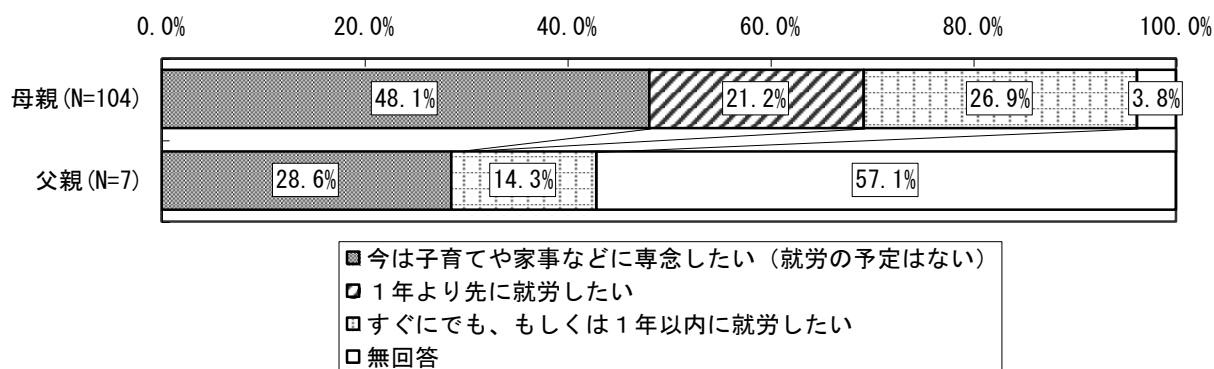
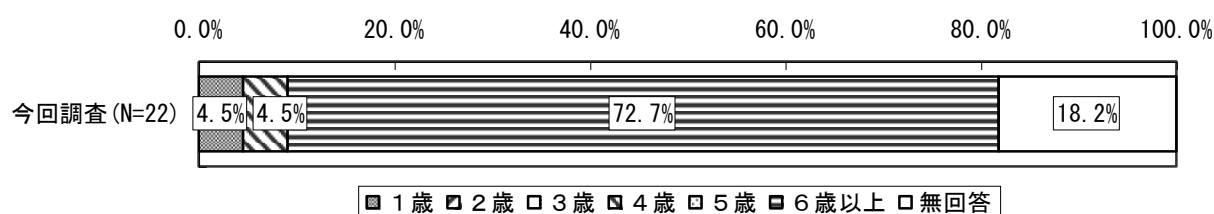


図 母親が就労を希望する時期の子どもの年齢



②父母の希望の就労形態

現在就労していない母親のうち就労意向がある母親の希望の就労形態をみると、「パートタイム、アルバイト等」が88.0%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が6.0%となっています。

パートタイム、アルバイト等での就労意向がある母親の希望の就労日数（1週当たり）をみると、「3日」（50.0%）が最も多く、次いで「4日」（31.8%）となっています。また、希望の就労時間（1日当たり）をみると、「5時間以上～6時間未満」（38.6%）が最も多く、次いで「4時間以上～5時間未満」（36.4%）、「6時間以上～7時間未満」（13.6%）となっています。

現在就労していない父親のうち就労意向がある父親の希望の就労形態をみると、以下の通りとなっています。

図 父母の希望の就労形態（単数回答）

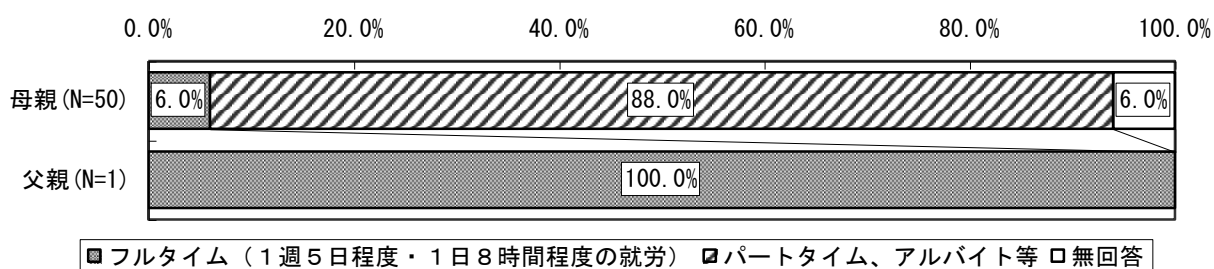


図 母親の希望の就労日数

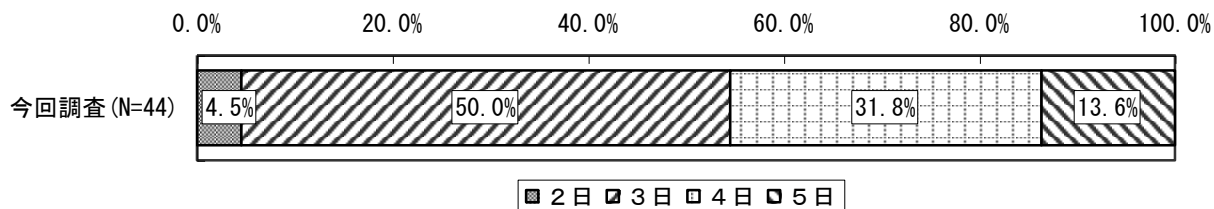
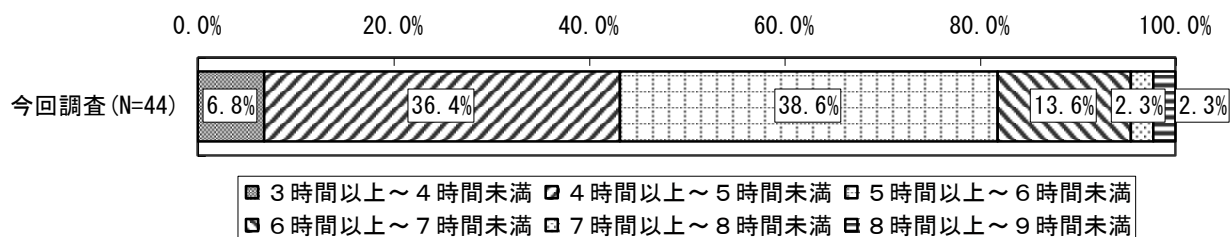


図 母親の希望の就労時間



●学年別

学年別に母親の希望の就労日数をみると、「1年生」、「2年生」、「4年生」、「6年生」では「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が最も多くなっており、「1年生」と「4年生」では7割以上となっています。「3年生」と「5年生」では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が最も多く、4割以上となっています。

表 学年別母親の就労希望

上段：回答数

下段：構成比

	今は子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	1年より先に就労したい	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	無回答	合計
1年生	13 72.2%	2 11.1%	2 11.1%	1 5.6%	18 100.0%
2年生	13 46.4%	8 28.6%	6 21.4%	1 3.6%	28 100.0%
3年生	6 25.0%	6 25.0%	10 41.7%	2 8.3%	24 100.0%
4年生	7 70.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	10 100.0%
5年生	5 35.7%	3 21.4%	6 42.9%	0 0.0%	14 100.0%
6年生	5 62.5%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	8 100.0%
無回答	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
合計	50 48.1%	22 21.2%	28 26.9%	4 3.8%	104 100.0%

*問12-1は、問12で「2」または「3」のいずれかに○をつけた方（今後就労を希望する方）にうかがいます。

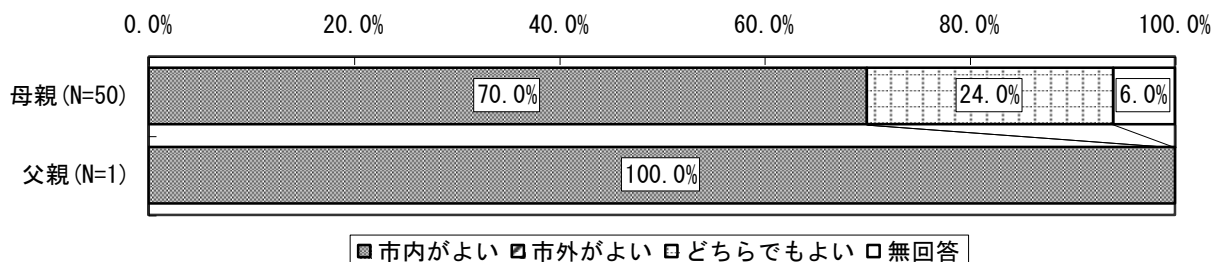
(4) 父母の希望の就労場所

問12-1 就労を希望する場所はどこですか。

現在就労していない母親のうち就労意向がある母親の希望の就労場所をみると、「市内がよい」(70.0%)が最も多く、次いで「どちらでもよい」(24.0%)となっています。

現在就労していない父親のうち就労意向がある父親の希望の就労場所をみると、以下の通りとなっています。

図 父母の希望の就労場所（単数回答）



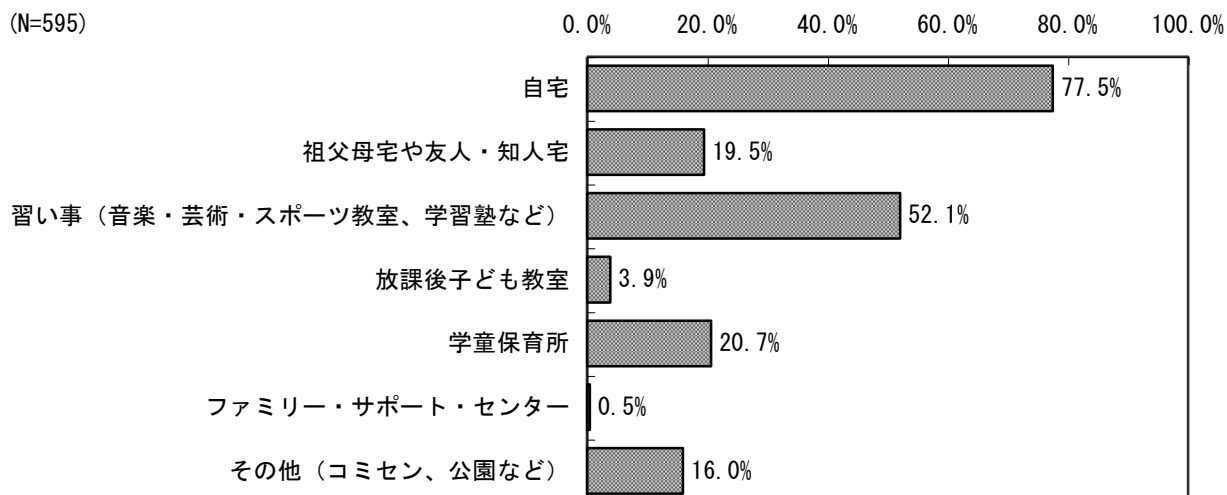
4. 学童保育所の利用について

(1) 現在の放課後の過ごし方

問13 お子さんは放課後（平日の小学校終了後）どのような場所で過ごしていますか。

放課後の子どもの過ごし方をみると、「自宅」(77.5%)が最も多く、次いで「習い事」(52.1%)、「学童保育所」(20.7%)となっています。

図 子どもが放課後に過ごしている場所（複数回答）



<放課後の過ごし方別 1 週当たり日数>

放課後を自宅で過ごしている日数をみると、「5日以上」(53.4%) が最も多く、次いで「1日」(15.0%)、「2日」(14.1%) となっています。

放課後を祖父母宅や友人・知人宅で過ごしている日数をみると、「1日」(33.6%) が最も多く、次いで「2日」(28.4%)、「3日」と「5日以上」(共に 14.7%) となっています。

放課後を習い事で過ごしている日数をみると、「2日」(27.7%) が最も多く、次いで「1日」(26.8%)、「3日」(22.9%) となっています。

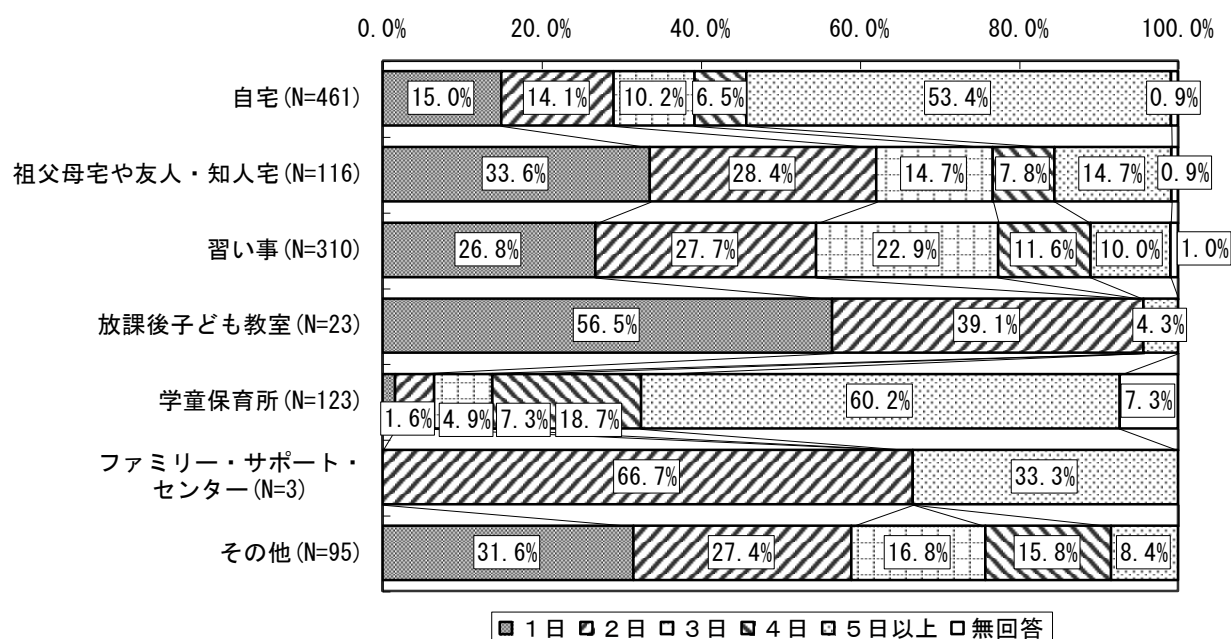
放課後を放課後子ども教室で過ごしている日数をみると、「1日」(56.5%) が最も多く、次いで「2日」(39.1%) となっています。

放課後を学童保育所で過ごしている日数をみると、「5日以上」(60.2%) が最も多く、次いで「4日」(18.7%) となっています。

放課後をファミリー・サポート・センターで過ごしている日数をみると、以下の通りとなっています。

放課後をその他の場所で過ごしている日数をみると、「1日」(31.6%) が最も多く、次いで「2日」(27.4%)、「3日」(16.8%) となっています。

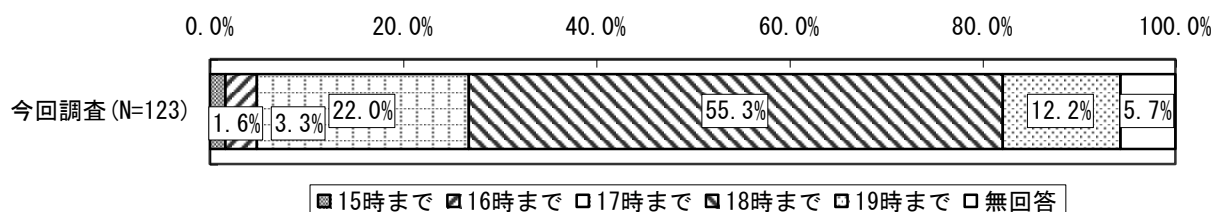
図 放課後の過ごし方 (日数)



<学童保育所の利用状況>

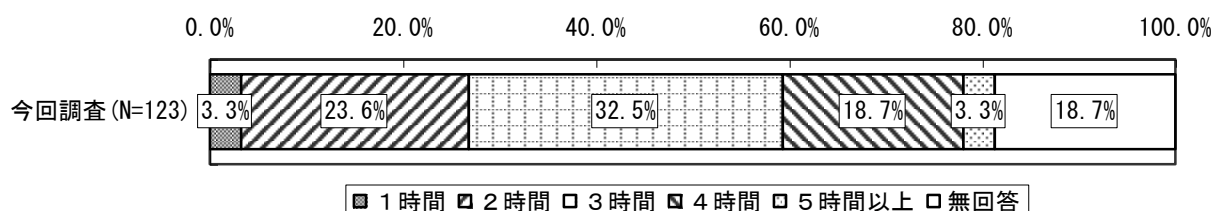
放課後を学童保育所で過ごしている子どもの利用終了時間をみると、「18時まで」(55.3%)が最も多く、次いで「17時まで」(22.0%)、「19時まで」(12.2%)となっています。

図 放課後の過ごし方 学童保育所の利用終了時間



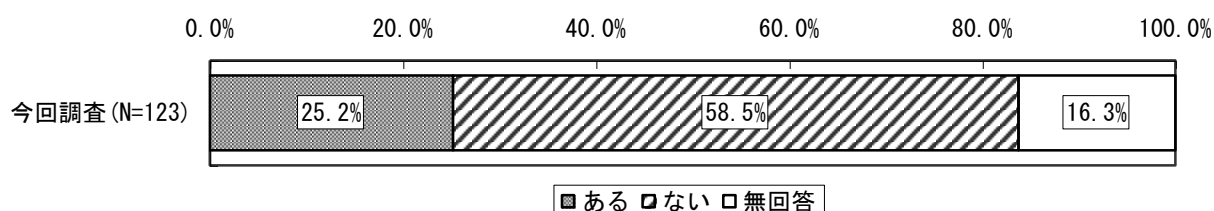
放課後を学童保育所で過ごしている子どもの利用時間をみると、「3時間」(32.5%)が最も多く、次いで「2時間」(23.6%)、「4時間」(18.7%)となっています。

図 放課後の過ごし方 学童保育所の利用時間



放課後を学童保育所で過ごしている子どもの土曜日の利用状況をみると、「ない」が58.5%、「ある」が25.2%となっています。

図 学童保育所の土曜日の利用状況



●校區別

校區別に子どもが放課後に過ごしている場所をみると、各校区で「自宅」が最も多く7割以上となっており、次いで多い「習い事（音楽・芸術・スポーツ教室、学習塾など）」は5割程度となっています。「学童保育所」は「久津川」、「久世」、「寺田南」、「青谷」で2割以上となっています。

表 校區別子どもが放課後に過ごしている場所（複数回答）

上段：回答数

下段：構成比

	自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事 （音楽・ 芸術・ス ポーツ教 室、学習 塾など）	放課後子 ども教室	学童保 育所	ファミ リー・サ ポート・ センター	その他 （コミセ ン、公園 など）	有効回 答数
久津川	39	11	29	0	16	1	4	53
	73.6%	20.8%	54.7%	0.0%	30.2%	1.9%	7.5%	100.0%
古川	33	10	22	10	6	1	7	37
	89.2%	27.0%	59.5%	27.0%	16.2%	2.7%	18.9%	100.0%
久世	89	13	56	0	28	0	16	112
	79.5%	11.6%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	14.3%	100.0%
深谷	33	10	23	0	6	0	11	41
	80.5%	24.4%	56.1%	0.0%	14.6%	0.0%	26.8%	100.0%
寺田	58	19	40	1	15	1	9	77
	75.3%	24.7%	51.9%	1.3%	19.5%	1.3%	11.7%	100.0%
寺田南	47	11	35	1	17	0	8	67
	70.1%	16.4%	52.2%	1.5%	25.4%	0.0%	11.9%	100.0%
寺田西	35	10	23	1	2	0	5	46
	76.1%	21.7%	50.0%	2.2%	4.3%	0.0%	10.9%	100.0%
今池	36	10	24	0	9	0	13	46
	78.3%	21.7%	52.2%	0.0%	19.6%	0.0%	28.3%	100.0%
富野	60	13	38	6	14	0	15	77
	77.9%	16.9%	49.4%	7.8%	18.2%	0.0%	19.5%	100.0%
青谷	30	8	19	4	10	0	7	38
	78.9%	21.1%	50.0%	10.5%	26.3%	0.0%	18.4%	100.0%
無回答	1	1	1	0	0	0	0	1
	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	461	116	310	23	123	3	95	595
	77.5%	19.5%	52.1%	3.9%	20.7%	0.5%	16.0%	100.0%

●学年別

学年別に子どもが放課後に過ごしている場所をみると、各学年で「自宅」最も多く、4年生以上の各学年で8割以上となっています。また、3年生以上では「習い事（音楽・芸術・スポーツ教室、学習塾など）」も5割以上と多くなっています。「学童保育所」は「1年生」（47.6%）が「自宅」に次いで多く、学年が上がるにつれて少なくなる傾向みられます。

表 学年別子どもが放課後に過ごしている場所（複数回答）

上段：回答数

下段：構成比

	自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事 （音楽・ 芸術・ス ポーツ教 室、学習 塾など）	放課後子 ども教室	学童保育 所	ファミ リー・サ ポート・ センター	その他 （コミセ ン、公園 など）	有効回答 数
1年生	61 59.2%	17 16.5%	47 45.6%	3 2.9%	49 47.6%	0 0.0%	21 20.4%	103 100.0%
2年生	81 73.0%	24 21.6%	43 38.7%	7 6.3%	32 28.8%	0 0.0%	22 19.8%	111 100.0%
3年生	77 77.0%	17 17.0%	60 60.0%	2 2.0%	21 21.0%	1 1.0%	18 18.0%	100 100.0%
4年生	78 83.9%	20 21.5%	53 57.0%	4 4.3%	12 12.9%	1 1.1%	11 11.8%	93 100.0%
5年生	68 80.0%	13 15.3%	51 60.0%	3 3.5%	6 7.1%	1 1.2%	16 18.8%	85 100.0%
6年生	88 92.6%	22 23.2%	52 54.7%	4 4.2%	3 3.2%	0 0.0%	6 6.3%	95 100.0%
無回答	8 100.0%	3 37.5%	4 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	8 100.0%
合計	461 77.5%	116 19.5%	310 52.1%	23 3.9%	123 20.7%	3 0.5%	95 16.0%	595 100.0%

(2) 学童保育所を利用している理由

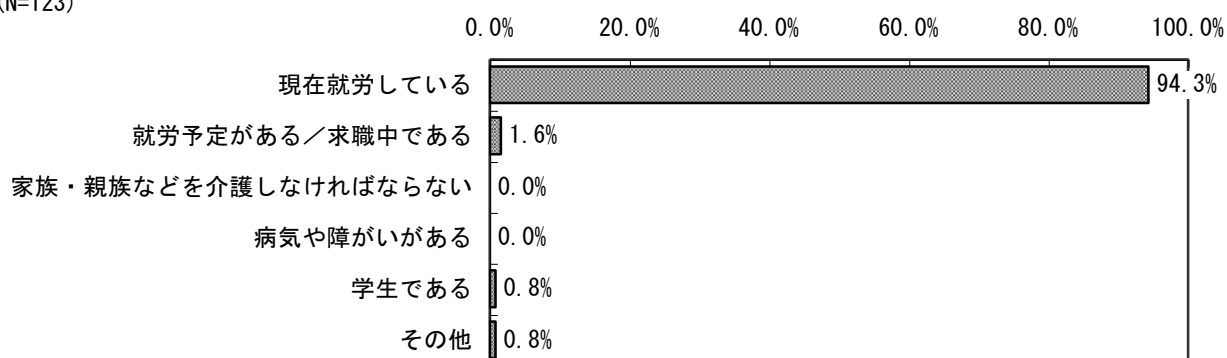
* 問14～問15は、問13で「5」に○をつけた方（学童保育所を利用している方）にうかがいます。

問14 学童保育所を利用されている理由は何ですか。

学童保育所を利用している人の理由をみると、「現在就労している」（94.3%）が最も多くなっています。

図 学童保育所を利用している理由（複数回答）

(N=123)

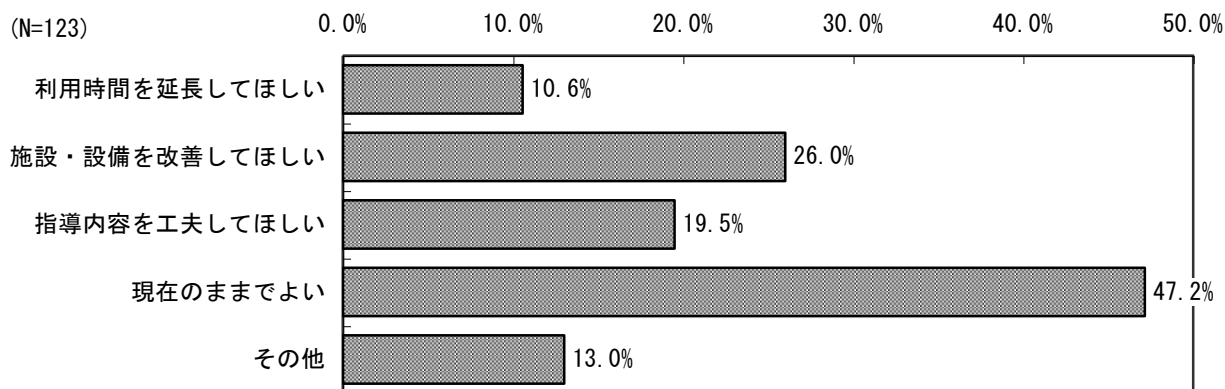


(3) 学童保育所に対する要望

問15 学童保育所に対してどのように感じていますか。

学童保育所を利用している人の要望をみると、「現在のままでよい」(47.2%)が最も多く、次いで「施設・設備を改善してほしい」(26.0%)、「指導内容を工夫してほしい」(19.5%)となっています。

図 学童保育所に対する要望（複数回答）



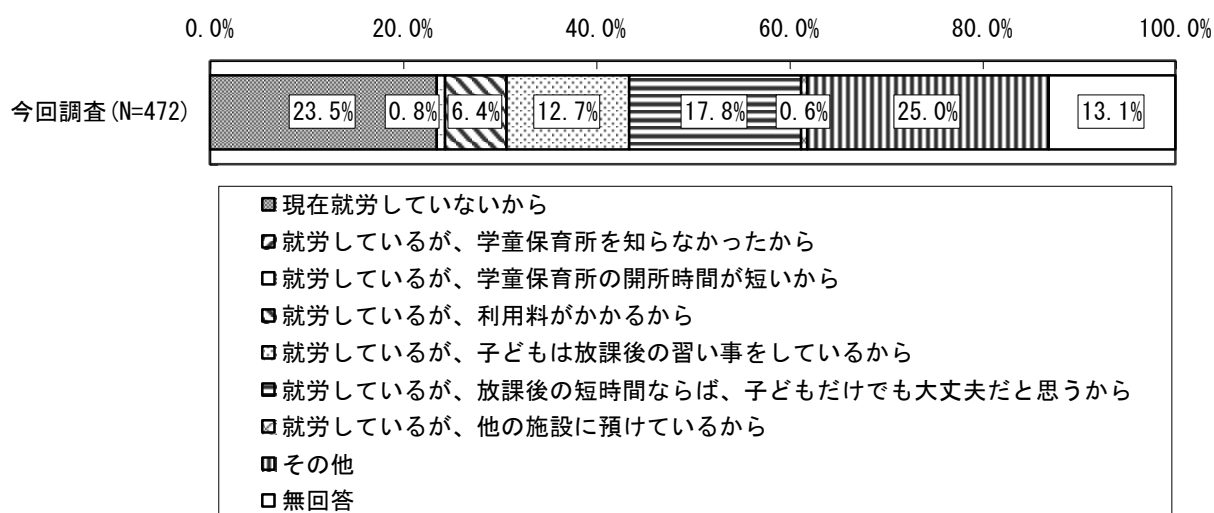
* 問16～問17は、問13で「5」以外に○をつけた方にうかがいます。

(4) 学童保育所を利用していない理由

問16 学童保育所を利用していない理由について、もっとも当てはまるものをお答えください。

学童保育所を利用していない人の理由をみると、「その他」を除いて「現在就労していないから」(23.5%)が最も多く、次いで「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」(17.8%)、「就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから」(12.7%)となっています。

図 学童保育所を利用していない理由（単数回答）

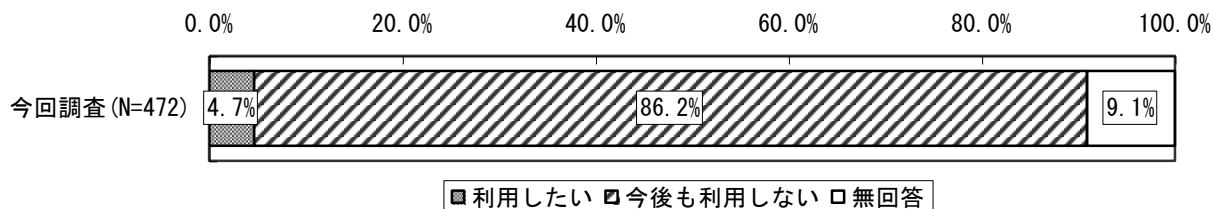


(5) 学童保育所の利用意向

問17 お子さんについて、今後学童保育所を利用したいとお考えですか。

学童保育所を利用していない人の今後の利用意向をみると、「今後も利用しない」が 86.2%、「利用したい」が 4.7 ポイントとなっています。

図 学童保育所の利用意向（単数回答）



< 今後学童保育を利用したい人の利用希望（日数・時間） >

今後学童保育を利用したい人の利用希望（日数・時間）をみると、以下の通りとなっています。

図 学童保育所の1週当たり希望利用日数

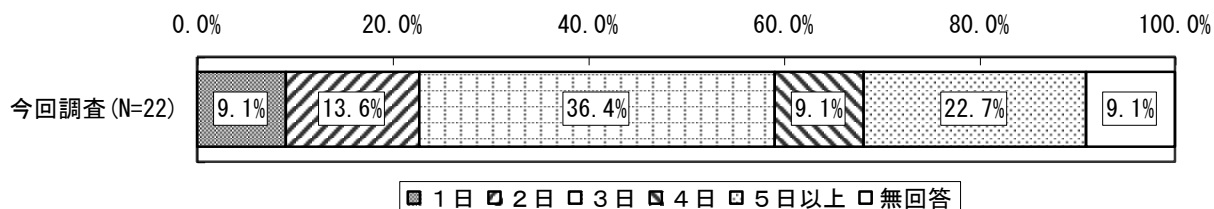


図 学童保育所の1日当たり希望利用時間

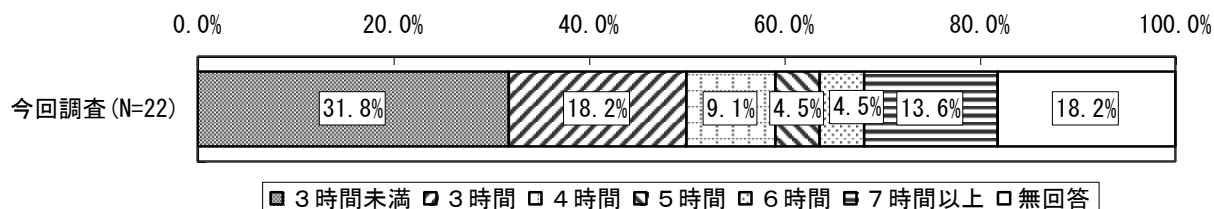


図 学童保育所の希望利用開始時間

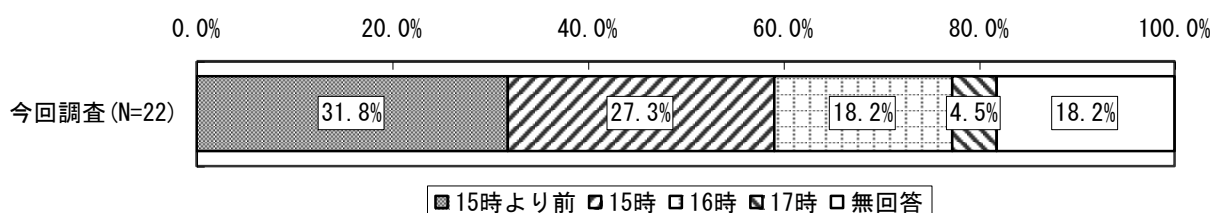


図 学童保育所の希望利用終了時間

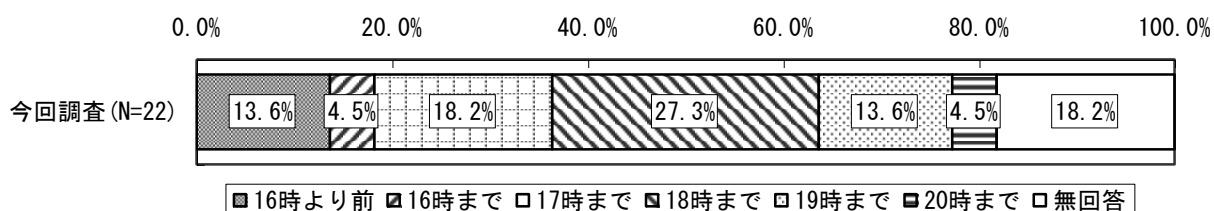


図 土曜日の学童保育所の希望利用時間

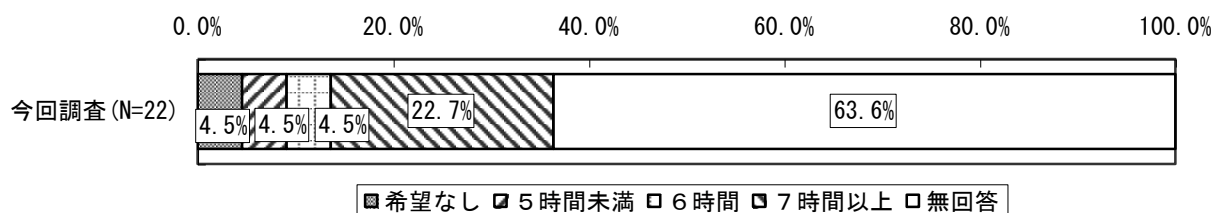


図 土曜日の学童保育所の希望利用開始時間

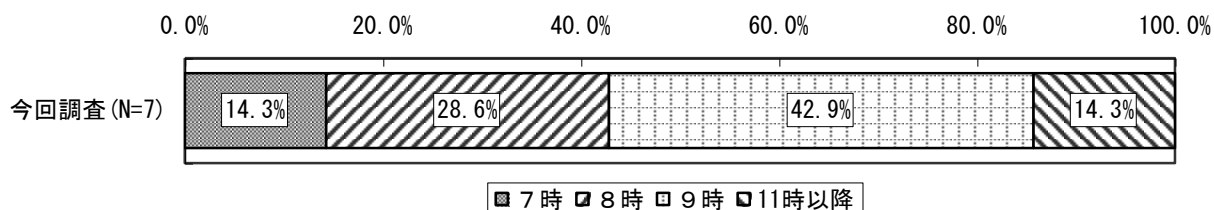
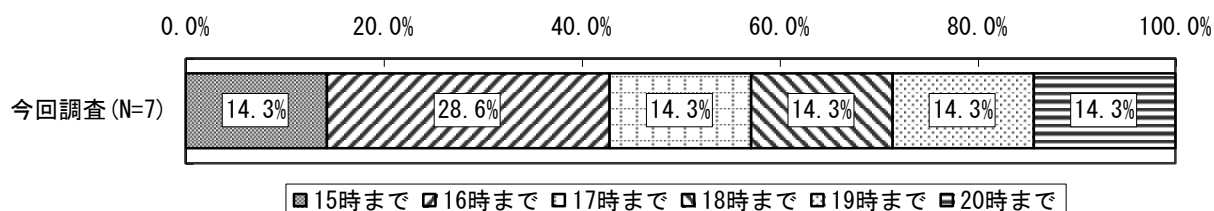


図 土曜日の学童保育所の希望利用終了時間



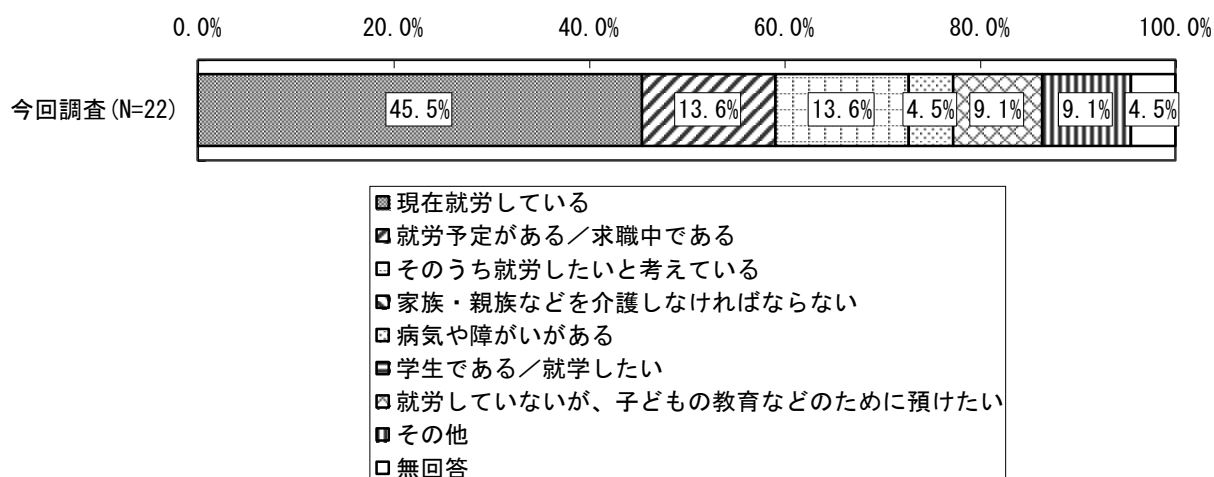
(6) 学童保育所を利用したい理由

* 問 17-1 は、問 17 で「1」に○をつけた方（今後学童保育所を利用したい方）にうかがいます。

問17-1 今後学童保育所を利用したい理由について、もっとも当てはまるものをお答えください。

今後学童保育を利用したい人の理由をみると、以下の通りとなっています。

図 学童保育所を利用したい理由（単数回答）



(7) 放課後子ども教室の利用意向

問18 地域によっては、学童保育所と連携して行うサービスとして「放課後子ども教室」がありますが、その利用意向はありますか。

放課後子ども教室の利用意向をみると、「意向がない」(63.9%)が最も多く、次いで「利用できる放課後子ども教室がない」(20.7%)、「意向がある」(11.4%)となっています。また、利用意向がある人の希望利用日数をみると、「2日」(32.4%)が最も多く、次いで「1日」(20.6%)、「3日」(17.6%)となっています。

図 放課後子ども教室の利用意向 (単数回答)

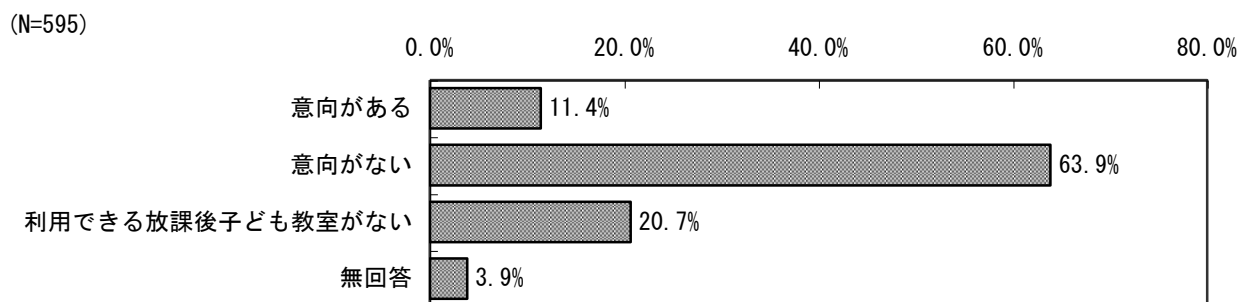
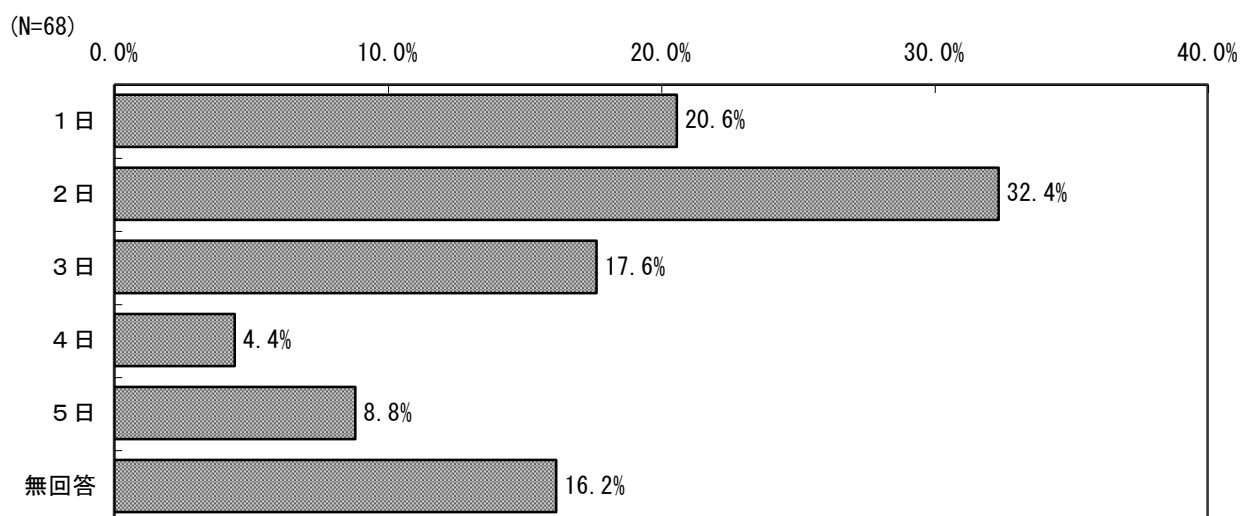


図 放課後子ども教室の希望利用日数 (単数回答)



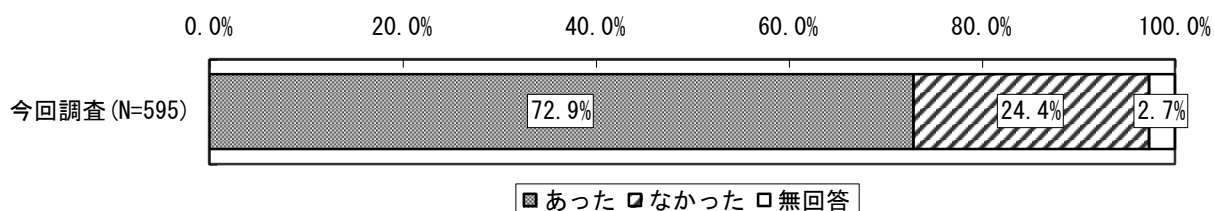
5. 子どもが病気の際の対応について

(1) 子どもが病気やケガで学校を休んだこと

問19 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。

子どもが病気等で学校を休んだ経験をみると、「あった」が72.9%、「なかった」が24.4%となっています。

図 子どもが病気やケガで学校を休んだ経験（単数回答）



●学年別

学年別に子どもが病気やケガで学校を休んだ経験をみると、各学年で「あった」が6割以上となっています。

表 学年別子どもが病気やケガで学校を休んだ経験

上段：回答数

下段：構成比

	あった	なかった	無回答	合計
1年生	73	26	4	103
	70.9%	25.2%	3.9%	100.0%
2年生	84	24	3	111
	75.7%	21.6%	2.7%	100.0%
3年生	79	19	2	100
	79.0%	19.0%	2.0%	100.0%
4年生	65	26	2	93
	69.9%	28.0%	2.2%	100.0%
5年生	65	19	1	85
	76.5%	22.4%	1.2%	100.0%
6年生	61	31	3	95
	64.2%	32.6%	3.2%	100.0%
無回答	7	0	1	8
	87.5%	0.0%	12.5%	100.0%
合計	434	145	16	595
	72.9%	24.4%	2.7%	100.0%

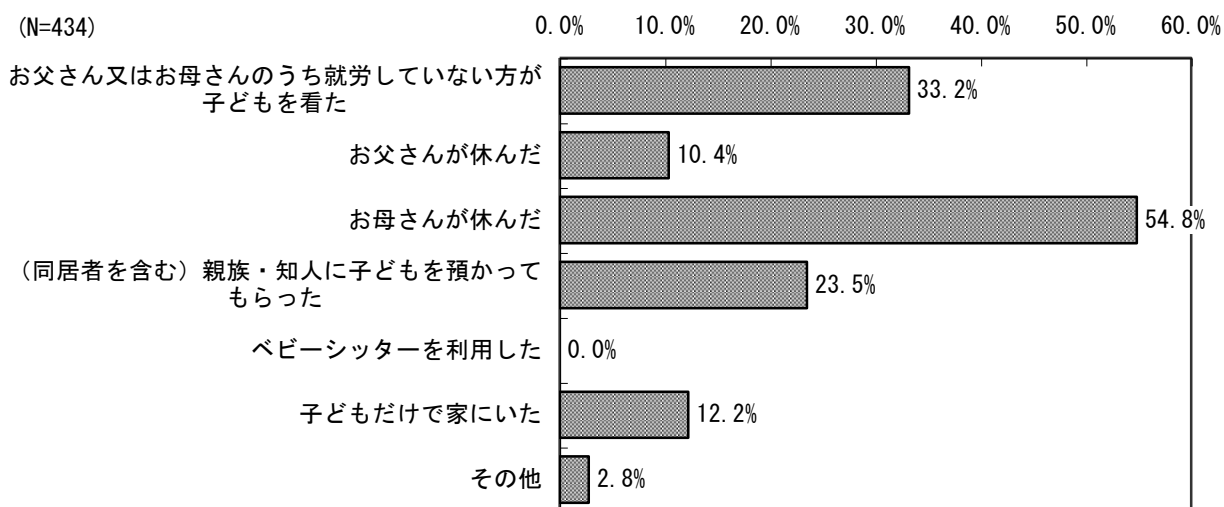
(2) 子どもが病気やケガで学校を休んだ際の対応

*問19-1は、問19で「1」に○をつけた方(お子さんが病気やケガで学校を休んだことがあった方)にうかがいます。

問19-1 お子さんが病気やけがで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対応として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数も□内に数字でご記入ください。

子どもが病気等で学校を休んだ際の対応をみると、「お母さんが休んだ」(54.8%)が最も多く、次いで「お父さん又はお母さんのうち就労していない方が子どもを看た」(33.2%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを預かってもらった」(23.5%)となっています。

図 子どもが病気やケガで学校を休んだ際の対応(複数回答)



<子どもが病気やケガで学校を休んだ際の対応にかかった日数>

子どもが病気等で学校を休んだ際にお父さん又はお母さんのうち就労していない方が子どもを見た日数をみると、「6日以上」(23.6%)が最も多く、次いで「1日」(22.2%)、「5日」(16.7%)となっています。

子どもが病気等で学校を休んだ際にお父さんが休んだ日数をみると、「1日」(33.3%)が最も多く、次いで「2日」(26.7%)、「3日」(20.0%)となっています。

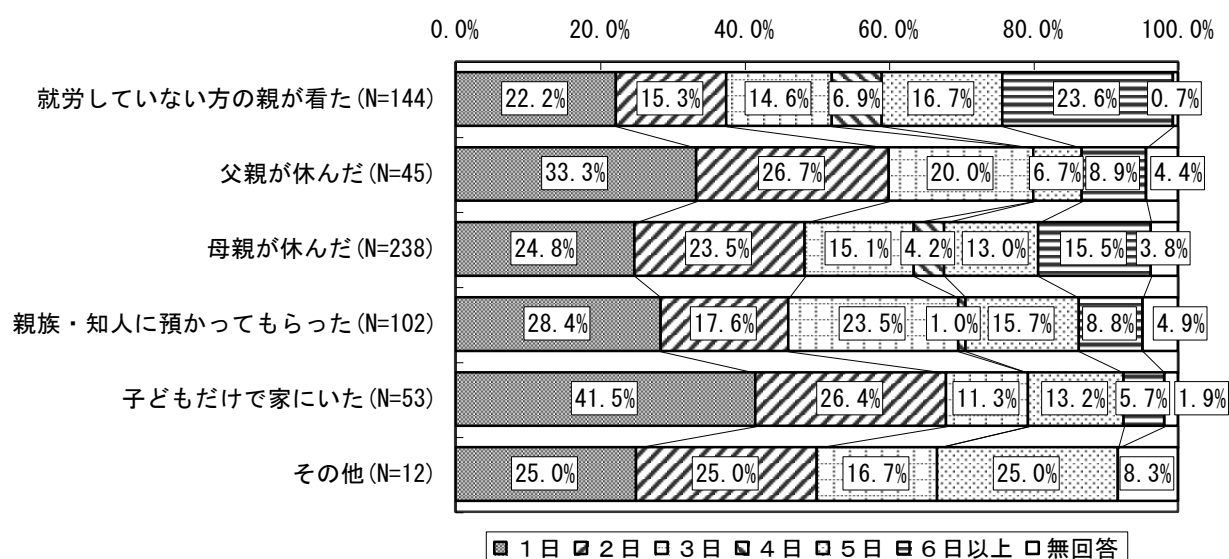
子どもが病気等で学校を休んだ際にお母さんが休んだ日数をみると、「1日」(24.8%)が最も多く、次いで「2日」(23.5%)、「6日以上」(15.5%)となっています。

子どもが病気等で学校を休んだ際に親族・知人に預かってもらった日数をみると、「1日」(28.4%)が最も多く、次いで「3日」(23.5%)、「5日」(15.7%)となっています。

子どもが病気等で学校を休んだ際に子どもだけで家にいた日数をみると、「1日」(41.5%)が最も多く、次いで「2日」(26.4%)、「5日」(13.2%)となっています。

子どもが病気等で学校を休んだ際にその他の対処をした日数をみると、以下の通りとなっています。

図 子どもが病気やケガで学校を休んだ際の対応



(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望

* 問19-2は、問19-1で「イ」または「ウ」のいずれかに回答した方（お子さんが病気やケガで学校を休んだ際にお母さん、お父さんが休んだ方）にうかがいます。

問19-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号に○をつけ、必要とされた日数についても□内に数字でご記入ください。

子どもが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだ際にお父さん、お母さんが休んだ人について、病児・病後児保育施設等の利用希望の有無をみると、「利用したいとは思わない」が81.3%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が14.3%となっています。

また、利用希望がある人について、希望の利用日数をみると、「2日」(33.3%)が最も多く、次いで「3日」(16.7%)、「1日」(13.9%)となっています。

図 病児・病後児保育施設等の利用希望（単数回答）

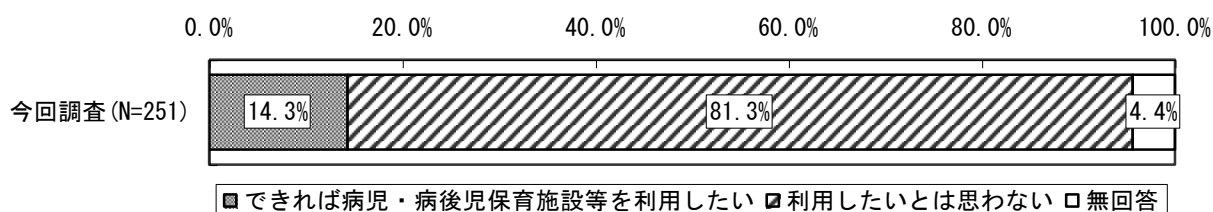
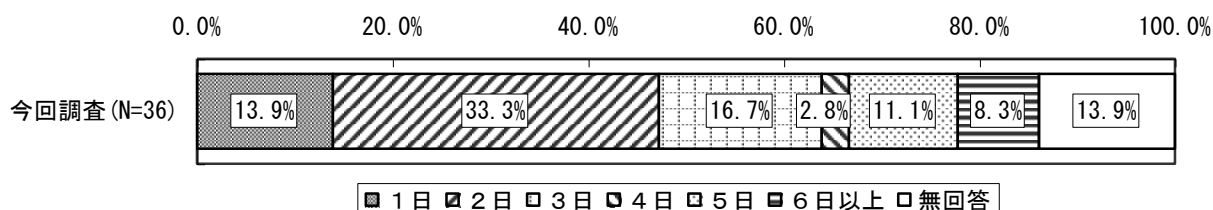


図 病児・病後児保育施設等の希望利用日数



●学年別

学年別に病児・病後児保育施設等の利用希望をみると、各学年で「利用したいとは思わない」が7割以上となっています。「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」は「2年生」が22.2%と多くなっています。

表 学年別病児・病後児保育施設等の利用希望

上段：回答数

下段：構成比

	できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	利用したいとは思わない	無回答	合計
1年生	7 15.2%	37 80.4%	2 4.3%	46 100.0%
2年生	10 22.2%	34 75.6%	1 2.2%	45 100.0%
3年生	5 12.2%	35 85.4%	1 2.4%	41 100.0%
4年生	2 5.1%	34 87.2%	3 7.7%	39 100.0%
5年生	5 13.9%	29 80.6%	2 5.6%	36 100.0%
6年生	7 17.1%	32 78.0%	2 4.9%	41 100.0%
無回答	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%
合計	36 14.3%	204 81.3%	11 4.4%	251 100.0%

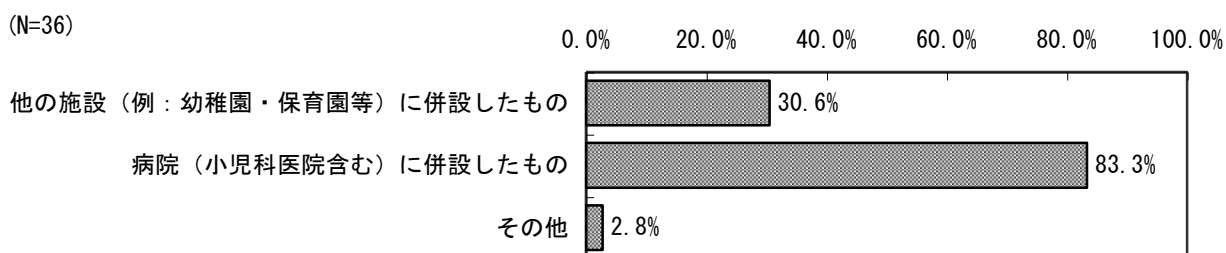
(4) 望ましい病児・病後児保育の形態

* 問19-3は、問19-2で「1」に○をつけた方（病児・病後児保育を利用したい方）にうかがいます。

問19-3 上記の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思われますか。

病児・病後児保育施設の利用希望がある人について、希望の事業形態をみると、「病院（小児科医院含む）に併設したもの」が83.3%、「他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設したもの」が30.6%となっています。

図 望ましい病児・病後児保育の形態（複数回答）



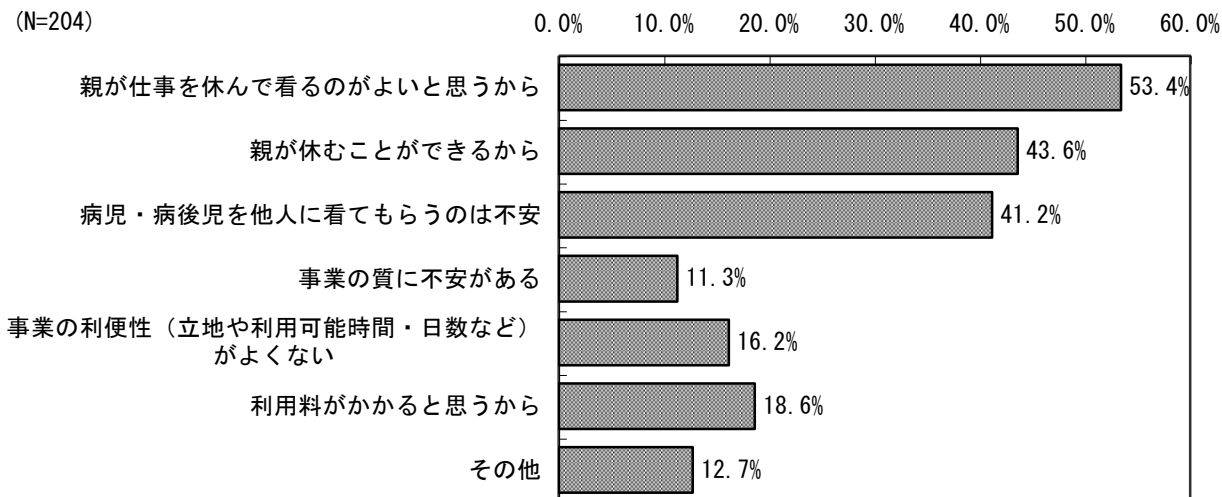
(5) 病児・病後児保育を利用したいとは思わない理由

* 問19-4は、問19-2で「2」に○をつけた方(病児・病後児保育を利用したいとは思わない方)にうかがいます。

問19-4 病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わない理由は何ですか。

病児・病後児保育施設を利用したくない人の理由をみると、「親が仕事を休んで看るのがよいと思うから」(53.4%)が最も多く、次いで「親が休むことができるから」(43.6%)、「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」(41.2%)となっています。

図 病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由(複数回答)



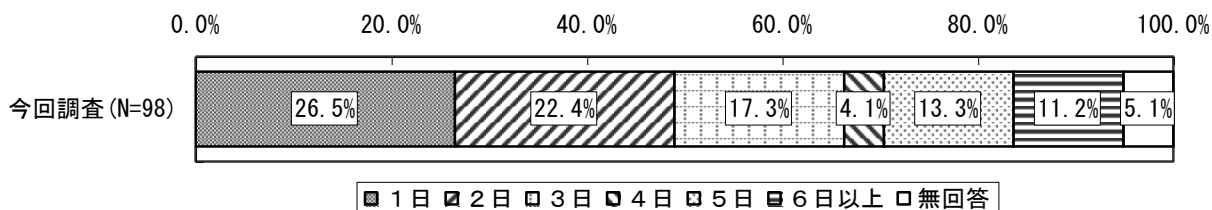
* 問19-5~問19-6は、問19-1で「エ」から「キ」のいずれかに回答した方(お子さんが病気やケガで学校を休んだ際にお母さん、お父さんが看られなかった方)にうかがいます。

(6) 仕事を休んで子どもを看たかった日数

問19-5 その際、仕事が休めたら、何日仕事を休んで看たいと思われましたか。「エ」から「キ」の日数のうち仕事を休んで看たかったおおよその日数について数字でご記入ください。

子どもが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだ際にお母さん、お父さんが看られなかった人について、仕事を休んで看たい日数をみると、「1日」(26.5%)が最も多く、次いで「2日」(22.4%)、「3日」(17.3%)となっています。

図 仕事を休んで子どもを看たかった日数

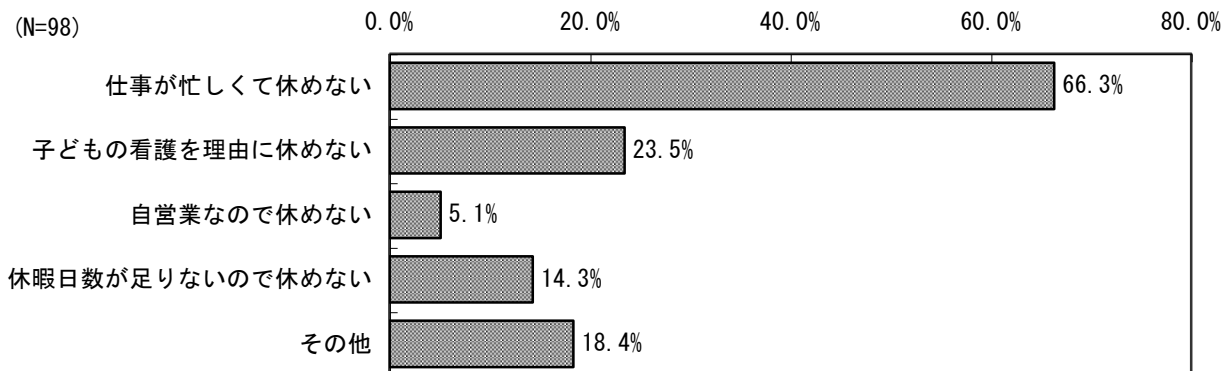


(7) 仕事を休んで子どもを看ることができなかった理由

問19-6 休んで看ることができなかった理由は何ですか。

子どもが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだ際にお母さん、お父さんが看られなかった人の理由をみると、「仕事が忙しくて休めない」(66.3%)が最も多く、次いで「子どもの看護を理由に休めない」(23.5%)、「休暇日数が足りないので休めない」(14.3%)となっています。

図 仕事を休んで子どもを看ることができなかった理由(複数回答)



6. 宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったこと

問20 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など）により、お子さんを泊まりがけで家族以外に預かってもらわなければならなかったことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対応として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

宿泊を伴う一時預かりが必要になった経験の有無をみると、「なかった」が81.8%、「あった」が12.8%となっています。

宿泊を伴う一時預かりが必要になったことがあった場合の対処方法をみると、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」(92.1%)が最も多くなっています。

図 宿泊を伴う一時預かりが必要になった経験の有無（単数回答）

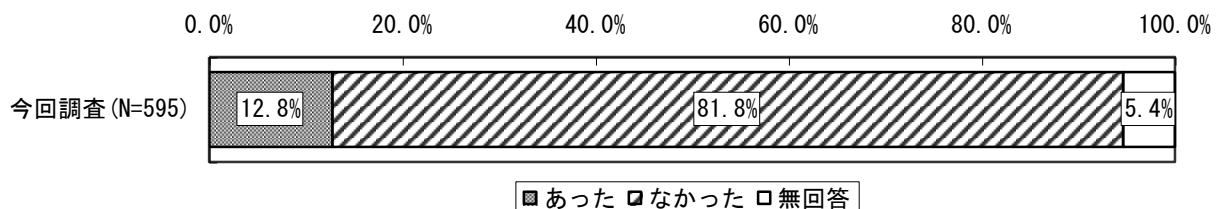
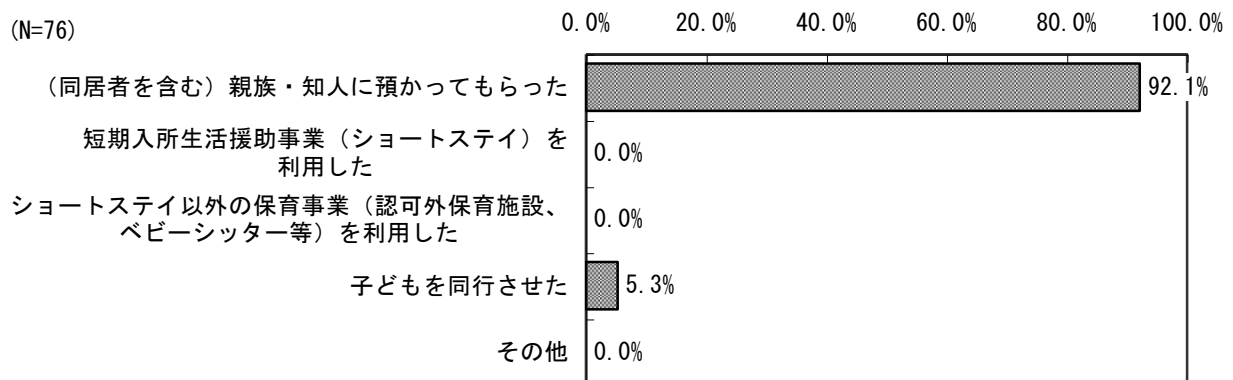


図 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらう必要があった際の対応

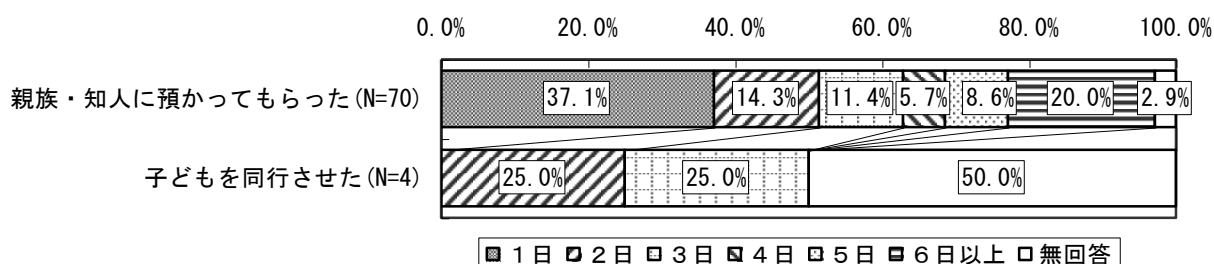


<子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらう必要があった際の対応>

宿泊を伴う一時預かりが必要になったことがあった場合、親族・知人に預かってもらった日数をみると、「1日」(37.1%)が最も多く、次いで「6日以上」(20.0%)、「2日」(14.3%)となっています。

宿泊を伴う一時預かりが必要になったことがあった場合、子どもを同行させた日数をみると、以下の通りとなっています。

図 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらう必要があった際の対応（日数）



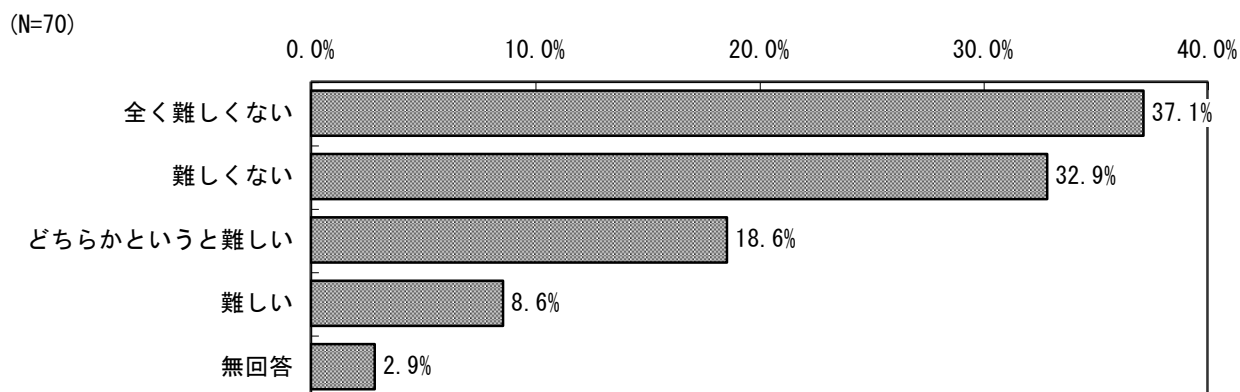
*問20-1は、問20で「ア」と回答した方（お子さんを泊まりがけで親族・知人に預かってもらった方）にうかがいます。

(2) 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらう必要があった際の困難度

問20-1 お子さんを泊まりがけで親族・知人に預かってもらうことを頼むのは難しいですか。

宿泊を伴う一時預かりが必要になったことがあった場合、親族・知人に預かってもらった困難度をみると、「全く難しくない」(37.1%)が最も多く、次いで「難しくない」(32.9%)、「どちらかという難しい」(18.6%)となっています。「全く難しくない」と「難しくない」を合わせると、親族・知人に預かってもらうことが難しくない人が70.0%となっています。

図 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらう必要があった際の困難度（単数回答）



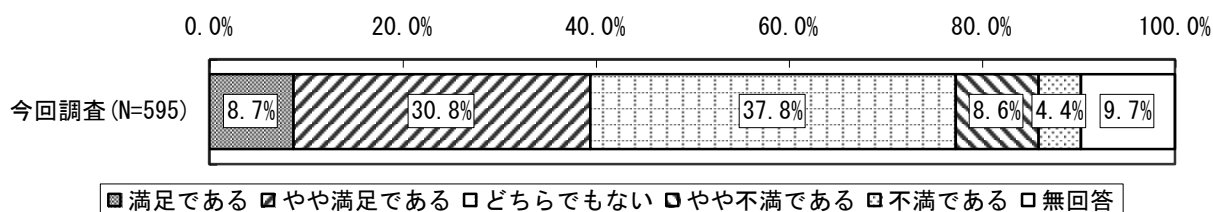
7. 子育て支援対策全般について

(1) 子育て環境や支援の満足度

問21 城陽市における子育ての環境や支援の満足度を教えてください。

城陽市における子育ての環境や支援の満足度をみると、「どちらでもない」(37.8%)が最も多く、次いで「やや満足である」(30.8%)、「満足である」(8.7%)となっています。また、「満足である」と「やや満足である」を合わせると、城陽市の子育て環境や支援に満足している人は39.5%となっています。

図 地域の子育て環境や支援の満足度（単数回答）



●校別

校別に地域の子育て環境や支援の満足度をみると、城陽市の子育て環境や支援に満足している人は「古川」、「久世」、「深谷」、「寺田南」、「今池」で4割以上となっています。一方、城陽市の子育て環境や支援に満足している人（「不満である」と「やや不満である」の合計）は「久津川」と「寺田西」で約2割となっています。

表 校別地域の子育て環境や支援の満足度

上段：回答数
下段：構成比

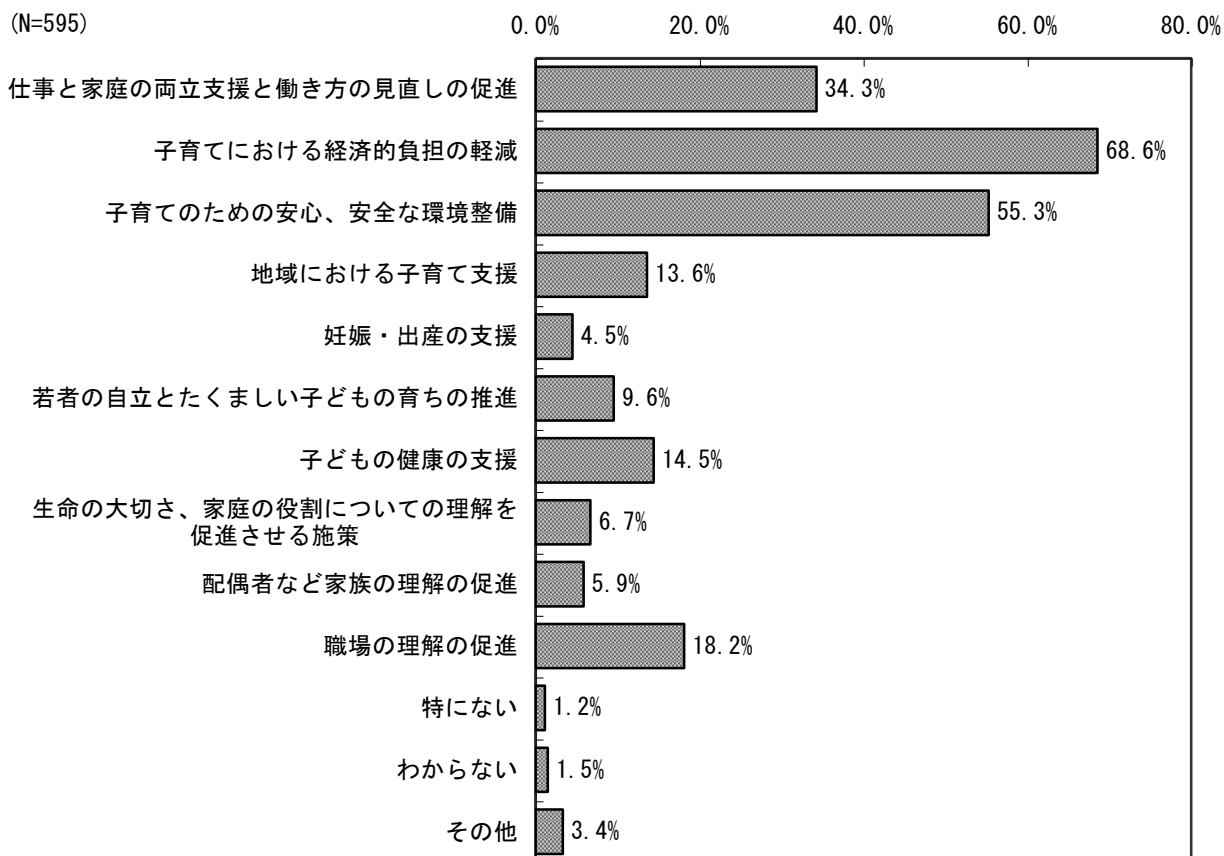
	満足である	やや満足である	どちらでもない	やや不満である	不満である	無回答	合計
久津川	2 3.8%	11 20.8%	26 49.1%	6 11.3%	5 9.4%	3 5.7%	53 100.0%
古川	4 10.8%	14 37.8%	11 29.7%	1 2.7%	0 0.0%	7 18.9%	37 100.0%
久世	13 11.6%	35 31.3%	40 35.7%	10 8.9%	2 1.8%	12 10.7%	112 100.0%
深谷	2 4.9%	15 36.6%	14 34.1%	2 4.9%	3 7.3%	5 12.2%	41 100.0%
寺田	9 11.7%	20 26.0%	29 37.7%	9 11.7%	3 3.9%	7 9.1%	77 100.0%
寺田南	7 10.4%	21 31.3%	27 40.3%	3 4.5%	5 7.5%	4 6.0%	67 100.0%
寺田西	1 2.2%	14 30.4%	17 37.0%	7 15.2%	2 4.3%	5 10.9%	46 100.0%
今池	5 10.9%	18 39.1%	16 34.8%	5 10.9%	2 4.3%	0 0.0%	46 100.0%
富野	5 6.5%	23 29.9%	29 37.7%	4 5.2%	3 3.9%	13 16.9%	77 100.0%
青谷	4 10.5%	11 28.9%	16 42.1%	4 10.5%	1 2.6%	2 5.3%	38 100.0%
無回答	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
合計	52 8.7%	183 30.8%	225 37.8%	51 8.6%	26 4.4%	58 9.7%	595 100.0%

(2) 望ましい子育て支援施策

問21-1 あなたにとって望ましい子育て支援施策は何ですか。

望ましい子育て支援施策をみると、「子育てにおける経済的負担の軽減」(68.6%)が最も多く、次いで「子育てのための安心、安全な環境整備」(55.3%)、「仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進」(34.3%)となっています。

図 望ましい子育て支援施策（3つ以内で回答）

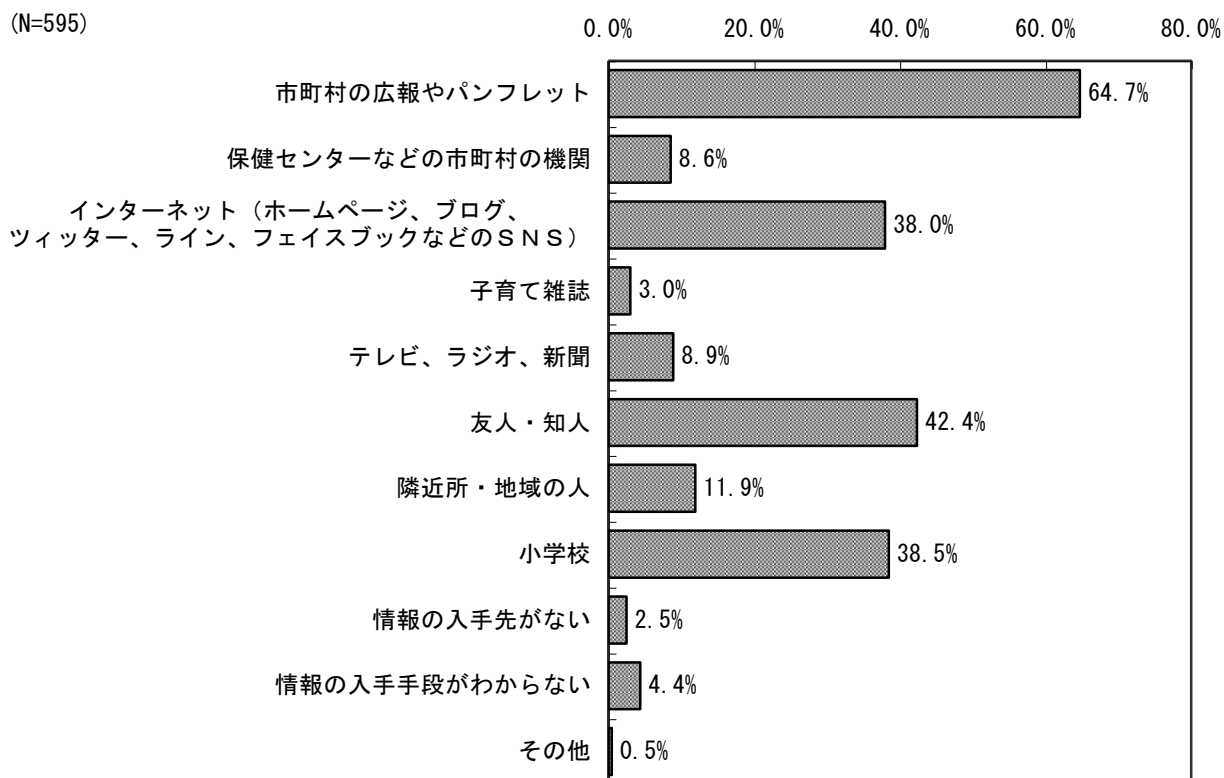


(3) 子育てに必要な施策等の情報の入手方法

問21-2 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手されていますか。

子育てに必要な施策などの情報の入手手段をみると、「市町村の広報やパンフレット」(64.7%)が最も多く、次いで「友人・知人」(42.4%)、「小学校」(38.5%)、「インターネット(ホームページ、ブログ、ツイッター、ライン、フェイスブックなどのSNS)」(38.0%)となっています。

図 子育てに必要な施策等の情報の入手方法(3つ以内で回答)



(4) 子育て支援策に関する意見・要望

問32 城陽市の子育て支援施策に関するご意見・ご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。

就学前子ども保護者調査で、子育て支援に対する意見や提案、日頃子育てなどについて感じていることをたずねたところ、172人から記述が寄せられました。

1人の回答に複数の意見があることから合計では390件となっており、意見の内容別の件数は、以下のとおりです。

表 子育て支援についての意見（小学生保護者）

意見の内容	回答数
1. 学校教育内容について	77
2. 放課後児童クラブについて	51
3. 経済的支援について	51
4. 保育・子育て支援事業について	46
5. 公園・遊び場について	38
6. 保健・医療・障害福祉について	29
7. 道路・交通・防犯について	24
8. 教育設備・環境について	22
9. 相談・情報について	8

第2期城陽市子ども・子育て支援事業計画策定に関する
アンケート調査結果報告書

令和元年（2019年）●月発行

発行 城陽市
編集 城陽市福祉保健部子育て支援課
〒610-0195
城陽市寺田東ノ口16番地、17番地
電話 0774-56-4035
FAX 0774-56-3999